Canon

PUB. DIJ-0343-002A

HD Video Camera

XF300
XF305

使用説明書

HDMI

本機の特長

XF300/XF305は、新開発の1/3型3CMOSイメージセンサーを搭載。有効画素数約207万画素（1920×1080）のフルピクセルのHD収録に対応し、記録メディアにコンパクトフラッシュカードを採用した高画質なHDビデオカメラです。

高画質HD記録システム

207万画素、1/3型 3CMOSと高画質映像エンジン「DIGIC DV Ⅲ」を搭載

有効画素数約207万画素（1920×1080）の1/3型3板式CMOSイメージセンサーと映像エンジン「DIGIC DV Ⅲ」を搭載。新開発の光学18倍HDビデオレンズ（広角29.3mm、F1.6）と組み合わせることによって、中心解像度1000TV本を実現しています。また、高速読み出し（フレームレート60i時で当社従来比2倍）によってローリングシャッターひずみを大幅に抑え、低ノイズで鮮明な色再現、豊かな階調性を実現しました。

MPEG-2 Long GOP 4:2:2 50Mbpsコーデックと MXFファイルフォーマット

クラス最高のMPEG-2 4:2:2 50Mbps記録モードを搭載することにより、放送品質に匹敵する映像収録を実現。業界標準であるMXF（Material eXchange Format）の採用により、ノンリニア編集システムとのスムーズな連携が可能です。

さまざまな記録信号形式に対応（📖 56）

ビットレート（50Mbps、35Mbps、25Mbps）、解像度／フレームレート（1080/60i、1080/30P、1080/24P、720/60P、720/30P、720/24P）の組合せによって16種類の信号形式で映像を記録できます。音声は、リニアPCM（16ビット、48kHz）の2チャンネル記録が可能です。

優れた操作性と汎用性

フォーカス／ズームの操作性を改善した新HDビデオレンズ

フォーカスリングに新たに搭載されたフルマニュアルフォーカスモードを使えば、回転端のあるマニュアルフォーカス制御（距離指標付き）が可能です。また、回転端付きズームリングによって、ワイド端からテレ端まで約90°でズーム制御できます。

プロの操作性を追求した撮影操作系

電源スイッチ、アイリス切り換えスイッチ、シャッタースピード切り換えスイッチなど、撮影時に使用するスイッチやボタンにプロカメラマンの要望を反映。機能・位置・操作方向などを大幅に見直しました。さらにグリップのホールド感や重量バランスも改善。操作感がアップしました。

4.0型の高精細123万ドット液晶画面と広視野角ファインダー

フォーカスに有利な高精細大型液晶画面（視野率100%）を搭載。左右両方向に開くので、制限された撮影現場にも柔軟に対応できます。ファインダーは100%の視野率。付属の大型アイカップを取り付ければ、顔の幅や鼻の高さなどをカバーして確実にフィットします。

汎用性の高いCF（コンパクトフラッシュ）カードを採用

記録メディアに入手しやすく汎用性の高いCFカードを採用することでコストパフォーマンスの高い運用が可能です。また、2つのCFカードスロットを搭載し、それぞれのスロットにCFカードを装着することにより、2枚のカードに連続して記録したり、同じ映像を同時に記録したりすることができます。

簡易ブラウザーと専用プラグインによるノンリニア編集システムとの連携

記録した映像を確認・管理するための簡易ブラウザーを使って、ノンリニア編集に移行する前に映像を確認できます。また、専用プラグインを使用すれば、撮影した映像を簡単にノンリニア編集システム*に取り込めます。

* 取り込み可能なソフトウェアについては162ページをご覧ください。

制作意図に応える多彩な表現力

さまざまな映像表現への可能性を広げる特殊記録機能（📖 107）

撮影フレームレートを変更することによって、最低1/2.5倍速のスローモーション撮影や最高5倍速のファーストモーション撮影ができます。また、自然観察など長時間の変化を撮影するときは、撮影間隔と撮影フレーム数を設定して、間欠的に収録を繰り返すインターバル記録が有効です。設定したフレーム数だけを記録するフレーム記録は、クレイアニメーションを制作するときなどに活用できます。

プロフェッショナルの画づくりを実現するカスタムピクチャー（画質調整機能）（📖 120）

ガンマやカラーマトリクス調整など26項目の画質調整が可能。従来機から調整項目を大幅に刷新したカスタムピクチャー機能により、制作意図に応じた自由な画づくりが実現できます。設定はクリップに記録されるほか、SDカードに保存して複数のXF300/XF305で共有することもできます。

業務用途に対応する拡張性

XF305 HD/SD-SDI出力端子、GENLOCK端子とTIME CODE入出力端子を搭載

HD/SD-SDI出力端子により、高画質なHD映像をデジタル出力できます。エンベデッドオーディオやタイムコード（LTC/VITC）、ユーザービットの重畳にも対応しました。また、GENLOCK端子やTIME CODE入出力端子を使用して外部の機器とタイムコードを同期させることにより、複数のカメラと組み合わせてマルチカメラ撮影を行うことができます。

快適な操作環境を実現するカスタマイズ機能

30種類の機能から使用頻度の高いものを13個の「アサインボタン」に割り当てることができます。各種機能の設定を変更して好みの操作性に合わせたり（カスタムファンクション）、画面上の表示項目をカスタマイズしたり（カスタムディスプレイ）することも可能です。さらに、これらのカスタマイズ設定を含むすべてのメニューやカスタムピクチャー設定をSDカードに保存／読み出しする設定データ保存機能を使えば、複数のXF300/XF305と設定を共有できます。

使いやすさを向上させるさまざまな機能

- 正確な残量や寿命（劣化度）を確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリー（📖 22）。
- GPSレシーバー GP-E2（別売）を接続すると、映像にGPS情報を付加することができます。
- 電源ONのままバッテリー交換を可能にする、DC IN端子。
- ハンドル上部にアクセサリーを取り付け可能な1/4インチハンドルネジ。
- ファンタム電源供給（+48V）に対応した音声入力用外部XLR端子（📖 94）。
- 防振構造を採用した外部マイクホルダーと外部マイク用ケーブルクランプ。
- 撮影中であることをどこからでも確認できる前部／後部タリーランプ。
- ノンカメラマンによる撮影時に役立つフルオートモード（📖 51）。
- フェイスキャッチテクノロジーによる顔検出／追尾機能（📖 62）。
- 従来よりさらに強力な手ブレ補正機能（パワードIS、ダイナミックIS、スタンダードIS）を搭載（📖 64）。
- 明るさをチェックする波形モニター（WFM）、カラーバランスを確認するベクトルスコープ（VS）とフォーカスをアシストする新開発のエッジモニターを搭載（📖 103）。
- カメラ本体やNLE、サーバーでの簡単検索を実現するさまざまなメタデータ記録（📖 100）。
- 3D映像制作をサポートする撮影アシスト機能（光軸調整／焦点距離ガイド）を搭載（📖 113、114）。

Contents

本機の特長 2
本書の読みかた 8

はじめに

商品を確認する／使う前に知っておいてください 10
各部の名称 11
本体の名称 11
リモコン WL-D6000の名称 19
リモコンを使う 37
本体を三脚に取り付ける 38
記録メディアを準備する 40
使用可能なCFカード 40
CFカードを入れる 40
CFカードを取り出す 42
SDカードを入れる／出す 43
初期化する 44
記録／再生に使用するCFカードスロットを切り換える 45
CFカードスロット記録方式を選ぶ 45
記録可能時間を確認する 46
CFカードを修復する 46

準　備

電源を準備する 22
バッテリーパックを使う 22
コンセントにつないで使う 25
電源を入れる／切る 26
日時を設定する 27
日付と時刻を設定する 27
撮影中に日時を表示する 27
メニューで設定を変える 28
メニュー操作の基本 28
カメラを準備する 31
レンズフードを取り付ける 31
アイカップを取り付ける 32
ファインダーの視度を調整する 32
ファインダーキャップを取り付ける 33
液晶画面を使う 33
液晶画面／ファインダーを調整する 34
グリップベルトを調節する 35
ストラップを取り付ける 36
端子カバーを取り外す／取り付ける 36

撮　影

動画を撮影する 48
準備する 48
撮影する 49
撮影時の画面表示 52
液晶表示パネルの表示 54
パワーセーブモードで待機する 55
映像の信号形式を選ぶ 56
フォーカスを調整する 57
FULL MF（フルマニュアルフォーカス）で調整する 57
MF（マニュアルフォーカス）で調整する 58
フォーカスアシスト機能を使う 59
AF（オートフォーカス）で調整する 60
PUSH AF（プッシュ AF）で調整する 61
顔を検出してフォーカスを合わせる（顔優先AF） 62
フォーカスリミットとマクロ撮影 63
手ブレ補正を使う 64
ゲインを調整する 65
オートで調整する 65
マニュアルで調整する 66

シャッタースピードを調整する 68
設定可能なシャッタースピード 68
シャッタースピードのモードを切り換えて調整する.... 69
フリッカーを抑える..... 70
アイリスを調整する..... 71
オートで調整する 71
マニュアルで調整する 71
AEレベルを調整する 73
測光方式を設定する 73
NDフィルターを切り換える 74
ホワイトバランスを調整する..... 75
オートホワイトバランスで調整する 75
プリセット設定で調整する..... 76
色温度設定で調整する..... 77
ホワイトバランスセットで調整する 78
ズームを操作する..... 79
操作方法を選ぶ..... 79
ズームリングで操作する..... 79
ズームロッカーまたはリモコンで操作する 80
マーカー／ゼブラパターンを表示する..... 84
マーカーを表示する 84
ゼブラパターンを表示する 85
タイムコードを設定する..... 87
カウントアップ方式を選ぶ 87
ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える.... 88
タイムコードを保持する（タイムコードホールド）.... 88
ユーザービットを設定する 90
XF305 外部機器と同期をとる 91
接続のしかた..... 91
外部のリファレンスビデオ信号に同期する（GENLOCK）.... 91
外部のタイムコード信号に同期する（タイムコード入力）... 92
タイムコードを出力する..... 93
音声を記録する..... 94
内蔵マイクの音声を選択する 94
外部マイク／外部ライン入力の音声を選択する..... 96
録音レベルを調整する 98
ヘッドホンでモニターする 99
メタデータを操作する 100
ユーザーメモを選ぶ..... 100
カラーバー／テストトーンを記録する..... 101
カラーバーを記録する 101
テストトーンを記録する..... 102
波形モニターを表示する 103
モニター表示を選ぶ..... 103
波形モニター（WFM）のタイプを選ぶ..... 103
ベクトルスコープ（VS）のタイプを選ぶ 104
エッジモニターのタイプを選ぶ..... 104
ショットマークを付加する 105
撮影中にショットマークを付加する..... 105
レックレビューで確認する..... 106
直前に撮影した映像を確認する 106
特殊記録を行う..... 107
インターバル記録を行う..... 107
フレーム記録を行う..... 109
スロー &ファーストモーション記録を行う 110
プレ記録を行う 112
光軸調整を使う..... 113
焦点距離ガイドを使う 114
別売アクセサリーを使う..... 115
GPSレシーバー　GP-E2を使う 115
リモートコントローラー　RC-V100を使う..... 116

カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する 118
機能を変更する..... 119
アサインボタンに割り当てた機能を使う 119
カスタムピクチャーを使用する 120
カスタムピクチャーを登録する 121
撮影に使用するカスタムピクチャーを選ぶ..... 123
カスタムピクチャーをコピーする..... 123

カスタムピクチャーをクリップ／静止画と一緒に保存する.... 125
カスタムピクチャーの設定項目 126
機能や表示をカスタマイズする..... 132
カスタムファンクションで設定できる項目..... 132
カスタムディスプレイで設定できる項目..... 132
設定データの保存と読み出し..... 133
設定データをSDカードに保存する..... 133
設定データをSDカードから読み込む 133

再　生

クリップを再生する..... 136
インデックス画面..... 136
再生する..... 138
再生中にショットマークを付加する..... 141
クリップを操作する..... 142
クリップメニュー一覧 142
クリップメニューで操作する 143
クリップの詳細情報を表示する 144
OKマーク／チェックマークを付加する 145
OKマーク／チェックマークを消去する 146
クリップをコピーする 146
クリップを消去する..... 148
クリップに付加されているユーザーメモ／
GPS情報を消去する..... 149
カスタムピクチャーをコピーする..... 149
ショットマークインデックス画面を表示する..... 150
エクスパンドインデックス画面を表示する 151
ショットマークを付加／消去する 152
クリップの代表画を設定する..... 153

接　続

出力信号形式 156
映像信号形式と出力信号形式..... 156
SD出力時の表示方式..... 156
外部モニターを接続する 157
接続のしかた..... 157
XF305 HD/SD SDI端子を使用する..... 158
HDMI OUT端子を使用する..... 158
HD/SD COMPONENT OUT端子を使用する..... 158
コンポジット出力端子を使用する..... 159
出力映像に画面表示を重畳する..... 159
音声出力を選択する 160
XF305 エンベデッドオーディオ 160
映像と音声のタイミングを選ぶ（モニターディレイ）.... 160
音声出力チャンネルを選ぶ 160
AV端子の音声出力レベルを選ぶ 161
クリップをパソコンに保存する..... 162
インストール／アンインストールのしかた（Windows）.... 162
インストール／アンインストールのしかた（Mac OS）.... 164
ソフトウェアの使用説明書を見る..... 165
本機とパソコンを接続する..... 166

静止画

静止画を記録する..... 168
カメラモードで静止画を記録する..... 168
記録した動画から静止画を切り取る..... 169
静止画を再生する..... 170
静止画インデックス画面を表示する 170
再生する..... 170
静止画を操作する..... 172
静止画メニューで操作する..... 172
静止画を消去する..... 172

静止画をプロテクトする..... 174
カスタムピクチャーをコピーする..... 175
静止画番号をリセットする 176

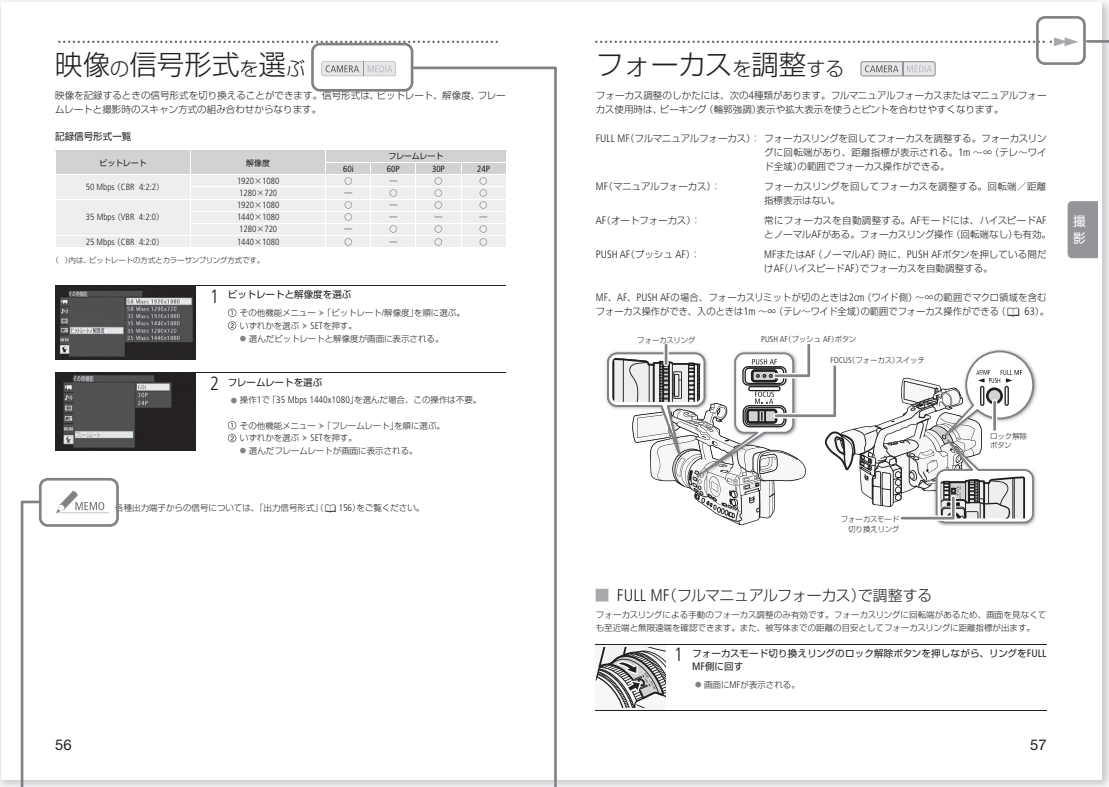
メニュー

メニュー一覧..... 178
メニューの階層..... 178
メニューの設定項目..... 179

その他

ステータス画面を表示する..... 194
操作のしかた..... 194
カメラステータス画面..... 195
アサインボタン／リモコンステータス画面..... 195
オーディオステータス画面..... 196
メディアステータス画面..... 197
ビデオステータス画面..... 198
ユーザーメモステータス画面 198
バッテリー／使用時間ステータス画面 199
カスタムピクチャーステータス画面 199
GPS情報表示ステータス画面 201
トラブルシューティング..... 202
電源 202
撮影中..... 202
再生中..... 203
表示やランプ..... 203
画面や音..... 204
アクセサリー 204
他機 205
エラーメッセージ 206
安全上のご注意..... 209
取り扱い上のご注意 211
ビデオカメラ本体 211
バッテリー 211
メモリーカード..... 212
充電式内蔵電池..... 213
その他のご注意..... 213
コイン型リチウム電池（CR2025）..... 214
日常のお手入れ..... 215
ビデオカメラ本体を清掃する..... 215
ファインダーを清掃する 215
アクセサリー紹介..... 216
主な仕様..... 217
XF300 / XF305本体..... 217
付属品..... 219
バッテリーの充電時間／使用時間の目安 220
索引..... 222
保証書と修理対応..... 226
保証書..... 226
修理対応..... 226
修理について 227

本書の読みかた



映像の信号形式を選ぶ CAMERA MEDIA

映像を記録するときの信号形式を切り換えることができます。信号形式は、ビットレート、解像度、フレームレートと撮影時のスキャン方式の組み合わせからなります。

記録信号形式一覧

ビットレート	解像度	フレームレート			
		60i	60P	30P	24P
50 Mbps（CBR 4:2:2）	1920×1080	○	―	○	○
	1280×720	―	○	○	○
35 Mbps（VBR 4:2:0）	1920×1080	○	―	○	○
	1440×1080	○	―	―	―
	1280×720	―	○	○	○
25 Mbps（CBR 4:2:0）	1440×1080	○	―	○	○

（ ）内は、ビットレートの方式とカラーサンプリング方式です。

1 ビットレートと解像度を選ぶ

① その他機能メニュー > 「ビットレート/解像度」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ > SETを押す。
● 選んだビットレートと解像度が画面に表示される。

2 フレームレートを選ぶ

● 操作1で「35 Mbps 1440x1080」を選んだ場合、この操作は不要。

① その他機能メニュー > 「フレームレート」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ > SETを押す。
● 選んだフレームレートが画面に表示される。

MEMO 各種出力端子からの信号については、「出力信号形式」（□ 156）をご覧ください。

56

フォーカスを調整する CAMERA MEDIA

フォーカス調整のしかたには、次の4種類があります。フルマニュアルフォーカスまたはマニュアルフォーカス使用時は、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示を使うとピントを合わせやすくなります。

FULL MF（フルマニュアルフォーカス）：フォーカスリングを回してフォーカスを調整する。フォーカスリングに回転端があり、距離指標が表示される。1m ～∞（テレ～ワイド全域）の範囲でフォーカス操作ができる。

MF（マニュアルフォーカス）：フォーカスリングを回してフォーカスを調整する。回転端／距離指標表示はない。

AF（オートフォーカス）：常にフォーカスを自動調整する。AFモードには、ハイスピードAFとノーマルAFがある。フォーカスリング操作（回転端なし）も有効。

PUSH AF（プッシュ AF）：MFまたはAF（ノーマルAF）時に、PUSH AFボタンを押している間だけAF（ハイスピードAF）でフォーカスを自動調整する。

MF、AF、PUSH AFの場合、フォーカスリミットが切のときは2cm（ワイド側）～∞の範囲でマクロ領域を含むフォーカス操作ができ、入のときは1m ～∞（テレ～ワイド全域）の範囲でフォーカス操作ができる（□ 63）。

■ FULL MF（フルマニュアルフォーカス）で調整する

フォーカスリングによる手動のフォーカス調整のみ有効です。フォーカスリングに回転端があるため、画面を見なくても至近端と無限遠端を確認できます。また、被写体までの距離の目安としてフォーカスリングに距離指標が出ます。

1 フォーカスモード切り換えリングのロック解除ボタンを押しながら、リングをFULL MF側に回す
● 画面にMFが表示される。

57

撮影

コラムのマーク

ご注意　必ず守っていただきたいこと

MEMO　知っておいていただきたいこと

POWER（電源）スイッチの位置を示すマーク

CAMERA MEDIA　CAMERAにする

CAMERA MEDIA　MEDIAにする

CAMERA MEDIA　CAMERAかMEDIAにする

次のページに続くことを示すマーク

本文中の表記

□	参照ページを示す
参考 ▸▸	参考になるページなどを示す
画面	ファインダーの画面、または液晶画面のこと
SDカード	SD/SDHCメモリーカードのこと
メモリーカード	CF（コンパクトフラッシュ）カードまたはSDカードのこと。
カメラモード	動画撮影モードのこと
メディアモード	再生モードのこと

● 音声入力端子は「CH1、CH2」と、録音するチャンネルは「チャンネル」と表記しています。
● 本書で使用しているイラストはXF305です。また、作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
● 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

1

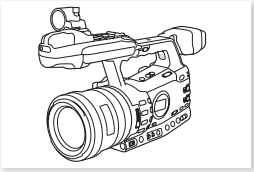
はじめに

商品を確認する／使う前に
知っておいてください..... 10

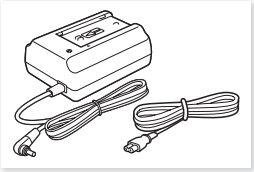
各部の名称 11

商品を確認する

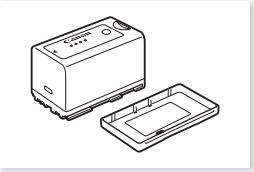
XF300/XF305には、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。



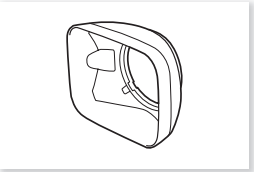
ビデオカメラ本体



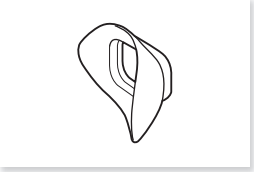
ACアダプター CA-935



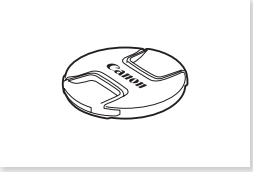
バッテリーパック BP-955



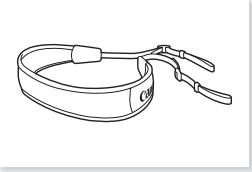
レンズフード



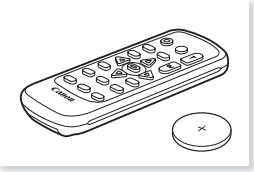
アイカップ



レンズキャップ

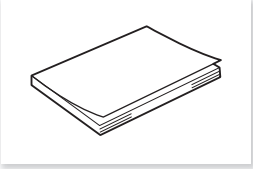


ショルダーストラップ
SS-1200



リモコン（ワイヤレスコントローラー）WL-D6000と
コイン型リチウム電池
CR2025

ファインダーキャップ



XF300/XF305
使用説明書（本書）

使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

事前に、50 Mbpsのビットレート（📖 56）で約6分間ためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、ビデオカメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」（📖 202）をご確認ください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラや記録メディアなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

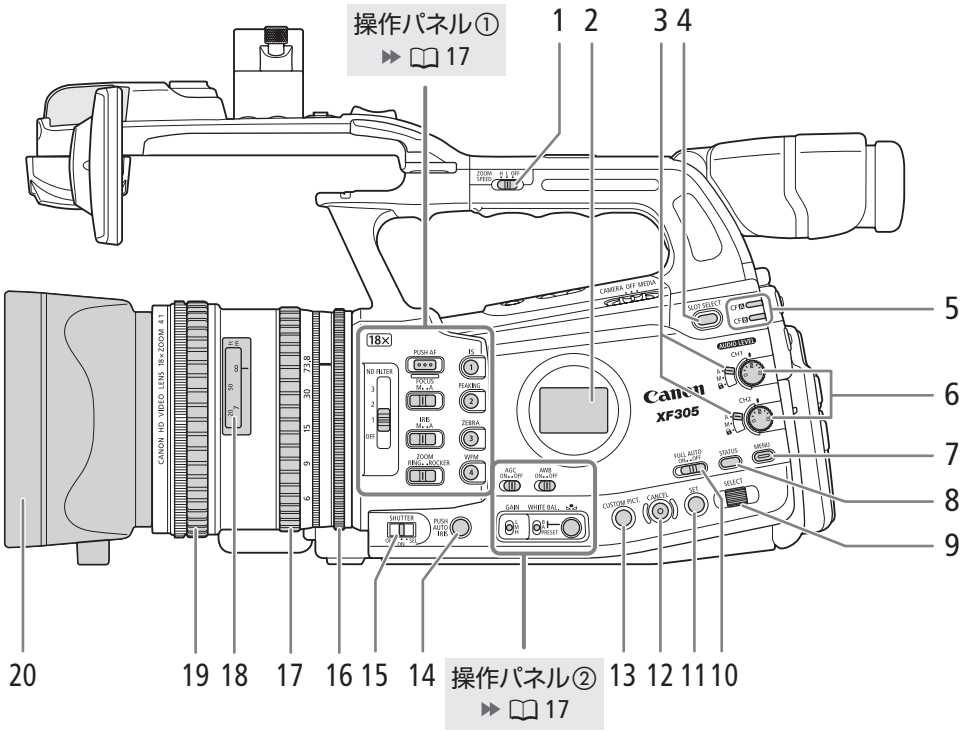
液晶画面について

液晶画面は精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、まれに常時点灯する画素や点灯しない画素が発生することがあります。

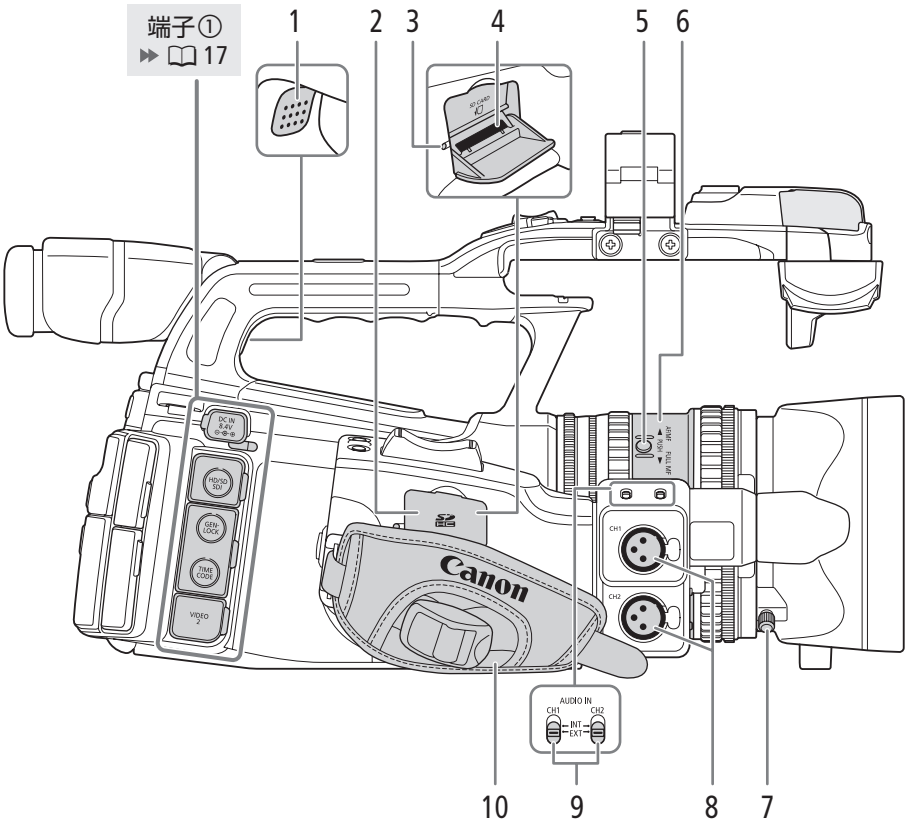
各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶▶📖に記載されているページをご覧ください。

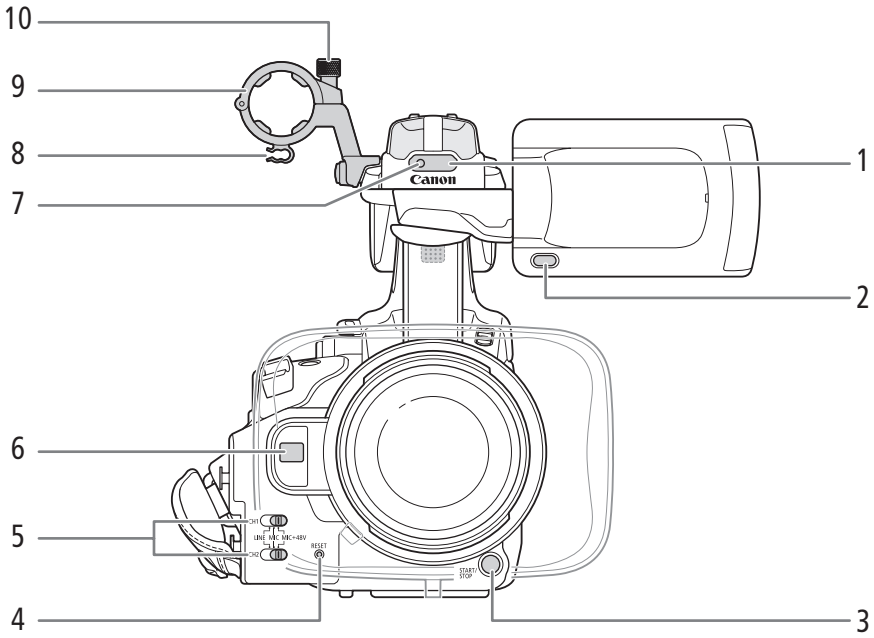
本体の名称



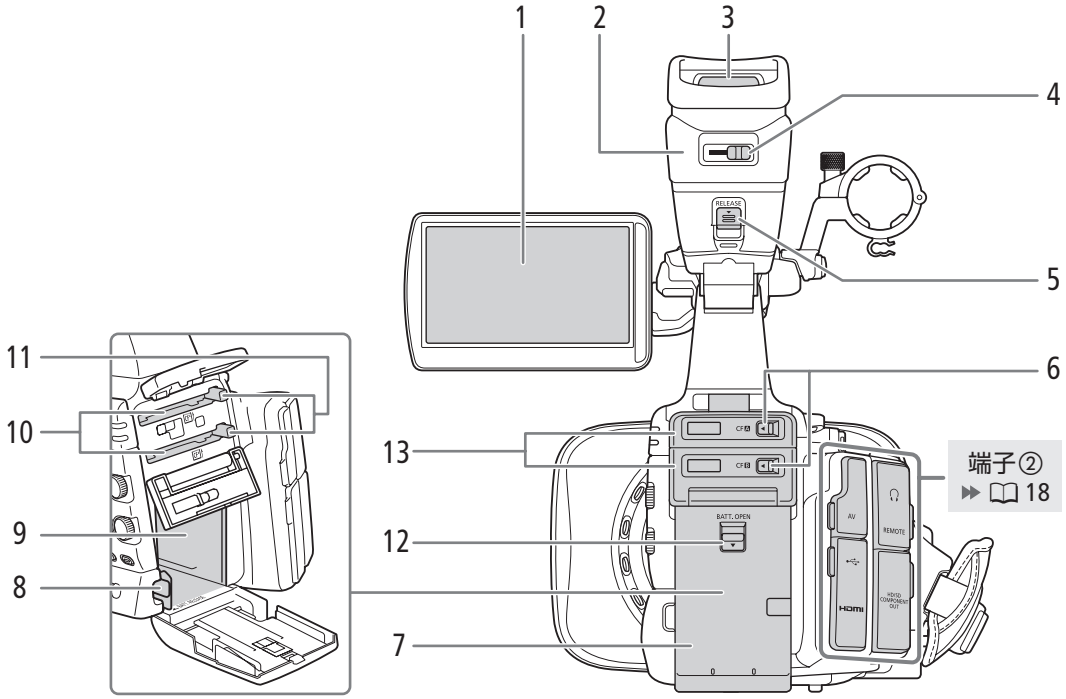
1 ZOOM SPEED（ハンドルズームスピード）切り換えスイッチ ▶▶ 📖 80
2 液晶表示パネル ▶▶ 📖 54
3 AUDIO LEVEL（録音レベル）切り換えスイッチ（CH1/CH2）▶▶ 📖 98
4 SLOT SELECT（スロット選択）ボタン ▶▶ 📖 45
5 アクセスランプ（CF A/CF B）▶▶ 📖 40
6 AUDIO LEVEL（録音レベル）調整つまみ（CH1/CH2）▶▶ 📖 98
7 MENU（メニュー）ボタン ▶▶ 📖 28
8 STATUS（ステータス表示）切り換えボタン ▶▶ 📖 194
9 SELECT（選択）ダイヤル ▶▶ 📖 28
10 FULL AUTO（フルオート）スイッチ ▶▶ 📖 51
11 SET（設定）ボタン ▶▶ 📖 28
12 CANCEL（キャンセル）ボタン ▶▶ 📖 28
13 CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタン ▶▶ 📖 120
14 PUSH AUTO IRIS（プッシュオートアイリス）ボタン ▶▶ 📖 72
15 SHUTTER（シャッタースピード）切り換えスイッチ ▶▶ 📖 69
16 アイリスリング ▶▶ 📖 71
17 ズームリング ▶▶ 📖 79
18 距離指標 ▶▶ 📖 57
19 フォーカスリング ▶▶ 📖 57
20 レンズフード ▶▶ 📖 31



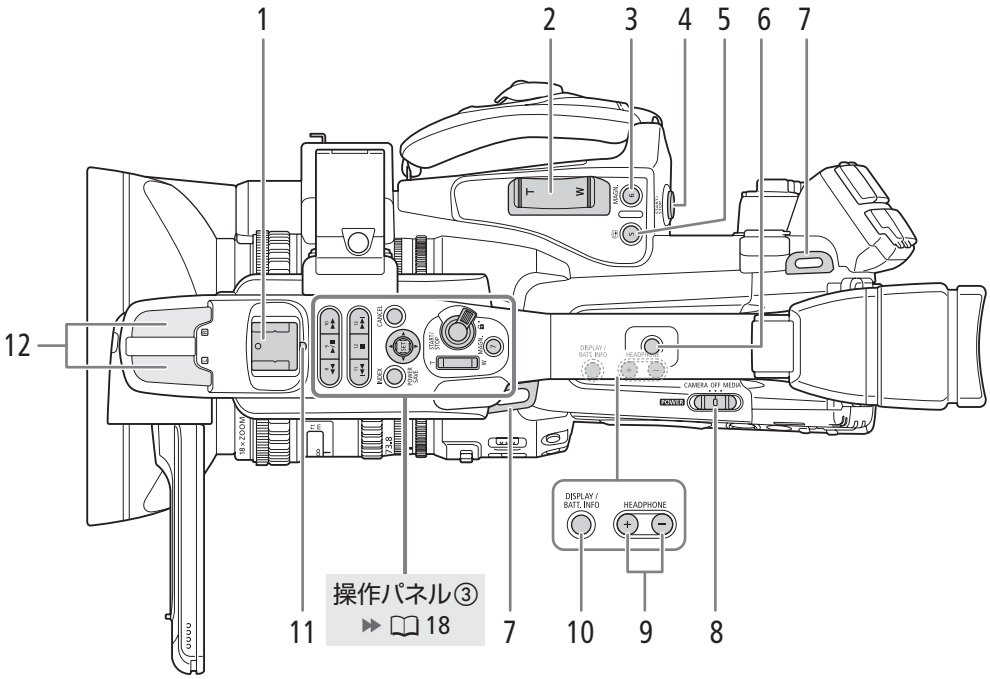
1 スピーカー ▶▶ 140
2 SDカードカバー ▶▶ 43
3 SDカードアクセスランプ ▶▶ 43
4 SD CARD（SDカード）スロット ▶▶ 43
5 ロック解除ボタン ▶▶ 57
6 フォーカスモード切り換えリング ▶▶ 57
7 レンズフード固定ネジ ▶▶ 31
8 XLR端子（CH1/CH2）▶▶ 96
9 AUDIO IN（音声入力）切り換えスイッチ（CH1/CH2）▶▶ 94
10 グリップベルト ▶▶ 35



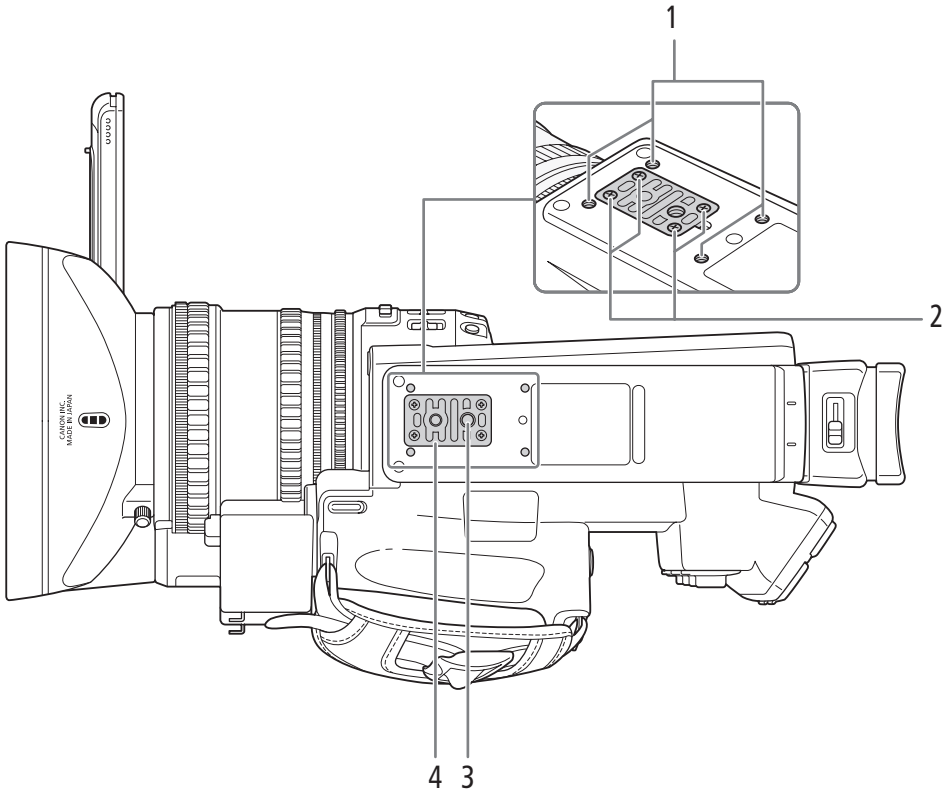
1 リモコン受光部 ▶▶ 📖 38
2 MIRROR（鏡像）切り換えボタン ▶▶ 📖 34
3 START/STOP（スタート／ストップ）ボタン ▶▶ 📖 49
4 RESET（リセット）ボタン ▶▶ 📖 204
5 XLR端子切り換えスイッチ（CH1/CH2）▶▶ 📖 94
6 ハイスピードAF用外部センサー ▶▶ 📖 61
7 前部タリーランプ ▶▶ 📖 49
8 ケーブルクランプ ▶▶ 📖 96
9 外部マイクホルダー ▶▶ 📖 96
10 外部マイク固定ネジ ▶▶ 📖 96



1 液晶画面 ▶▶ 33
2 ファインダーユニット ▶▶ 215
3 ファインダー ▶▶ 32
4 視度調整レバー ▶▶ 32
5 RELEASE（ファインダーユニット取り外し）レバー ▶▶ 215
6 CFカードカバー開くレバー（CF A/CF B）▶▶ 40
7 バッテリーケース ▶▶ 23
8 BATT.RELEASE（バッテリー取り外し）レバー ▶▶ 23
9 バッテリー装着部 ▶▶ 23
10 CFカードスロット ▶▶ 41
11 CFカード取り出しボタン ▶▶ 42
12 BATT.OPEN（バッテリーケース開く）レバー ▶▶ 23
13 CFカードカバー ▶▶ 40



1 アクセサリーシュー
2 グリップズームロッカー ▶▶ 📖 80
3 MAGN.（拡大）／アサイン6ボタン ▶▶ 📖 60
4 START/STOP（スタート／ストップ）ボタン ▶▶ 📖 49
5 （レックビュー）／アサイン5ボタン ▶▶ 📖 106
6 1/4インチハンドルネジ ▶▶ 📖 48
7 ストラップ取り付け部 ▶▶ 📖 36
8 POWER（電源）スイッチ ▶▶ 📖 26
9 HEADPHONE（ヘッドホン）音量調整ボタン ▶▶ 📖 99
10 DISPLAY（ディスプレイ）／ BATT.INFO（バッテリー情報）ボタン ▶▶ 📖 52、24
11 後部タリーランプ ▶▶ 📖 49
12 内蔵マイク ▶▶ 📖 94



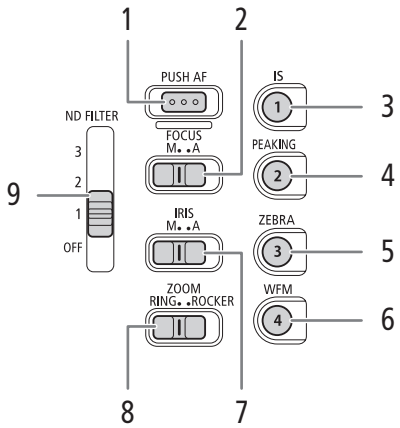
1 別売の三脚アダプター TA-100取り付け部 ▶▶ 📖 38

2 三脚ベース取り付けネジ ▶▶ 📖 39

3 三脚取り付け穴 ▶▶ 📖 38

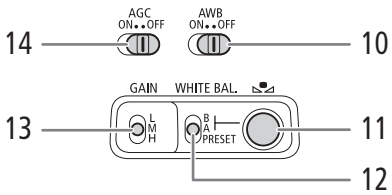
4 1/4インチネジ用三脚ベース ▶▶ 📖 39

操作パネル①



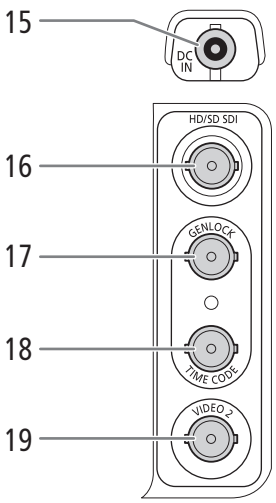
1 PUSH AF（プッシュ AF）ボタン ▶▶ 📖 61
2 FOCUS（フォーカス）スイッチ ▶▶ 📖 57
3 IS（手ブレ補正）／アサイン1ボタン ▶▶ 📖 64
4 PEAKING（ピーキング）／アサイン2ボタン ▶▶ 📖 59
5 ZEBRA（ゼブラ）／アサイン3ボタン ▶▶ 📖 85
6 WFM（波形モニター）／アサイン4ボタン ▶▶ 📖 103
7 IRIS（アイリス）スイッチ ▶▶ 📖 71
8 ZOOM（ズーム）スイッチ ▶▶ 📖 79
9 ND FILTER（NDフィルター）切り換えスイッチ ▶▶ 📖 74

操作パネル②



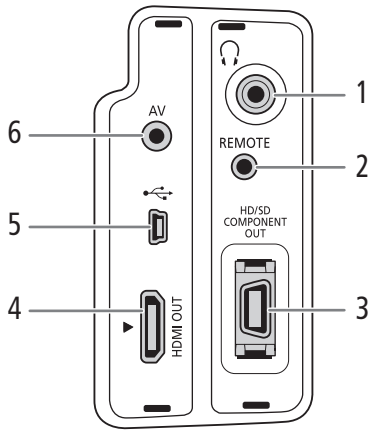
10 AWB（オートホワイトバランス）スイッチ ▶▶ 📖 75
11 （ホワイトバランスセット）ボタン ▶▶ 📖 78
12 WHITE BAL.（ホワイトバランス）スイッチ ▶▶ 📖 75
13 GAIN（ゲイン）スイッチ ▶▶ 📖 65
14 AGC（オートゲインコントロール）スイッチ ▶▶ 📖 65

端子①



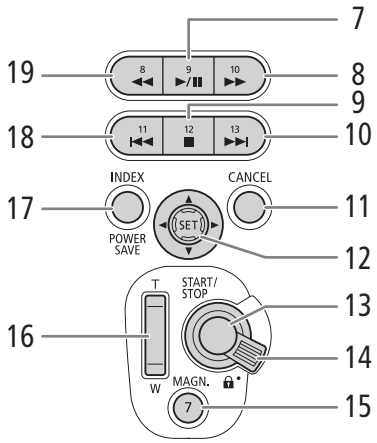
15 DC IN端子 ▶▶ 📖 25
16 XF305 HD/SD SDI 端子 ▶▶ 📖 157
17 XF305 GENLOCK端子 ▶▶ 📖 91
18 XF305 TIME CODE端子 ▶▶ 📖 91
19 VIDEO 2端子 ▶▶ 📖 157

端子②



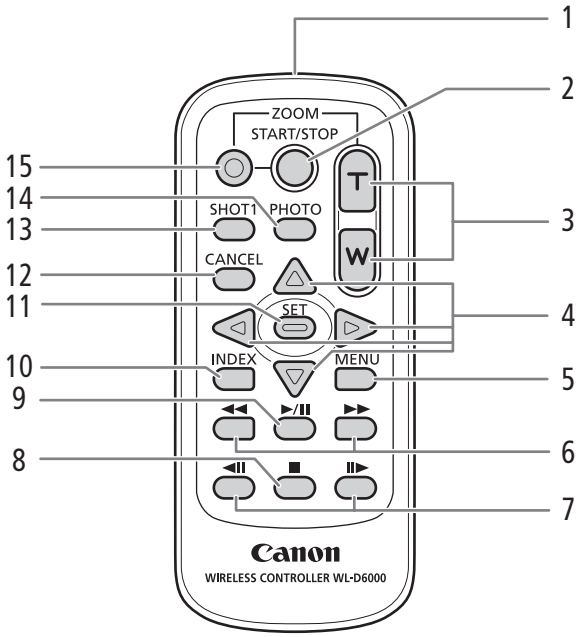
1 (ヘッドホン)端子 ▶▶ 99
2 REMOTE(リモート)端子 ▶▶ 80
3 HD/SD COMPONENT OUT端子 ▶▶ 157
4 HDMI OUT端子 ▶▶ 157
5 USB端子 ▶▶ 115、166
6 AV端子 ▶▶ 157

操作パネル③



7 ▶/❚❚(再生/一時停止)/アサイン9ボタン ▶▶ 138
8 ▶▶(早送り)/アサイン10ボタン ▶▶ 138
9 ■(停止)/アサイン12ボタン ▶▶ 138
10 ▶▶❙(次スキップ)/アサイン13ボタン ▶▶ 138
11 CANCEL(キャンセル)ボタン ▶▶ 28
12 ジョイスティック ▶▶ 28
13 START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ▶▶ 49
14 ロックレバー ▶▶ 49
15 MAGN.(拡大)/アサイン7ボタン ▶▶ 60
16 ハンドルズームロッカー ▶▶ 80
17 INDEX(インデックス)/
POWER SAVE(パワーセーブ)ボタン ▶▶ 137、55
18 ❙◀◀(前スキップ)/アサイン11ボタン ▶▶ 138
19 ◀◀(早戻し)/アサイン8ボタン ▶▶ 138

■ リモコン WL-D6000（📖 37）の名称



1 送信部 ▶▶ 📖 38
2 START/STOP（スタート／ストップ）ボタン ▶▶ 📖 49
3 ZOOM（ズーム）ボタン ▶▶ 📖 83
4 ▲/▼/◀/▶ ボタン ▶▶ 📖 28
5 MENU（メニュー）ボタン ▶▶ 📖 28
6 ◀◀/▶▶（早戻し／早送り）ボタン ▶▶ 📖 140
7 ◀II/II▶（コマ戻し／コマ送り）ボタン ▶▶ 📖 140
8 ■（停止）ボタン ▶▶ 📖 138
9 ▶/II（再生／一時停止）ボタン ▶▶ 📖 138
10 INDEX（インデックス）ボタン ▶▶ 📖 137
11 SET（設定）ボタン ▶▶ 📖 28
12 CANCEL（キャンセル）ボタン ▶▶ 📖 28
13 SHOT1（ショットマーク1）ボタン ▶▶ 📖 105、152
14 PHOTO（フォト）ボタン ▶▶ 📖 168
15 誤操作防止ボタン ▶▶ 📖 49、83

MEMO

2

準　備

電源を準備する..... 22
日時を設定する..... 27
メニューで設定を変える 28
カメラを準備する 31
記録メディアを準備する 40

電源を準備する

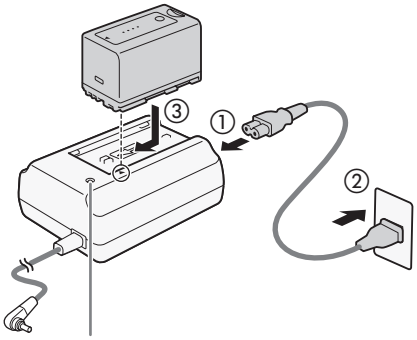
電源は、バッテリーパックまたはコンセントから使用します。バッテリーパックが取り付けられている状態で、コンセントに接続するとコンセントからの電源で動作します。バッテリーパックは充電してから使います。

バッテリーパックを使う

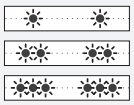
BP-900シリーズのバッテリーパック（📖216）を使用できます。BP-955（付属）やBP-975（別売）などのバッテリーは、インテリジェントシステムに対応していますので、残量を確認することができます。

充電する

付属のACアダプターを使って充電します。バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取り外します。（📖211）



充電ランプ



1秒間に1回点滅 → 0 ～ 34%
1秒間に2回点滅 → 35 ～ 69%
1秒間に3回点滅 → 70 ～ 99%

1 ACアダプター（付属）のDCプラグをビデオカメラ本体のDC IN端子に接続しているときは、DCプラグを抜く

2 ACアダプターに電源コードを差し込む（①）

3 電源プラグをコンセントに差し込む（②）

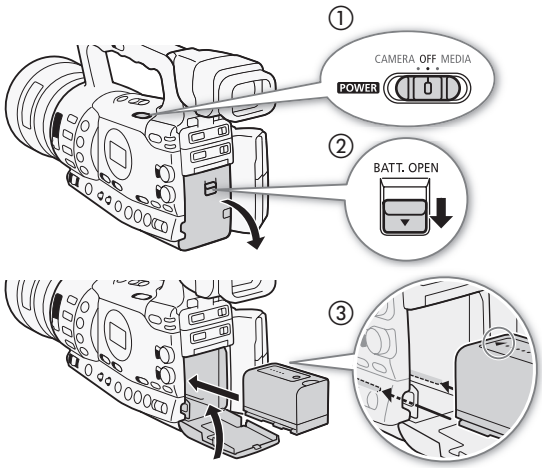
4 バッテリーパックの先端を▼に合わせて、押し付けながらカチッと音がするまでスライドさせる（③）
- 充電ランプが点滅して、充電が始まる。
- 充電中は、充電ランプの点滅のしかたで充電量（目安）を確認できる。点滅→点灯に変わったら充電終了。

5 バッテリーパックをスライドさせて、取り外す

6 電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをACアダプターから抜く

MEMO
- バッテリーパックを充電するときは、DCプラグをビデオカメラ本体からはずしてください。
- バッテリーパックBP-955（付属）とBP-975（別売）は、従来のキヤノン製ビデオカメラに取り付けて使用することはできません。

本体に取り付ける



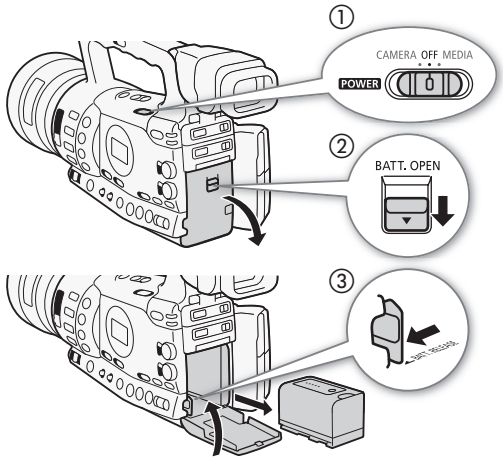
1 POWER（電源）スイッチをOFFにする（①）
- POWER（電源）スイッチをスライドさせ、「OFF」に合わせる。

2 BATT.OPEN（バッテリーケース開く）レバーを▼方向にスライドさせて、バッテリーケースを開ける（②）

3 バッテリーパックを図のようにカチッと音がするまで入れる（③）

4 バッテリーケースを閉じる

本体から取り外す



1 POWER（電源）スイッチをOFFにする（①）
- POWER（電源）スイッチをスライドさせ、「OFF」に合わせる。

2 BATT.OPEN（バッテリーケース開く）レバーを▼方向にスライドさせて、バッテリーケースを開ける（②）

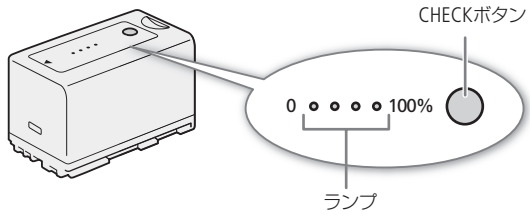
3 BATT. RELEASE（バッテリー取り外し）レバーを矢印の方向に押し、バッテリーを手前に引き出す（③）

4 バッテリーケースを閉じる

残量を確認する

BP-955（付属）またはBP-975（別売）をお使いのときは、本機の電源を入れなくても、次の方法でバッテリーの残量（目安）を確認できます。また、電源を入れたあとは、カメラモード／メディアモードの各画面（📖 52、136）や、バッテリー／使用時間ステータス画面（📖 199）で確認することもできます。

バッテリーパック単独で確認する

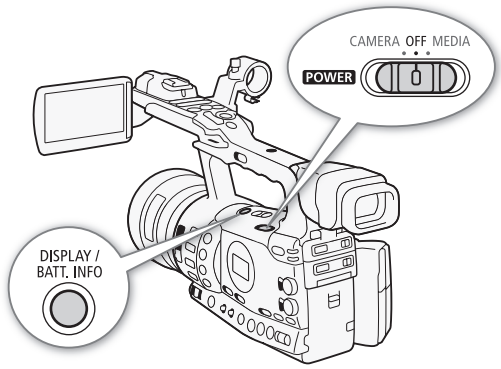


1 バッテリー上のCHECKボタンを押す

- 約3秒間ランプが点灯してバッテリーの残量（目安）を確認できる。

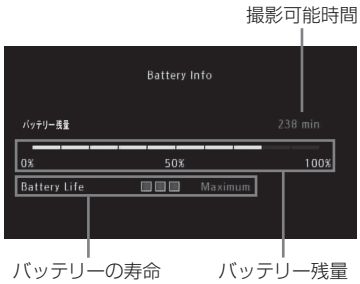
☀ ○ ○ ○	0 ～ 25%
☀ ☀ ○ ○	26 ～ 50%
☀ ☀ ☀ ○	51 ～ 75%
☀ ☀ ☀ ☀	76 ～ 100%

本体に取り付けて確認する（バッテリー情報）



1 **本機が電源OFFのとき** DISPLAY（ディスプレイ）／BATT.INFO（バッテリー情報）ボタンを押す

- バッテリーパックの残量と撮影可能時間の目安が5秒間表示される。
- バッテリーが消耗していると、表示されないことがある。



ご注意

- ACアダプターに指定された製品以外を接続しないでください。
- 10 ℃～30 ℃の場所で充電することをおすすめします。0 ℃未満、40 ℃を超える場所では充電できません。

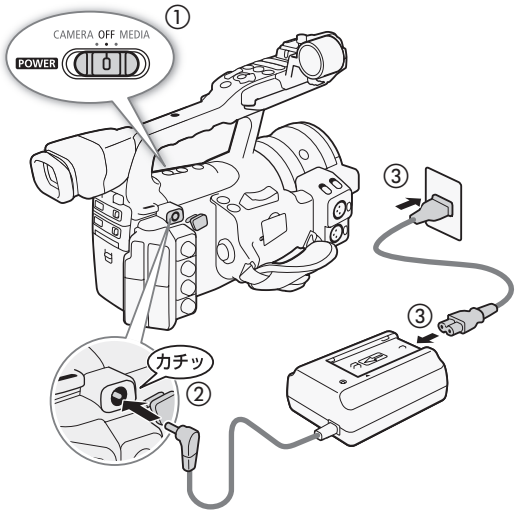
MEMO

- ACアダプターやバッテリーパックに異常があると、充電ランプが消灯し、充電を中止します。
- バッテリーの取り扱いについては、211ページをご覧ください。
- バッテリーパックの充電時間とフルに充電したときの使用時間は、220ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- 撮影可能時間をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。

- バッテリーパックは、充放電を繰り返すと少しずつ劣化して容量が少なくなります。BP-955（付属）またはBP-975（別売）を取り付けているときは、バッテリー情報画面（前ページ）またはバッテリーステータス画面（📖 199）でバッテリーの寿命を確認できます。寿命をより正確に確認するには、バッテリーを充電してから使い切ってください。

コンセントにつないで使う

付属のACアダプター CA-935を使って、コンセントにつないで使用できます。



1 POWER（電源）スイッチをOFFにする（①）
- POWER（電源）スイッチをスライドさせ、「OFF」に合わせる。

2 ACアダプターにバッテリーパックを取り付けているときは、バッテリーパックを取り外す
- ACアダプターにバッテリーパックを取り付けていると、本機が正常に動作しないことがある。

3 DC IN端子にDCプラグを接続する（②）

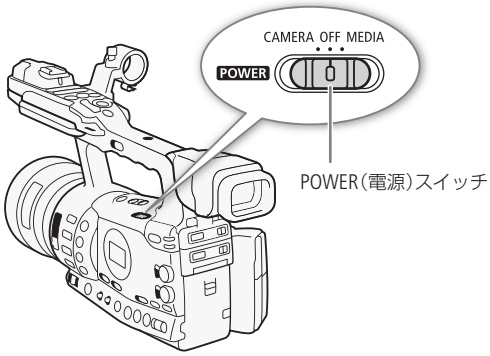
4 ACアダプターに電源コードを差し込み、電源プラグをコンセントに差し込む（③）

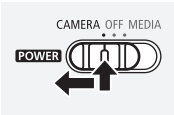
ご注意　ACアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。

MEMO　本機をコンセントにつなぐと、電源を入れたままバッテリーを交換することができます。

電源を入れる／切る

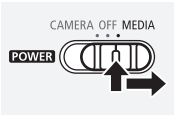
本機には、撮影用のカメラモードと再生用のメディアモードとがあり、電源を入れるときに選択します。POWER（電源）スイッチを「CAMERA」側にして電源を入れるとカメラモードに、「MEDIA」側にして電源を入れるとメディアモードになります。





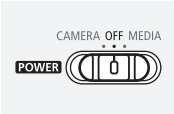
カメラモードで起動するとき

POWER（電源）スイッチを押しながら「CAMERA」側にスライドさせる。



メディアモードで起動するとき

POWER（電源）スイッチを押しながら「MEDIA」側にスライドさせる。



電源を切るとき

POWER（電源）スイッチをスライドさせ、「OFF」に合わせる。

日時を設定する CAMERA MEDIA

はじめてお使いになるときは、日付・時刻を設定する画面が表示されます*。

* 内蔵のリチウム2次電池が放電したときも同様です。

日付と時刻を設定する

① ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して「年」の数字を選び、SETを押す。
- カーソルが「月」に移動する。
- SETを押すたびに、年→月→日→時→分の順にカーソルが移動する。

② ①の操作を繰り返して、日付／時刻を設定する。

③ カーソルが一番右の「セット」にある状態で、時報に合わせてSETを押す。
- 日時設定が完了する。

撮影中に日時を表示する CAMERA MEDIA

撮影中に現在の日時を画面下方に表示できます。

① MENUボタンを押す。

② ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して（LCD/VF設定メニュー）を選ぶ。

③ 同様に、「Custom Display」➤「日付/時刻」を順に選ぶ ➤ SETを押す。

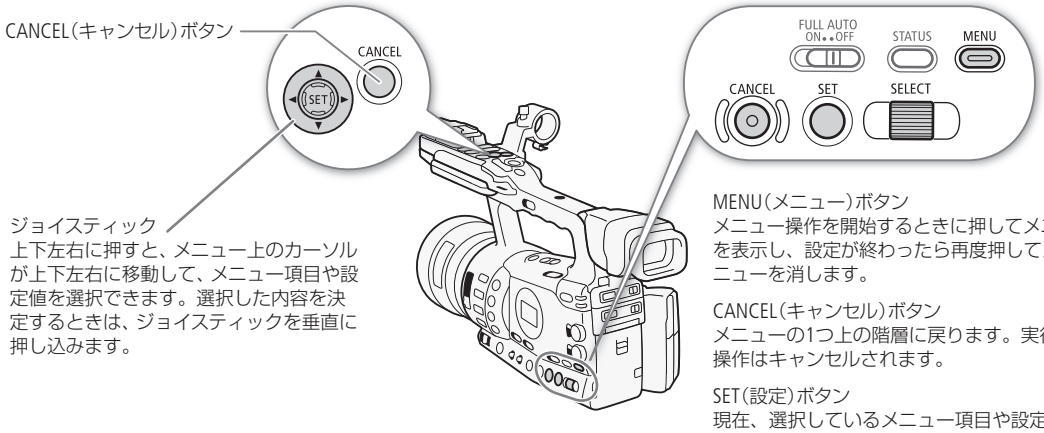
④ 「日付/時刻」、「時刻」、「日付」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 日時を表示しないときは、ここで「切」を選ぶ。

⑤ MENUボタンを押す。

MEMO
- 日時設定は、その他機能メニュー ➤「日時設定」の「日付/時刻」で変更できます。また、タイムゾーンは、その他機能メニューの「タイムゾーン」で変更できます（📖 187）。
- 本機を3ヶ月近く使わないでおくと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して日付／時刻の設定が解除されることがあります。そのときは、内蔵のリチウム電池を充電してから設定し直してください（📖 213）。

メニューで設定を変える CAMERA MEDIA

本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。ここではメニュー設定の基本操作や共通操作について説明しますので、本書の各項目で説明されているメニュー設定を操作するときの参考にしてください。メニューの種類については「メニュー一覧」(📖 178)をご覧ください。



ジョイスティック
上下左右に押すと、メニュー上のカーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。選択した内容を決定するときは、ジョイスティックを垂直に押し込みます。

MENU(メニュー)ボタン
メニュー操作を開始するときに押してメニューを表示し、設定が終わったら再度押してメニューを消します。

CANCEL(キャンセル)ボタン
メニューの1つ上の階層に戻ります。実行前の操作はキャンセルされます。

SET(設定)ボタン
現在、選択しているメニュー項目や設定値に決定するときに押します。

SELECT(選択)ダイヤル
上下に回すと、メニュー上のカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。

メニュー操作の基本

例をあげてメニューの基本操作を説明します。

例：「Peaking」(ピーキング)を「2」に設定する場合

1 メニューを表示させる

① MENUボタンを押す。

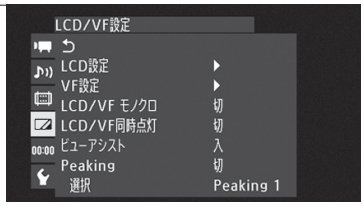
- メニュー操作モードになり、画面にメニューが表示される。
- メニューは、最後にメニューを消したときの状態が保持されたまま表示される(電源をOFF/ONすると初期状態に戻る)。

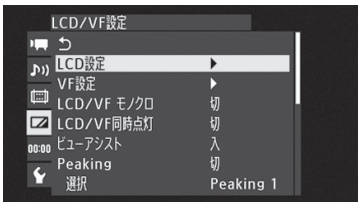
2 設定するメニューを選ぶ

① ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して、設定するメニューを選ぶ。
- 選んだメニューのサブメニューが表示される。

② ジョイスティックまたはSET(設定)ボタンを押す*。
- カーソルがメニュー項目に移動する。
- ジョイスティックを右に押して、カーソルをメニュー項目に移動することもできる。
- 表示しきれないメニュー項目があるときは、メニューの右端にスクロールバーが表示される。カーソルを上下に移動するとメニューがスクロールする。

* 以降、この操作を「SETを押す」と記載する。



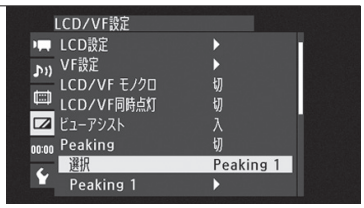


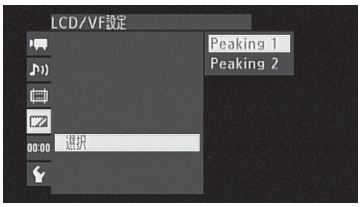
3 設定するメニュー項目を選ぶ

① ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して、設定するメニュー項目を選ぶ。

② SETを押す。
- カーソルが設定内容に移動する。
- メニュー項目の右側に表示される「▶」は、下の階層にメニュー項目があることを示す。このメニュー項目を選んだときは、再度①、②の操作を行って、下の階層のメニュー項目を選ぶ。
- 「CANCELボタンを押す*」、「ジョイスティックを左に押す」、「⮌を選ぶ」、のいずれかを行うと、カーソルが1つ上の階層に戻る。

* 以降、この操作を「CANCELを押す」と記載する。

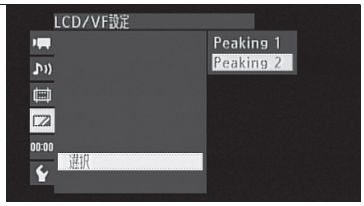


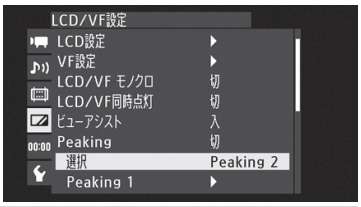


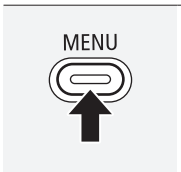
4 設定内容を選び、設定する

① ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して、設定内容を選ぶ。

② SETを押す。
- 選んだ設定内容を決定し、上の階層のメニュー項目に戻る。







5 メニューを消す

① MENUボタンを押す。

- メニュー操作モードが終了し、メニューが消える。

MEMO

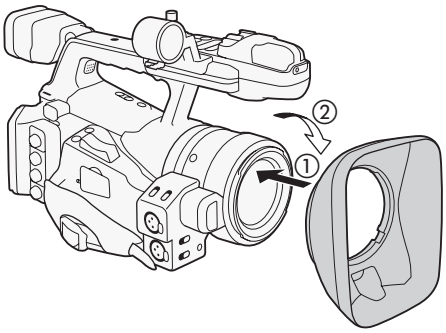
- 他の機能の設定内容などによって設定できない項目は、灰色で表示されることがあります。
- MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。
- リモコンで操作する場合、リモコンの△/▽/◁/▷/⊖（設定）ボタンがジョイスティックと同等に機能します。
- 現在の設定内容は、ステータス画面で確認できます（📖 194）。

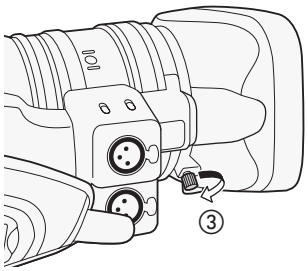
カメラを準備する

ここではアイカップの取り付け／取り外し、ファインダーや液晶画面の調整、グリップベルトの調整など、はじめに行うカメラの準備について説明します。

■ レンズフードを取り付ける

撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどの低減に効果的です。





1 フードの外部センサー窓が下になるようにしてレンズ先端部にフードをはめ込み（①）、時計方向に回す（②）
- フードの先端を軽く持って取り付ける。強く握ると変形して、取り付け／取り外しづらくなる。

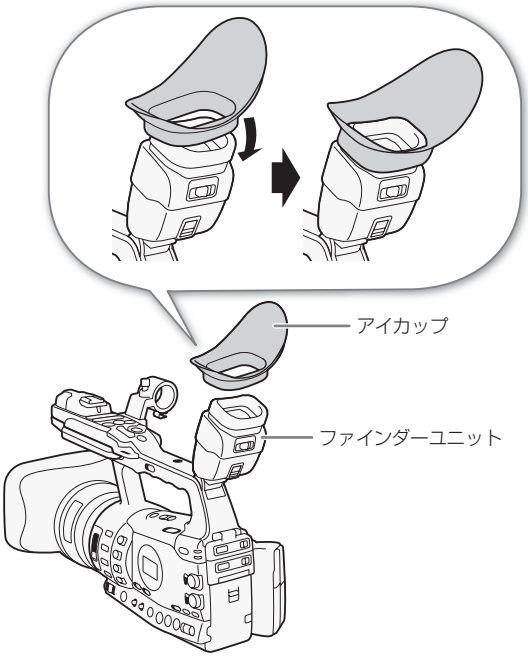
2 固定ネジでフードを固定する（③）

ご注意

レンズフードはまっすぐ、斜めにならないように取り付けてください。

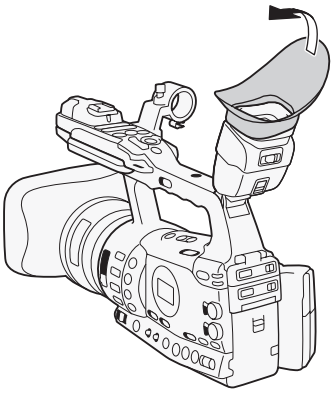
アイカップを取り付ける

ファインダーユニットのゴム部分にアイカップをかぶせるようにして取り付けます。アイカップは視度調整レバーを覆いませんので、視度調節操作に支障はありません。なお、左目でファインダーを見るときはアイカップを逆向きに取り付けてください。



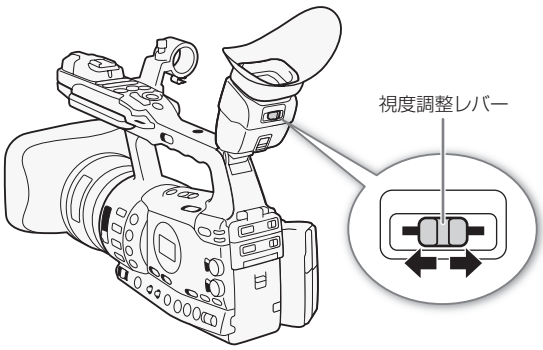
アイカップを取り外す

アイカップの側面を引っ張るようにして外します。



ファインダーの視度を調整する

ファインダーの映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。電源を入れ（📖 26）、視度調整レバーを左右に動かして調整してください。



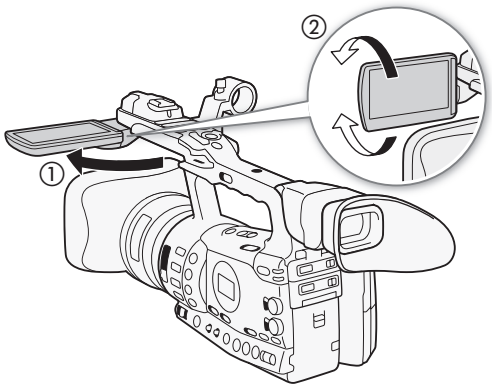
ファインダーキャップを取り付ける

太陽光によってファインダー内部が破損するのを防ぐため、ファインダーを使用しないときはファインダーキャップを取り付けてください。ファインダー内のキズ／ゴミの防止にも有効です。取り付けるときは、ファインダーユニットのゴム部分の内側にはめ込んでください。

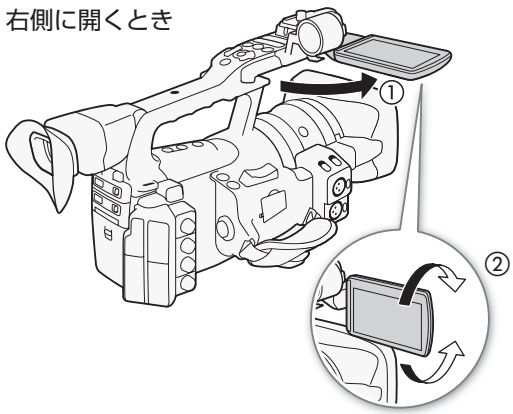
液晶画面を使う

本機の液晶画面は、ハンドルの左側にも右側にも開くことができます。壁際の撮影など制約のある撮影ポジションにも柔軟に対応できます。

液晶画面を開く



右側に開くとき



1 収納されている液晶画面を押し、出てきた液晶画面を90度奥まで回転させる（①）

2 液晶画面を回転させて、見やすい角度に調整する（②）

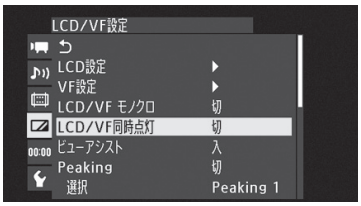
MEMO

- 液晶画面をハンドルの右側に開くときは、収納状態で左から押し出し、右側に回転させます。
- 液晶画面を使用しているときは、ファインダーに映像は表示されません。液晶画面とファインダーを同時に使用することもできます。
- 液晶画面をモノクロにしたいときは35ページをご覧ください。
- 市販のレンズアダプターなどを取り付けた場合に映像が上下左右に反転するときは、その他機能メニュー ➤「Custom Function」の「スキャンリバース記録」（📖 190）で、映像を上下左右、上下、左右のいずれかに反転させて記録することができます。

ファインダーを同時に使う

CAMERA | MEDIA

液晶画面とファインダーを同時に使用することができます。



① LCD/VF設定メニュー ➤「LCD/VF同時点灯」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

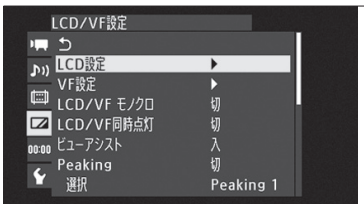
MEMO 液晶画面を相手に見せながら撮影するときは、MIRROR(鏡像)切り換えボタンを押すと、液晶画面の表示を上下に反転させることができます。

液晶画面／ファインダーを調整する

CAMERA | MEDIA

画面を調整する

明るさ、コントラスト、カラー、シャープネス、バックライトの各項目を、液晶画面とファインダーそれぞれ別々に調整できます。なお、この設定は記録される映像には影響しません。



1 「LCD設定」または「VF設定」を選ぶ

① LCD/VF設定メニュー ➤「LCD設定」または「VF設定」を順に選ぶ。
② SETを押す。

2 調整する

① 調整する項目を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「明るさ」、「コントラスト」、「カラー」、「シャープネス」、「バックライト」から選ぶ。

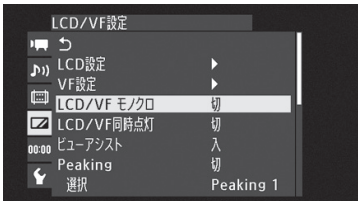
② ジョイスティックを上下に押すか、SELECTダイヤルを回して調整する ➤ SETを押す。
③ 調整する項目について、①②を繰り返す。
④ メニューを消す。

MEMO アサインボタンに「LCD設定」を割り当てると、アサインボタンを押してLCD/VF設定メニュー ➤ 「LCD設定」メニューを表示することができます。（📖 118）。

液晶画面とファインダーをモノクロにする

CAMERA MEDIA

画面をモノクロ表示にします。モノクロ表示にしても、表示文字などはカラーで表示されます。

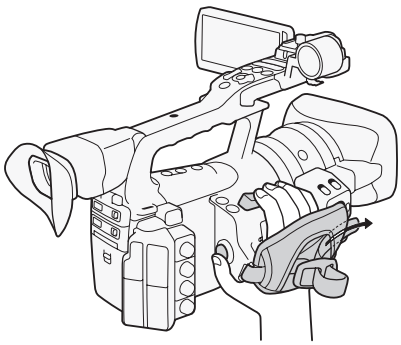


① LCD/VF設定メニュー ➤ 「LCD/VF モノクロ」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO アサインボタンに「LCD/VF モノクロ」を割り当てると、アサインボタンを押して入／切を切り換えられます（📖 118）。

グリップベルトを調節する

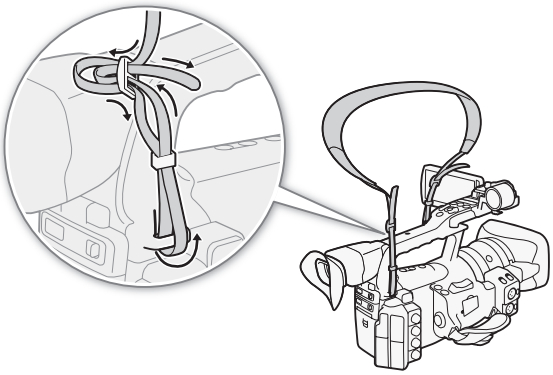
親指がスタート／ストップボタンに、人さし指と中指がグリップズームロッカーに、ちょうど合うようにベルトの長さを調節します。



ご注意

落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

■ ストラップを取り付ける



ご注意

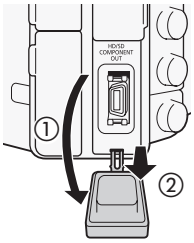
落下したりしないように、机などの安定した所で調節してください。

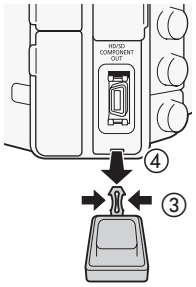
■ 端子カバーを取り外す／取り付ける

次の端子カバーを取り外すことができます。

- HD/SD SDI端子カバー（XF305）
- GENLOCK ／ TIME CODE端子カバー（XF305）
- VIDEO 2端子カバー
- 🎧（ヘッドホン）／ REMOTE（リモート）端子カバー
- HD/SD COMPONENT OUT端子カバー
- AV端子カバー
- USB ／ HDMI OUT端子カバー

取りはずす



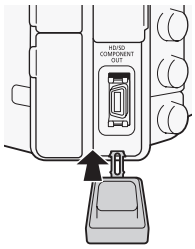


1 端子カバーを開けて、引き出す（①、②）

2 端子カバーの取り付け部を左右からつかみ（③）、引き出す（④）

- HD/SD SDI端子カバーとGENLOCK ／ TIME CODE端子カバー、VIDEO 2端子カバーの場合は、そのままっすぐに引き出してください。

取り付ける

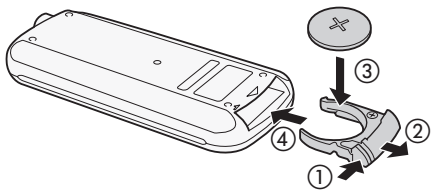


端子カバーの取り付け部を取り付け口に差し込む

MEMO 取り外し／取り付けの際、端子カバーの取り付け部がつかみにくいときは、ピンセットなど先の細いものを使用してください。

リモコンを使う

電池を入れる



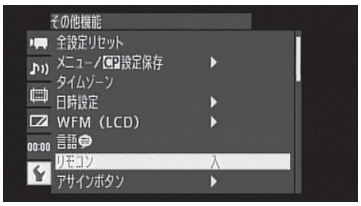
1 ツマミを押して（①）引き抜く（②）

2 ＋側を上にして付属の電池を入れる（③）

3 リモコンに取り付ける（④）

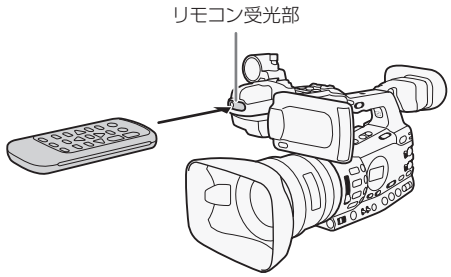
リモコンを有効にする

CAMERA MEDIA



① その他機能メニュー ➤「リモコン」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

リモコンを使って操作する



リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す。

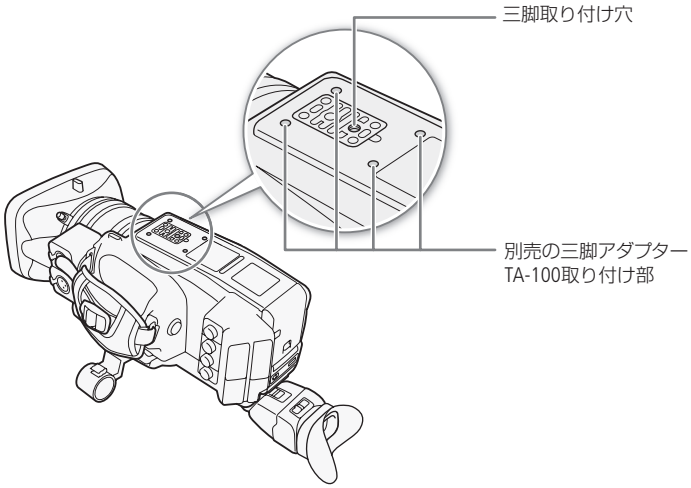
- リモコン操作中は、前後のタリーランプが点灯する。

MEMO

- リモコンのSTART/STOP（スタート／ストップ）ボタンまたはZOOM（ズーム）ボタンを操作するときは、誤操作防止ボタンと同時に押してください。
- リモコンのボタンを押しても動作しない、本体に近づかないと動作しないなどのときは、電池を交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。
- アサインボタンに「リモコン」を割り当てると、アサインボタンを押してリモコンの入／切を切り換えられます（📖 118）。

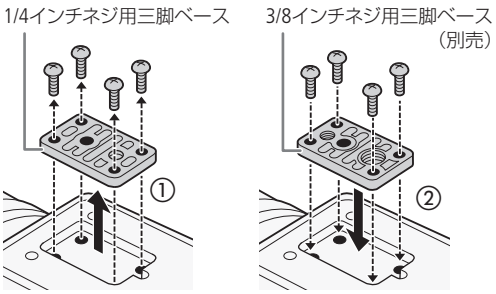
■ 本体を三脚に取り付ける

取り付けネジの長さが5.5mm未満の三脚を取り付けることができます。



取り付けネジ径が3/8インチの三脚を使う

取り付けネジの径が3/8インチの三脚を使用するときは、三脚ベース（三脚取り付け部）を3/8インチネジ用の三脚ベースTB-1（別売）に交換する必要があります。



1 1/4インチネジ用の三脚ベースを取り外す（①）
- ネジを4本取り外して、1/4インチネジ用の三脚ベースを取り外す。

2 3/8インチネジ用の三脚ベースTB-1（別売）を取り付ける（②）
- 4本のネジをしっかり閉める。

3 三脚を取り付ける
- 三脚のネジは確実に締める。
- 3/8インチと1/4インチの2つのネジが付いた三脚を使用するときは、両方のネジを確実に締める。

ご注意　ネジの長さが5.5mm以上の三脚を使用すると、本体を破損することがあります。

記録メディアを準備する

本機では、動画をコンパクトフラッシュカード（CFカード）に、静止画をSDメモリーカード（SD）／SDHCメモリーカード（SDHC）*に記録します。CFカード用のスロットは2つあります。記録メディアを使用するときは、はじめに本機で初期化してください（📖 44）。

* SDカードには、カスタムピクチャーや設定データも記録されます。また、ユーザーメモを設定するときは、ソフトウェアCanon XF Utility（📖 162）で作成したユーザーメモファイルを、SDカードを使って本機に取り込みます。

使用可能なCFカード

本機では、UDMA*に対応した512MB以上のコンパクトフラッシュカード（Type Ⅰ）を使用可能です。動作確認済みカードなどの詳細情報については、ホームページなどでご確認ください。

* Ultra Direct Memory Accessの略で、機器とCFカード間のデータ転送を行うときの最大転送速度（MB/s）を定めた規格です。UDMA対応のカードでも、転送速度によっては記録できないことがあります。

ご注意

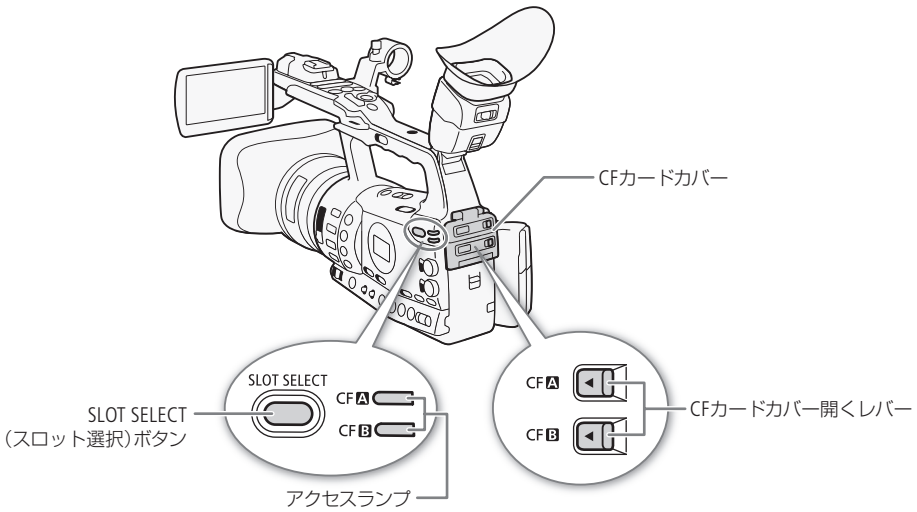
容量が128GBを超えるCFカードを使用するとき

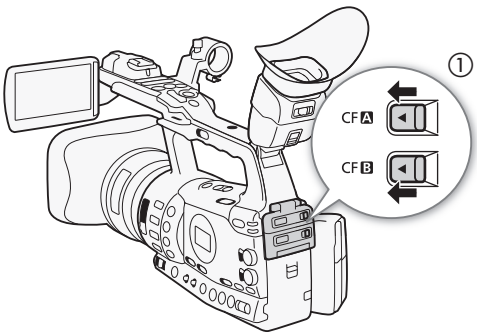
容量が128GBを超えるCFカードは、exFAT形式で初期化されます。

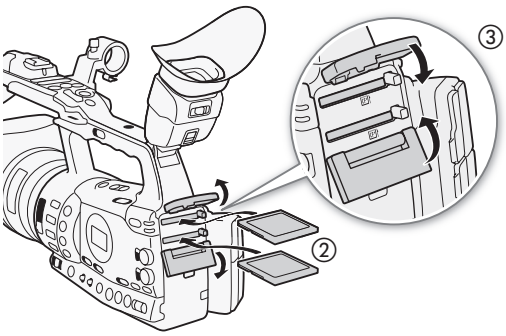
- exFAT形式に対応した機器でのみ使用できます。exFAT形式に対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどでご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。
- exFAT形式に対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。

MEMO　すべてのカードの動作を保証するものではありません。

CFカードを入れる







1 CFカードカバー開くレバーを◀方向にスライドさせる（①）
- CFカードカバーが上または下に開く。

2 カードのおもて面を上にして、奥までしっかり入れる。（②）

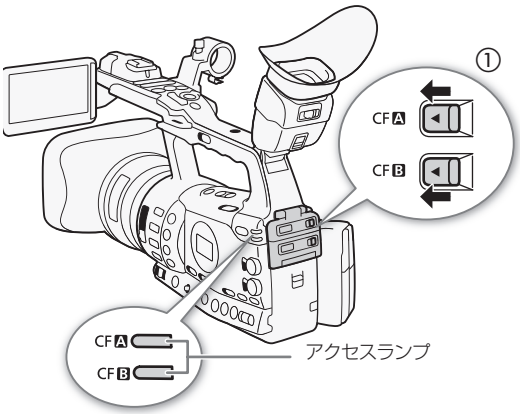
3 CFカードカバーを閉じる（③）
- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

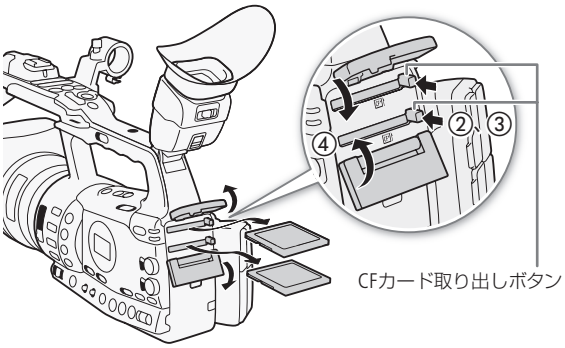
CFカードスロットの状態を確認するには

アクセスランプの色と光りかたでCFカードスロットの状態を確認できます。

アクセスランプ	スロットの状態
点灯（赤）	カードにアクセス中
点灯（緑）	記録／再生可能でかつ、スロットが記録／再生先として選択されている
消灯	• カードにアクセスしていない • カードが入っていない • 別のスロットが選択されている

■ CFカードを取り出す





1 アクセスランプが消えていることを確認する

2 CFカードカバー開くレバーを◀方向にスライドさせる（①）
- CFカードカバーが上または下に開く。

3 CFカード取り出しボタンを押す。（②）
- CFカード取り出しボタンがせり出す。

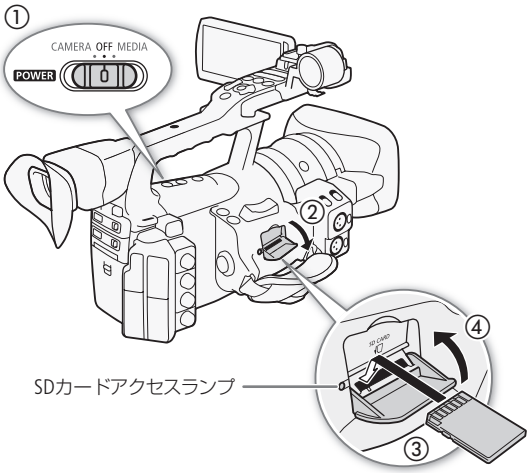
4 CFカード取り出しボタンを押し込む（③）
- CFカードが出てくる。

5 CFカードカバーを閉じる（④）

ご注意　アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- アクセスしているCFカードスロットのカードカバーを開けない。

MEMO　アクセスランプは点灯しないようにすることもできます（📖 188）。

SDカードを入れる／出す



1 電源をOFFにする（①）

2 SDカードカバーを開ける（②）

3 カードのラベル面を下にして、奥までしっかり入れる。（③）

SDカードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

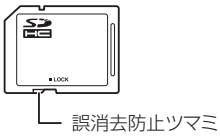
4 SDカードカバーを閉じる（④）

- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

ご注意

- SDカードアクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - SDカードを取り出さない。
- カードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。電源を切らずにカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作3のような正しい向きで入れてください。

MEMO 誤ってデータを消さないために

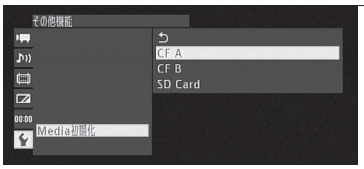


カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。

- SDカードアクセスランプは点灯しないようにすることもできます（188）。

初期化する CAMERA MEDIA

メモリーカードをはじめて使用するときや、メモリーカードに記録した動画／静止画などすべての情報を消去するときに初期化します。SDカードの初期化には「高速初期化」と「完全初期化」とがあり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。



1 初期化する記録メディアを選ぶ

① その他機能メニュー ➤「Media初期化」を順に選ぶ。
②「CF A」、「CF B」、「SD Card」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

2 「SD Card」を選んだとき 初期化の方法を選ぶ

①「完全初期化」または「高速初期化」を選ぶ ➤ SETを押す。
- CFカードを初期化するときは、この操作は不要。

3 初期化を実行する

①「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだカードが初期化され、すべての情報が消去される。

SDカードの「完全初期化」を中止するとき

SETを押す。SDカードはそのまま使用できるが、データはすべて消去される。

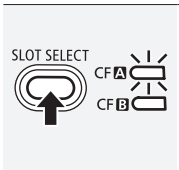
② SETを押す。

ご注意
- 初期化すると、OKマークを付けた動画やプロテクトした静止画、カスタムピクチャーなどを含め、CFカード／ SDカード内のすべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたいデータがあるときは、バックアップしてから初期化してください。
- SDカードの「完全初期化」は、カードによっては数分かかることがあります。

MEMO 動画記録中に、もう一方のCFカードを初期化することができます。

記録／再生に使用するCFカードスロットを切り換える CAMERA MEDIA

本機は、2つのCFカードスロットを備えています（CF A / CF B）。両方のスロットにCFカードを入れているときは、必要に応じてスロットを切り換えることができます。



1 スロットを切り換える

① SLOT SELECT（スロット選択）ボタンを押す。
- 選択されたスロットのアクセスランプが緑色に点灯する。

MEMO
- 両方のスロットにCFカードを入れていて、選択しているスロットのカードカバーを開けると、スロットが切り換わります。
- 記録中にSLOT SELECTボタンを押しても、スロットは切り換わりません。

CFカードスロット記録方式を選ぶ CAMERA MEDIA

2つのCFカードに連続して映像を記録するリレー記録と、2つのCFカードに同時に映像を記録するダブルスロット記録があります。

リレー記録：　撮影中にカードの空き容量がなくなると、自動的にもう一方のスロットに切り換わり、映像が途切れることなく連続して記録する機能。CF A⇔CF B両方向で連続記録が可能です。
その他機能メニュー ➤「リレー記録」で「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

ダブルスロット記録：同じ映像をA/B両方のCFカードに同時に記録します。撮影中に撮影映像のバックアップを取ることができます。
その他機能メニュー ➤「ダブルスロット記録」で「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO
- ビットレート（📖 56）を「50 Mbps」に設定しているとスローモーション撮影時にリレー記録されません。
- ダブルスロット記録中、記録容量の少ないCFカードの空き容量がなくなると、両カードへの記録を停止します。なお、一方のCFカードに書き込みエラーが発生しても、他方のCFカードへの記録は継続します。
- ダブルスロット記録はリレー記録、スロー &ファーストモーション記録との併用はできません。

記録可能時間を確認する CAMERA MEDIA

カメラモードのときは、各スロットに入っているCFカードの記録可能時間（分単位）*と、選択されているスロットを画面で確認できます（📖 52）。メディアモードのときは、液晶表示パネルで確認できます（📖 54）。また、メディアステータス画面（📖 197）を表示すると、各カードの総容量、使用量、記録可能時間（SDカードの場合は静止画枚数）を確認できます。

* 記録可能時間は、現在設定しているビットレート（📖 56）を元に算出します。

CFカードを修復する CAMERA MEDIA

記録中に停電する、記録中にカード取り出すなどの原因によって、CFカードに記録したデータに異常が発生することがあります。このときは、CFカードを修復することによってカード内のデータを正常な状態に戻すことができます。修復が必要なCFカードをスロットに入れると、修復するかどうかを確認するエラーメッセージが画面に表示されます。

1 「CF A（CF B）は修復が必要です 修復しますか？」が表示されたとき　修復を行う

① 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- CFカードの修復が行われる。
- 修復が終了すると、「修復が終了しました。クリップを確認してください」が表示される。

② SETを押す。

MEMO

記録中に修復が必要な状態になったカードを修復した場合

- 10秒未満のクリップは消去される。
- クリップの末尾のデータが、最大約10秒間消去される。

- 修復を行っても正常な状態に戻らないことがあります。特に、ファイルシステム（FAT32）が壊れているとき、またはカードが物理的に壊れているときは修復できません。
- 記録中、選択されていないスロットに、修復が必要なCFカードを入れたときも修復を行うことができます。

3 撮影

動画を撮影する..... 48

映像の信号形式を選ぶ..... 56

フォーカスを調整する..... 57

手ブレ補正を使う 64

ゲインを調整する 65

シャッタースピードを調整する ... 68

アイリスを調整する..... 71

NDフィルターを切り換える 74

ホワイトバランスを調整する..... 75

ズームを操作する 79

マーカー／
ゼブラパターンを表示する 84

タイムコードを設定する..... 87

ユーザービットを設定する 90

XF305 外部機器と同期をとる... 91

音声を記録する..... 94

メタデータを操作する 100

カラーバー／
テストトーンを記録する..... 101

波形モニターを表示する 103

ショットマークを付加する 105

レックレビューで確認する..... 106

特殊記録を行う..... 107

光軸調整を使う..... 113

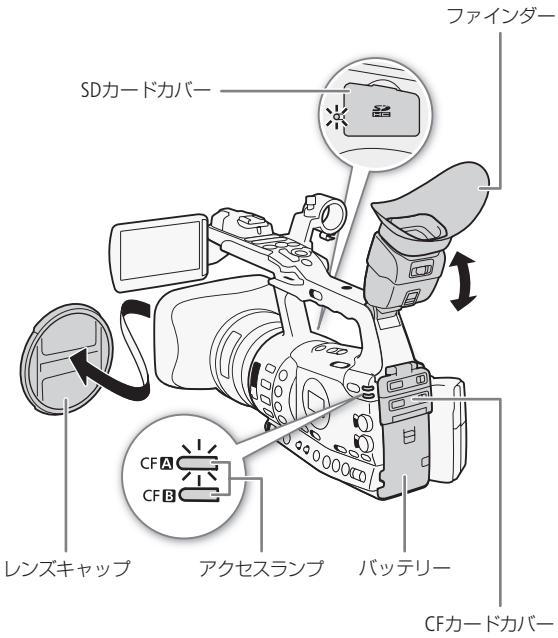
焦点距離ガイドを使う 114

別売アクセサリーを使う..... 115

動画を撮影する CAMERA MEDIA

ここでは、動画の基本的な撮影について説明します。音声の記録については、94ページをご覧ください。

準備する



1 充電したバッテリーパックを取り付ける（📖 23）

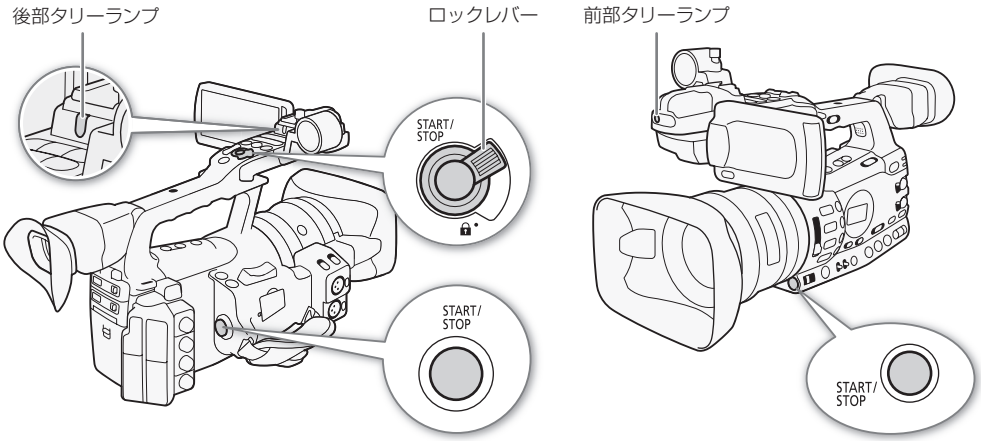
2 CFカードを入れる（📖 40）
- リレー記録（📖 45）、ダブルスロット記録（📖 45）を行うときは、カードを2枚入れる。

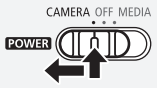
3 レンズキャップをはずす

4 ファインダーを調整する（📖 32）

MEMO
- 記録されるクリップに、撮影者名や撮影場所、撮影内容などの情報をユーザーメモとして付加することができます。ユーザーメモを付加するときは、撮影前に設定してください（📖 100）。
- ハンドル上部の1/4インチハンドルネジに、市販のアクセサリーを取り付けることができます。

撮影する





1 POWER(電源)スイッチを押しながら「CAMERA」側にする (📖 26)

- 本機がカメラモードで起動し、撮影一時停止状態 (STBY)になる。
- 記録先として選択されているCFカードスロットのアクセスランプが赤く点灯したあと、緑色に点灯する。

2 START/STOP(スタート／ストップ)ボタンを押す

- 撮影が始まる。前後のタリーランプが点灯し、画面に●RECが表示される。
- グリップのSTART/STOPボタン、ハンドルのSTART/STOPボタン、レンズ下方のSTART/STOPボタンのいずれを押しても撮影開始できる。
- リモコン (付属)で操作するときは、START/STOPボタンを誤操作防止ボタンと同時に押す。

3 撮影を停止するとき もう一度START/STOP(スタート／ストップ)ボタンを押す

- 撮影が終了してクリップ*がCFカードに記録され、撮影一時停止状態 (STBY)になる。タリーランプは消灯する。

* 本書では、1回の撮影操作で記録される動画を「クリップ」と呼びます。クリップには、映像・音声のほかに、カスタムピクチャーやメタデータが含まれることがあります。

ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - アクセスしているCFカードスロットのカードカバーを開けて、CFカードを取り出さない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどを取り外さない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

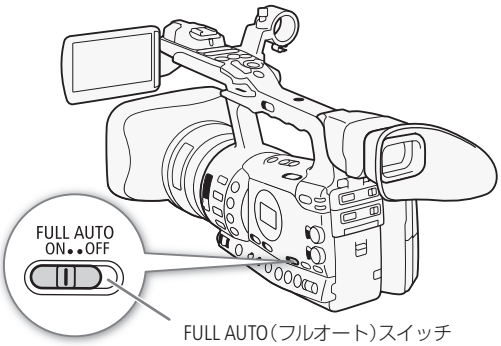
MEMO

- ハンドルのSTART/STOPボタンには、誤操作防止用のロックレバーがあります。使用しないときや撮影状態を保持したままにしたいときは、ロックレバーを🔒側にしてください。レバーを元の位置に戻すとロックは解除されます。
- レックレビュー機能（📖 106）を使うと、カメラモードのまま、最後に撮影したクリップの映像を再生して確認できます。
- アサインボタンに「OKMark追加」または「☑Mark追加」を割り当て、アサインボタンを押すと、最後に記録したクリップにOKマーク／チェックマークを付加できます（📖 118）。
- その他機能メニュー ➤「クリップ」の「最終クリップ消去」で、最後に記録したクリップを消去できます（📖 189）。アサインボタンに「最終クリップ消去」を割り当てて操作することもできます。なお、ダブルスロット記録を入に設定していると、「最終クリップ消去」は使用できません。
- **XF305** その他機能メニューの「SDI記録コマンド」を「入」にして、本機と他機をHD/SD SDI端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（START/STOPボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。

フルオートモードで撮影する

FULL AUTO（フルオート）スイッチをONにすると本機がフルオートモードになります。このときはアイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスがすべてオートに設定され、明るさとホワイトバランスが常に自動で調整されます*。ただし、フルオートモードにしてもAF（オートフォーカス）はONになりません。

* 測光方式（📖 73）は「Standard」に、AEレベル（📖 73）は「±0」に、AGCリミット（📖 65）は「切/21 dB」に、それぞれ設定されます。



クリップについて

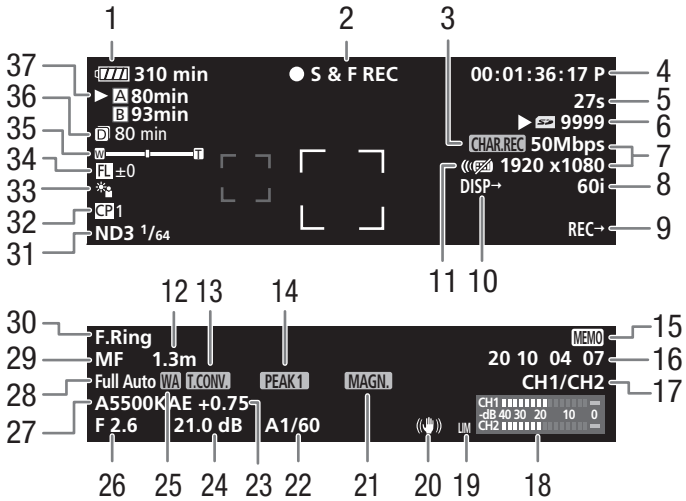
記録されるクリップには、「AA0001」のような6文字のクリップ名（2桁の大文字英字＋4桁の数字）が自動的に付けられます。4桁の数字は記録のたびにカウントアップされます。2桁の英字と数字の初期値は、その他機能メニューの「クリップ」であらかじめ任意の文字列に設定できます（📖 189）。記録後に変更することはできません。

MEMO

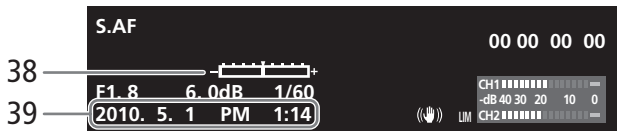
- 撮影中にリレー記録が発生すると、撮影された映像はそれぞれ別々のクリップとして記録されます。
- カスタムピクチャーやメタデータを設定して撮影すると、それらのデータが動画と一緒にクリップ内に記録されます。それぞれのデータの詳細については、「カスタムピクチャーを使用する」（📖 120）または「メタデータを操作する」（📖 100）をご覧ください。
- クリップ内の映像ファイル（ストリーム）は、約2GB毎に分割して記録されます（本機で再生したときは、連続して再生されます）。

撮影時の画面表示

ここでは、カメラモードのときの画面表示について説明します。ほとんどの項目は、カスタムディスプレイ（📖 184）で表示／非表示を選択できます。表示／非表示を選択できる項目には、C が付いています。



「日時表示」を表示したときの画面



1 C バッテリー残量の目安

→ → → → （赤色）

バッテリー残量アイコンと撮影／再生可能時間（分単位）を表示します。が表示されたらバッテリーが消耗しています。充電したバッテリーと交換してください。本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容とが一致しないことがあります。

2 C 撮影状態

- REC　撮影中
- STBY　撮影一時停止中
- INT REC　インターバル記録撮影中
- INT STBY（INTが点滅）　インターバル記録撮影一時停止中
- FRM REC　フレーム記録撮影中
- FRM STBY　フレーム記録撮影一時停止中（撮影開始後）
- FRM STBY（FRMが点滅）　フレーム記録撮影一時停止中（撮影開始前）
- S&F REC　スローアンドファーストモーション撮影中
- S&F STBY　スローアンドファーストモーション撮影一時停止中
- PRE REC　プレ記録撮影中
- PRE REC STBY　プレ記録撮影一時停止中

ダブルスロット記録時（45）は先頭にDが表示されます。（スローアンドファーストモーション撮影を除く）

3 C 表示文字記録 ▶▶ 132

4 C タイムコード ▶▶ 87

5 C インターバルカウンター ▶▶ 107

6 C SDカード状態 ▶▶ 168

7 C ビットレート／解像度 ▶▶ 56

8 C フレームレート ▶▶ 56

9 C XF305 SDI記録コマンド状態 ▶▶ 190

10 C 画面表示出力 ▶▶ 159

11 C リモコン ▶▶ 37

12 C 被写体距離 ▶▶ 58

13 C デジタルテレコン ▶▶ 79

14 C ピーキング ▶▶ 59

15 C ユーザーメモ ▶▶ 100

16 C ユーザービット ▶▶ 90

17 C 音声出力チャンネル ▶▶ 160

18 オーディオレベルメーター ▶▶ 98

19 オーディオリミッター ▶▶ 99

20 C 手ブレ補正 ▶▶ 64

C 光軸調整 ▶▶ 113

21 C 拡大表示 ▶▶ 60

22 C シャッタースピード ▶▶ 68

23 AEレベル ▶▶ 73

24 C ゲイン ▶▶ 65

25 C ワイドアタッチメント装着状態 ▶▶ 83

26 C アイリス／F値 ▶▶ 71

27 C ホワイトバランス ▶▶ 75

28 C フルオートモード ▶▶ 51

29 C フォーカスモード ▶▶ 57

30 C フォーカスリング警告 ▶▶ 203

31 C NDフィルター ▶▶ 74

32 C カスタムピクチャー ▶▶ 120

33 C 測光方式 ▶▶ 73

バックライト
Standard（スタンダード）
スポットライト

34 C 焦点距離ガイド ▶▶ 114

35 C ズーム位置 ▶▶ 80

36 C ダブルスロット記録残量表示 ▶▶ 45

37 C CFカード状態／撮影可能時間（分）

CFカード状態

A・・・カードに記録可能
・・・カードなし／記録不可能
選択中のメディアに▶が付く。

撮影可能時間（分）

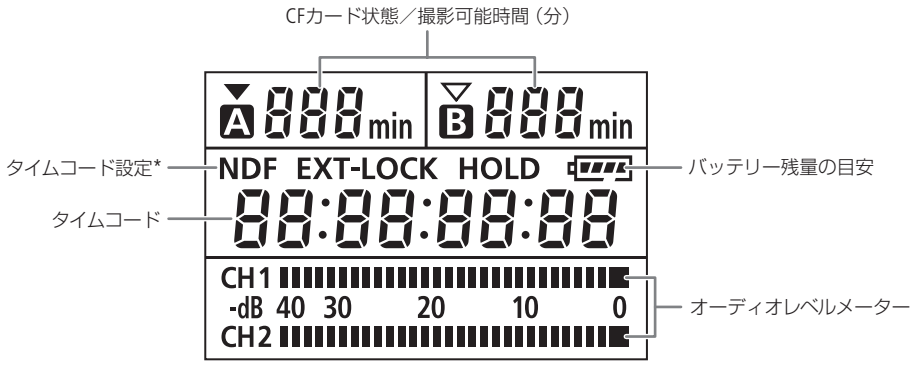
38 C 露出バー ▶▶ 67

39 C 日時表示 ▶▶ 27

MEMO DISPLAY（ディスプレイ）／ BATT.INFO（バッテリー情報）ボタンを押すと、画面表示を消すことができます。もう一度押すと再び表示されます。

液晶表示パネルの表示

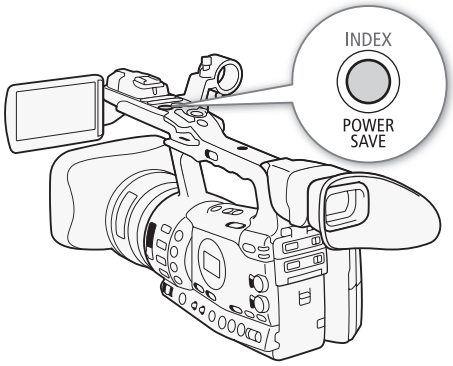
液晶画面を収納していても、次の項目は液晶表示パネルで確認できます。メディアモードの場合、「タイムコード」と「タイムコード設定」は表示されません。



* 「EXT-LOCK」は、XF305のみ。

パワーセーブモードで待機する

本機をパワーセーブモードにすると画面が消え、バッテリーの消耗を軽減することができます。撮影するときは、ボタンを押すだけですぐに撮影一時停止状態（STBY）に戻ります。



1 パワーセーブモードに入る

① POWER SAVE（パワーセーブ）ボタンを2秒以上押す。

- 画面が消え、本機がパワーセーブモードに入る。
- パワーセーブ中は、前後のタリーランプが約3秒に一度2回点滅する。各種の設定やタイムコードは保持される。

2 パワーセーブモードから復帰する

① POWER SAVE（パワーセーブ）ボタンを押す。

- 画面が表示され、本機が撮影一時停止状態（STBY）になる。

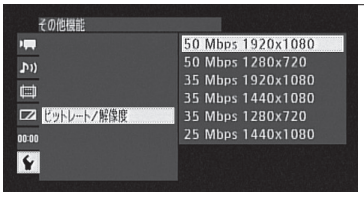
映像の信号形式を選ぶ CAMERA MEDIA

映像を記録するときの信号形式を切り換えることができます。信号形式は、ビットレート、解像度、フレームレートと撮影時のスキャン方式の組み合わせからなります。

記録信号形式一覧

ビットレート	解像度	フレームレート			
		60i	60P	30P	24P
50 Mbps（CBR 4:2:2）	1920×1080	○	—	○	○
	1280×720	—	○	○	○
35 Mbps（VBR 4:2:0）	1920×1080	○	—	○	○
	1440×1080	○	—	—	—
	1280×720	—	○	○	○
25 Mbps（CBR 4:2:0）	1440×1080	○	—	○	○

（ ）内は、ビットレートの方式とカラーサンプリング方式です。



1 ビットレートと解像度を選ぶ

① その他機能メニュー ➤「ビットレート/解像度」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだビットレートと解像度が画面に表示される。

2 フレームレートを選ぶ

- 操作1で「35 Mbps 1440x1080」を選んだ場合、この操作は不要。

① その他機能メニュー ➤「フレームレート」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだフレームレートが画面に表示される。

MEMO 各種出力端子からの信号については、「出力信号形式」（📖 156）をご覧ください。

フォーカスを調整する CAMERA MEDIA

フォーカス調整のしかたには、次の4種類があります。フルマニュアルフォーカスまたはマニュアルフォーカス使用時は、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示を使うとピントを合わせやすくなります。

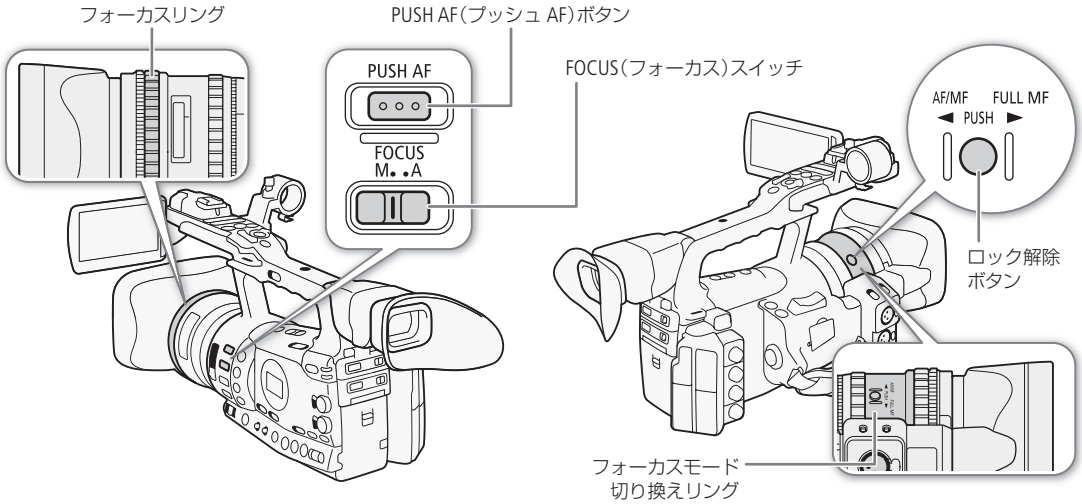
FULL MF（フルマニュアルフォーカス）：　フォーカスリングを回してフォーカスを調整する。フォーカスリングに回転端があり、距離指標が表示される。1m ～∞（テレ～ワイド全域）の範囲でフォーカス操作ができる。

MF（マニュアルフォーカス）：　フォーカスリングを回してフォーカスを調整する。回転端／距離指標表示はない。

AF（オートフォーカス）：　常にフォーカスを自動調整する。AFモードには、ハイスピードAFとノーマルAFがある。フォーカスリング操作（回転端なし）も有効。

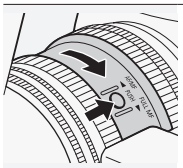
PUSH AF（プッシュ AF）：　MFまたはAF（ノーマルAF）時に、PUSH AFボタンを押している間だけAF（ハイスピードAF）でフォーカスを自動調整する。

MF、AF、PUSH AFの場合、フォーカスリミットが切のときは2cm（ワイド側）～∞の範囲でマクロ領域を含むフォーカス操作ができ、入のときは1m ～∞（テレ～ワイド全域）の範囲でフォーカス操作ができる（📖 63）。



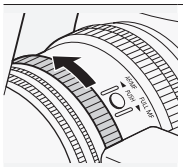
FULL MF（フルマニュアルフォーカス）で調整する

フォーカスリングによる手動のフォーカス調整のみ有効です。フォーカスリングに回転端があるため、画面を見なくても至近端と無限遠端を確認できます。また、被写体までの距離の目安としてフォーカスリングに距離指標が出ます。

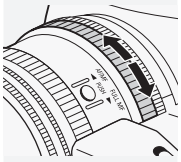


1 フォーカスモード切り換えリングのロック解除ボタンを押しながら、リングをFULL MF側に回す

- 画面にMFが表示される。



2 ズームを操作してテレ端にする



3 フォーカスリングを回してピントを合わせる

- テレ端でピントを合わせておくと、フォーカスを調整し直さなくてもズーム全域でピントが合います。

被写体との距離情報について

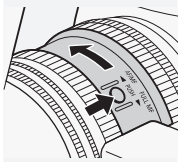
数値：有限距離
∞：　無限
∞－：超無限

AFモードから切り換えたときとフォーカスリングで操作したときに、被写体との距離情報*が画面に表示（約3秒間）されますので、目安として使用できます。距離の単位（Meters ／ Feet）は、その他機能メニュー ➤「Custom Function」の「被写体距離単位」で設定できます（📖 132）。なお、ワイドアタッチメントWA-H82（別売）を取り付けると、正しく表示されません。

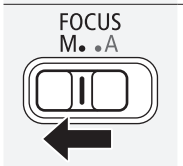
* 距離情報の精度が低いズーム域では、灰色で表示されます。

■ MF（マニュアルフォーカス）で調整する

フォーカスリングを回して、手動でフォーカス調整を行います。フォーカスリングの回転速度に応じてフォーカスが移動します。

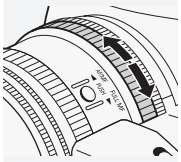


1 フォーカスモード切り換えリングのロック解除ボタンを押しながら、リングをAF/MF側に回す



2 FOCUSスイッチをMにする

- 画面にMFが表示される。



3 フォーカスリングを回してピントを合わせる

MEMO FULL MFモードで調整するとき

- フォーカスリングをすばやく操作すると、フォーカスレンズの移動が追いつかなくなることがあります。このとき、フォーカスリングの操作終了より遅れてフォーカスレンズの移動が完了します。
- MFモードからFULL MFモードに切り換えると、フォーカスリングの距離指標に対応するフォーカス位置に、フォーカスレンズが自動的に移動してピントの状態が変わります。
- REMOTE端子に接続したリモコンから操作することはできません。

● ズーム操作中に、リングによるフォーカス調整を行うことができます。AFモードのときは、フォーカス調整後にオートフォーカスに戻ります。
● MFモードのときは、フォーカスリングの敏感度を、その他機能メニュー ➤「Custom Function」の「F. Ring操作」で設定できます（📖132）。
● 電源を入れたままで放置するとピントがボケることがあります。これはレンズとカメラ内部の温度上昇によってピント面がわずかに移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。
● RC-V100リモートコントローラー（別売）を使うとき、初期状態ではFOCUS（フォーカス）ダイヤルを右に回すとFAR側、左に回すとNEAR側に調整できます。

フォーカスアシスト機能を使う

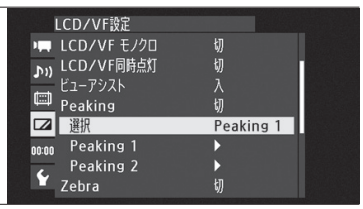
FULL MFモードまたはMFモードでフォーカスを調整する場合、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示を使うと、ピントが合わせやすくなります。両方を同時に使うこともできます。また、その他機能メニュー ➤「Custom Function」の「フォーカスアシストB&W」で、フォーカスアシスト機能を使用中のみ、画面を自動的にモノクロ表示にするように設定できます（📖 132）。

ピーキング

ピーキングには、ピーキング1とピーキング2があり、メニューで切り換えて使用します。

1 ピーキング1またはピーキング2を選ぶ

① LCD/VF設定メニュー ➤「選択」を順に選ぶ。
② 「Peaking 1」、「Peaking 2」のいずれかを選ぶ ➤ SET を押す。



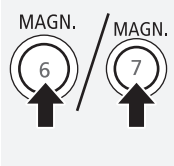
2 PEAKING（ピーキング）ボタンを押す

● 画面に PEAK1 または PEAK2 が表示され、輪郭が強調される。
● もう一度、Peakingボタンを押すと、ピーキング表示が解除される。
● LCD/VF設定メニューの「Peaking」でピーキング表示を入／切することもできる。

MEMO

- ピーキング表示は画面にのみ表示され、各出力端子から出力される映像には表示されません。また、記録される動画／静止画には影響しません。
- ピーキングのカラー、ゲイン、周波数は、LCD/VF設定メニューの「Peaking 1」または「Peaking 2」でそれぞれ設定できます。
- FULL MFモードまたはMFモードでフォーカスを調整する場合、エッジモニター（📖 104）を表示してピントを合わせやすくすることもできます。

拡大表示



1 グリップまたはハンドルのMAGN.（拡大）ボタンを押す

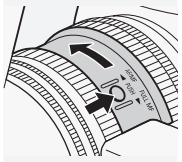
- 画面に MAGN. が表示され、画面の中心部が約2倍*に拡大される。
  * 倍率は液晶画面とファインダーで異なる。また、記録信号形式の解像度によっても異なる。
- もう一度MAGN.ボタンを押すと解除される。

MEMO

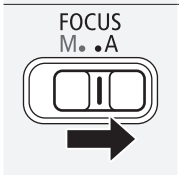
拡大表示は画面にのみ表示され、各出力端子から出力される映像には表示されません。また、記録される動画／静止画には影響しません。

AF（オートフォーカス）で調整する

TTL方式のオートフォーカスとなり、ファインダーの中央部にある被写体にピントが合うように、フォーカスを常に自動調整します。2cm（ワイド端のとき、レンズ先端から）～∞（無限遠）まで自動的にピント合わせが可能です。オートフォーカス中でもフォーカスリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになります。操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。



1 フォーカスモード切り換えリングのロック解除ボタンを押しながら、リングをAF/MF側に回す



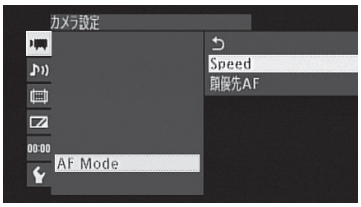
2 FOCUSスイッチをAにする

- 画面にS.AFが表示される。

AFのピントの合いかたを選ぶ

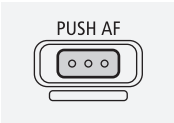
ハイスピードAF（ハイ）：もっとも高速でAF動作を行います。高輝度、夜景などでも効果的です。外部センサーを併用します。

ノーマルAF（ノーマル）：安定したAF動作を行います。



① カメラ設定メニュー ➤「AF Mode」➤「Speed」を順に選ぶ。
② 「ハイ」または「ノーマル」を選ぶ ➤ SETを押す。

PUSH AF（プッシュ AF）で調整する

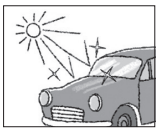


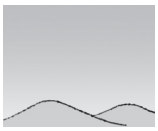
MFモードまたはAF（ノーマルAF）モード時、PUSH AFボタンを押している間だけ、ハイスピードAFによってフォーカスが自動調整されます。ズームリモートコントローラー ZR-2000（別売）のPUSH AFボタンで操作することもできます。

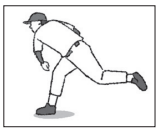
MEMO

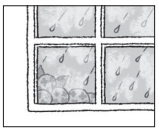
- 晴れた日の屋外など明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込まれ、小絞りによるボケが生じます。このボケは、テレ側よりワイド側の方が目立ちます（被写体が小さく撮影されるため）。このときは、NDフィルター警告指示に従って、NDフィルターを切り換えてください（📖 74）。
- 別売のワイドアタッチメントを装着すると、ハイスピードAF／PUSH AFは使用できません。
- フレームレートを30Pまたは24Pに設定していると、60iよりもフォーカスが合うまで若干時間がかかります。
- 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見えることがあります。

オートフォーカス／プッシュ AFでピントが合いにくい場合


強い光が反射


画面中央に
明暗差がない

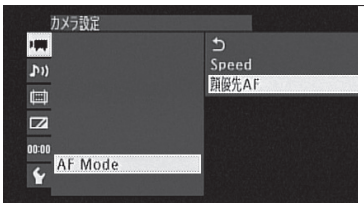

動きが速い


水滴が付いた
ガラス越しの撮影

夜景

顔を検出してフォーカスを合わせる（顔優先AF）

AFモード時、人物の顔を検出して自動的にピントを合わせ、被写体が動いても追尾します。複数の人物を検出したときは、主な被写体を自動的に決定し、その人物にピントを合わせます。アサインボタン（📖 118）に「顔選択」を割り当てると、主な被写体を選ぶことができます。



1 顔優先AFをONにする

① カメラ設定メニュー ➤「AF Mode」➤「顔優先AF」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

2 アサインボタンに「顔選択」を割り当てる（📖 118）

3 カメラを人物に向ける

- 主な被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。

複数の人物から特定の人を選ぶとき

操作2で「顔選択」を割り当てたアサインボタンを押して選ぶ。

MEMO

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。そのときは「顔優先AF」を「切」にしてください。

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。

顔優先AFが使用できない場合

- シャッタースピードを1/30秒未満にしているとき（フレームレートが24Pのときは、1/24秒未満）。
- スロー &ファーストモーション記録モードで、撮影フレームレートが24P未満のとき。
- その他機能メニュー ➤「Custom Function」の「スキャンリバース記録」で映像を反転して記録しているとき。

- 撮影中、人物の顔を検出すると、そのときの映像（フレーム）に自動的にマークが付加されます（イベントマーク）。イベントマークが付加されたフレームは、ソフトウェアCanon XF Utilityで確認することができます。
- アサインボタンに「顔優先AF」を割り当てると、アサインボタンを押して入／切を切り換えられます（📖 118）。

フォーカスリミットとマクロ撮影

フォーカスリミットをONにすると1m ～∞（テレ～ワイド全域）の範囲でフォーカス操作ができます。マクロ撮影を行うときは、フォーカスリミットを切にします。切にすると2cm（ワイド側）～∞の範囲でマクロ領域を含むフォーカス操作ができます。

① カメラ設定メニュー ➤「Focusリミット」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO
- FULL MFモードの場合、フォーカスリミットは入になります。
- アサインボタンに「Focusリミット」を割り当てると、アサインボタンを押して入／切を切り換えられます（📖 118）。

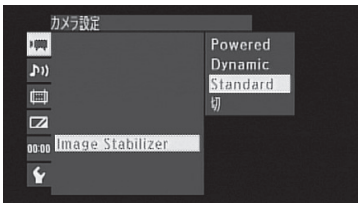
手ブレ補正を使う CAMERA MEDIA

手持ちで撮影するときに手ブレの少ない安定した映像を撮影できます。補正方式は次の3種類があり、撮影のしかたによって選べます。なお、三脚を使って撮影するときは手ブレ補正を「切」にします。

パワードIS（Powered）：　静止して望遠撮影するときの手ブレを補正。ズームを望遠側にするほど補正効果が大きい。パンやチルトなどカメラを動かす撮影には向かない。

ダイナミックIS（Dynamic）：歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど補正効果が大きい。

スタンダードIS（Standard）：静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。



① カメラ設定メニュー ➤「Image Stabilizer」を順に選ぶ。
② 「Powered」、「Dynamic」、「Standard」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面に、、のいずれかが表示される。
- 手ブレ補正を使用しないときは「切」を選ぶ。

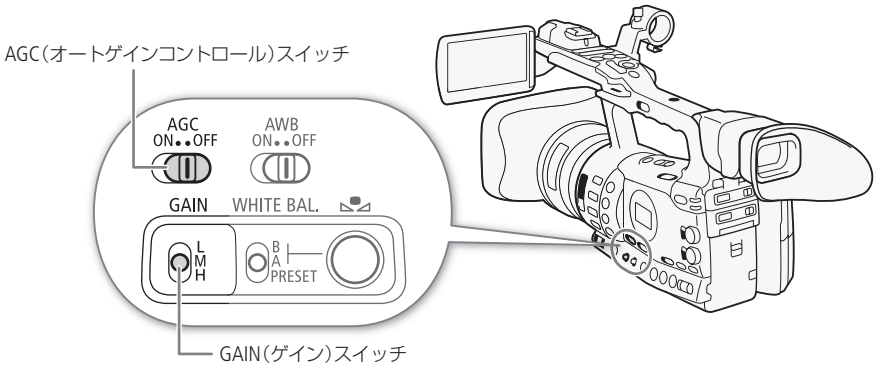
MEMO
- 初期設定では、IS(手ブレ補正）／アサイン 1 ボタンに「Standard IS（スタンダードIS)」が割り当てられていますので、スタンダードISを使うときは、このボタンを押して操作することもできます。
- アサインボタンに「Dynamic IS」または「Powered IS」を割り当てると、アサインボタンを押して入／切を切り換えられます（📖 118）。
- 手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- 「Dynamic（ダイナミックIS)」を選んだ場合、大きな手ブレを補正すると画像の周辺の画質が劣化（ゴースト、ひずみ、暗くなるなど）することがあります。

ゲインを調整する CAMERA MEDIA

被写体の明るさに応じて映像アンプのゲイン（増幅量）を設定できます。設定のしかたには次の2種類があります。

オート（AGC* ON）：　被写体の明るさに応じてゲインを自動調整する。* Auto Gain Control

マニュアル（AGC OFF）：ゲインを手動で設定する。GAINスイッチのL、M、Hそれぞれに独立して設定し、切り換えて使用できる。

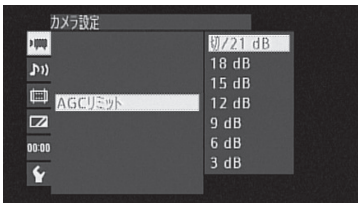


オートで調整する

AGC（オートゲインコントロール）スイッチをONにします（画面のゲイン値の左に「A」が表示されます）。本機をフルオートモード（📖 51）にすると、ゲインはオート（AGCがON）になります。

ゲインの最大値を設定する（AGCリミット）

ゲインをオートで調整するとき、AGCリミットを設定してゲインの最大値を制限することができます。本機をフルオートモード（📖 51）にすると、「切/21 dB」になります。



① カメラ設定メニュー ➤「AGCリミット」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- カスタムピクチャーのGammaが「Wide DR」の場合、3 dBは選択できない。

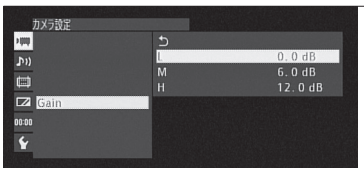
マニュアルで調整する

AGC（オートゲインコントロール）スイッチをOFFにして、ゲインを手動で設定します。あらかじめ、GAINスイッチのL、M、Hそれぞれに独立して設定しておき、撮影時に切り換えて使用できます。次の表に示す値を設定可能です。0 ～ 21 dBの範囲は、0.5 dB刻みで設定することもできます（ファインチューニング）。

−6 dB*、−3 dB*	室内、低照度の場所、コントラストの低いシーンで、ノイズの少ない撮影をしたいとき。
0 dB*	夜景撮影などで、ノイズが少なく色のりのよい撮影をしたいとき。
3 dB*、6 dB、12 dB、18 dB、21 dB、33 dB	絞りを開放にしても暗いとき、室内や低照度のシーンを明るく撮影したいとき。詳細設定を選ぶと、0.5dB刻みで調整できる。
詳細設定： 0 dB* ～ 5.5 dB*、6 dB ～ 21 dB（0.5 dB刻み）	

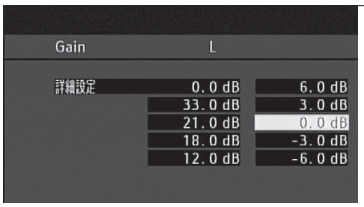
* カスタムピクチャーのGammaが「Wide DR」のときは、設定できない。

GAIN（ゲイン）スイッチのL、M、Hにゲインを設定する



1 GAIN（ゲイン）スイッチのポジション（L、M、H）を選ぶ

① カメラ設定メニュー ➤「Gain」を順に選ぶ。
② 「L」、「M」、「H」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。



2 ゲインを選ぶ

① いずれかの値を選ぶ ➤ SETを押す。

「詳細設定」を選んだとき

いずれかの値を選ぶ ➤ SETを押す。

設定したゲインを選ぶ

1 AGCスイッチをOFFにする

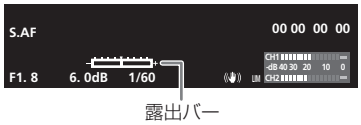
2 GAIN(ゲイン)スイッチをL、M、Hのいずれかにする

- GAIN(ゲイン)スイッチのポジションに割り当てたゲイン値が設定され、画面に表示される。

露出バーを目安に調整する

ゲインとアイリスがマニュアルで、シャッタースピードがオート以外のときは、画面に露出バー *が表示され、露出調整の目安に使用できます。

* −2段〜 +2段まで表示でき、この範囲を超えると指標が点滅します。



露出バー

MEMO

- ゲインを上げると画面が多少ざらつくことがあります。特に+33 dBは超高感度ですので、画面全体にノイズが現れます。また画面に色むら、白い点、縦線などが現れることがあります。
- GAIN(ゲイン) スイッチでゲインを切り換えたときの値が変化する速さを、その他機能メニュー ➤「Custom Function」の「ショックレスGain」で設定できます(📖 132)。
- GAINスイッチのポジション (L/M/H) の値を、リモートコントローラー RC-V100 (別売) のISO/GAIN (ISO感度/ゲイン)上／下ボタンを押して調整できます。

シャッタースピードを調整する

CAMERA MEDIA

シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体（スポーツや乗り物など）を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。シャッタースピードの調整には、次の6種類のモードがあります。

OFF：　各フレームレートの基準シャッタースピードを使用する。

オート：　映像の明るさに応じて、シャッタースピードを無段階で自動調整する。スロー＆ファーストモーション記録のときは選択できない。

スピード：　秒数でシャッタースピードを設定する。

アングル：　開角度でシャッタースピードを設定する。

クリアスキャン：　周波数でシャッタースピードを設定する。モニター画面に黒い帯が出ないようにするときなど。

スローシャッター：　フレームレートより低速のシャッタースピードを秒数で設定する。低照度の場所で撮影するときなど。スロー＆ファーストモーション記録のときは選択できない。

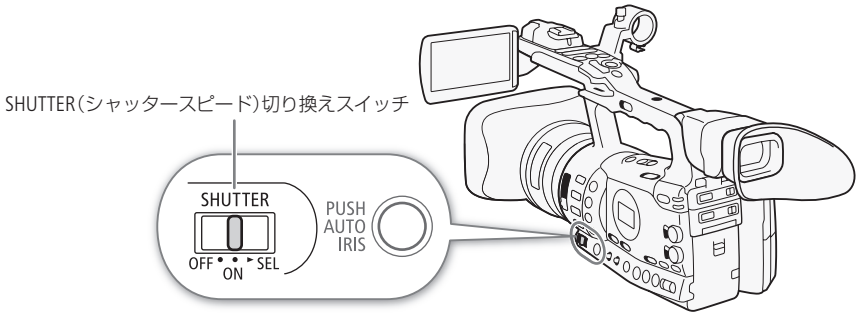
設定可能なシャッタースピード

選択できるシャッタースピードはフレームレートによって異なります。

		フレームレート		
		60i	30P	24P
シャッタースピードのモード	OFF*1	1/60秒	1/30秒	1/24秒
	オート*2	1/60 ～ 1/500秒	1/30 ～ 1/500秒	1/24 ～ 1/500秒
	スピード*3	1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000秒	1/30、1/34、1/40、1/48、1/50、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000秒	1/24、1/25、1/30、1/34、1/40、1/48、1/50、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000秒
	アングル*3	360°、240°、216°、180°、120°、90°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°	360°、240°、216°、180°、120°、108°、90°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°	360°、345.6°、288°、240°、180°、172.8°、144°、120°、90°、86.4°、72°、60°、45°、30°、22.5°、15°、11.25°
	クリアスキャン*3	59.94 Hz ～ 250.70 Hz	29.97Hz ～ 250.70 Hz	23.97 Hz ～ 250.70 Hz
	スローシャッター *2	1/4、1/8、1/15、1/30秒	1/4、1/8、1/15秒	1/3、1/6、1/12秒

*1 スロー＆ファーストモーション記録のときは、選択した撮影フレームレートのシャッタースピードになる。
*2 スロー＆ファーストモーション記録のときは使用できない。
*3 設定できる値はフレームレートによって異なる。

■ シャッタースピードのモードを切り換えて調整する



1 SHUTTER(シャッタースピード)切り換えスイッチをONにする

- 画面のシャッタースピードの背景がオレンジ色になる（オート以外のとき）。

基準シャッタースピードを使用するとき

SHUTTER切り換えスイッチを左に押してOFFにする。以下の操作は不要。

2 モードを選ぶ

① SHUTTER切り換えスイッチを右に押して、モードを切り換える。
- SHUTTER切り換えスイッチをONの位置から右に押すたびに、次の順にモードが切り換わる。
  オート → スピード → アングル → クリアスキャン → スローシャッター

② 希望のモードに切り換わるまで①の操作を繰り返す。各モードの表示例は次のとおり。

オート：	A 1/60
スピード：	1/60
アングル：	180°
クリアスキャン：	59.94Hz
スローシャッター：	1/30

3 オート以外の場合　値を調整する

① ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して数値を選ぶ。
- クリアスキャンのときは、画面上に黒い帯が出ないように周波数を選ぶ。

② SETを押す。
- シャッタースピードのモードと設定値が決定され、オレンジ色の表示が解除される。
- SHUTTER（シャッタースピード）切り換えスイッチはONになっているので、次にシャッタースピードのモードを切り換えるときは、操作1は不要。

スローシャッターによる撮影について

スローシャッターを使うと、明るさが不足している場所で被写体を明るく撮影できます。また、動いている被写体をパンするときに背景を流す、ズームに残像効果を加えるなどの特殊効果として使用することもできます。

- 通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- オートフォーカスではピントが合いにくいことがあります。

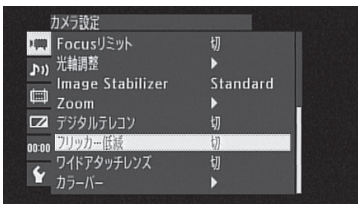
MEMO **小絞りによるボケを防ぐには**

- アイリスを「オート」にしていると、晴天下などの明るい場所で撮影するときに絞りが自動的に絞られ、小絞りによるボケが発生することがあります。この現象は、シャッタースピードを1/100秒以上の高速にすることによって防止できます。

- 本機をフルオートモード(📖 51)にすると、シャッタースピードはオートになります。
- ゲインとアイリスがマニュアルで、シャッタースピードがオート以外のときは、画面に露出バーが表示され、露出調整の目安に使用できます(📖 67)。
- 本機のSHUTTER切り換えスイッチの位置に関わらず、リモートコントローラー RC-V100(別売)のSHUTTER SELECTボタンでも、シャッタースピードのモードを切り換えられます。

フリッカーを抑える

蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正します。



① カメラ設定メニュー ➤「フリッカー低減」を順に選ぶ。
② 「Automatic」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO **人工光源の照明下でフリッカーが気になるとき**

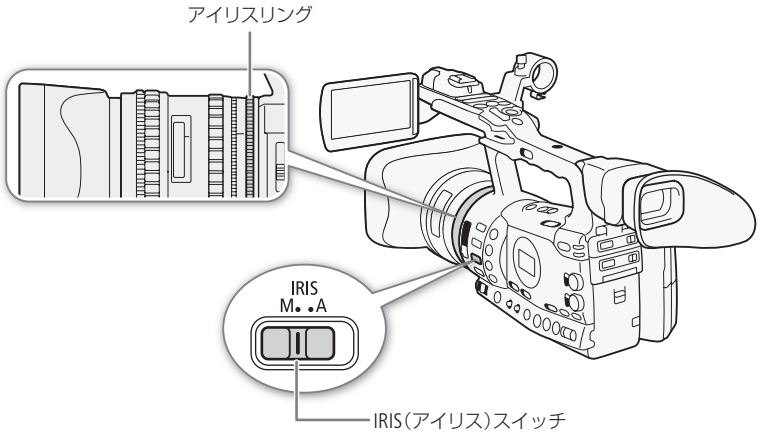
- 蛍光灯、水銀灯、ハロゲンライトなどの人工光源の照明下で撮影する場合、設定したシャッタースピードによっては、原理上フリッカーが出ることがあります。フリッカーは、電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制できることがあります。電源周波数が50Hzのときは1/50秒*または1/100秒を、60Hzのときは1/60秒または1/120秒を選んでください。

  * フレームレートによっては選択できます。

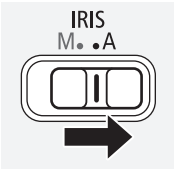
アイリスを調整する CAMERA MEDIA

被写体の明るさに応じてアイリス（絞り）を調整します。被写界深度を変えて背景や周囲をぼかし、被写体を引き立たせたいときは絞り値を小さくします。近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときは、絞り値を大きく（F8 ～ F9.5）設定します。設定のしかたには、次の2種類があります。

オート：　被写体の明るさに応じてアイリスを自動調整する。
マニュアル：アイリスリングを回して、アイリスを手動で調整する。

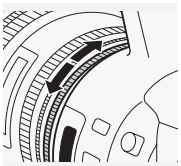


■ オートで調整する



IRIS（アイリス）スイッチをAにします（画面のF値の左に「A」が表示されます）。本機をフルオートモード（📖 51）にすると、アイリスはオートになります。

■ マニュアルで調整する



IRIS（アイリス）スイッチをMにしたあと、アイリスリングを回してアイリスを手動で調整します。画面に1/4段刻みでF値が表示されます。

F1.6、F1.8、F2.0、F2.2、F2.4、F2.6、F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0、F8.7、F9.5、F10、F11、F12、F14、F15、F16、F17、F19、F21、F22、CLOSE

F10 ～ F22とCLOSEは、その他機能メニュー ➤「Custom Function」の「Irisリミット」を「切」にしたときのみ設定可能です。

MEMO

- ゲインとアイリスがマニュアルで、シャッタースピードがオート以外のときは、画面に露出バーが表示され、露出調整の目安に使用できます（📖 67）。
- アイリスをオート（フルオートモードを除く）に切り換えるとき、手動で設定したF値は記憶されません。オートからマニュアルに切り換えたときは、オートのF値が引き継がれます。
- NDフィルターを使用しているときに、アイリスを絞り込むと画面が暗くなることがあります。このときは、NDフィルターをOFFにして、アイリスを再調整してください。
- アイリスリングの操作方向は、その他機能メニュー ➤「Custom Function」の「I. Ring方向」で設定できます（📖 132）。
- ズームリモートコントローラー ZR-2000（別売）からアイリスを調整するときは、その他機能メニュー ➤「Custom Function」の「ZR-2000 AE SHIFT」を「Iris」に設定してください（📖 132）。
- リモートコントローラー RC-V100（別売）でアイリスを調整するときは、IRIS（アイリス）ダイヤルを右に回すとF値が小さくなり、左に回すとF値が大きくなります。

アイリスに絞り制限をつける（アイリスリミット）

その他機能メニュー ➤「Custom Function」の「Irisリミット」（📖 132）で、絞り（設定可能F値）の最大値を制限することができます。

入：　小絞り回折F値*（F9.5）まで絞れる。

切：　CLOSEまで絞れる。F値が小絞り回折F値を超えると、画面のF値が灰色になる。

* 小絞り回折F値を超えると、小絞りによるボケ（📖 74）が発生します。

一時的にオートで調整する（プッシュオートアイリス）

アイリスがマニュアルのとき、PUSH AUTO IRIS（プッシュオートアイリス）ボタンを押している間、絞りを自動的に調整して適正なF値と露出にします。なお、シャッタースピードとゲインをオートに設定しているときは、自動設定されたF値に応じて、それぞれ自動的に調整されます。

1 PUSH AUTO IRISボタンを押し続ける

- 周囲の明るさが変わると、画面上のF値、シャッタースピード*、ゲイン*の表示が変化し、自動的に適正露出に調整される。

  * 動作したときのみ。

2 PUSH AUTO IRISボタンを離す

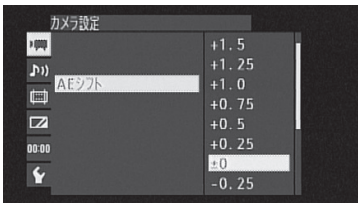
- そのときのF値が設定される。

MEMO　PUSH AUTO IRISボタンを押してすぐに離すと、画面が明るくなったあと暗くなることがあります。

AEレベルを調整する

AEの制御目標レベル（AEレベル）を設定すると、明るめや暗めに撮影できます。AEレベルは15段階で設定できます。

−2.0、−1.5、−1.25、−1.0、−0.75、−0.5、−0.25、±0、＋0.25、＋0.5、＋0.75、＋1.0、＋1.25、＋1.5、＋2.0



① カメラ設定メニュー ➤「AEシフト」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO
- 本機がフルオートモードのときは使用できません。
- ズームリモートコントローラー ZR-2000（別売）からAEレベルを調整するときは、その他機能メニュー ➤「Custom Function」の「ZR-2000 AE SHIFT」を「AEシフト」に設定してください（📖 132）。

測光方式を設定する

スポットライトが当たった被写体を撮影するときや逆光のシーンを撮影するときは、撮影シーンに合わせて測光方式を設定すると、より適正な明るさで撮影できます。測光方式には次の3種類があります。

バックライト（逆光）：	画面中の暗部をより明るく制御する。
Standard（スタンダード）：	画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。
スポットライト：	スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。

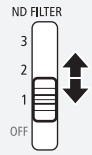
① カメラ設定メニュー ➤「測光方式」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 「バックライト（逆光）」を選んだときは画面に が、「スポットライト」を選んだときは画面に が表示される。

MEMO
- 本機をフルオートモード（📖 51）にすると、測光方式は「Standard」になります。
- アサインボタンに「バックライト」または「スポットライト」を割り当てると、アサインボタンを押して入／切を切り換えられます（📖 118）。

NDフィルターを切り換える CAMERA MEDIA

レンズの絞りを適切な範囲*に保つために、NDフィルターを使用できます。

* 屋外などの明るい場所で撮影するとき、光の量を調整するために絞りの径が極端に小さくなってボケが生じることがあります。この現象を「小絞り回折」または「小絞りによるボケ」と呼びます（ボケが発生する絞り径は、レンズのズーム位置によって異なります）。NDフィルターを使用するか、シャッタースピードを速くすると、小絞りによるボケを回避できます。

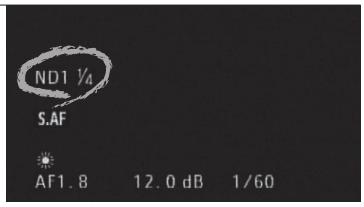


ND FILTER切り換えスイッチ

1 NDフィルターを切り換える

- 切り換えたNDフィルターが画面に表示される。

3	ND3 1/64
2	ND2 1/16
1	ND1 1/4
OFF	表示なし



MEMO

NDフィルターの警告表示について

アイリスがオートの場合、NDフィルターの設定が適切でないと、NDフィルター警告表示が出たり、NDフィルターランプが点滅します。このときは、以下のようにNDフィルターを設定してください。

■ 本機のとき

警告表示	必要な操作
ND CLR（点滅）	NDフィルターをOFFにする。
ND1 1/4（点滅）	NDフィルターを「1」（ND1 1/4）に切り換える。
ND2 1/16（点滅）	NDフィルターを「2」（ND2 1/16）に切り換える。
ND3 1/64（点滅）	NDフィルターを「3」（ND3 1/64）に切り換える。
赤色のND表示	ND FILTER切り換えスイッチが中途半端な位置にあるため、正しい位置にする。

■ リモートコントローラー RC-V100（別売）のとき

NDフィルターランプ	必要な操作
低速（1回／秒）で点滅	ランプが点滅している番号のNDフィルターに切り換える。
高速（2 ～ 3回／秒）で点滅	ビデオカメラのND FILTER切り換えスイッチが中途半端な位置にあるため、正しい位置にする。

- シーンによっては、NDフィルターを入／切すると、わずかに発色が変化することがあります。このときはホワイトバランスをセットして撮影すると効果的です（📖 78）。

ホワイトバランスを調整する CAMERA MEDIA

照明や太陽光などの光源の色温度に応じて、ホワイトバランスを設定することができます。設定のしかたには次の4種類があります。

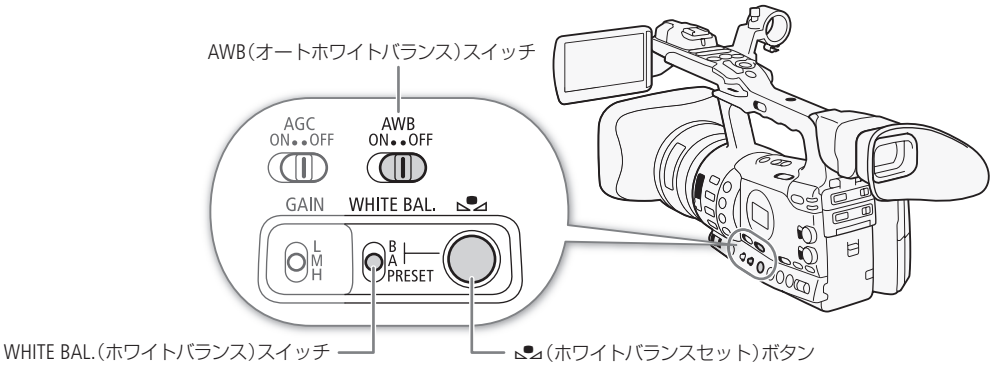
オートホワイトバランス： 常に適切なホワイトバランスになるように自動調整する。

プリセット設定： 「太陽光」または「電球」のいずれかを選ぶ。

色温度設定： 2000K ～ 15000Kの範囲で色温度を設定する。

ホワイトバランスセット： 実際に白い紙などを写して設定し、設定値を「セットA」または「セットB」として登録する。

蛍光灯下で撮影するときは、オートホワイトバランスを使うか、ホワイトバランスセットで調整してください。



MEMO カスタムピクチャーの「Color Matrix」または「White Balance」を設定しているときは、それらの設定がホワイトバランス設定より優先されます。

オートホワイトバランスで調整する

常に適切なホワイトバランスになるように自動で調整します。光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスも自動的に調整し直されます。オートで調整するには、AWB*（オートホワイトバランス）スイッチをONにします（画面の色温度表示の左に「A」が表示されます）。

* Auto White Balance

MEMO **オートホワイトバランスでうまくいかないとき**

次のような条件で撮影する場合、画面の色が不自然なときは（ホワイトバランスセット）で調整してください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯の元での撮影。

● 本機をフルオートモード（📖 51）にすると、強制的にオートホワイトバランスになります。

プリセット設定で調整する

屋外（太陽光）用、または屋内（電球）用にプリセットされたホワイトバランスのいずれかを選択します。選択後、それぞれの設定値を微調整することもできます。

1 AWBスイッチをOFFにする

2 WHITE BAL.スイッチをPRESETにする

3 PRESETを「太陽光」または「電球」に設定する

① カメラ設定メニュー ➤「White Balance」を順に選ぶ。
② 「太陽光」または「電球」を選ぶ ➤ SETを押す。
「太陽光」を使うケース：
夜景や花火、朝日や夕焼けなどの撮影。
「電球」を使うケース：
パーティ会場など照明条件が変化する場所での撮影、スタジオなどでビデオライトを使っての撮影、ナトリウムランプの照明を使っての撮影。

MEMO プリセットの設定値を＋9～－9の範囲で微調整することができます。を押すと表示の背景がオレンジ色になりますので、ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して調整します。調整が終わったら、を押して調整値を決定します（表示は元に戻ります）。

色温度設定で調整する

色温度を指定してホワイトバランスを調整します。色温度の設定範囲は2000K ～ 15000Kで、100K単位で設定できます。

1 AWBスイッチをOFFにする

2 WHITE BAL.スイッチをPRESETにする

3 PRESETを「Kelvin(色温度)」に設定する

① カメラ設定メニュー ➤「White Balance」を順に選ぶ。
② 「Kelvin」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ MENUボタンを押す。
- 現在設定されている色温度が表示される。

4 ボタンを押す

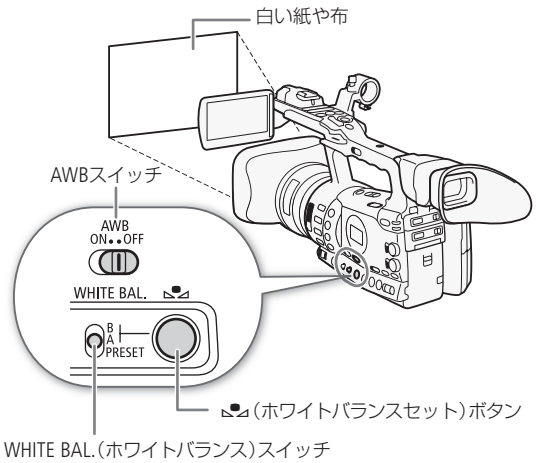
- 色温度の表示の背景がオレンジ色になる。

5 ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して色温度を選び、ボタンを押す

- 色温度が決定され、色温度表示が元に戻る。

ホワイトバランスセットで調整する

実際に撮影する環境下で白い紙などを写して基準白色を取り込みます。「セットA」と「セットB」の2種類の設定を登録できます。



1 AWBスイッチをOFFにする

2 WHITE BAL.スイッチを「A」または「B」にする

3 被写体と同じ照明条件の場所に白い紙や布などを置き、画面いっぱいに写す

4 (ホワイトバランスセット)ボタンを押す
- 「A」または「B」が速く点滅する。
- 調整中は、白い紙または布などを画面いっぱいに写し続ける。
- 点滅→点灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

登録したホワイトバランスセットで撮影する

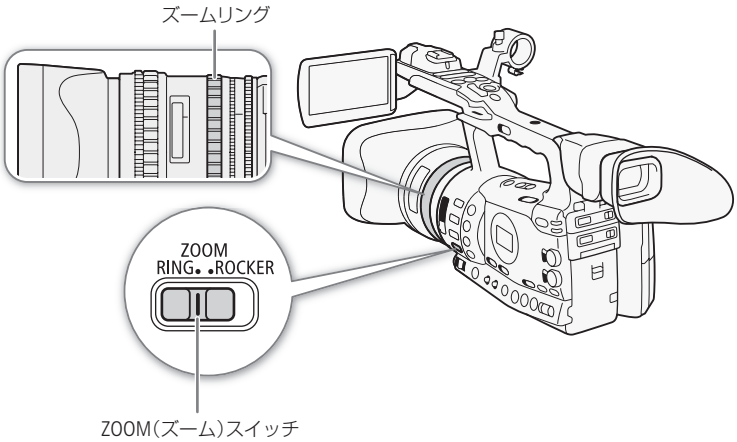
1 AWBスイッチをOFFにする

2 WHITE BAL.スイッチを「A」または「B」にする
- 登録したホワイトバランスに設定される。

MEMO ホワイトバランスセットで調整するとき
- カメラ設定メニューの「デジタルテレコン」を「切」にしてください(178)。
- 場所や明るさが変わったとき、NDフィルターを切り換えたときは、セットし直してください。
- 光源によっては、ごくまれにが速い点滅→点灯に変わらない(速い点滅から遅い点滅に変わる)ことがありますが、その場合でもオートホワイトバランスより適切に調整されていますので、そのまま撮影できます。

ズームを操作する CAMERA MEDIA

ズームリングまたはズームロッカー（グリップ部／ハンドル部／リモコン）を操作して、18倍までズームできます。



操作方法を選ぶ

操作方法はZOOM（ズーム）スイッチで選択します。

RING（リング）：　ズームリングによるズーム操作が有効になる。
ROCKER（ロッカー）：グリップズームロッカー、ハンドルズームロッカー、リモコン（付属）、REMOTE（リモート）端子に接続したリモコン（別売／市販）によるズーム操作が有効になる。

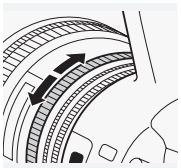
MEMO

初期のズーム位置について

カメラモードで起動したときや、メディアモードからカメラモードに切り換えたとき、ZOOMスイッチの位置によって初期のズーム位置が異なります。
ZOOMスイッチが「RING」の場合：　ズームリングの現在の回転位置に対応したズーム位置。
ZOOMスイッチが「ROCKER」の場合：最後にカメラモードを終了したときのズーム位置。

- カメラ設定メニューの「デジタルテレコン」で倍率（約1.5倍、3倍、6倍）を選ぶことができます*。アサインボタンに「デジタルテレコン」を割り当てると、アサインボタンを押して倍率を切り換えられます（📖 118）。
  * 映像をデジタル処理するため、ズームの全域で映像が粗くなります。

ズームリングで操作する



ZOOM（ズーム）スイッチをRINGに切り換えたあと、ズームリングを回してズームを調整します。ズームスピードは、ズームリングをゆっくり回すと低速になり、速く回すと高速になります。

MEMO

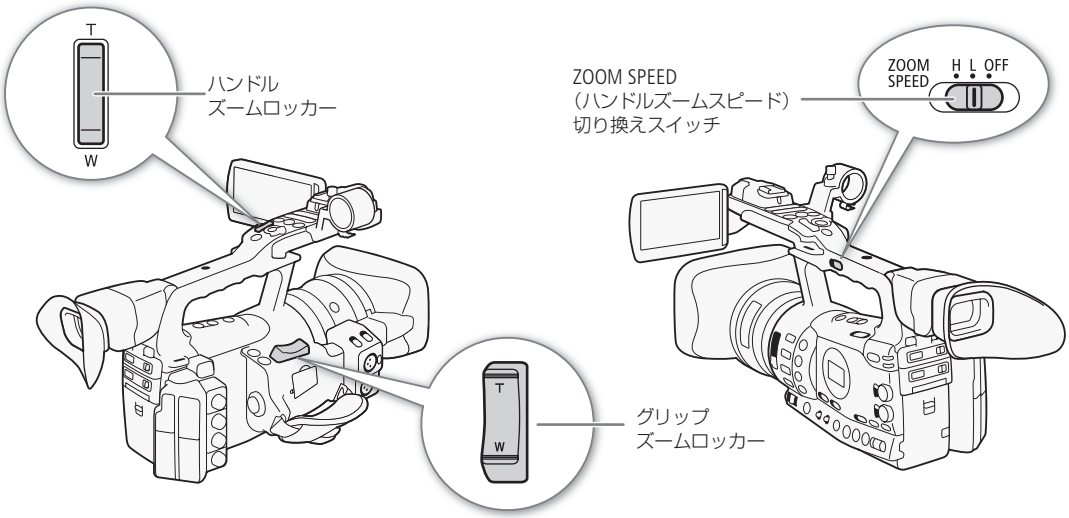
- ズームリングをすばやく操作すると、ズームレンズの移動が追いつかなくなることがあります。このとき、ズームリングの操作終了より遅れてズームレンズの移動が完了します。

ZOOMスイッチをROCKER(ロッカー)からRING(リング)に切り換えた場合

- ズームレンズが自動的にズームリングの現在の回転位置に移動し、画角が変わる。
- ZOOMスイッチ切り換え前はピントが合っていても、切り換え後はピントが合わないことがある。

ズームロッカーまたはリモコンで操作する

ZOOM(ズーム)スイッチをROCKERに切り換えたあと、グリップ/ハンドルのズームロッカーや付属のリモコン、REMOTE(リモート)端子に接続したリモコン(別売、市販)でズームを操作します。



ズーム操作を行うと、ズーム位置の目安となるズームバー *が画面に表示されます。

* その他機能メニュー ➤「Custom Function」の「Zoom表示」で数値表示に変更することもできます(📖 132)。

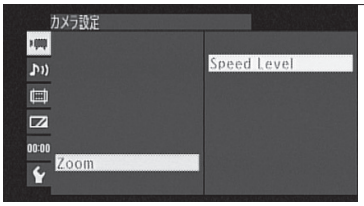
グリップズームロッカーで操作する

広角にするときはW(ワイド)側を押し、望遠にするときはT(テレ)側を押します。ズームロッカーの押しかた(操作量)に応じてズーム速度が変わる「可変速」と、一定の速度でズームする「固定」とを切り換えることができ、ズームスピードはメニュー(カメラ設定メニューの「Zoom」)の設定の組み合わせで決まります。

グリップズームロッカー操作のズームスピード

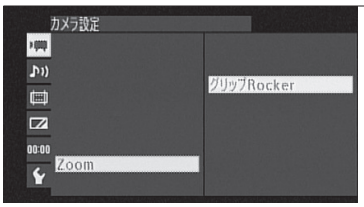
グリップRockerの設定	固定Speedの設定(16段階)	Speed Levelの設定とワイド端→テレ端の時間		
		ロー	ノーマル	ハイ
固定 (固定速)	速度1(最低速)	約5分	約3分	約1分
	速度16(最高速)	約4.5秒	約2.5秒	約1.8秒*
可変速	ズームロッカーの押しかたによって可変	約4.5秒〜約5分	約2.5秒〜約3分	約1.8秒* 〜約1分

* ズームスピードが2秒未満のときは、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがある。



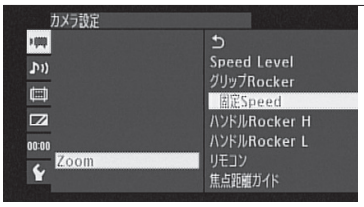
1 スピードレベルを設定する

① カメラ設定メニュー ➤「Zoom」➤「Speed Level」を順に選ぶ。
②「ハイ」、「ノーマル」、「ロー」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。



2 「固定」または「可変速」を選ぶ

① カメラ設定メニュー ➤「Zoom」➤「グリップRocker」を順に選ぶ。
②「固定」または「可変速」を選ぶ ➤ SETを押す。



3 「固定」の場合　ズーム速度を選ぶ

① カメラ設定メニュー ➤「Zoom」➤「固定Speed」を順に選ぶ。
②「1」から「16」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

ハンドルズームロッカーで操作する

広角にするときはW（ワイド）側を押し、望遠にするときはT（テレ）側を押します。ズームのしかたは固定速で、ズームスピードはZOOM SPEED（ハンドルズームスピード）切り換えスイッチとメニュー（カメラ設定メニューの「Zoom」）の設定の組み合わせで決まります。

ハンドルズームロッカー操作のズームスピード

	ハンドルRocker H/Lの設定（16段階）	Speed Levelの設定とワイド端→テレ端の時間		
		ロー	ノーマル	ハイ
固定（固定速）	速度1（最低速）	約5分	約3分	約1分
	速度16（最高速）	約4.5秒	約2.5秒	約1.8秒*

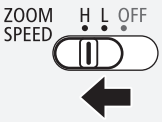
* ズームスピードが2秒未満のときは、ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがある。

1 スピードレベルを設定する

参考 ➤➤ 前ページの操作1

2 ZOOM SPEED切り換えスイッチの「H」または「L」のズーム速度を設定する

① カメラ設定メニュー ➤「Zoom」➤「ハンドルRocker H」または「ハンドルRocker L」を順に選ぶ。
② 「1」から「16」（16段階）のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。



3 ZOOM SPEED切り換えスイッチをHまたはLに切り換える

● ZOOM SPEED切り換えスイッチをOFFに切り換えると、ハンドルズームロッカーを無効にすることができる。

リモコンで操作する

付属のリモコンやREMOTE(リモート)端子(📖 18)に接続したリモコン(別売、市販)を使ってズームを調整します。ズームスピードは使用するリモコンによって異なります。付属のリモコンで操作するときは、ズームボタンを誤操作防止ボタンと同時に押してください。

使用するリモコン	ズームスピードの動作
付属のリモコン	固定速となる。速度はカメラ設定メニューの「リモコン」で設定可能。
可変速ズーム機能のないリモコン(市販のリモコンなど)	固定速となる。
可変速ズーム機能のあるリモコン(別売のZR-2000)	リモコンのズームスピード設定に従う。
別売のRC-V100	中央からの回転角度が大きいほど高速になる。

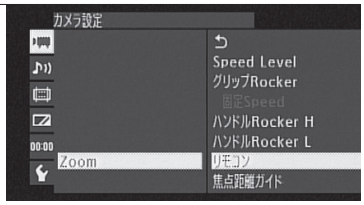
付属のリモコンでズームスピードを切り換えるときは、次の設定を行います。

1 スピードレベルを設定する

① カメラ設定メニュー ➤「Zoom」➤「Speed Level」を順に選ぶ。
② 「ハイ」、「ノーマル」、「ロー」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

2 ズーム速度を選ぶ

① カメラ設定メニュー ➤「Zoom」➤「リモコン」を順に選ぶ。
② 「1」から「16」(16段階)のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。



MEMO

- 本体にワイドアタッチメントWA-H82(別売)を取り付けると、約0.8倍までの広角撮影ができます。WA-H82を使用するときは、カメラ設定メニューの「ワイドアタッチレンズ」を「WA-H82」に設定してください。WA-H82に合わせて手ブレ補正のしかたを変えます。このとき、AFモードをハイスピードAFにしているときは、ノーマルAFになります。なお、テレ側のズーム領域は約4倍までになります。
- RC-V100リモートコントローラー(別売)を使うとき、初期状態ではZOOM(ズーム)ダイヤルを中央から右に回すとテレ側、中央から左に回すとワイド側にズームします。

マーカー／ゼブラパターンを表示する

CAMERA MEDIA

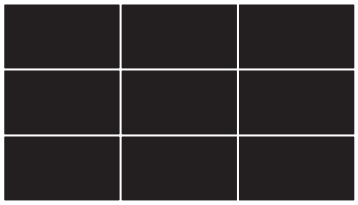
撮影時、画面に各種マーカーやゼブラパターンを表示することができます。これらの表示は記録される映像には影響しません。

マーカーを表示する

構図を決める際のガイドとして、次の5種類のマーカーを表示することができます。

センターマーカー

水平マーカー



グリッド

セーフティーゾーンマーカー *1

アスペクトマーカー *2

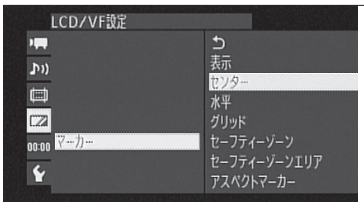
*1 セーフティーゾーンの領域（セーフティーゾーンエリア）を「95%」、「92.5%」、「90%」、「80%」の4つの中から選択できます。

*2 アスペクト比を「2.35:1」、「1.85:1」、「1.75:1」、「1.66:1」、「14:9」、「13:9」、「4:3」の7つの中から選択できます。

表示したいマーカーを選ぶ

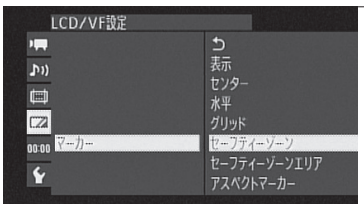
異なるマーカーを同時に表示することができます。ここでまず、表示したいマーカーを選択し、表示条件があればそれも設定しておきます。

例：センターマーカーとセーフティーゾーンマーカーを選択する場合



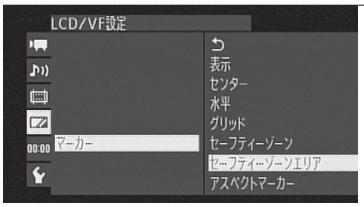
1 表示するマーカー（センターマーカー）を選ぶ

① LCD/VF設定メニュー ➤「マーカー」➤「センター」を順に選ぶ。
② 「ホワイト」または「グレー」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 指定した色のセンターマーカー表示が選択される。
- センターマーカー表示を解除するときは、ここで「切」を選ぶ。



2 表示するマーカー（セーフティーゾーンマーカー）を選ぶ

① LCD/VF設定メニュー ➤「マーカー」➤「セーフティーゾーン」を順に選ぶ。
② 「ホワイト」または「グレー」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 指定した色のセーフティーゾーンマーカー表示が選択される。
- セーフティーゾーンマーカーを表示しないときは、ここで「切」を選ぶ。

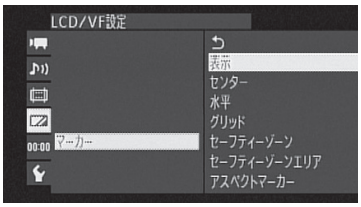


3 マーカー（セーフティーゾーンマーカー）の表示条件（セーフティーゾーンエリア）を設定する

① LCD/VF設定メニュー ➤「マーカー」➤「セーフティーゾーンエリア」を順に選ぶ。
② セーフティーゾーンの領域を「95%」、「92.5%」、「90%」、「80%」の中から選ぶ ➤ SETを押す。

選んだマーカーを表示する

マーカー表示を有効にします。ここで有効にしないと、マーカーを選んだだけでは表示されません。



① LCD/VF設定メニュー ➤「マーカー」➤「表示」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだマーカーが表示される。
- マーカー表示をしないときは、ここで「切」を選ぶ。

MEMO　アサインボタンに「マーカー」を割り当てると、アサインボタンを押してマーカー表示の入／切を切り換えられます（📖 118）。

ゼブラパターンを表示する

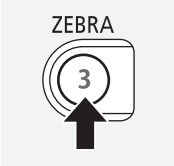
露出オーバーで白とびする恐れがある領域に、縞状のパターンを表示することができます。ゼブラパターンには「ゼブラ1」と「ゼブラ2」の2種類があり、2つを同時に表示することもできます。

ゼブラ1
　設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターン1を表示する。輝度レベルは6段階（70±5%、75±5%、80±5%、85±5%、90±5%、95±5%）あり、いずれか1つを選択する。

ゼブラ2
　設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターン2を表示する。輝度レベルは7段階（70%、75%、80%、85%、90%、95%、100%）あり、いずれかを1つを選択する。

ゼブラ1+ゼブラ2
　ゼブラ1とゼブラ2を同時に表示する。両者の表示条件が重なる領域では、ゼブラ1を優先して表示する。

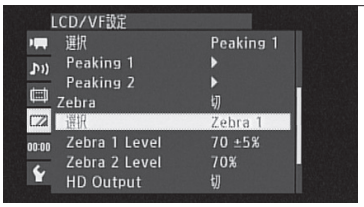
ゼブラパターン表示を入／切する



ZEBRA（ゼブラ）ボタンを押す。LCD/VF設定メニューの「Zebra」で設定して、ゼブラパターン表示を入／切することもできます。

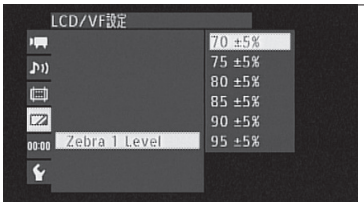
ゼブラパターンを選ぶ

表示するゼブラパターンを選び、輝度レベルを設定します。



1 ゼブラパターンを選ぶ

① LCD/VF設定メニュー ➤「選択」を順に選ぶ。
② 「Zebra 1」、「Zebra 2」、「Zebra 1&2」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。



2 ゼブラパターンの輝度レベルを設定する

① LCD/VF設定メニュー ➤「Zebra 1 Level」または「Zebra 2 Level」を順に選ぶ。
② 輝度レベルを選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- ゼブラパターンは、HD/SD SDI端子（XF305）、HDMI OUT端子、HD/SD COMPONENT OUT端子に出力することもできます（HD出力時のみ）。端子からの出力は、LCD/VF設定メニューの「HD Output」メニューで入／切できます（📖 183）。
- HD/SD SDI端子（XF305）またはHD/SD COMPONENT OUT端子からの出力をSDに設定している場合、これらの端子にゼブラパターンを出力するように設定すると、一時的にHD出力になります。

タイムコードを設定する CAMERA MEDIA

撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともに記録メディアに記録されるほか、HD/SD SDI端子（XF305）またはTIME CODE端子（XF305、📖 91）に出力できます。また、HDMI OUT端子、HD/SD COMPONENT OUT端子、AV端子、VIDEO 2端子に出力される映像にも表示されます。再生時は、記録メディアから読み出したタイムコードを撮影時と同じ各出力端子に出力できます。
タイムコードのカウントアップ方式には次の3種類があります。外部のタイムコードジェネレーターに同期することもできます（XF305、📖 91）。また、フレームレートが「24P」以外のときは、ドロップフレームとノンドロップフレームを選択できます。

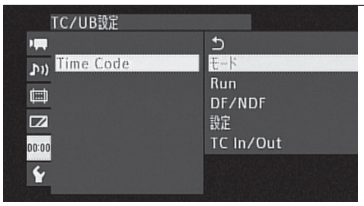
Rec Run（レックラン）：　タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値は任意に設定可能。同一のメディアに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。

Free Run（フリーラン）：　タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。

Regen.（リジェネ）：　タイムコードは記録時に歩進する。記録メディアに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。

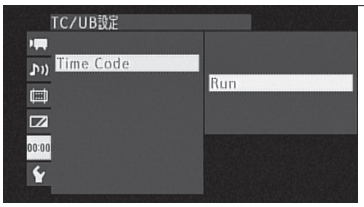
カウントアップ方式を選ぶ

カウントアップ方式は、「モード」（歩進モード）で「Regen.」または「Preset」を選びます。「Preset」を選んだときは、「Run」（歩進方法）で「Rec Run」または「Free Run」を選び、任意の初期値を設定します。



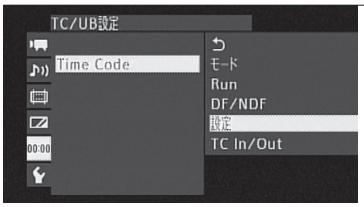
1 歩進モードを選ぶ

① TC/UB 設定メニュー ➤「Time Code」➤「モード」を順に選ぶ。
② 「Preset」または「Regen.」を選ぶ ➤ SETを押す。
Preset：　「設定」で設定した任意のタイムコードから歩進する。
Regen.：　記録メディアに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。
● 「Regen.」を選んだときは、以降の操作は不要。



2 「Preset」を選んだ場合　歩進方法を選ぶ

① TC/UB設定メニュー ➤「Time Code」➤「Run」を順に選ぶ。
② 「Rec Run」または「Free Run」を選ぶ ➤ SETを押す。



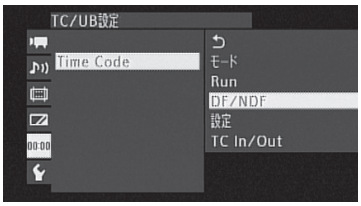
3 「プリセット」を選んだ場合　任意の初期値を設定する

① TC/UB設定メニュー ➤「Time Code」➤「設定」を順に選ぶ。
② 「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。
- タイムコードの設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。
- 「リセット」を選びSETを押すと、タイムコードが「00:00:00:00」にリセットされる。「Free Run」を選んでいるときは、この時点からタイムコードが歩進する。
- 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。

③ ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して数値を選ぶ ➤ SETを押す。
④ ③の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ ➤「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。

ドロップフレーム／ノンドロップフレームを切り換える

ドロップフレーム（DF）またはノンドロップフレーム（NDF）を切り換えることができます。フレームレートが「24P」のときはNDFに固定されます。



① TC/UB設定メニュー ➤「Time Code」➤「DF/NDF」を順に選ぶ。
② 「DF」または「NDF」を選ぶ ➤ SETを押す。
- DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。
  DFのとき　00：00：00．00
  NDFのとき　00：00：00：00

タイムコードを保持する（タイムコードホールド）

アサインボタン（📖 118）に「Time Codeホールド」を割り当て、割り当てたアサインボタンを押すと画面に表示されるタイムコードを保持できます*。タイムコード保持中は、画面に「**H**」が表示されるほか、液晶表示パネルに「HOLD」が表示されます。なお、保持中でもタイムコードは歩進し、保持を解除すると歩進していたタイムコードが表示されます。

* TIME CODE端子（XF305）、HD/SD SDI端子（XF305）に出力されるタイムコードはホールドされません。その他の端子の出力映像に重畳されるタイムコードはホールドされます。

タイムコードの表示について

R： Regen.（リジェネ）設定時
P： Rec Run（レックラン）設定時
F： Free Run（フリーラン）設定時
E： タイムコード外部入力時
H： タイムコードホールド時
表示なし： 再生時

MEMO

- タイムコードのフレームカウントは、フレームレートが24Pのときは0～23、それ以外は0～29となります。
- XF305 フレームレートが24Pの場合、HD/SD SDI端子またはTIME CODE端子に出力されるタイムコードは0～29に振り直されます。
- インターバル記録、フレーム記録、スロー &ファーストモーション記録のときは、「Free Run」は使用できません。また、プレ記録のときは「Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- 内蔵2次電池が充電されていれば、バッテリーパックなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。ただし、電源ON時に比べて精度が低下します。
- アサインボタンに「Time Code」を割り当てると、アサインボタンを押してTC/UB設定メニュー ➤ 「Time Code」メニューを表示することができます（📖 118）。

ユーザービットを設定する CAMERA MEDIA

8桁の16進数（0 ～ 9、A ～ Fの英数字）をユーザービットとして設定し、映像と一緒に記録メディアに記録できます。ユーザービットには、撮影情報や記録した映像の管理情報など、映像に付加したい情報を自由に設定することができます。また、外部機器からタイムコードと同時にユーザービットを入力しているときは、外部入力したユーザービットを記録することもできます（XF305）。

① TC/UB設定メニュー ➤「User Bit」➤「タイプ」➤「設定」を順に選ぶ。
② 「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。
- ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
- 「リセット」を選びSETを押すと、ユーザービットが「00 00 00 00」にリセットされる。
- 設定を途中で中止するときはCANCELを押す。

③ ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して英数字を選ぶ ➤ SETを押す。
④ ③の操作を繰り返して、残りの桁の英数字を選ぶ ➤「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。

外部機器と同期をとる XF305

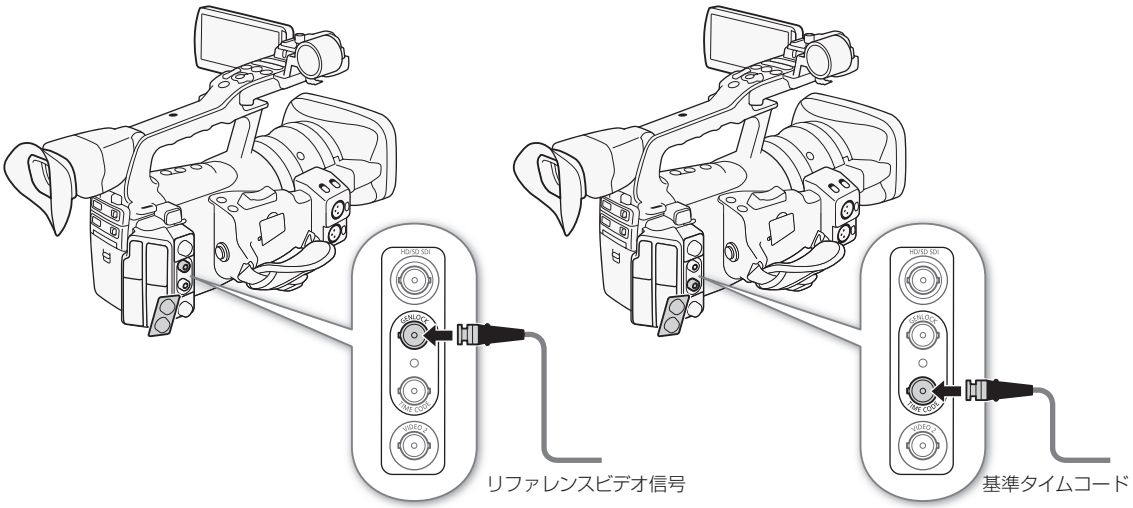
ゲンロック（GENLOCK）によって、外部の映像機器と本機の映像信号を同期させることができます。また、本機のタイムコードを外部入力のタイムコードに同期させることもできます。同じジェネレーターのタイムコードを複数のカメラに入力すれば、マルチカメラ撮影を行うことができます。本機のタイムコードを他のカメラに出力してマルチカメラ撮影を行うこともできます。さらに、撮影／再生時にHD/SD SDI端子の出力を編集機などに入力して、編集機で同一タイムコードの映像を記録することもできます。

接続のしかた

GENLOCK端子またはTIME CODE端子には次のように接続します。外部の信号にロックさせるときは、GENLOCK端子にリファレンスビデオ信号*を入力するか、TIME CODE端子にタイムコード信号を入力します。TIME CODE端子の入力／出力はメニュー（後述）で切り換えます。

* リファレンスビデオ信号としてHD三値信号の他にアナログ・ブラックバースト信号も入力可能です。

GENLOCK端子に接続する　　TIME CODE端子に接続する



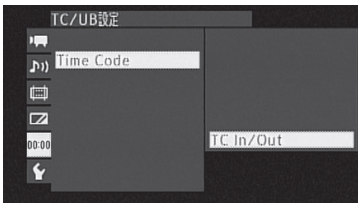
外部のリファレンスビデオ信号に同期する（GENLOCK）　CAMERA　MEDIA

同期信号（アナログ・ブラックバースト信号または三値信号）をGENLOCK端子に入力すると、自動的に内部のV同期／H同期の位相を合わせます。なお、位相差0を中心として、約±0.4H（HD換算）の範囲でH位相を調整することもできます。

① その他機能メニュー ➤「Genlock調整」を順に選ぶ。
② －1023から1023の範囲で調整値を選ぶ ➤「セット」を選ぶ ➤ SETを押す。

外部のタイムコード信号に同期する（タイムコード入力） CAMERA MEDIA

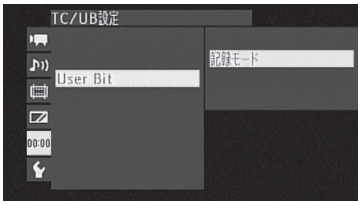
TIME CODE端子に入力されるLTC規格の信号を、タイムコードとして記録メディアに記録します。同時に入力されるユーザービットも記録できます。なお、TIME CODE端子は、メニューで入力モードに切り換えます。本機のタイムコードのカウントアップ方式（📖 87）が「Free Run」のときのみ、タイムコードを入力できます。



① TC/UB設定 ➤「Time Code」➤「TC In/Out」を順に選ぶ。
② 「In」を選ぶ ➤ SETを押す。

外部入力したユーザービットを記録する

タイムコードと一緒に入力されるユーザービットを記録することができます。



① TC/UB設定メニュー ➤「User Bit」➤「記録モード」を順に選ぶ。
② 「External」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO

- GENLOCK信号が入力されると約10秒後に同期が安定します。
- SDのGENLOCK信号が入力されてもGENLOCKできます。
- タイムコードは30フレーム信号に同期し、GENLOCK端子は59.94i信号に同期します。
- 本機の映像信号形式が1080iで、入力信号が720PのときはGENLOCKできません。
- GENLOCK入力がない、または不正な入力状態になっているときは、入力されるタイムコードの記録が乱れることがあります。
- DF/NDFは、外部入力されるタイムコードのdropped frame bitになります（入力されるタイムコードがノンドロップフレームのときは、液晶表示パネルにNDFが表示されます）。
- タイムコードが入力されると本機のタイムコードが同期します。TIME CODE端子からケーブルを外しても、外部ロック状態は保持されます。

タイムコードの同期が乱れる場合

ケーブルを外した状態で次の操作を行うと、タイムコードの同期が乱れます。ケーブルを再度接続すると、正しいタイムコードに復帰します。

- 電源の入／切、メディアモードへの切り換え
- 記録信号形式の変更
- フレームレートの変更

- タイムコードが入力されない、または不正な値が入力されているときは、TC/UB設定メニュー ➤「Time Code」の「モード」と「Run」で設定した内部タイムコードが記録されます。
- 入力されたタイムコードに本機がロックすると、液晶表示パネルに「EXT-LOCK」が表示されます。

タイムコードを出力する CAMERA MEDIA

本機のタイムコードを、LTC規格の信号でTIME CODE端子から出力します。その際、ユーザービットも同時に出力されます。なお、TIME CODE端子は、メニューで出力モードに切り換えます。また、ビデオ設定メニューの「SDI Output」でSDI出力を「HD」または「SD」にすると、HD/SD SDI端子にエンベデッドタイムコードが出力されます。

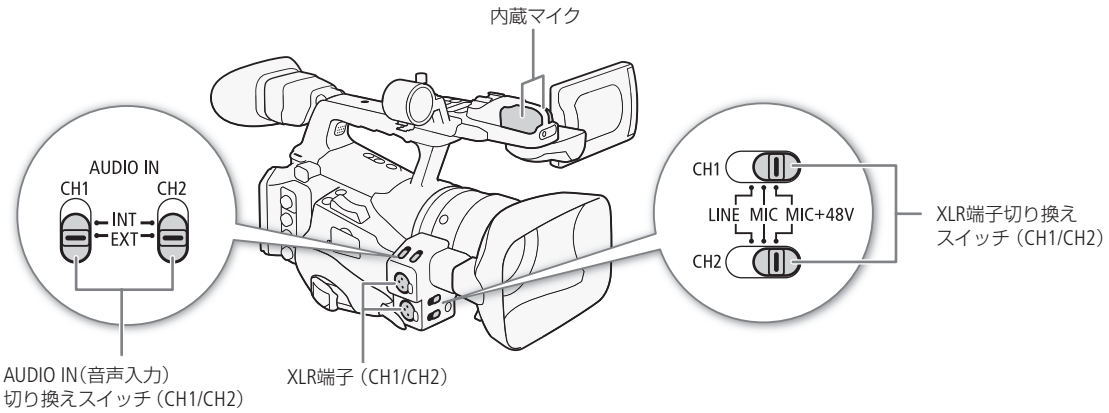
ユーザービットの出力について

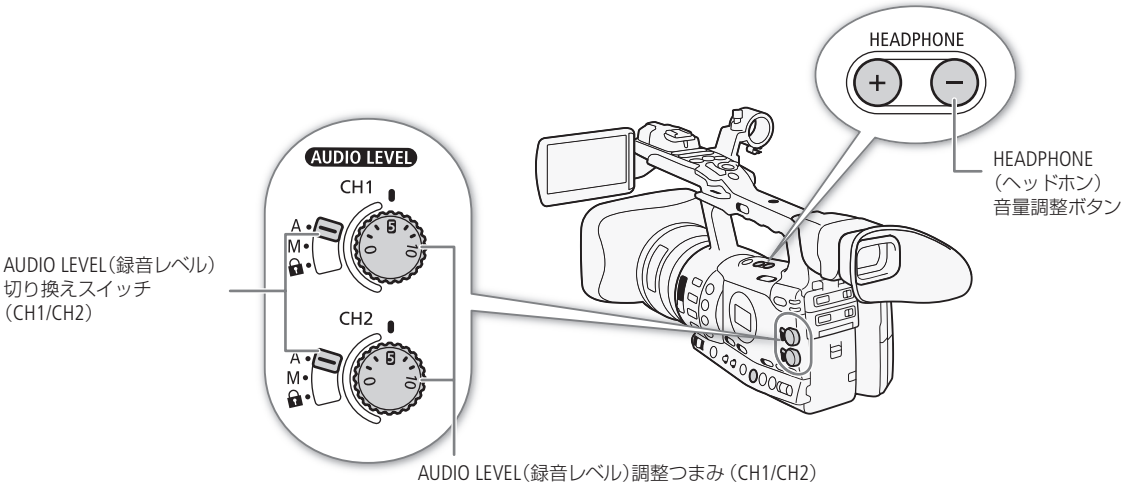
撮影時は設定されているユーザービットが出力され、再生時は映像と一緒に記録されているユーザービットが出力されます。フレームレートが24Pの場合、TC/UB設定メニューの「User Bit」➤「Outputモード」を「プルダウン」にすると、ユーザービットが2:3プルダウン情報*になります。

* フレームレートが24Pの映像は、HD/SD SDI端子に出力するときに2:3プルダウン方式で60iに変換されます。このときの変換情報（2:3プルダウン情報）を出力することにより、入力側の機器はこれを利用して1080/24Pに変換することが可能になります。

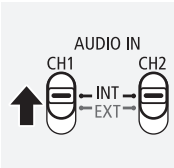
音声を記録する CAMERA MEDIA

本機では、2チャンネルのリニアPCM記録方式の音声を記録／再生できます。サンプリング周波数は48kHzです。収録する音声は、内蔵マイク、外部マイク（XLR端子）、外部ライン入力（XLR端子）から選びます。チャンネル1 ／チャンネル2の音声入力はそれぞれ個別に選択できます。





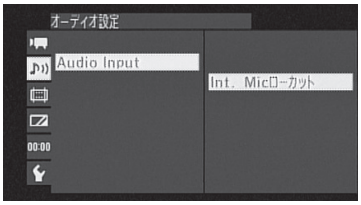
内蔵マイクの音声を選択する



AUDIO IN（音声入力）切り換えスイッチのCH1/CH2をINTに切り換えます。

内蔵マイクの特性を選ぶ

収録する音に合わせて最適な特性で録音できます。



① オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「Int. Micローカット」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
切： 一般的な音を録音するとき。
LC1： 人の声を中心に録音するとき。
LC2： 海辺やビルの近くなど風の強いところ、常に風の影響を受ける屋外で撮影する場合に、風の「ボコボコ」という音の影響を低減する。収録する低い音の一部も風の音と一緒に低減される。

内蔵マイクの感度を選ぶ

収録する音に合わせて最適な感度で録音できます。

① オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「Int. Mic感度」を順に選ぶ。
② いずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
ノーマル： 通常のレベルの音を録音するとき。
ハイ： より大きな音量（+6 dB）で録音するとき。

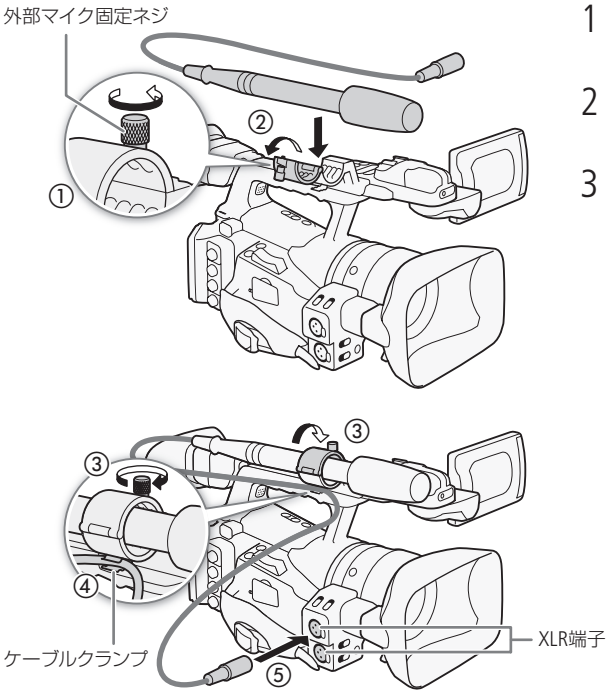
内蔵マイクのアッテネーターを使う

必要に応じてアッテネーターを使用できます（Att. : Attenuator）。

① オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「Int. Mic Att.」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
● マイク信号にアッテネーター（12 dB）がかかる。

■ 外部マイク／外部ライン入力の音声を選択する

外部マイクまたは外部ライン入力機器を接続する

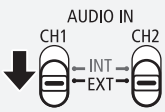


1 マイクのとき　外部マイク固定ねじをゆるめ（①）、外部マイクホルダーを開く（②）

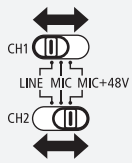
2 マイクのとき　外部マイクを取り付けて固定し（③）、ケーブルをクランプにとめる（④）

3 外部マイクまたは外部オーディオ機器のケーブルをXLR端子に接続する（⑤）

外部マイクまたは外部ライン入力を選ぶ



1 AUDIO IN（音声入力）切り換えスイッチのCH1/CH2をEXTにする



2 XLR端子切り換えスイッチのCH1/CH2をLINE（ライン）またはMIC（マイク）にする

- ファンタム電源が必要なマイクを使うときは「MIC＋48V」に切り換える。ファンタム電源をONにするときはマイクを接続してから行い、OFFにするときは接続したまま行う。
- XLR端子を1チャンネルのみ使用するときはCH1端子を使用し、XLR端子切り換えスイッチのCH1を「LINE」、「MIC」、「MIC＋48V」のいずれかに設定する。

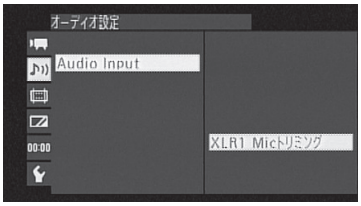
録音するチャンネルを割り当てる

CH1入力の音声をチャンネル1に録音するか、チャンネル1とチャンネル2の両方に録音するかを選びます。

① オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「XLR Rec Channel」を順に選ぶ。
② 「CH1」または「CH1/CH2」を選ぶ ➤ SETを押す。
CH1： CH1/CH2入力をそれぞれチャンネル1／チャンネル2として録音する。
CH1/CH2： CH1入力をチャンネル1／チャンネル2の両方に録音する。

外部マイク（XLR端子）の入力感度を調整する

XLR端子切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに機能します。



① オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「XLR1 Micトリミング」または「XLR2 Micトリミング」を順に選ぶ。
② 下記のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
+12 dB、+6 dB、0 dB、－6 dB、－12 dB

外部マイク（XLR端子）のアッテネーターを使う

XLR端子切り換えスイッチがMICまたはMIC+48Vのときに機能します。

① オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「XLR1 Mic Att.」または「XLR2 Mic Att.」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
● マイク信号にアッテネーター（20 dB）がかかる。

ご注意

● +48V対応のマイク以外の機器を接続するときは、必ずLINEまたはMICを使用してください。「MIC+48V」のままで使用すると、接続したマイクなどの機器が故障することがあります。
● 「XLR Rec Channel」を「CH1/CH2」にすると、CH2入力の音声は録音されません。

録音レベルを調整する

録音レベルはチャンネルごとにオート／マニュアルを個別に設定できます。CH1/CH2ともに内蔵マイクを選択しているときは、CH1の設定（オート／マニュアル、録音レベル）が自動的にCH2に反映されます。

オートで調整する

AUDIO LEVEL（録音レベル）切り換えスイッチをA（オート）にすると、そのチャンネルの録音レベルがオートになり、自動調整されます。CH1/CH2の音声入力にいずれも内蔵マイクを選択している場合、CH1の録音レベルをオートにすると、CH2も自動的にオートになります。

XLR端子のCH1とCH2の録音レベル調整を連動させる

XLR端子のCH1/CH2が同じ音声入力（外部ライン入力または外部マイク）に設定されている場合、録音レベルをオートに設定すると、CH1とCH2のレベル調整を連動させることができます。オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」の「XLR ALCリンク」（📖 178）で設定します。

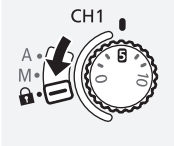
マニュアルで調整する

CH1/CH2の録音レベルをそれぞれ個別に手動調整できます。調整は－∞～ +18 dBの範囲で行うことができます。また、調整後つまみをロックすることによって、録音レベルを一定に保つことができます。

1 AUDIO LEVEL（録音レベル）切り換えスイッチをM（マニュアル）にする

2 AUDIO LEVEL（録音レベル）調整つまみを回して、調整する

- つまみの0（－∞）～ 5（0 dB）～ 10（+18 dB）の範囲でレベルを調整できる。
- 液晶表示パネルに表示されるオーディオレベルメーターの18 dBより右が時々点灯するように調整する。



3 必要に応じて、AUDIO LEVEL切り換えスイッチを🔒（ロック）にする

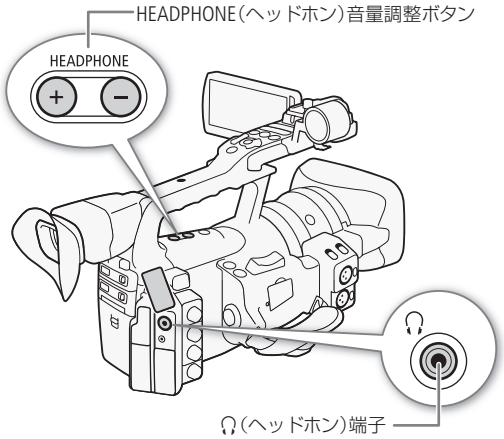
- 調整した録音レベルがロックされる。AUDIO LEVEL切り換えスイッチを他の位置にすると、ロックは解除される。

音声信号レベルを制限する

過大な音声入力によるひずみを防止するために、音声信号レベルを制限することができます。録音レベルをマニュアルで調整するときに、入力レベルが−4 dBFSを超えると自動的に信号レベルを制限してひずみを防止します。CH1とCH2のいずれかがマニュアルレベル調整のときに設定できます。設定は、オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」の「リミッター」（📖 178）で行います。

MEMO 録音レベルを調整するときは、ヘッドホンでモニターしながら行うことをおすすめします。レベルメーター上で適切に表示されていても、入力レベルが過大な場合、音声がひずむことがあります。

ヘッドホンでモニターする



ヘッドホンを（ヘッドホン）端子に接続して、収録される音声をモニターできます。音量はHEADPHONE（ヘッドホン）音量調整ボタン（+/−）で調整します。

MEMO モニターする際、音声を映像に同期させるか、リアルタイムの音声をモニターするかをオーディオ設定メニュー ➤「Audio Output」の「モニタディレイ」で設定できます。なお、リアルタイムの音声をモニターすると、映像と音声に少しズレが生じます。記録される映像と音声は、設定にかかわらず同期されます。（📖 160）

メタデータを操作する CAMERA MEDIA

本機で記録したクリップには、メタデータが付加されます。メタデータには、付加する文字列を変更できる「ユーザーメモ」と、シャッタースピード、露出、フォーカスなど撮影時に自動的に記録される情報とがあります。付加されたメタデータは、ソフトウェアCanon XF Utility(以下、XF Utility)で表示して確認したり、検索に使用したりすることができます。ユーザーメモに設定できる情報は、クリップタイトル（最大100文字)、撮影者（最大100文字)、撮影場所（最大100文字)、撮影内容（最大1000文字)があります。

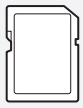
ユーザーメモを選ぶ

はじめにXF Utilityでユーザーメモの情報を入力してSDカードに保存します。次に、本機でSDカード内のユーザーメモを選んで撮影すると、記録されるクリップにユーザーメモの情報が付加されます。XF Utilityのインストールについては「クリップをパソコンに保存する」(📖 162)を、使いかたについては使用説明書*をご覧ください。

* 使用説明書は、ソフトウェアと一緒にパソコンにインストールされます。使用説明書の見かたは165ページをご覧ください。

1 XF Utilityでユーザーメモを SDカードに保存する

参考 ➤ XF Utilityの使用説明書



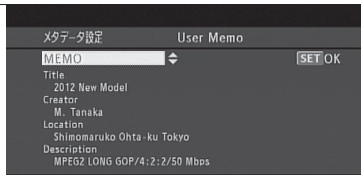
2 ユーザーメモが保存されているSDカードを本機のSD CARDスロットに入れる

3 ユーザーメモファイルを選ぶ

① その他機能メニュー ➤「メタデータ設定」➤「User Memo」を順に選ぶ。

② SDカードに保存されているユーザーメモのファイル名のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

- 画面にMEMOが表示される。
- 「切」を選ぶと、ユーザーメモはクリップに記録されない。



MEMO

- ユーザーメモの設定は撮影前に行ってください。CFカードに記録されたクリップのユーザーメモを本機で変更することはできません*。
  * XF Utilityを使用して変更することができます。
- メタデータには、UMIDの所有権情報として国コード、組織コード、ユーザーコードを記録でき、それぞれ任意の4文字を設定することができます(📖 189)。これらの情報はXF Utilityで表示したり確認したりすることはできません。
- ユーザーメモを設定して撮影するときは、SDカードを抜かないでください。SDカードを抜くとユーザーメモはクリップに付加されません。

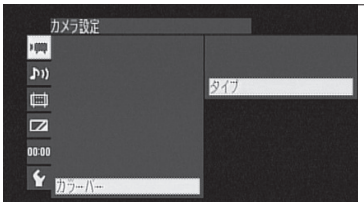
カラーバー／テストトーンを記録する CAMERA MEDIA

測定器の調整やモニターの輝度・色相・彩度の調整を行うために、カラーバーを出力／記録することができます。また、同時に1 kHzのテストトーンを出力／記録することもできます。カラーバーとテストトーンは次の端子にも出力されます。

	カラーバー	1 kHzテストトーン
HD/SD SDI端子 XF305	●	●
HDMI OUT端子	●	●
HD/SD COMPONENT OUT端子	●	—
AV端子	●	●
VIDEO 2端子	●	—
∩（ヘッドホン）端子	—	●

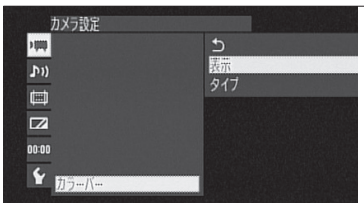
カラーバーを記録する

出力／記録するカラーバーは、SMPTE準拠（Type 1）とARIB準拠（Type 2）のいずれかをメニューで選べます。



1 カラーバーのタイプを選ぶ

① カメラ設定メニュー ➤「カラーバー」➤「タイプ」を順に選ぶ。
② 「タイプ1」（SMPTE）または「タイプ2」（ARIB）のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。



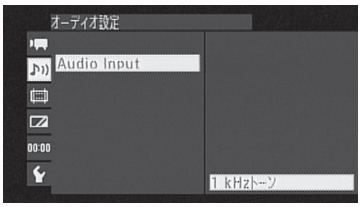
2 カラーバーを表示する

① カメラ設定メニュー ➤「カラーバー」➤「表示」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面にカラーバーが表示される。
- START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーを記録できる。
- 電源を切るかメディアモードに切り換えると、自動的に「切」になる。

MEMO アサインボタンに「カラーバー」を割り当てると、アサインボタンを押して入／切を切り換えられます（📖 118）。

テストトーンを記録する

カラーバーとともに1 kHzのテストトーンを出力／記録することができます。本機を他機につないで再生する場合、本機のテストトーンを使って接続した機器のレベルを調整することができます。テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて－12 dB、－18 dB、－20 dBから選ぶことができます。



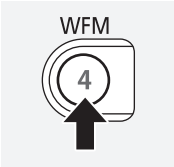
① オーディオ設定メニュー ➤「Audio Input」➤「1 kHzトーン」を順に選ぶ。
② 「－12 dB」、「－18 dB」、「－20 dB」、「切」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したレベルのテストトーンが出力される。
- START/STOPボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーとテストトーンを記録できる。

波形モニターを表示する CAMERA MEDIA

カメラモードのとき、画面に波形モニター（WFM*1）、ベクトルスコープ（VS*1）を簡易表示できます。また、エッジモニター（Edge Monitor）*2を表示することもできます。なお、これら各種モニターは液晶画面のみに表示され、ファインダーや各出力端子からの映像には表示されません。

*1 WFM : Waveform Monitor、VS : Vectorscope
*2 エッジモニター（Edge Monitor）：映像全体の合焦度合いを波形で表示する機能。カメラモードのみ。

モニター表示を選ぶ

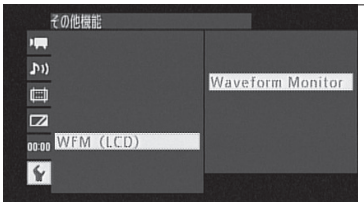


WFM（波形モニター）ボタンを押すたびにモニター表示が次の順に切り換わります。その他機能メニューの「WFM(LCD)」➤「設定」でもモニター表示を選ぶことができます。

切 → 波形モニター（WFM）→ ベクトルスコープ（VS）→ エッジモニター（Edge Mon.）→ 切

波形モニター（WFM）のタイプを選ぶ

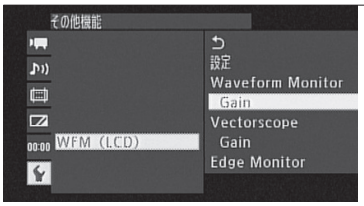
波形モニターは5種類のタイプから選ぶことができます。また、波形のゲインを1倍と2倍から選択できます。



1 波形モニターのタイプを選ぶ

① その他機能メニュー ➤「WFM(LCD)」➤「Waveform Monitor」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

ライン：	ライン表示する。
ライン＋スポット：	ライン表示に重ねて、赤枠内の波形を赤色で表示する。
フィールド：	フィールド表示する。
RGB：	R、G、B信号をパレード表示する。
YPbPr：	Y、Pb、Pr信号をパレード表示する。

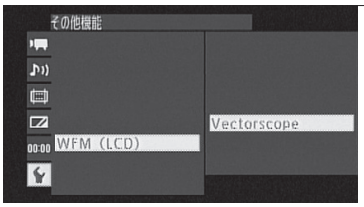


2 波形のゲインを選ぶ

① その他機能メニュー ➤「WFM(LCD)」➤「Gain」を順に選ぶ。
② 「1x」または「2x」を選ぶ ➤ SETを押す。

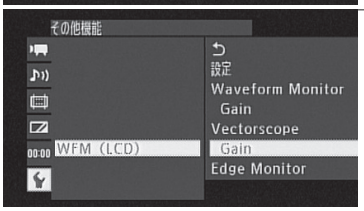
ベクトルスコープ（VS）のタイプを選ぶ

ベクトルスコープは2種類のタイプから選ぶことができます。また、波形のゲインを1倍と5倍から選択できます。



1 ベクトルスコープのタイプを選ぶ

① その他機能メニュー ➤「WFM（LCD）」➤「Vectorscope」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
スポット：ノーマル表示に重ねて、赤枠内の色信号を赤色で表示する。
ノーマル：ベクトルスコープを表示する。

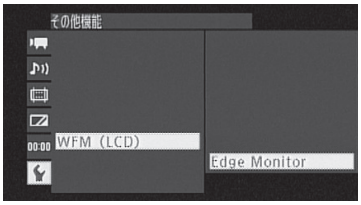


2 波形のゲインを選ぶ

① その他機能メニュー ➤「WFM（LCD）」➤「Gain」を順に選ぶ。
②「1x」または「5x」を選ぶ ➤ SETを押す。

エッジモニターのタイプを選ぶ

エッジモニターは2種類のタイプから選ぶことができます。FULL MF（フルマニュアルフォーカス）またはMF（マニュアルフォーカス）でフォーカスを調整するときに使うと、ピントが合わせやすくなります。



① その他機能メニュー ➤「WFM（LCD）」➤「Edge Monitor」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
タイプ1：合焦度合いを示す波形を緑色で表示し、さらに画面上の3箇所に表示した赤枠内で検出した波形を赤色で重ねて表示する。
タイプ2：波形モニター（ライン+スポット）とエッジモニターを同時に表示する。エッジモニターは、画面全体の合焦度合いを示す波形を青色で、それに重ねて、画面中央赤枠内の合焦度合いを示す波形を赤色で表示します。

ショットマークを付加する CAMERA MEDIA

撮影中、重要なシーンにショットマークを付加できます。ショットマークを付加しておくと、撮影終了後にメディアモードにおいて、マークをつけたシーンだけをインデックス表示して、目的のシーンをすばやく探すことができます。ショットマークには、ショットマーク 1 とショットマーク2があり、それぞれ独立して付加できます。メディアモードで、ショットマークを付加／消去することもできます（📖 152）。

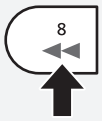
撮影中にショットマークを付加する

撮影中にショットマークを付加するには、あらかじめ、いずれかのアサインボタンにショットマーク1またはショットマーク2を割り当てる必要があります。ショットマーク1は、リモコンのSHOT 1ボタンを押して付加することもできます。

例：◀◀ ／アサイン 8ボタンに「Shot Mark 1追加」を割り当てて、ショットマークを付加する場合

1 アサイン8ボタンに「Shot Mark 1追加」を割り当てる

参考 ▸▸「アサインボタンの機能を変更する」（📖 118）。



2 撮影中 ショットマーク1を付加する

① ショットマークを付加したいシーンで、◀◀ ／アサイン 8ボタンを押す。
- 「Shot Mark 1」が表示され、ショットマーク1が付加される。

MEMO
- 1つのクリップに付加できるショットマークは、ショットマーク1とショットマーク2を合わせて100個までです。
- ボタンを押した時点のフレームとショットマークを付加するフレームは、最大0.5秒程度ずれることがあります。
- インターバル記録モードまたはフレーム記録モードで撮影中は、ショットマークを付加できません。

レックレビューで確認する CAMERA MEDIA

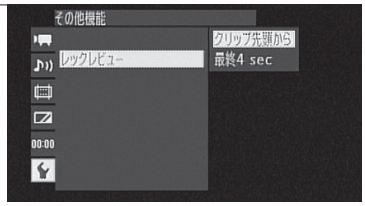
カメラモードで最後に撮影したクリップの映像を再生して確認できます。また、映像をすべて再生するか、最後の4秒のみを再生するかを選択できます。

直前に撮影した映像を確認する

1 レックレビューの再生範囲を設定する

① その他機能メニュー ➤「レックレビュー」を順に選ぶ。
②「クリップ先頭から」または「最終4 sec」を選ぶ ➤ SETを押す。

クリップ先頭から： クリップの先頭からすべて再生する。
最終4 sec： クリップの最後の4秒間のみを再生する。



2 撮影が終了したあと 映像を再生して確認する

① ⊟／アサイン 5ボタンを押す。
- 画面に「▶REVIEW」が表示される。
- 操作1で設定した再生範囲に応じて、直前に撮影した映像が再生される。このとき、映像と一緒に記録された音声は再生されない。

レックレビューを中止するとき

CANCELを押す。

- レックレビューが終了すると、自動的に撮影一時停止状態（STBY）に戻る。

MEMO
- 特殊記録（インターバル記録、フレーム記録、スロー &ファーストモーション記録、プレ記録）の各モードのときは、レックレビューは行えません。
- 撮影中に記録先のメディアが自動的に切り換わった場合、直後にレックレビューを行うと、新たに記録先となったメディア内のクリップが再生されます。

特殊記録を行う CAMERA MEDIA

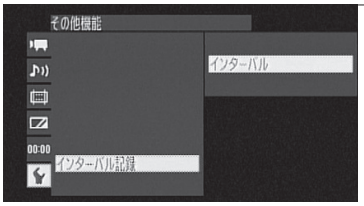
次の4種類の特殊記録を行うことができます。

インターバル記録：	あらかじめ設定した記録間隔とフレーム数で、間欠的に記録を行う。自然や植物など動きの少ない被写体を撮影するときに有効。
フレーム記録：	あらかじめ設定したフレーム数分の映像を記録する。クレイアニメを撮影するときなどに有効。
スロー &ファーストモーション記録：	再生時と異なるフレームレートで記録することにより、再生時にスローモーションやファーストモーションの効果を得る。
プレ記録：	撮影開始時点の約3秒前から記録することで、撮影開始操作が遅れたときの撮り逃がしを防ぐ。

インターバル記録を行う

記録間隔と記録フレーム数をあらかじめ設定して撮影を行うと、間欠的に映像を自動記録できます。記録中、音声は記録されません（ミュート）。なお、その他機能メニューの「ビットレート/解像度」が「35 Mbps 1440×1080」の場合、本機能は使用できません。

設定する

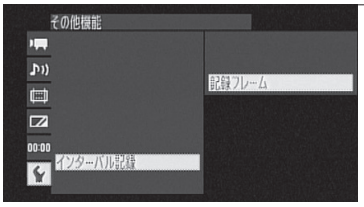


1 記録間隔を設定する

① その他機能メニュー ➤「インターバル記録」➤「インターバル」を順に選ぶ。
② 次のいずれかの時間を選ぶ ➤ SETを押す。

1 ～ 10 sec*、15 sec、20 sec、30 sec、40 sec、50 sec、1 ～ 10 min*

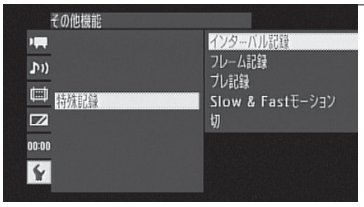
*メニュー上、秒は「sec」、分は「min」と表示する。



2 記録フレーム数を設定する

① その他機能メニュー ➤「インターバル記録」➤「記録フレーム」を順に選ぶ。
② 次のいずれかの記録フレーム数を選ぶ ➤ SETを押す。

記録信号形式のフレームレート	記録フレーム数
60i、30P	1、3、6、9
60P、24P	2、6、12



3 インターバル記録を有効にする

① その他機能メニュー ➤「特殊記録」を順に選ぶ。
②「インターバル記録」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面に「INT STBY」（INTが点滅）が表示され、インターバル記録モードになる。

インターバル記録モードで撮影する

START/STOP

1 START/STOPボタンを押す

- 設定した記録間隔おきに、設定したフレーム数分のフレームが、自動的に記録される。
- 前後のタリーランプが点灯し、画面に「●INT REC」が表示される。

START/STOP

2 撮影を停止するとき もう一度START/STOPボタンを押す

- 撮影が終了する。この間に撮影したフレームは、すべて結合して1つのクリップとして記録される。
- 画面に「INT STBY」(INTが点滅)が表示され、前後のタリーランプは消灯する。
- その他機能メニューの「特殊記録」で、他の特殊記録を選ぶか「切」を選ぶとインターバル記録モードが終了する。

タイムコードについて

カウントアップ方式と歩進

インターバル記録中のタイムコードは、レックランまたはリジェネで記録され、記録フレーム数ずつ歩進します。フリーランまたはタイムコード入力(XF305)している状態でインターバル記録モードにすると、強制的にレックランに設定され、インターバル記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻ります。

タイムコード出力 XF305

タイムコードは、TIME CODE端子またはHD/SD SDI端子のいずれからも出力されません。

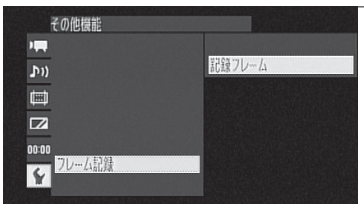
MEMO

- フレーム記録、スロー &ファーストモーション記録、プレ記録と同時に使用することはできません。
- インターバル記録モードで撮影中に、記録間隔やフレーム数を変更することはできません。
- クリップの末尾に、インターバル記録モードを終了したときの映像が記録されることがあります。
- その他機能メニューの「ビットレート/解像度」または「フレームレート」を変更すると、インターバル記録モードは解除されます。

フレーム記録を行う

記録フレーム数をあらかじめ設定して撮影を行うと、設定したフレーム数分の映像を記録します。記録中、音声は記録されません（ミュート）。撮影時は、本体を三脚などに固定してリモコンで操作することをおすすめします。なお、その他機能メニューの「ビットレート/解像度」が「35 Mbps 1440×1080」の場合、本機能は使用できません。

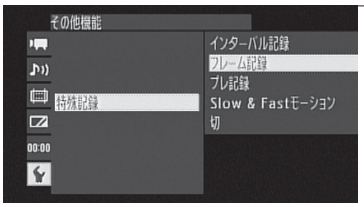
設定する



1 記録フレーム数を設定する

① その他機能メニュー ➤「フレーム記録」➤「記録フレーム」を順に選ぶ。
② 次のいずれかの記録フレーム数を選ぶ ➤ SETを押す。

記録信号形式のフレームレート	記録フレーム数
60i、30P	1、3、6、9
60P、24P	2、6、12



2 フレーム記録を有効にする

① その他機能メニュー ➤「特殊記録」を順に選ぶ。
② 「フレーム記録」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面に「FRM STBY」（FRMが点滅）が表示され、フレーム記録モードになる。

撮影する

1 フレーム記録モードで撮影する

① START/STOPボタンを押す。
- フレーム記録の記録モードになり、画面に「●FRM REC」が表示されて前後のタリーランプが点灯する。
- 設定したフレーム数分のフレームが記録され、画面の表示が「●FRM STBY」に変わる。

② 撮影したいシーンで①の操作を繰り返し行う。

2 撮影を停止するとき　フレーム記録を無効にする

① その他機能メニューの「特殊記録」を「切」にする。
- フレーム記録モードが終了する。この間に撮影したフレームは、すべて結合して1つのクリップとして記録される。
- 画面に「STBY」が表示され、前後のタリーランプは消灯する。

MEMO

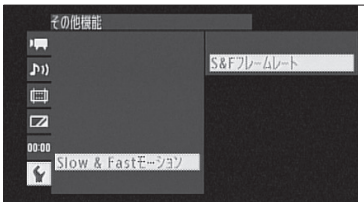
- インターバル記録、スロー &ファーストモーション記録、プレ記録と同時に使用することはできません。
- フレーム記録モードで撮影中に、記録フレーム数を変更することはできません。
- フレーム記録モードで撮影中のタイムコードは、インターバル記録中と同じ扱いです(📖 108)。
- クリップの末尾に、フレーム記録モードを終了したときの映像が記録されることがあります。
- その他機能メニューの「ビットレート/解像度」または「フレームレート」を変更すると、フレーム記録モードは解除されます。

スロー &ファーストモーション記録を行う

プログレッシブ方式の記録信号形式に設定しているときは、再生時のフレームレート*と異なるフレームレート（撮影フレームレート）で記録することができます。再生時のフレームレートより高いフレームレートで撮影し、再生するとスローモーション効果が得られ、再生時のフレームレートより低いフレームレートで撮影し、再生するとファーストモーション効果が得られます。記録中、音声は記録されません（ミュート）。なお、その他機能メニューの「ビットレート/解像度」が「35 Mbps 1440×1080」の場合、本機能は使用できません。

* 記録信号形式で設定しているフレームレート。

設定する

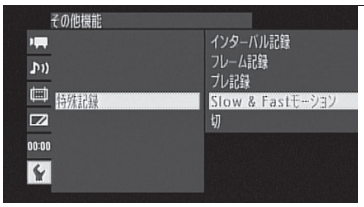


1 撮影フレームレートを設定する

① その他機能メニュー ➤「Slow & Fastモーション」➤「S&Fフレームレート」を順に選ぶ。

② 次のいずれかの撮影フレームレートを選ぶ ➤ SETを押す。

記録信号形式の解像度	撮影フレームレート
1080	12、15、18、20、21、22、24、25、26、27、28、30
720	12、15、18、20、21、22、24、25、26、27、28、30、32、34、36、40、44、48、54、60



2 スロー &ファーストモーション記録を有効にする

① その他機能メニュー ➤「特殊記録」を順に選ぶ。

② 「Slow & Fastモーション」を選ぶ ➤ SETを押す。

- スロー &ファーストモーション記録モードになる。
- 画面に「S&F STBY」と、設定されているフレームレート（撮影フレームレート／再生フレームレート）が表示される。

スロー &ファーストモーション記録モードで撮影する

START/STOP

1 START/STOPボタンを押す

- 設定した撮影フレームレートで記録される。
- 画面に「●S&F REC」が表示され、前後のタリーランプが点灯する。

START/STOP

2 撮影を停止するとき もう一度START/STOPボタンを押す

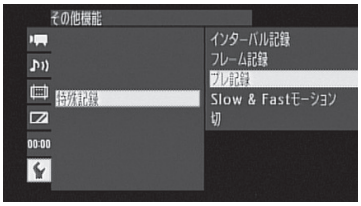
- 撮影が終了し、クリップとして記録される。
- 画面に「S&F STBY」が表示され、前後のタリーランプは消灯する。
- その他機能メニューの「特殊記録」で、他の特殊記録を選ぶか「切」を選ぶとスロー &ファーストモーション記録モードが終了する。

MEMO

- インターバル記録、フレーム記録、プレ記録、ダブルスロット記録と同時に使用することはできません。
- スロー &ファーストモーション記録モードで撮影中に、撮影フレームレートを変更することはできません。
- スロー &ファーストモーション記録モードで撮影中のタイムコードは、インターバル記録中と同じ扱いです(📖 108)。
- 撮影フレームレートの値が小さいと、記録停止に約1秒程度の時間がかかることがあります。
- その他機能メニューの「ビットレート/解像度」を変更すると、スロー &ファーストモーション記録モードは解除されます。
- その他機能メニューの「ビットレート/解像度」を「50 Mbps 1920x1080」または「50 Mbps 1280x720」に設定しているときは、スローモーション撮影時にCFカードの空き容量がなくなっても、リレー記録されません。

プレ記録を行う

プレ記録モードでは、START/STOP（スタート／ストップ）ボタンを押して撮影を開始する約3秒前からの映像と音声を記録することができます。



① その他機能メニュー ➤「特殊記録」を順に選ぶ。
② 「プレ記録」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面に「PRE REC STBY」が表示され、プレ記録モードになる。

③ START/STOPボタンを押す。
- 撮影が開始される。
- 画面に「●PRE REC」が表示されて、前後のタリーランプが点灯する。

④ 撮影を停止するとき もう一度START/STOPボタンを押して、撮影を行う。
- 撮影開始約3秒前からの映像が記録される。
- 画面に「PRE REC STBY」が表示され、前後のタリーランプは消灯する。

MEMO

プレ記録のタイムコードについて

プレ記録中のタイムコードは、フリーランまたは外部入力タイムコード（XF305）で記録されます。タイムコードの記録は、撮影開始操作の約3秒前から行われます。レックランまたはリジェネに設定しているときにプレ記録モードにすると、強制的にフリーランに設定されるか、または外部のタイムコードにロックしているときは、外部入力タイムコードになります。プレ記録を解除すると、元のカウントアップ方式に戻ります。

- スロー＆ファーストモーション記録、インターバル記録、フレーム記録と同時に使用することはできません。
- その他機能メニューの「ビットレート/解像度」または「フレームレート」を変更すると、プレ記録モードは解除されます。

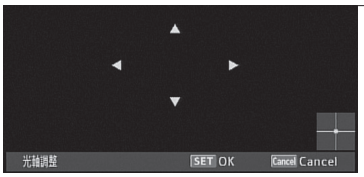
光軸調整を使う CAMERA MEDIA

本機を2台使用して3D撮影を行う際のアシスト機能です。手ブレ補正用のシフトレンズの位置を移動させることによって、2台の撮影画面の微調整を行うことができます。

1 光軸調整を選ぶ

① カメラ設定メニュー ➤「光軸調整」➤「動作」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 画面にAxisが表示される。

③ カメラ設定メニュー ➤「光軸調整」➤「調整」➤ SETを押す。
- 光軸調整画面になり、画面調整方向を示す4つの矢印が表示される。



2 光軸を調整する

① ジョイスティックを上下左右に押すか、リモコンで操作して調整する。
- 移動限界位置に達すると、画面上の矢印が灰色になる。
- 右下の座標表示で、可動範囲内のレンズの現在位置を確認できる。

矢印の色を変えるとき

❶ カメラ設定メニュー ➤「光軸調整」➤「GUI色」を順に選ぶ。
❷ 「イエロー」または「グリーン」を選ぶ ➤ SETを押す。

② SETを押す。
- 調整が確定される。

調整を中止するとき

②でCANCELを押す。

設定した光軸調整をリセットするとき

カメラ設定メニュー ➤「光軸調整」➤「リセット」➤「OK」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
- レンズ位置が可動範囲の中心に戻る。

MEMO
- レンズの可動範囲はズーム位置によって変わります。
- レンズの移動量を大きくすると、ズーム動作時に画像の中心のずれが大きくなります。テレ端で目印となる被写体と画面の中心を合わせ、ワイド端で光軸調整機能を使用して両者のずれを補正することによって、画像の中心のずれを軽減することができます。

焦点距離ガイドを使う CAMERA MEDIA

本機を2台使用して3D撮影を行う際のアシスト機能です。0にセットしたズーム位置を基準とし、ズーム操作に応じて変わる焦点距離位置を数値として表示する機能で、全焦点距離位置を195ステップで表示します。

1 2台のカメラを設置する

① 2台のカメラを並行に並べて設置する。
② 2台のカメラの画角を、ズームのテレ側で合わせる。

2 焦点距離ガイドの基準ズーム位置を設定する

① カメラ設定メニュー ➤「Zoom」➤「焦点距離ガイド」を順に選ぶ。
② 「0セット」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ MENUボタンを押す。
- 画面に「FL ±0」(焦点距離ガイド)が表示される。

焦点距離ガイド表示を消すとき

②で「切」を選ぶ ➤ SETを押す。

3 ズーム位置を変える

① 2台のカメラのズームを操作する。
- 焦点距離ガイドの値を2台のカメラで合わせると、2台のカメラの焦点距離をほぼ同じにすることができる。

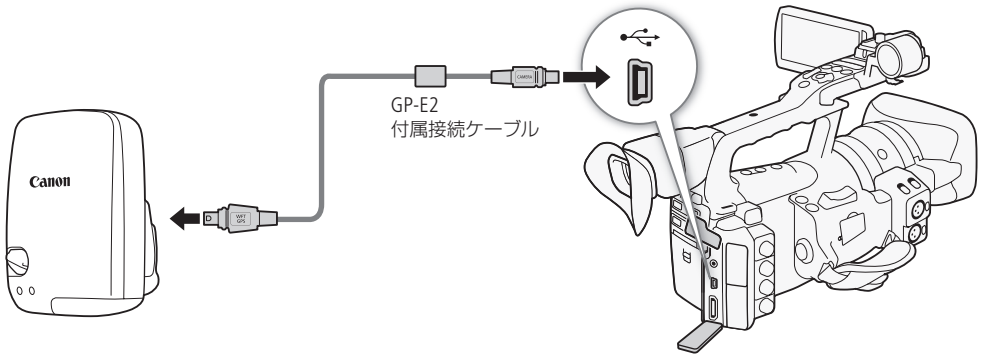
MEMO

焦点距離ガイドは3D撮影アシスト機能です。撮影時は目視による画角の確認も合わせて行ってください。
- 基準ズーム位置をズームのテレ側で設定すると、焦点距離ガイドをより正確に表示できます。
- 本機能によって2台のビデオカメラの画角が一致することを保証するものではありません。

別売アクセサリーを使う

GPSレシーバー　GP-E2を使う　CAMERA MEDIA

本機とGPSレシーバー GP-E2（別売）を接続して使用すると、GPS情報を取得して、本機で記録した動画にGPS情報を付加することができます。GP-E2の取り付けかたや操作についてはGPSレシーバー GP-E2の説明書も合わせてご覧ください。



本機とGP-E2は、GP-E2付属のケーブルで接続してください。なお、GP-E2を本機に取り付けるときは、GP-E2付属の携帯用ケースに入れて、グリップベルトへ取り付けるか、腰へ取り付けることをおすすめします。

ご注意

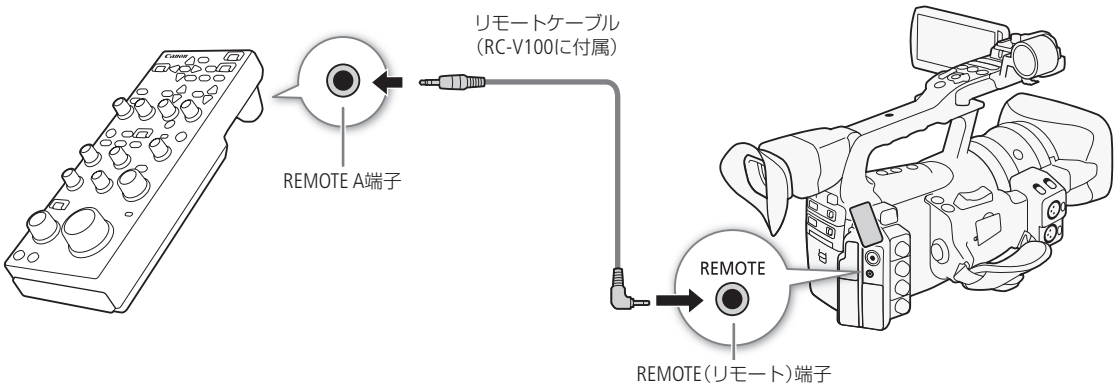
- 国や地域によっては、GPSの使用などが規制されていることがありますので、お使いになる際は国や地域の法令等の規制にしたがってください。旅行など、国外で使用するときは特に注意してください。
- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分注意してください。
- GPS機能を使って撮影した動画に記録されるカメラの位置情報は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS機能を使ってカメラの位置情報が記録されている動画、GPSログファイルを他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載したりするときは、十分注意してください。
- 電源を入れ換えたときや、長時間電源スイッチを切ったときは、GPS衛星からの信号を受信するのに時間がかかることがあります。
- 本製品を磁石やモーターなどの強力な磁気を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。

MEMO

- 本機では、GP-E2の機能、「自動時刻設定」の「今すぐ実行」、「位置情報の更新間隔」、方位情報（電子コンパス）には対応していません。
- GPS自動時刻設定の「自動更新」は、GP-E2と接続するときに一度だけ時刻設定を行います。動画撮影中は時刻設定を行いません。

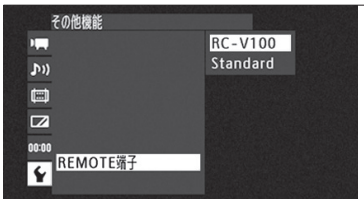
■ リモートコントローラー　RC-V100を使う　CAMERA MEDIA *

* MEDIAモード時はMENU（メニュー）ボタンなどを操作できます。
リモートコントローラー RC-V100（別売）を取り付けると、本機をリモートで操作できます。詳細はRC-V100リモートコントローラー使用説明書をご覧ください。



1 リモートコントローラーを本機につなぐ

- 本機の電源を切ってからつなぐ。



2 REMOTE端子をRC-V100にする

① 本機の電源を入れる。
② その他機能メニュー ➤「REMOTE端子」を順に選ぶ。
③「RC-V100」を選ぶ ➤ SETを押す。

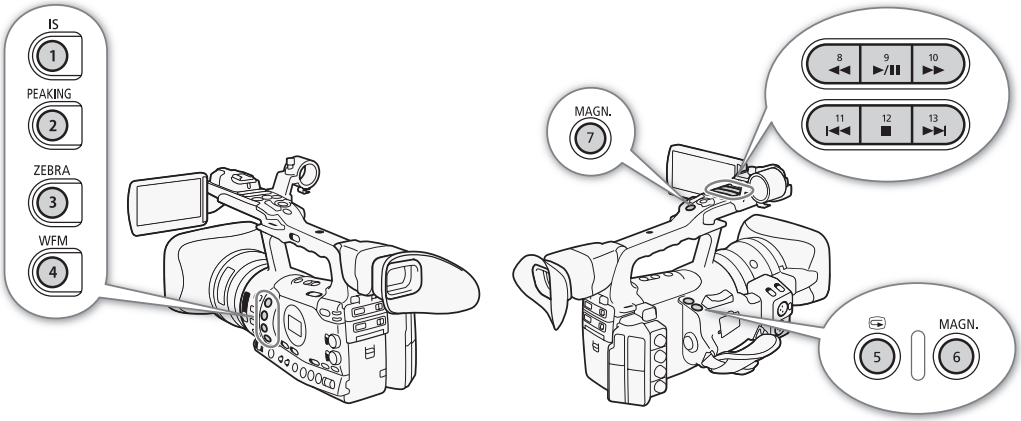
MEMO
- ND切り換えボタンは本機に対応していません。
- 本機のフルオートモード（📖 51）がONのとき、RC-V100でのアイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランス（WHITE BALANCE R/Bダイヤルを除く）の設定は変更できません。

4 カスタマイズ

アサインボタンの機能を変更する... 118
カスタムピクチャーを使用する ... 120
機能や表示をカスタマイズする ... 132
設定データの保存と呼び出し..... 133

アサインボタンの機能を変更する CAMERA MEDIA

本機には13個のアサインボタンがありますので、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。



アサインボタンの番号とボタン名、初期設定は次のとおりです。No.8～No.13のアサインボタンはカメラモードのときのみ使用できます。

アサインボタンNo.	ボタン名	初期設定	アサインボタンNo.	ボタン名	初期設定
1	IS	Standard IS	8	◀◀	未設定
2	PEAKING	Peaking	9	▶/❚❚	未設定
3	ZEBRA	Zebra	10	▶▶	未設定
4	WFM	WFM (LCD)	11	❙◀◀	未設定
5	⊟	レックビュー	12	■	未設定
6	MAGN.	Magnification	13	▶▶❙	未設定
7	MAGN.	Magnification			

アサインボタンには次の機能を割り当てることができ、カメラモードとメディアモードでそれぞれ個別に設定できます。使用可能な機能は、下表のようにモードによって異なります。

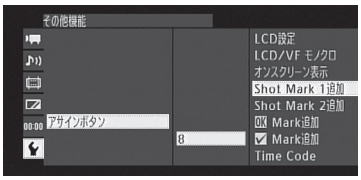
機能名	内容	CAMERA	MEDIA
Standard IS	手ブレ補正（スタンダードIS）の入／切を切り換える。	●	
Dynamic IS	手ブレ補正（ダイナミックIS）の入／切を切り換える。	●	
Powered IS	手ブレ補正（パワードIS）の入／切を切り換える。	●	
Focusリミット	フォーカスリミットの入／切を切り換える。	●	
顔優先AF	顔優先AFの入／切を切り換える。	●	
顔選択 *	顔優先AF使用時における、主な被写体の選択	●	
バックライト	測光方式（バックライト）の入／切を切り換える。	●	
スポットライト	測光方式（スポットライト）の入／切を切り換える。	●	
デジタルテレコン	倍率を切り換える。押すたびに、1.5x → 3x → 6x → 切に切り換わる。	●	
Peaking	ピーキングの入／切を切り換える。	●	
Zebra	ゼブラパターン表示の入／切を切り換える。	●	
WFM (LCD)	モニター表示を切り換える。押すたびに、波形モニター → ベクトルスコープ → エッジモニター → 切が切り換わる。	●	●
Magnification	拡大表示の入／切を切り換える。	●	
カラーバー	カラーバーの入／切を切り換える。	●	
マーカー	マーカーの入／切を切り換える。	●	
LCD設定	LCDセットアップメニューを表示する。	●	●
LCD/VF モノクロ	画面のモノクロ表示の入／切を切り換える。	●	●

機能名	内容	CAMERA	MEDIA
オンスクリーン表示	画面表示を重畳する／しないを切り換える。HD出力／SD出力を同時に切り換える。	●	●
Shot Mark 1追加	ショットマーク1を付加する。	●	●
Shot Mark 2追加 *	ショットマーク2を付加する。	●	●
OK Mark追加	OKマークを付加する。	●	●
☑Mark追加	チェックマークを付加する。	●	●
Time Code	タイムコードメニューを表示する。	●	
Time Codeホールド *	画面に表示されるタイムコード値を保持／保持解除を切り換える。	●	●
Audio Output CH	音声出力（AV端子、VIDEO 2端子、🎧（ヘッドホン）端子）から出力されるチャンネルを切り換える。押すたびに出力チャンネルが切り換わる。	●	●
Audio Level	オーディオレベルメーター表示の入／切を切り換える。	●	●
リモコン	リモコン（付属）の入／切を切り換える。	●	●
Photo *	静止画を記録する。	●	●
レックレビュー	レックレビューを行う。	●	
最終クリップ消去	最後に記録したクリップを消去する。	●	

* アサインボタンのみの機能

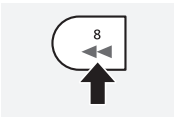
機能を変更する

例：アサインボタン8に「Shot Mark 1追加」を割り当てる場合



① その他機能メニュー ➤「アサインボタン」➤「8」を順に選ぶ。
② 「Shot Mark 1追加」を選ぶ ➤ SETを押す。

アサインボタンに割り当てた機能を使う



必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用します。アサインボタンを押すと、画面に機能の詳細項目を選ぶメニューが表示されることがあります。そのときは、ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して項目を選び、SETを押します。

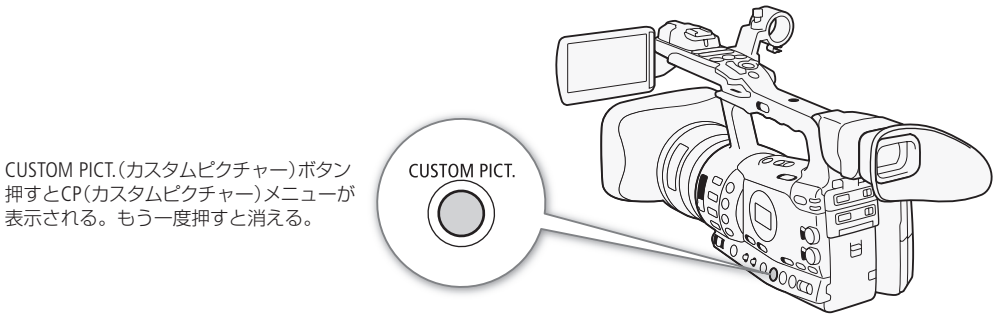
MEMO　アサインボタンに割り当てられた機能は、ステータス画面で確認できます（📖 195）。

カスタムピクチャーを使用する

CAMERA MEDIA

撮影条件に合わせる、意図的に効果をつけるなど画質を調整するためのさまざまな設定を行うことができます。調整した設定値はカスタムピクチャーとして本機やSDカードに保存し、必要に応じて再利用できます。また、カスタムピクチャーを設定して撮影すると、クリップと一緒にCFカードに保存したり、静止画と一緒にSDカードに保存したりすることができます*。カスタムピクチャーを本機とSDカードまたはCFカードとの間で相互にコピーすることもできます。カスタムピクチャーの操作は、CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押すと表示される「CPメニュー」で行います。CPメニューの操作のしかたは、通常のメニュー（📖 28）の操作と同様です。

* クリップや静止画と一緒に保存しないようにすることもできます（📖 125）。

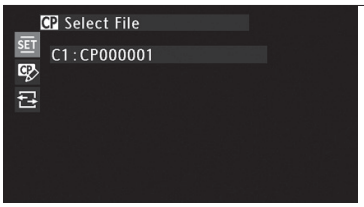


機能分類	機能	設定項目	📖
光の階調に関わるグループ	ガンマ	Gamma	126
	ブラックガンマ	Black Gamma	127
	マスターペデスタル	Black － Master Pedestal	127
	マスターブラック	Black － Master Black	127
	ニー	Knee	128
	セットアップ	Other Functions － Setup Level	131
	100%クリップ	Other Functions － Clip At 100%	131
輪郭やノイズに関わるグループ	シャープネスレベル	Sharpness － Level	128
	シャープネス水平帯域	Sharpness － H Detail Freq.	128
	シャープネスHVバランス	Sharpness － HV Detail Bal.	129
	シャープネスリミット	Sharpness － Limit	129
	シャープネスセレクト	Sharpness － Select	129
	ニーアパーチャー	Sharpness － Knee Aperture	129
	輝度適応シャープネス	Sharpness － Level Depend	129
	コアリングレベル	Sharpness － Coring － Level	129
	輝度適応コアリング	Sharpness － Coring － D-Ofst/D-Curve/D-Depth	129
	NR	Noise Reduction	129
	スキンディテール	Skin Detail	129
	セレクティブNR	Selective NR	130
	S/N優先	Other Functions － S/N Priority	131
色の方向性、強さ、変換に関するグループ	ローキーサチュレーション	Low Key Satur.	127
	ニーサチュレーション	Knee － Saturation	128
	カラーマトリックス	Color Matrix	130
	カラーゲイン	Color Matrix －Gain	130
	色相	Color Matrix － Phase	130
	ホワイトバランス	White Balance	130
	カラーコレクション	Color Correction	130

MEMO　SDカードまたはCFカードに保存したカスタムピクチャーは、XF300/305のみで使用可能です。

カスタムピクチャーを登録する

撮影時に良く使う画質調整設定をカスタムピクチャーとして登録しておくと、次に使用するときに、リストから選ぶだけで同じ設定を簡単に再現できます。カスタムピクチャーは、本機に9セット（C1 ～ C9）、SDカードに20セット（SD1 ～ SD20）保存できます。



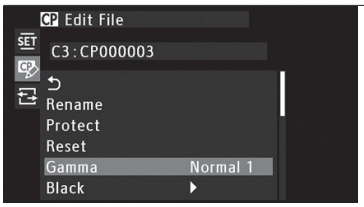
1 登録するカスタムピクチャーを選ぶ

例：「C3 : CP000003」を選ぶ場合

① CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押す。
- CPメニューが表示され、さらに現在選択されているカスタムピクチャー名が表示される。

② カーソルを上下に移動させて SET（Select File）を選ぶ ➤ SETを押す。
- 本機とSDカードに保存されているカスタムピクチャーが表示される。

③「C3 : CP000003」を選ぶ ➤ SETを押す。



2 画質調整の設定を行う

参考 ➤「カスタムピクチャーの設定項目」（📖 126）

例：Gammaを「Cine 1」に設定する場合

① （Edit File）➤「Gamma」を順に選ぶ。
② 「Cine 1」を選ぶ ➤ SETを押す。

設定を初期設定に戻すとき

❶「Reset」➤ 初期設定（📖 126）のいずれかを順に選ぶ ➤ SETを押す。
❷「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。

3 カスタムピクチャーの名前を設定する

① 「Rename」を選ぶ ➤ SETを押す。
- Rename（名前変更）画面が表示され、一番左の文字の背景がオレンジ色になる。

② ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して文字を選ぶ ➤ SETを押す。
- 文字は、英数字、記号が使用できる。

③ ②の操作を繰り返して、すべての文字を設定する ➤ 「Set」を選ぶ ➤ SETを押す。
- カスタムピクチャーの名前が決定される。

④ CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押す。
- CPメニューが消え、画面に選んだカスタムピクチャーの番号（CP 3）が表示される

カスタムピクチャーをプロテクトする

必要に応じて、カスタムピクチャーをプロテクトすることができます。

① CPメニュー ➤ SET（Select File）➤ プロテクトするカスタムピクチャーを順に選ぶ。
② CPメニュー ➤ （Edit File）➤ 「Protect」を順に選ぶ。
③ 「Protect」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 編集中のカスタムピクチャーがプロテクトされ、「Select File」のカスタムピクチャー一覧画面に が表示される。

プリセットされたカスタムピクチャーについて

初期状態では、C7 ～ C9にシーン設定値がプリセットされています。これらのカスタムピクチャーは、プロテクトされているため、変更するときはプロテクトを解除する必要があります。

	用途
C7：VIDEO.C	民生用の薄型テレビで再生するとき。
C8：CINE.V	テレビモニター再生時にシネマライクな映像にしたいとき。シネマライクなテレビ番組を制作するとき。
C9：CINE.F	Cine 2 Gamma、Cine 2 Color Matrix の組み合わせにより、CINE.Vとは異なったテイストのシネマライクな表現をするとき。

撮影に使用するカスタムピクチャーを選ぶ

カスタムピクチャーを登録しておくと、リストから選ぶだけで希望の画質に調整することができます。

① CPメニュー ➤ SET (Select File)を選ぶ。
- 本機とSDカードに保存されているカスタムピクチャーが表示される。

② いずれかのカスタムピクチャーを選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだカスタムピクチャーに登録されている設定に調整される。

カスタムピクチャーを使用しないとき

「Off」を選ぶ ➤ SETを押す。

③ CUSTOM PICT.(カスタムピクチャー)ボタンを押して、CPメニューを閉じる。

MEMO

RC-V100リモートコントローラー(別売)を使うとき

- CPメニューのSelect Fileで「Off」やプロテクトしているカスタムピクチャーを選んだときは、RC-V100のカスタムピクチャー機能を使用できません。
- RC-V100接続中は、SD1 ～ SD20を使用できません。SD1 ～ SD20を使用中に接続したときは、自動的に「Off」に切り換わります。SDカードに入っているカスタムピクチャーを使いたいときは、あらかじめ本機のカスタムピクチャーに置き換えて使用してください(📖 125)。
- RC-V100で画質の調整を行うと、選択中のカスタムピクチャーの設定が変更／登録されます。あらかじめ、大事なカスタムピクチャーはSDカードにコピーするか、変更しても良いカスタムピクチャーを選んでください。

カスタムピクチャーをコピーする

カスタムピクチャーを本機とSDカードとの間で相互にコピーすることができます。コピーの方法は、現在選んでいるカスタムピクチャーが本機かSDカードかによって異なります。

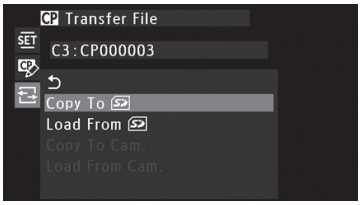
Copy To SD：　現在のカスタムピクチャー(本機)をSDカードにコピーする。新規に追加するか、既存のカスタムピクチャーを上書きするかを選ぶことができる。

Load From SD：　現在のカスタムピクチャー(本機)をSDカードのカスタムピクチャーを上書きする。

Copy To Cam.：　現在のカスタムピクチャー(SDカード)を本機にコピーする。コピー先として選んだ既存のカスタムピクチャーに上書きされる。

Load From Cam.：現在のカスタムピクチャー(SDカード)を本機のカスタムピクチャーを上書きする。

現在のカスタムピクチャー（本機）をSDカードにコピーする

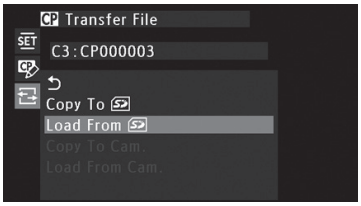


① CPメニュー ➤ SET（Select File）➤ いずれかのカスタムピクチャーを順に選ぶ。
② （Transfer File）➤「Copy To SD」を順に選ぶ。
③ SDカード内のコピー先となるカスタムピクチャーを選ぶ ➤ SETを押す。
- カード内のカスタムピクチャーが20セット未満のときは、「New File」が表示される。

④「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 現在のカスタムピクチャー（本機）がSDカードにコピーされる。
- 「New File」を選んだときは、自動的に最後に追加される。

⑤ CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押して、CPメニューを閉じる。

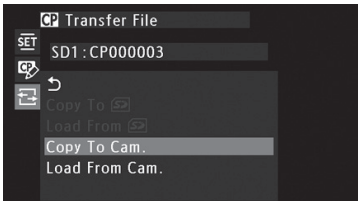
現在のカスタムピクチャー（本機）をSDカードのカスタムピクチャーで置き換える



① CPメニュー ➤ SET（Select File）➤ いずれかのカスタムピクチャーを順に選ぶ。
② （Transfer File）➤「Load From SD」を順に選ぶ。
③ SDカード内のコピー元となるカスタムピクチャーを選ぶ ➤ SETを押す。
④「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 現在のカスタムピクチャーが置き換わる。

⑤ CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押して、CPメニューを閉じる。

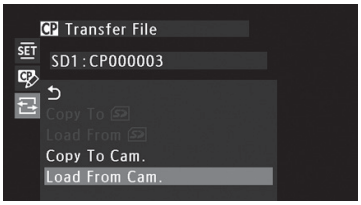
現在のカスタムピクチャー（SDカード）を本機にコピーする



① CPメニュー ➤ SET（Select File）➤ いずれかのカスタムピクチャーを順に選ぶ。
② （Transfer File）➤「Copy To Cam.」を順に選ぶ。
③ 本機内のコピー先となるカスタムピクチャーを選ぶ ➤ SETを押す。
④「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 現在のカスタムピクチャー（SDカード）が本機にコピーされる。

⑤ CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押して、CPメニューを閉じる。

現在のカスタムピクチャー（SDカード）を本機のカスタムピクチャーで置き換える



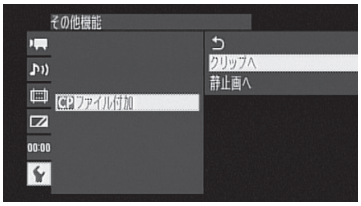
① CPメニュー ➤ SET（Select File）➤ いずれかのカスタムピクチャーを順に選ぶ。
② （Transfer File）➤「Load From Cam.」を順に選ぶ。
③ 本機内のコピー元となるカスタムピクチャーを選ぶ ➤ SETを押す。
④「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 現在のカスタムピクチャーが置き換わる。

⑤ CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押して、CPメニューを閉じる。

MEMO 記録したクリップと一緒に保存されているカスタムピクチャーを、本機にコピーすることもできます（📖 149）。

カスタムピクチャーをクリップ／静止画と一緒に保存する

調整を行った画質設定で撮影して、クリップや静止画と一緒にカスタムピクチャーを保存することができます。また、クリップや静止画と一緒に保存したカスタムピクチャーを本機にコピーして再利用することもできます（📖 149、175）。画質設定の内容をあらわす静止画とカスタムピクチャーを一緒に保存すれば、カスタムピクチャーの管理に役立ちます。



① その他機能メニュー ➤「CPファイル付加」を順に選ぶ。
②「クリップへ」または「静止画へ」を選ぶ ➤ SETを押す。
③「入」を選ぶ ➤ SETを押す。

「クリップへ」を選んだとき

クリップ記録時、一緒にカスタムピクチャーが保存される。

「静止画へ」を選んだとき

静止画記録時、一緒にカスタムピクチャーが保存される。

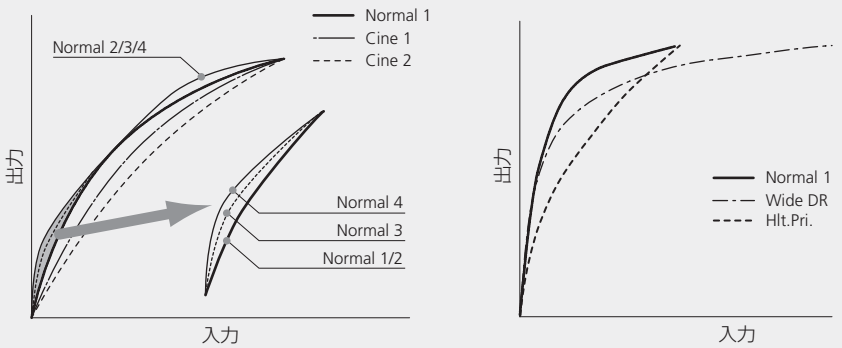
カスタムピクチャーの設定項目

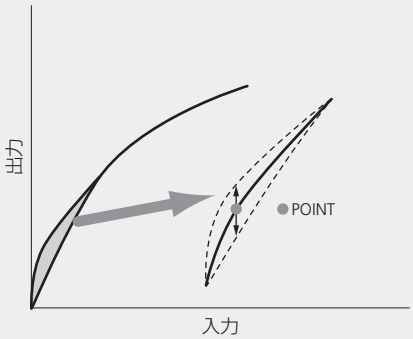
カスタムピクチャーで設定できる項目について説明します。初期設定は太字*で記載しています。

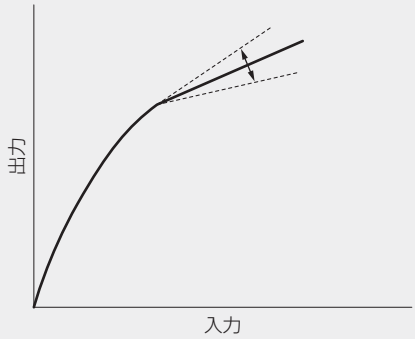
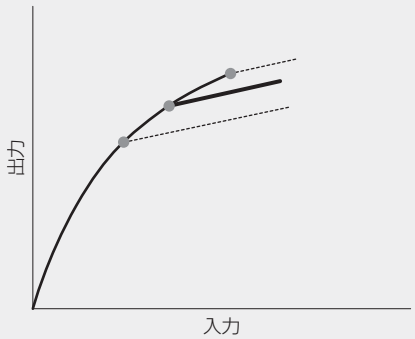
* カスタムピクチャーの選択（CPメニュー ➤ Select File）で「Off」を選んだときも太字の内容に設定されます。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Rename	カスタムピクチャー名		カスタムピクチャーの名前を英数字8文字で設定する。
Protect	—	Protect、 Unprotect	現在のカスタムピクチャーをプロテクトする。
Reset	—	**NEUTRAL**、 Wide DR、 Hlt.Pri.、 S/N Pri.、 VIDEO.C、 CINE.V、 CINE.F	現在のカスタムピクチャーの設定を、初期設定に戻す。 NEUTRAL：標準的な初期設定に戻す。 Wide DR：Wide DRガンマと、それに適した初期設定に戻す。 Hlt.Pri.：Hlt.Pri.（Highlight Priority）ガンマと、それに適した初期設定に戻す（📖 131）。 S/N Pri.：S/N優先画質の初期設定に戻す。 VIDEO.C：VIDEO.Cプリセットの初期設定に戻す。 CINE.V：CINE.Vプリセットの初期設定に戻す。 CINE.F：CINE.Fプリセットの初期設定に戻す。
Gamma（ガンマ） ガンマカーブを選択する	—	**Normal 1**、 Normal 2、 Normal 3、 Normal 4、 Cine 1、 Cine 2、 Wide DR、 Hlt.Pri.	画面全体のテイストを決めるガンマカーブを選択する。Normal 1 ～ Normal 4は、TVモニターで見ることを前提にしたガンマ。Normal 2は、Normal 1に対して高輝度部をより明るく撮影でき、Normal 3（ITU-R BT.709）とNormal 4は、順にNormal 2に対して低輝度部の黒の階調をより表現できる。Cine 1は、映画に近い質感や階調が得られるようなガンマ。Cine 2は、Cine 1に対してさらにソフトなコントラストで、映画表現に適したガンマ。Wide DRは、広いダイナミックレンジを確保しつつ、TVモニター出力を前提にしたガンマ。Hlt.Pri.は高輝度部を圧縮しないため、白飛びを抑えた自然な階調で撮影可能（📖 131）。

Gamma



設定項目	詳細項目	設定値	内容
Black（ブラック） 黒のレベル、黒の色かぶりを調整する	Master Pedestal	±50（**0**）	黒のレベルを調整する。値を高くするほど画像の暗い部分が明るくなり、コントラストが弱くなる。マイナスの値にすると、黒が沈む。
	Master Black Red Green Blue	 ±50（**0**） ±50（**0**） ±50（**0**）	黒の色かぶりをRGB個別に補正する。
Black Gamma （ブラックガンマ） 低輝度部のガンマを補正する ※ Gammaで「Wide DR」、「Hlt.Pri.」を選択時は無効。	Level	±50（**0**）	低輝度部のガンマを補正する。Level（基準ガンマからの高さ）、Range（幅）、Point（頂点の位置）の調整があり、各設定値を変えることで、図の範囲内で黒側のガンマカーブを調整する。 Black Gamma 
	Range	−5 ～ 50（**0**）	
	Point	−1 ～ 50（**0**）	
Low Key Satur. （ローキーサチュレーション）	Enable	On、**Off**	Onにすると、低輝度領域で色の濃い／薄いを調整できる。
	Level	±50（**0**）	EnableがOnのとき、低輝度領域の色の濃さ・薄さを設定する。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Knee（ニー） ニー（高輝度部に圧縮をかける機能）を調整する ※ Gammaで「Cine 1」、「Cine 2」、「Wide DR」、「Hlt.Pri.」を選択時は無効。	Enable	**On**、Off	高輝度部分に圧縮をかけて、とびの発生を抑える。AutomaticをOnにすると、白とびを抑えるように自動的にニーをかけ、Offにするとニーのかけかたを手動で調整できる。手動調整するときは、Slope（ニーの傾き）、Point（ニーポイント）、Saturation（ニーポイントより上の高輝度部における色の濃さ・薄さ）の各設定値を調整する。
	Automatic	**On**、Off	
	Slope	−35 ～ 50（**0**）	
	Point	50 ～ 109（**95**）	
	Saturation	±10（**0**）	
	Knee Slope  		Knee Point 
Sharpness（シャープネス） 出力信号、記録信号の輪郭強調を設定する	Level	−10 ～ 50（**0**）	輪郭強調のレベルを調整する。
	H Detail Freq.	±8（**0**）	水平の輪郭強調の中心周波数を設定する。値を大きくするほど周波数が高くなり、輪郭強調は細くなる。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Sharpness（シャープネス） 出力信号、記録信号の輪郭強調を設定する	Coring Level D-Ofst D-Curve D-Depth	 −30 ～ 50（**0**） **0** ～ 50 **0** ～ 8 ±4（**0**）	輪郭強調によって発生するノイズ成分を低減する（コアリング）。Level（コアリングのレベル）を大きくすると、微小な輪郭が強調されなくなり、ノイズを低減できる。また、輝度に応じてコアリングのレベルを変えることもできる（輝度適応コアリング）。最低輝度のコアリングレベルをD-Ofst（レベルディペンド-オフセット）で、LevelからD-Ofstまでの変化のしかたをD-Curve（レベルディペンド-カーブ）で設定する。D-Depth（レベルディペンドデプス）は倍率で、D-Ofstに掛け合わせることで輝度適応コアリングのレベルが決定される。D-Depthをプラスにすると、低輝度部のコアリングレベルが上がり、マイナスにすると低輝度部のコアリングレベルが下がる。
	HV Detail Bal.	±8（**0**）	輪郭強調の水平成分と垂直成分の比率を調整する。値を大きくすると垂直成分が大きくなり、値を小さくすると水平成分が大きくなる。
	Limit	±50（**0**）	輪郭強調の大きさを制限するレベルを調整する。
	Select	**0** ～ 15	Levelで設定した通常の輪郭強調に加えて、より高い周波数成分を含む輪郭強調をかけるときに設定する。数値が大きくなるほど高い周波数成分を含む輪郭強調のレベルが強くなる。通常の輪郭強調では鮮明になりにくい被写体に使用する。記録信号形式が720Pのときは無効。
	Knee Aperture Gain Slope	 **0** ～ 9 0 ～ 3（**1**）	ニーポイントより輝度が高い領域だけに輪郭強調をかける。Gainは輪郭強調の強さを、Slopeは輪郭強調の傾きを0（なし）、1（急） ～ 3（なだらか）の4段階で設定する。Gammaで「Cine 1」、「Cine 2」、「Wide DR」、「Hlt.Pri.」を選択時は無効。
	Level Depend Level Slope Offset	 **0** ～ 50 **0** ～ 3 **0** ～ 50	低輝度部分の輪郭強調を弱める。Levelは処理対象の低輝度部分の輝度を設定する。Slopeは低輝度と高輝度部との間の傾きを0（なし）、1（急） ～ 3（なだらか）の4段階で設定する。Offsetは低輝度部の輪郭強調のレベルを設定し、値を大きくするほど低輝度部の輪郭強調が弱められる。
Noise Reduction （ノイズリダクション） 一般的なノイズを低減する回路の設定を変更する	—	**Automatic**、 Off、 1 ～ 8	ノイズを低減するノイズフィルタを選択する。自動調整（Automatic）と手動調整（1 ～ 8）がある。手動調整は、数値が大きくなるほど、ノイズ低減効果が大きくなる。
Skin Detail （スキンディテール） 肌色部分のノイズを低減して肌を美しく撮影するための設定を行う	Effect Level	**Off**、Low、 Middle、High	肌色を検出して、きれいな肌を演出するためのフィルターを調整する。調整のレベルは、3段階で設定でき、Highがもっとも強く調整される。
	Hue	±16（**0**）	検出する肌色の設定は、Hue（色相）、Chroma（彩度）、Area（色相の幅）、Y Level（輝度レベル）をそれぞれ調整する。調整中、設定した肌色部分を検出すると、液晶画面またはファインダー上にゼブラパターンで表示する。
	Chroma	0 ～ 31（**16**）	
	Area	0 ～ 31（**16**）	
	Y Level	0 ～ 31（**16**）	

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Selective NR （セレクティブNR） 特定の色域を検出してノイズを低減する設定を行う	Effect Level	**Off**、Low、Middle、High	特定の色を検出して、その色の範囲を美しく演出するためのフィルターを調整する。調整のレベルは、3段階で設定でき、Highがもっとも強く調整される。
	Hue	0 ～ 31（**0**）	検出する色の設定は、Hue（色相）、Chroma（彩度）、Area（色相の幅）、Y Level（輝度レベル）をそれぞれ調整する。調整中、設定した色部分を検出すると、液晶画面またはファインダー上にゼブラパターンで表示する。
	Chroma	0 ～ 31（**16**）	
	Area	0 ～ 31（**16**）	
	Y Level	0 ～ 31（**16**）	
Color Matrix （カラーマトリックス） 映像の色調を調整する	Select	**Normal 1**、Normal 2、Normal 3、Normal 4、Cine 1、Cine 2、Wide DR、Hlt.Pri.	色調を選択する（通常はGammaと同じ設定にする）。選択した色調をより細かく調整するために、カラーゲイン、色相、マトリクスを設定できる。
	Gain	±50（**0**）	色の濃さを調整する。
	Phase	±18（**0**）	色相を調整する。
	R-G	±50（**0**）	シアンからグリーン、レッドからマゼンタの色調を調整する。
	R-B	±50（**0**）	シアンからブルー、レッドからイエローの色調を調整する。
	G-R	±50（**0**）	マゼンタからレッド、グリーンからシアンの色調を調整する。
	G-B	±50（**0**）	マゼンタからブルー、グリーンからイエローの色調を調整する。
	B-R	±50（**0**）	イエローからレッド、ブルーからシアンの色調を調整する。
	B-G	±50（**0**）	イエローからグリーン、ブルーからマゼンタの色調を調整する。
White Balance （ホワイトバランス） ホワイトバランスのシフト量を調整する	R Gain	±50（**0**）	赤色の濃淡を調整する。
	G Gain	±50（**0**）	緑色の濃淡を調整する。
	B Gain	±50（**0**）	青色の濃淡を調整する。
Color Correction （カラーコレクション） 特定の範囲の色調を補正する	Select Area	**Off**、Area A、Area B、Area A&B	補正する色の範囲をAエリアとBエリアの2種類設定できる。補正は、「Aエリアのみ」、「Bエリアのみ」、「Aエリア／ Bエリア両方」を選択できる。
	Area A Setting Phase Chroma Area Y Level	 **0** ～ 31 0 ～ 31（**16**） 0 ～ 31（**16**） 0 ～ 31（**16**）	補正する色の範囲（Aエリア）を設定する。Phase（色相）、Chroma（彩度）、Area（色相の幅）、Y Level（輝度レベル）をそれぞれ設定する。
	Area A Revision Level Phase	 ±50（**0**） ±18（**0**）	Aエリアの色の補正量を設定する。Levelは色の濃さ、Phaseは色相の補正量を設定する。

設定項目	詳細項目	設定値	内容
Color Correction （カラーコレクション） 特定の範囲の色調を補正する	Area B Setting Phase Chroma Area Y Level	 **0** ～ 31 0 ～ 31（**16**） 0 ～ 31（**16**） 0 ～ 31（**16**）	補正する色の範囲（Bエリア）を設定する。Phase（色相）、Chroma（彩度）、Area（色相の幅）、Y Level（輝度レベル）をそれぞれ設定する。
	Area B Revision Level Phase	 ±50（**0**） ±18（**0**）	Bエリアの色の補正量を設定する。Levelは色の濃さ、Phaseは色相の補正量を設定する。
Other Functions（その他） 上記のカテゴリーに属さないものを調整する	Setup Level Level Press	 ±50（**0**） On、**Off**	BlackのMaster Pedestalで設定した黒レベルに付加するセットアップを設定する。Levelはセットアップの調整量を設定する。Pressは、セットアップを付加することによって映像信号が100%を超えないように全体を圧縮する。
	Clip At 100%	On、**Off**	Onにすると、映像出力が100%を超えるときに白レベルを100%でクリップする。
	S/N Priority	On、**Off**	OnにするとS/Nを優先した画質になる。

MEMO

Hlt.Pri.ガンマを使用するとき

映像を本機の画面で見るときは「ビューアシスト」（📖 183）をONにし、外部のモニターで見るときはモニターの画面を明るくすることをおすすめします。

- RC-V100リモートコントローラー（別売）を接続すると、以下の設定をRC-V100から調整できます。
  RC-V100接続中は本機での調整はできません。
  - BlackのMaster Pedestal、Master Black Red/Blue
  - Black GammaのLevel
  - KneeのSlope、Point*
  - SharpnessのLevel
  - White BalanceのR Gain/B Gain

  * KneeのEnableがOnのときRC-V100で調整できます。

機能や表示をカスタマイズする CAMERA MEDIA

カメラモードで使用する機能をカスタマイズする「カスタムファンクション」と、撮影中の画面の表示項目をカスタマイズする「カスタムディスプレイ」とがあります。撮影スタイルや目的に合わせて、より使いやすいように設定することができます。設定した内容は、他のメニュー設定とともに設定データとしてカードに保存したり、カードから読み出して再利用したりすることができます（📖 133）。設定のしかたは通常のメニュー操作と同じです。

カスタムファンクションで設定できる項目

設定内容の詳細は、メニュー一覧のその他機能メニュー ➤「Custom Function」（📖 190）をご覧ください。

設定項目	内容
ショックレスGain	ゲインを切り換えたときの値が変化する速さを設定する。
ショックレスWB	ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させる。
AEレスポンス	AEの応答性を設定する。
Irisリミット	絞り（設定可能F値）の最大値を制限する。
I. Ring方向	アイリスリングの操作方向を設定する。
F. Ring操作	フォーカスリングの敏感度を設定する。
フォーカスアシストB&W	フォーカスアシスト機能（ピーキング、拡大表示）を使うときに、画面を自動的にモノクロにするかどうかを設定する。
被写体距離単位	マニュアルフォーカス（FULL MF、MF）時に表示する被写体との距離情報の単位を設定する。
Zoom表示	ズーム表示のしかた（ズームバー、数値）を設定する。
ZR-2000 AE SHIFT	ズームリモートコントローラー ZR-2000（別売）からの操作で、AEレベル調整を行うかアイリス調整を行うかを設定する。
スキャンリバース記録	記録する映像を上下左右、上下、左右のいずれかに反転させるかどうかを設定する。
表示文字記録	画面上に表示さている文字やアイコンなどを映像と一緒に記録（表示文字記録）するかどうかを設定する。

カスタムディスプレイで設定できる項目

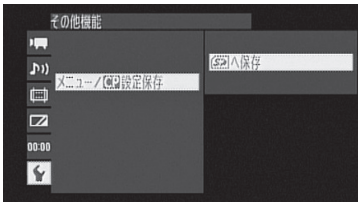
カスタマイズ可能な表示項目については、「撮影時の画面表示」（📖 52）を、設定内容の詳細は、LDC/VF設定メニュー ➤「Custom Display」（📖 184）をご覧ください。

設定データの保存と読み出し CAMERA MEDIA

メニューやカスタムピクチャーで行った各種の設定情報を設定データとしてSDカードに保存することができます。設定データは、必要に応じて本機に読み出して再利用できます。複数のカメラを同じ設定にするときに便利です。

設定データをSDカードに保存する

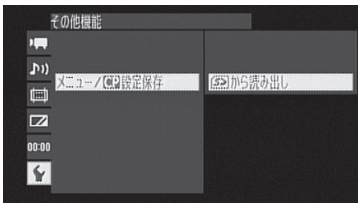
メニュー設定やカスタムピクチャーを設定データとしてSDカードに保存します。



① その他機能メニュー ➤「メニュー /CP設定保存」➤「SDへ保存」を順に選ぶ。
② 「メニュー」または「メニュー +CP」を選ぶ ➤ SETを押す。
メニュー： メニュー設定のみ。
メニュー +CP ： メニュー設定とカスタムピクチャー（本機に保存されている9セット）。
③ 「実行」を選び、SETを押す。
● 現在のメニュー設定やカスタムピクチャーが、設定データとしてSDカードに保存される。
④ SETを押す。

設定データをSDカードから読み込む

SDカードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。



① その他機能メニュー ➤「メニュー /CP設定保存」➤「SDから読み出し」を順に選ぶ。
② 「メニュー」または「メニュー +CP」を選ぶ ➤ SETを押す。
メニュー： メニュー設定のみ。
メニュー +CP ： メニュー設定とカスタムピクチャー（本機に保存されている9セット）。
③ 「実行」を選び、SETを押す。
● メニュー設定やカスタムピクチャーが、SDカードから読み込んだ設定データの内容に設定される。
● 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニューは消える）。

設定データの内容を確認する

設定データには、メニューやカスタムピクチャーの設定内容を記述したテキストファイルが含まれます。設定データを保存したSDカードを、パソコンに接続したカードリーダー（市販）などに入れて、「CAMSET ¥CAMSET.TXT」を開くと、設定内容を確認することができます。

MEMO
● 設定データは、XF300とXF305の間で相互に読み込んで使用することができます。
● 設定データをSDカードから読み込むとき、本機にプロテクトされたカスタムピクチャーがあっても、上書きされます。

MEMO

5 再　生

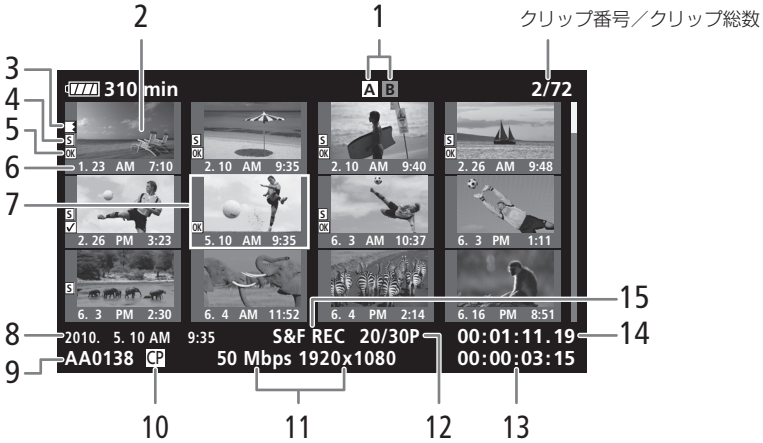
クリップを再生する..... 136
クリップを操作する..... 142

クリップを再生する CAMERA MEDIA

ここでは、撮影した映像（クリップ）の再生について説明します。外部のモニターに接続して再生するときは、「接続」（📖 155）をご覧ください。

インデックス画面

POWER（電源）スイッチを押しながら「MEDIA」側にする（📖 26）と本機がメディアモードで起動し、CFカードに記録されているクリップのサムネイル（縮小画）がインデックス画面に表示されます（オリジナルインデックス画面）。



8 ～ 15には、選択しているクリップの情報が表示されます。

1 現在選択しているCFカード（ハイライト表示）

2 クリップのサムネイル
- サムネイルとしてクリップの代表画が表示される。代表画は変更することもできる（📖 153）。

3 リレー記録マーク
- 記録中にメディアが切り換わった場合、切り換わり前後のクリップに表示される。

4 ショットマーク
- ショットマーク1またはショットマーク2が付加されているときに表示される。

5 OKマーク／チェックマーク
- OKマークまたはチェックマークが付加されているときに表示される。

6 収録日（月日）と記録開始時間

7 カーソル（オレンジ色の枠）

8 収録日（年月日）と記録開始時間

9 クリップ名

10 カスタムピクチャー
- カスタムピクチャーが一緒に記録されているときのみ表示される。

11 ビットレートと解像度

12 フレームレート

13 記録時間

14 代表画のタイムコード

15 特殊撮影情報
- 特殊撮影（インターバル記録、フレーム記録、スロー &ファーストモーション記録、プレ記録）で記録されたクリップのときに、そのモード名が表示される。
- スロー &ファーストモーション記録で記録されたクリップのときは、「撮影フレームレート／再生フレームレート」が表示される。

CFカードを切り換える

両方のCFカードスロットにCFカードを入れているときは、SLOT SELECT（スロット選択）ボタンを押して、再生するCFカードを切り換えることができます（📖 45）。

インデックス画面を切り換える

インデックス画面に表示する内容を選んで、インデックス画面を切り換えることができます。次の3種類のインデックス画面に切り換えることができます。

OK Mark Index（OKマークインデックス画面）：
選択中のCFカードに記録されているクリップのうち、OKマークが付加されたクリップのみを表示する。

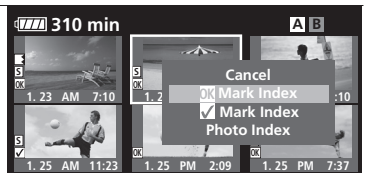
☑ Mark Index（チェックマークインデックス画面）：
選択中のCFカードに記録されているクリップのうち、チェックマークが付加されたクリップのみを表示する。

Photo Index（静止画インデックス画面）：
選択中のSDカードに記録されている静止画のみを表示する。

1 INDEX（インデックス）／POWER SAVE（パワーセーブ）ボタンを押す

- インデックスメニューが表示される。

2 ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して、切り換えたいインデックス画面を選ぶ ➤ SETを押す



- 選んだインデックス画面に切り換わる。

切り換えを中止するとき

CANCELを押す。

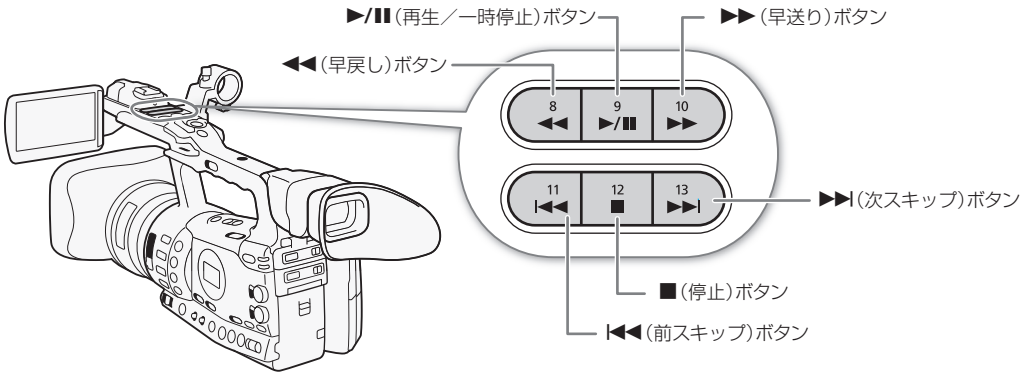
オリジナルインデックス画面に戻るとき

INDEX（インデックス）／POWER SAVE（パワーセーブ）ボタンを押す。

再生

■ 再生する

インデックス画面で選んだクリップを再生します。再生にはハンドル上の各種再生操作ボタンを使用します。



1 ジョイスティックを上下左右に押すかSELECTダイヤルを回して、再生するクリップを選ぶ

- ジョイスティックまたはSELECTダイヤルを操作すると、インデックス画面上のカーソル（オレンジ色の枠）が移動するので、再生したいクリップに合わせる。

2 ►/II（再生／一時停止）ボタンを押す

- 再生が始まる。
- 再度、►/II（再生／一時停止）ボタンを押すと再生一時停止となる。
- 選んだクリップの再生が終わると、自動的に次のクリップが再生される。最後のクリップの再生が終わると、最後のクリップの最終フレームで再生一時停止となる。

再生を終えるとき

■（停止）ボタンを押す。

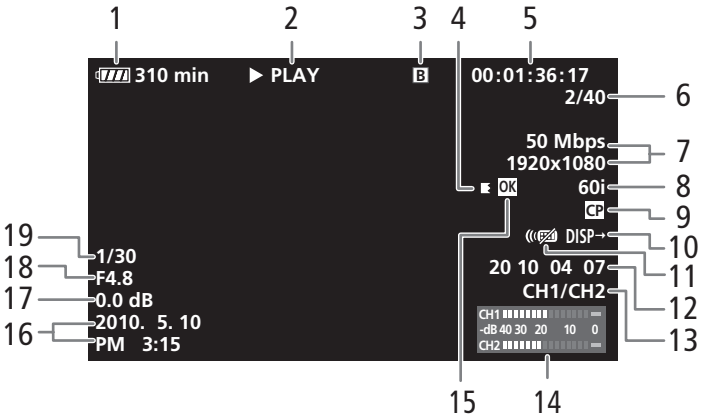
ご注意　アクセスランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。

- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- アクセスしているCFカードスロットのカードカバーを開けない。

MEMO

- リップが切り換わるときに映像と音声が途切れることがあります。
- Hlt.Pri.ガンマを使用して撮影した映像を本機の画面で見るときは、ビューアシスト（📖 183）を「入」にしてください。

再生時の画面表示



1 バッテリー残量の目安 ▶▶ 📖 52

2 再生状況

▶ PLAY	再生中
❚❚ PAUSE	再生一時停止中
❚❚▶	コマ送り
◀❚❚	コマ戻し
F FWD x5 ▶▶	早送り（5倍速）
F FWD x15 ▶▶	早送り（15倍速）
F FWD x60 ▶▶	早送り（60倍速）
◀◀F REV x5	早戻し（5倍速）
◀◀F REV x15	早戻し（15倍速）
◀◀F REV x60	早戻し（60倍速）

3 CFカード ▶▶ 📖 45

4 リレー記録 ▶▶ 📖 45

リレー記録が発生したクリップに表示される。リレーが発生したときの位置によって、◤（先頭）、◆（中間）、◥（終端）がある。

5 タイムコード ▶▶ 📖 87

6 クリップ番号／クリップ総数

7 ビットレートと解像度 ▶▶ 📖 56

8 フレームレート ▶▶ 📖 56

9 カスタムピクチャー ▶▶ 📖 120

カスタムピクチャーが一緒に記録されているクリップのとき表示される。

10 画面表示出力 ▶▶ 📖 159

11 リモコン ▶▶ 📖 37

12 ユーザービット ▶▶ 📖 90

13 音声出力チャンネル ▶▶ 📖 160

14 レベルメーター

15 OKマーク／チェックマーク ▶▶ 📖 145

16 収録日と記録開始時間*1

17 ゲイン*2 ▶▶ 📖 65

18 F値*2 ▶▶ 📖 71

19 シャッタースピード*2 ▶▶ 📖 68

*1 LCD/VF設定メニュー ➤「メタデータ表示」の「日付/時刻」が「入」のときに表示される。
*2 LCD/VF設定メニュー ➤「メタデータ表示」の「カメラデータ」が「入」のときに表示される。

さまざまな再生

早送りや早戻し、スロー再生、コマ送り、スキップ再生などの再生方法があります。

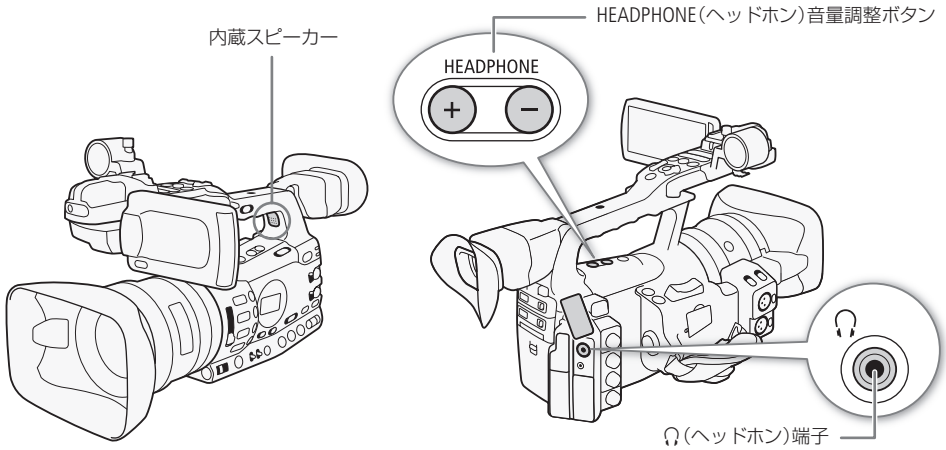
機　能	操　作			説　　明
		本体	リモコン	
早送り*1	再生中に	▶▶		押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約60倍に切り換わる。*2
早戻し*1	再生中に	◀◀		
コマ送り	一時停止中に	—		押すたびに1コマ進む。押し続けると連続してコマごとに進む。
コマ戻し*3	一時停止中に	—		押すたびに1コマ戻る。押し続けると連続してコマごとに戻る。
スキップ再生	再生中に	▶▶|		次のクリップの先頭から再生。
	再生中に	|◀◀		現在のクリップの先頭から再生。
	再生中に 2回押す	|◀◀		前のクリップの先頭から再生。

*1 操作中、画面が乱れることがあります。
*2 画面に出る倍速表示は目安です。
*3 コマの間隔はコマ送りのときより長くなり、解像度／フレームレートが720/60Pまたは720/24Pのときは0.2秒、それ以外のときは0.5秒です。

MEMO
- 特殊再生中は音声が聞こえません。
- 早送りや早戻し中に▶/❚❚ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

音声を聞く

通常の再生中は、音声を内蔵スピーカー（モノラル）またはヘッドホンで聞くことができます。🎧（ヘッドホン）端子にヘッドホンを接続すると内蔵スピーカーはOFFになります。



ヘッドホンの音量を調整する

ヘッドホンの音量はHEADPHONE（ヘッドホン）音量調整ボタンで調整できます。

内蔵スピーカーの音量を調整する

内蔵スピーカーの音量は、オーディオ設定メニュー ➤「Audio Output」の「Speaker音量」で調整できます。

MEMO　モニターするチャンネルの選択については、「音声出力を選択する」（📖 160）をご覧ください。

再生中にショットマークを付加する

再生中や再生一時停止中にショットマーク（1または2）を付加することができます。アサインボタンに「Shot Mark 1追加」または「Shot Mark 2追加」を割り当て、再生中または再生一時停止中に押します。ショットマーク1は、リモコンのSHOT1ボタンを押して付加することもできます。

例：アサイン5ボタンに「Shot Mark 1追加」を割り当てて、ショットマークを付加する場合

1 アサイン5ボタンに「Shot Mark 1追加」を割り当てる（📖 118）

2 再生中　または　再生一時停止中
ショットマークを付加したいシーンでアサイン5ボタンを押す

- 「Shot Mark 1」が表示され、ショットマーク1が付加される。
- 再生中にショットマークを付加すると再生一時停止になる。
- ショットマークを付加したクリップには、インデックス画面でSが表示される。

MEMO
- 1つのクリップに付加できるショットマークは、ショットマーク1とショットマーク2を合わせて100個までです。
- ボタンを押した時点のフレームとショットマークを付加するフレームは、最大0.5秒程度ずれることがあります。

クリップを操作する CAMERA MEDIA

クリップ単位の操作や情報表示を行うときは、クリップメニューを使用します。クリップメニューは動画の各種インデックス画面で表示することができ、それぞれの画面に応じた機能を選ぶことができます。また、すべてのクリップに対する操作は、その他機能メニューから行うことができます。

クリップメニュー一覧

メニュー項目	内容	インデックス画面					📖
		オリジナル	OKマーク	チェックマーク	ショットマーク	エクスパンド	
Cancel	クリップメニューを消す。	●	●	●	●	●	—
クリップ情報表示	クリップ情報画面を表示する。	●	●	●			144
OK Mark追加	OKマークを付加する。	●*1					145
OK Mark消去	OKマークを消去する。		●				146
☑Mark追加	チェックマークを付加する。	●*1					145
☑Mark消去	チェックマークを消去する。			●			146
クリップコピー	クリップを別のCFカードにコピーする。	●	●				146
クリップ消去	クリップを消去する。	●		●			148
Shot Mark	ショットマーク1またはショットマーク2が付加されたフレームだけをショットマークインデックス画面に表示する。	●	●	●			150
Shot Mark 1	ショットマーク1が付加されたフレームだけをショットマークインデックス画面に表示する。	●	●	●			
Shot Mark 2	ショットマーク2が付加されたフレームだけをショットマークインデックス画面に表示する。	●	●	●			
エクスパンドクリップ	エクスパンドインデックス画面に切り換える。	●	●	●			151
User Memo消去	クリップに付加されているユーザーメモ／ GPS情報を消去する。	●	●	●			149
CP ファイルコピー	カスタムピクチャーを本機にコピーする。	●	●	●			149
Shot Mark 1追加 / Shot Mark 1消去	ショットマーク1を付加／消去する。				●*2	●*2	152
Shot Mark 2追加 / Shot Mark 2消去	ショットマーク2を付加／消去する。				●*2	●*2	
表示間隔＋	エクスパンドインデックス画面で、時間間隔をより粗くする。					●	151
表示間隔－	エクスパンドインデックス画面で、時間間隔をより細かくする。					●	
一時停止	選んだフレームの再生一時停止状態にする。				●	●	—
代表画設定	フレームをクリップの代表画に設定する。				●	●	153

*1 クリップにOKマーク／チェックマークが既に付加されているときは、「消去」になる。
*2 ショットマークの付加状態によって、表示される項目が変わる。

■ クリップメニューで操作する

例：オリジナルインデックス画面でクリップにOKマークを付加する場合

1 操作するクリップを選ぶ

2 SETを押す

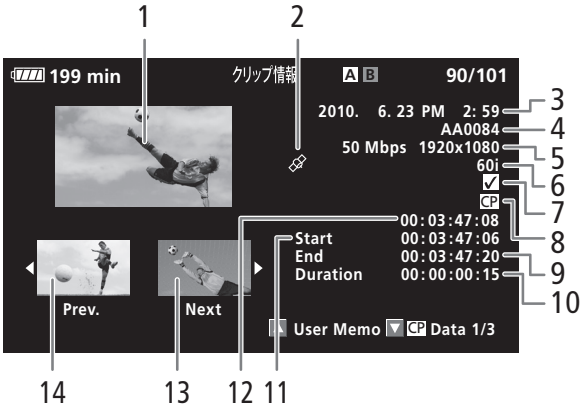
- クリップメニューが表示される。選択できる機能は、表示している画面や選択しているクリップによって変わる。

3 OKマークを付加する

① 「OK Mark追加」を選ぶ ➤ SETを押す。
② 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップにOKマークが付加され、サムネイルの左にOKが表示される。

■ クリップの詳細情報を表示する

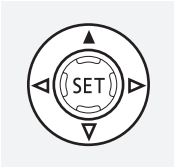
クリップメニューで「クリップ情報表示」を選択すると、クリップ情報画面が表示されます。クリップ情報画面でジョイスティックを左右に押すと、前／次のクリップに移動します。CANCELを押すと元の画面に戻ります。



1 選択しているクリップのサムネイル（縮小画）
2 GPS情報マーク（📖 185）
3 撮影開始日時
4 クリップ名
5 ビットレートと解像度
6 特殊記録情報／フレームレート
- 特殊記録されたクリップのときは、「INT REC」、「FRM REC」、「S&F REC」、「PRE REC」のいずれかが表示される。
- スロー＆ファーストモーション記録で記録したクリップのときは、フレームレートの表示が「撮影フレームレート／再生フレームレート」になる。

7 OKマーク／チェックマーク
8 カスタムピクチャー
9 記録終了フレームのタイムコード
10 収録時間
11 記録開始フレームのタイムコード
12 表示されているクリップの代表画のタイムコード
13 次のクリップのサムネイル
14 前のクリップのサムネイル

クリップに付加されているユーザーメモを表示する



クリップ情報画面でジョイスティックを上に押すかSELECTダイヤルを上に回すと、クリップに付加されているユーザーメモを表示することができます。ジョイスティックを下に押すかSELECTダイヤルを下に回すと、クリップ情報画面に戻ります。

クリップと一緒に記録されているカスタムピクチャーを表示する

カスタムピクチャーが一緒に記録されているクリップのときは、クリップ情報画面でジョイスティックを下に押すかSELECTダイヤルを下に回すと、カスタムピクチャーの設定内容を表示することができます。設定内容は3つの画面に分かれており、下に押す（回す）たびに「CP Data 1/3」→「CP Data 2/3」→「CP Data 3/3」→「User Memo」→「クリップ情報」のように切り換わります。

OKマーク／チェックマークを付加する

クリップにOKマーク／チェックマークを付加しておくと、OKマーク／チェックマークが付加されたクリップだけをインデックス画面に表示することができます。また、OKマークが付加されたクリップは、本機での消去が禁止されるため、重要なクリップを保護することができます。

クリップにOKマーク／チェックマークを付ける

選択したクリップにOKマークまたはチェックマークを付けることができます。

① マークを付けるクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「OK Mark追加」または「☑Mark追加」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップにOKマークが付加され、サムネイルの左にOKが表示される。
- 「☑Mark追加」を選んだときは、チェックマークが付加され、サムネイルの左に☑が表示される。

MEMO
- アサインボタンに「OK Mark追加」または「☑Mark追加」を割り当てれば、インデックス画面やクリップの再生中／再生一時停止中にOKマーク／チェックマークを付加することもできます。
- OKマークとチェックマークは同じクリップに同時に付加することができないため、OKマークが付加されたクリップにチェックマークを付加すると、OKマークは解除されます。チェックマークが付加されたクリップにOKマークを付加したときも同様に、チェックマークが解除されます。

OKマーク／チェックマークを消去する

1つのクリップのOKマーク／チェックマークを消去する

すでにOKマークまたはチェックマークが付加されたクリップから、OKマークまたはチェックマークを消去することができます。

① マークを消去するクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「OK Mark消去」または「☑Mark消去」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップのOKマークまたはチェックマークが消去される。

すべてのクリップのOKマークをまとめて消去する

① その他機能メニュー ➤「OK Marks全消去」を順に選ぶ。
②「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択しているCFカードに記録されているすべてのクリップから、OKマークが消去される。

中止するとき

CANCELを押す。

③ SETを押す。

クリップをコピーする

CFカードに記録されたクリップを、もう一方のスロットのCFカードにコピーすることができます。コピー先のCFカードには同じクリップ名でコピーされます。

1つのクリップをコピーする

① コピーするクリップを選ぶ
② クリップメニュー ➤「クリップコピー」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップがもう一方のCFカードスロットのCFカードにコピーされる。

中止するとき

CANCELを押す。

④ SETを押す。

すべてのクリップをコピーする

① その他機能メニュー ➤「クリップ」➤「全クリップコピー」を順に選ぶ。
② 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択しているCFカードに記録されているすべてのクリップが、もう一方のスロットのCFカードにまとめてコピーされる。

中止するとき

CANCELを押す。

③ SETを押す。

OKマークが付加されたクリップをまとめてコピーする

① その他機能メニュー ➤「クリップ」➤「OKクリップコピー」を順に選ぶ。
② 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択しているCFカードに記録されているクリップのうち、OKマークが付加されているクリップが、もう一方のスロットのCFカードにまとめてコピーされる。

中止するとき

CANCELを押す。

③ SETを押す。

ご注意 アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- アクセスしているCFカードスロットのカードカバーを開けない。

MEMO
- CFカードカバーが開いていると、コピーは行えません。
- コピー先のCFカードに同じクリップ番号*のクリップがあるときは、次に大きなクリップ番号のクリップ名に変更されます。* クリップ名の4桁の数字。

クリップを消去する

CFカードに記録されたクリップを消去することができます。OKマークが付加されたクリップは消去できません。消去するときは、先にOKマークを消去する必要があります。

1つのクリップを消去する

① 消去するクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「クリップ消去」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップが消去される。
- OKマークが付加されたクリップは消去されない。
- クリップの消去は中止できない。

④ SETを押す。

すべてのクリップを消去する

① その他機能メニュー ➤「クリップ」➤「全クリップ消去」を順に選ぶ。
②「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択しているCFカードに記録されているすべてのクリップが消去される。
- OKマークが付加されたクリップは消去されない。

中止するとき

CANCELを押す。

③ SETを押す。

ご注意 アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- アクセスしているCFカードスロットのカードカバーを開けない。

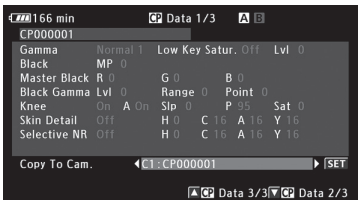
■ クリップに付加されているユーザーメモ／ GPS情報を消去する

選択したクリップに付加されているユーザーメモ／ GPS情報を消去することができます。

① ユーザーメモ／ GPS情報を消去するクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「User Memo消去」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップに付加されているユーザーメモ／ GPS情報が消去される。

■ カスタムピクチャーをコピーする

選択したクリップと一緒に記録されているカスタムピクチャーを、本機にコピーすることができます。



① カスタムピクチャーをコピーするクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「CP ファイルコピー」を順に選ぶ。
- CP Data 1/3画面に切り換わり、カスタムピクチャーの設定内容が表示される。
- CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押しても、CP Data 1/3画面を表示できる。
- ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回すと、CP Data 2/3画面またはCP Data 3/3画面に切り換わり、その他の設定内容が表示される。

③ ジョイスティックを左右に押して、コピー先のカスタムピクチャーを選ぶ ➤ SETを押す。
- 「C1」～「C9」からコピー先を選ぶ。

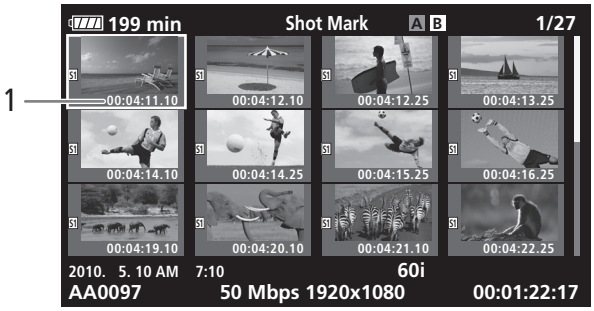
④「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップと一緒に記録されているカスタムピクチャーがコピーされる。

⑤ SETを押す。

MEMO
- プロテクトされたカスタムピクチャーをコピー先に選択することはできません。
- カスタムピクチャーのC7 ～ C9は初期状態ではプロテクトされています。

ショットマークインデックス画面を表示する

クリップにショットマーク（1または2）が1つ以上付加されている場合、ショットマークが付加されているフレームだけを抜き出して、インデックス画面に表示することができます。ショットマークインデックス画面では、選択したフレームから再生する、選択したフレームにショットマークを付加･消去する、選択したフレームをクリップの代表画に設定する、などの操作を行うことができます。ショットマーク画面インデックスには、「ショットマーク1と2の両方」、「ショットマーク1のみ」、「ショットマーク2のみ」の3種類の表示方法があります。



1 ショットマークが付加されているフレームのタイムコード

① ショットマークインデックス画面を表示するクリップを選ぶ。
② クリップメニュー ➤「Shot Mark」、「Shot Mark 1」、「Shot Mark 2」のいずれかを順に選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだクリップのショットマークインデックス画面が表示され、メニューで選んだショットマーク種別のフレームだけが、サムネイル表示される。

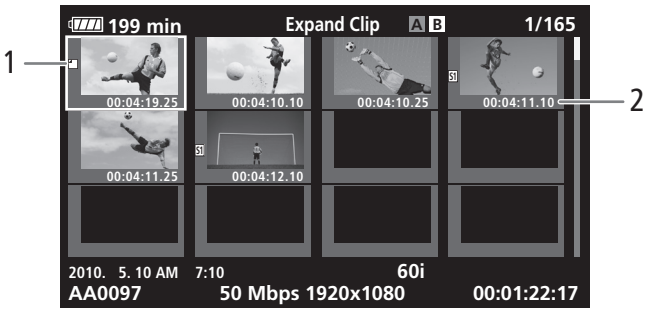
元のインデックス画面に戻るとき

INDEX（インデックス）／POWER SAVE（パワーセーブ）ボタンを押す。

MEMO ショットマークインデックス画面から再生すると、ショットマークインデックス画面は解除されます。再生停止後は、ショットマークインデックス画面を表示する前のインデックス画面に戻ります。

エクスパンドインデックス画面を表示する

クリップを一定の時間ごとに分割してインデックス画面に表示することができます。収録時間の長いクリップの中から目的のシーンをすばやく探したいときに便利です。分割の時間間隔は、メニューで、「より細かく（表示間隔ー）」または「より粗く（表示間隔＋）」を指定することで変更できます。エクスパンドインデックス画面では、選択したフレームから再生する、選択したフレームにショットマークを付加･消去する、選択したフレームをクリップの代表画に設定する、などの操作を行うことができます。



1 代表画アイコン（代表画に設定されているフレームに表示される）

2 サムネイルを表示しているフレームのタイムコード

① エクスパンドインデックス画面を表示するクリップを選ぶ。

② クリップメニュー ➤「エクスパンドクリップ」を順に選ぶ ➤ SETを押す。

- 選んだクリップのエクスパンドインデックス画面が表示される。

③ 必要に応じて、クリップメニュー ➤「表示間隔ー」または「表示間隔＋」を選ぶ ➤ SETを押す。

- 時間間隔が、より細かくまたはより粗くなる。

元のインデックス画面に戻るとき

INDEX（インデックス）／POWER SAVE（パワーセーブ）ボタンを押す。

MEMO エクスパンドインデックス画面から再生すると、エクスパンドインデックス画面は解除されます。再生停止後は、エクスパンドインデックス画面を表示する前のインデックス画面に戻ります。

ショットマークを付加／消去する

ショットマークインデックス画面またはエクスパンドインデックス画面でサムネイル表示されているフレームに、ショットマーク（1または2）を付加したり、付加されているショットマークを消去したりすることができます。

ショットマークを付加する

例：「ショットマーク2」を付加する場合

① ショットマークインデックス画面またはエクスパンドインデックス画面でフレーム（サムネイル）を選ぶ。
② クリップメニュー ➤「Shot Mark 2追加」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだフレームに対して、ショットマーク2が付加され、サムネイルの左に2が表示される。

ショットマークを消去する

例：「ショットマーク1」を消去する場合

① ショットマークインデックス画面またはエクスパンドインデックス画面でフレーム（サムネイル）を選ぶ。
② クリップメニュー ➤「Shot Mark 1消去」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだフレームに付加されているショットマーク1が消去される。
- ショットマークを消去したことにより、そのフレームが、現在表示しているショットマークインデックス画面の表示条件を満たさなくなったときは、インデックス画面に表示されなくなる（例：ショットマーク1のインデックス画面で、ショットマーク1を消去したときなど）。

MEMO
- ショットマークの付加は、アサインボタンに「Shot Mark 1追加」または「Shot Mark 2追加」を割り当てて操作してもできます。また、ショットマーク1は、リモコンの「SHOT 1」ボタンを押して付加することもできます。
- 1つのクリップに付加できるショットマークは、ショットマーク1とショットマーク2を合わせて100個までです。
- ボタンを押した時点のフレームとショットマークを付加するフレームは、最大0.5秒程度ずれることがあります。

■ クリップの代表画を設定する

ショットマークインデックス画面またはエクスパンドインデックス画面で選択したフレームを、クリップの代表画に設定することができます。

① ショットマークインデックス画面またはエクスパンドインデックス画面でフレーム（サムネイル）を選ぶ。
② クリップメニュー ➤「代表画設定」を順に選ぶ ➤ SETを押す。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選んだフレームが、そのクリップの代表画に設定され、サムネイルの左に◰が表示される。

MEMO 先頭以外のフレームを代表画に設定しても、オリジナルインデックス画面でクリップを再生するときは先頭フレームから再生されます。

MEMO

6 接　続

出力信号形式 156
外部モニターを接続する 157
音声出力を選択する 160
クリップをパソコンに保存する..... 162

出力信号形式 CAMERA MEDIA

HD/SD SDI端子（XF305）、HDMI® OUT端子、HD/SD COMPONENT OUT端子からの出力は、記録・再生の映像信号形式とメニューの設定によって切り換わります*。コンポジット出力端子（AV端子、VIDEO 2端子）からは480/60i形式で出力されます。

* HDMI OUT端子の場合は、接続した外部モニターの能力によって変わります。

映像信号形式と出力信号形式

映像信号形式と各端子から出力される信号形式は、次の表のとおりです。映像に画面表示を重畳することもできます。

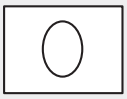
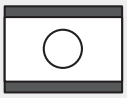
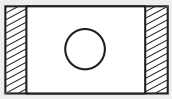
映像信号形式（解像度／フレームレート）	XF305 HD/SD SDI端子*1*2*3		HDMI OUT端子*2*3*4		HD/SD COMPONENT OUT端子*2*3*5		コンポジット出力端子*2
	HD出力	SD出力	HD出力	SD出力	HD出力	SD出力	SD出力
1080/60i 1080/30P 1080/24P 1080/S&F Frame Rate	1080/60i	480/60i*6	1080/60i	480/60P	1080/60i	480/60i	480/60i
720/60P 720/30P 720/24P 720/S&F Frame Rate	720/60P	480/60i*6	720/60P	480/60P	720/60P	480/60i	480/60i

*1 ビデオ設定メニューの「SDI Output」で、「HD」、「SD」、「切」を切り換える。
*2 ビデオ設定メニューの「HDオンスクリーン表示」または「SDオンスクリーン表示」を「入」に設定すると、画面表示を重畳することができる。
*3 LCD/VF設定メニュー ➤ 「Zebra」の「HD Output」を「入」にすると、ゼブラパターンを出力できる。HD/SD SDI端子またはHD/SD COMPONENT OUT端子の出力をSDに設定している場合、ゼブラパターンを出力すると一時的にHD出力になる。
*4 接続したモニターの能力に応じて自動的に、HD出力/SD出力が切り換わる。
*5 ビデオ設定メニューの「Component Output」で、「HD」、「SD」を切り換える。
*6 HDMI OUT端子がSD（480/60P）出力のときは、HD/SD SDI端子からもSD（480/60P）の信号が出力される。

MEMO XF305 HDMI OUT端子に接続していると、HD/SD SDI端子からの出力はHDMI OUT端子と同じ信号形式になります。

SD出力時の表示方式

アスペクト比が16:9のHD映像を4:3のSD映像にダウンコンバートして出力するときの表示方式は、次の3種類があり、ビデオ設定メニューの「SD Output」で選択します。

スクイーズ	レターボックス	サイドクロップ
		
16:9の映像を左右方向に縮小して4:3にする*。	16:9の映像の上下に黒い帯を追加して4:3にする。	16:9の映像の両端を切り取って4:3にする

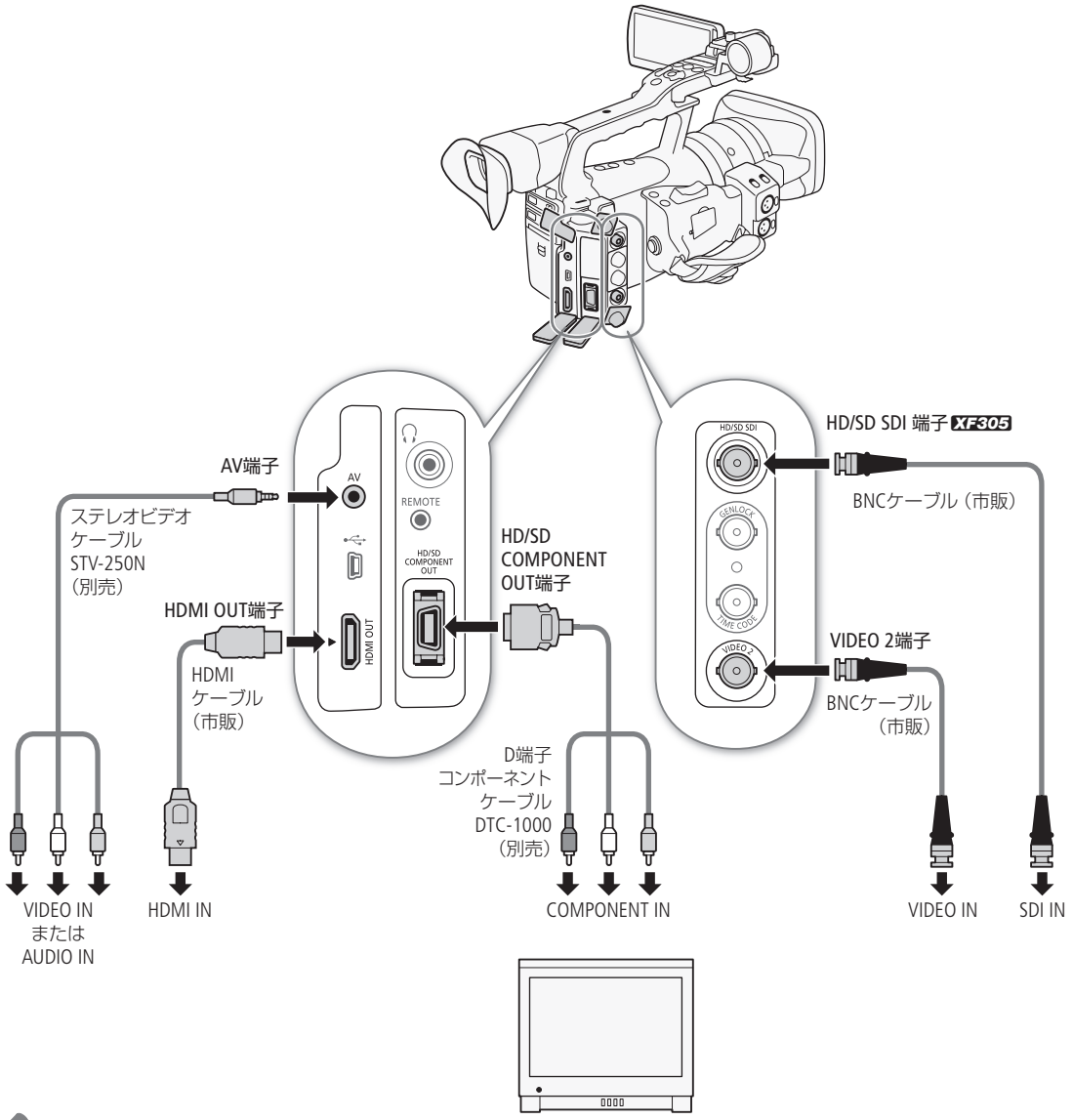
* 接続した外部モニターが16:9のときは、正常なアスペクト比で出力される。

外部モニターを接続する CAMERA MEDIA

撮影・再生映像を外部モニターに表示するときは、外部モニターに応じて使用する端子を決めて本機と外部モニターを接続したあと、使用する端子の出力信号形式をメニューで設定します（参考 ➤「出力信号形式」（📖 156））。映像は、各映像出力端子に同時に出力することができます。

接続のしかた

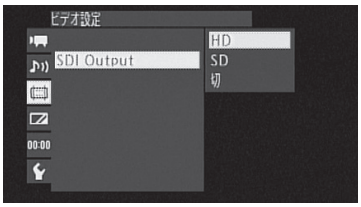
本機と外部モニターを接続します。HD/SD COMPONENT OUT端子を使用する場合、音声を出力するときは、AV端子と外部モニターの音声入力端子をステレオビデオケーブルSTV-250N（別売）で接続してください。



MEMO
- ACアダプターを使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。
- Hlt.Pri.ガンマを使用して撮影した映像を外部モニターの画面で見るときは、モニターの画面を明るくすることをおすすめします。

HD/SD SDI端子を使用する XF305

HD/SD SDI端子から出力される映像信号には、オーディオ信号とタイムコード信号が重畳されます。HD/SD SDI端子を使用するときは、ビデオ設定メニューの「SDI Output」で、「HD」または「SD」を選びます。画面表示を重畳することもできます（📖 159）。HD/SD SDI端子を使用しないときは、ビデオ設定メニューの「SDI Output」を「切」にするとバッテリーの持ちが良くなります。



① ビデオ設定メニュー ➤「SDI Output」を順に選ぶ。
② 「HD」または「SD」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ 「SD」を選んだとき　SD出力の表示方式を選ぶ

参考 ➤➤「コンポジット出力端子を使用する」（📖 159）

SDI出力を使用しないとき

②で「切」を選ぶ。

HDMI OUT端子を使用する

HDMI OUT端子を使用すると、映像と音声をデジタル信号で出力することができます。接続した外部モニターの能力に合わせて、HD出力とSD出力が自動的に切り換わります。HDMI OUT端子の出力に画面表示を重畳することもできます（📖 159）。

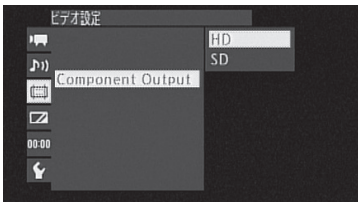
MEMO

- SD出力の表示方式は、「スクイーズ」、「レターボックス」、「サイドクロップ」のいずれかをメニューで選択できます（📖 156）。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、他の端子を使って接続してください。

HD/SD COMPONENT OUT端子を使用する

HD/SD COMPONENT OUT端子は、HD映像をアナログ信号で出力することができます。使用するときは、メニューでHD出力またはSD出力を切り換えます。HD/SD COMPONENT OUT端子の出力に、画面表示を重畳することもできます（📖 159）。

HD出力またはSD出力を選ぶ

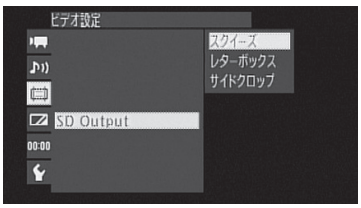


① ビデオ設定メニュー ➤「Component Output」を順に選ぶ。
② 「HD」または「SD」を選ぶ ➤ SETを押す。
③ 「SD」を選んだとき　SD出力の表示方式を選ぶ

参考 ➤➤「コンポジット出力端子を使用する」（📖 159）

コンポジット出力端子を使用する

コンポジット出力端子（AV端子、VIDEO 2端子）からは、ダウンコンバートされたSDアナログコンポジット信号を出力します。また、AV端子からは音声も出力されます。コンポジット出力端子（AV端子、VIDEO 2端子）から出力される映像の表示方式（📖 156）は、「スクイーズ」、「レターボックス」、「サイドクロップ」のいずれかをメニューで選択できます。

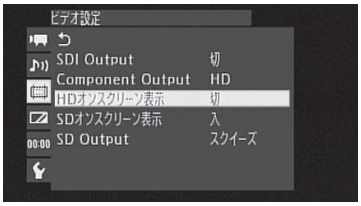


① ビデオ設定メニュー ➤「SD Output」を順に選ぶ。
② 「スクイーズ」、「レターボックス」、「サイドクロップ」のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO　モニターがビデオID-1方式に対応していれば、自動的にワイド画面（16:9）に切り換わります。

出力映像に画面表示を重畳する

HD/SD SDI端子（XF305）、HDMI OUT端子、HD/SD COMPONENT OUT端子、コンポジット端子（AV端子、VIDEO 2端子）から出力される映像に画面表示を重畳することができます。重畳の設定はビデオ設定メニューで行い、HD出力とSD出力を個別に設定できます。なお、この設定は、CFカードに記録される映像には影響しません。



① ビデオ設定メニュー ➤「HDオンスクリーン表示」または「SDオンスクリーン表示」を順に選ぶ。
② 「入」を選ぶ ➤ SETを押す。
● 画面にDISP➔が表示される*。
* カメラモードでは、LCD/VF設定メニュー ➤「Custom Display」の「Output Display」が「入」のときのみ表示される。

MEMO　SD出力時の表示方式が「サイドクロップ」のときは、「SDオンスクリーン表示」の設定にかかわらず、画面表示は重畳されません。

音声出力を選択する

HD/SD SDI端子（XF305）、HDMI OUT端子、AV端子、🎧（ヘッドホン）端子から音声を出力できます。AV端子、🎧（ヘッドホン）端子から出力される音声は、チャンネルなどを選択できます。またAV端子から出力される音声はレベルを2段階から選択できます。

エンベデッドオーディオ XF305 CAMERA MEDIA

HD/SD SDI端子から出力される映像信号に音声信号を重畳することができます。ビデオ設定メニューの「SDI Output」を「HD」または「SD」にすると自動的にエンベデッドオーディオがONになります。

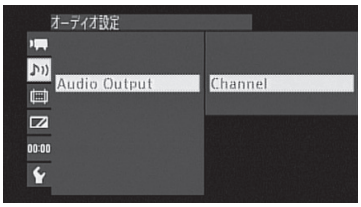
映像と音声のタイミングを選ぶ（モニターディレイ） CAMERA MEDIA

AV端子、🎧（ヘッドホン）端子から出力される音声について、映像とタイミングを合わせて遅延させるかどうかを設定することができます。

① オーディオ設定メニュー ➤「Audio Output」➤「モニタディレイ」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
Line Out： 映像とタイミングを合わせるために、音声信号を遅延させて出力する。
ノーマル： リアルタイム（ディレイなし）で音声を出力する。

音声出力チャンネルを選ぶ CAMERA MEDIA

AV端子、🎧（ヘッドホン）端子から出力される音声のチャンネルを選択することができます。



① オーディオ設定メニュー ➤「Audio Output」➤「Channel」を順に選ぶ。
② 次のいずれかを選ぶ ➤ SETを押す。
CH1/CH2： 出力音声のL chにCH1を、R chにCH 2を割り当てる。
CH1/CH1： 出力音声のL chとR chの両方にCH 1を割り当てる。
CH2/CH2： 出力音声のL chとR chの両方にCH 2を割り当てる。
All/All： 出力音声のL chとR chの両方にCH 1とCH 2をミックスした信号を割り当てる。

MEMO アサインボタンに「Audio Output CH」を割り当てると、アサインボタンを押して出力チャンネルを切り換えられます（📖 118）。

AV端子の音声出力レベルを選ぶ CAMERA MEDIA

AV端子から出力される音声の出力レベルを選択することができます。2 Vrmsにすると、出力レベルが6 dB上がります。

① オーディオ設定メニュー ➤「Audio Output」➤「Level」を順に選ぶ。
② 「2 Vrms」または「1 Vrms」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO ∩(ヘッドホン)端子の出力レベルは変わりません。

クリップをパソコンに保存する CAMERA MEDIA

記録したクリップをパソコンに保存するときは、Canon XF UtilityまたはCanon XF Plugin*を使用します。これらのソフトウェアは、キヤノンのホームページからダウンロードしてインストールします。ソフトウェアの動作環境および最新の情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。ソフトウェアの使いかたの詳細については、各ソフトウェアの使用説明書（後述）をご覧ください。

* Avid社またはApple社のノンリニア編集ソフトウェア用のプラグインです。

Canon XF Utility

パソコンへの保存、クリップの確認・再生・管理を行う簡易ブラウザー。

Avid社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグイン

- Canon XF Plugin for Avid Media Access（Windows用／ Mac OS用）
- Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access（ Windows用／ Mac OS用）
  Avid社のAvid Media Accessに対応したノンリニア編集ソフトウェアMedia Composer（Windows / Mac OS）／ NewsCutter（Windows）から、CFカード内またはパソコンに保存したクリップを直接読み込むことができる。

Apple社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグイン

- Canon XF Plugin for Final Cut Pro（ Mac OS用）
- Canon XF Plugin for Final Cut Pro X（ Mac OS用）
  ノンリニア編集ソフトウェアApple Final Cut Pro ／ Final Cut Pro Xから、CFカード内またはパソコンに保存したクリップを直接読み込むことができる。

■ インストール／アンインストールのしかた（Windows）

Windowsパソコンを使用する場合について、インストールのしかた／アンインストールのしかたを説明します。OSはWindows 7を例に説明しています。お使いのパソコンのOSによっては操作が異なることがあります。OSのヘルプなどをご参照ください。

インストールする

1 ダウンロードした「xuw-＊＊＊＊＊.zip」 *をダブルクリックして解凍する

* 接頭辞「xuw」はCanon XF Utilityの場合です。Avid社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグインでは、「xpmw」となります。以降の操作でも同様に置き換えてお読みください。

- 「xuw-＊＊＊＊＊」フォルダーができ、その中に「xuw＊＊＊.exe」ができる。

2 「xuw＊＊＊.exe」をダブルクリックする

- 実行している他のソフトウェアの終了を促すメッセージが表示される。

3 実行中の他のソフトウェアを終了して、「OK」をクリックする

- 使用許諾画面が表示される。

4 使用許諾契約書に同意してインストールする場合は、「はい」をクリックする

- インストールが開始され、終了すると「インストールが正常に終了しました」が表示される。

5 「次へ」をクリック→「完了」をクリックする

Canon XF Utilityをアンインストールする

1 次のメニューを選択する

スタートメニュー ➤ すべてのプログラム ➤ Canon Utilities ➤Canon XF Utility ➤ Canon XF Utility アンインストール

● アンインストールの確認画面が表示される。

2 「はい」をクリックする

● アンインストールが開始され、完了すると「アンインストールが成功しました」が表示される。

3 「OK」をクリックする

Canon XF Plugin for Avid Media Access ／ Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access ／ Canon XF MPEG2 Decoderをアンインストールする

1 コントロールパネルから、「プログラムのアンインストール」または「プログラムと機能」をクリックする

● インストールされているプログラムが一覧表示される。

2 アンインストールするソフトウェア名を選択する

3 「アンインストール」または「アンインストールと変更」をクリックする

4 画面の指示に従って操作する

Avid社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグインの使用説明書をアンインストールする

1 次のメニューを選択する

スタートメニュー ➤ すべてのプログラム ➤ Canon Utilities ➤ [プラグイン名*] ➤ [プラグイン名*] 使用説明書 アンインストール

* Canon XF Plugin for Avid Media AccessまたはCanon XF Plugin 64 for Avid Media Access

● アンインストールの確認画面が表示される。

2 「はい」をクリックする

3 「OK」をクリックする

■ インストール／アンインストールのしかた（Mac OS）

Mac OSが搭載されたパソコンを使用する場合について、インストールのしかた／アンインストールのしかたを説明します。

インストールする

1 ダウンロードした「xum-＊＊＊＊＊.dmg.gz」 *をダブルクリックして解凍する

* 接頭辞「xum」はCanon XF Utilityの場合です。Avid社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグインでは「xpmm」、Apple社のノンリニア編集ソフトウェア用プラグインでは「xpfm」となります。以降の操作でも同様に置き換えてお読みください。

● 「xum-＊＊＊＊＊.dmg」ができる。

2 「xum-＊＊＊＊＊.dmg」をダブルクリックする

● デスクトップにディスクアイコン「xum＊＊＊」が表示される。

3 「xum＊＊＊」をダブルクリック → 「XUMInstaller」をダブルクリックする

● 実行している他のソフトウェアの終了を促すメッセージが表示される。

4 実行中の他のソフトウェアを終了して、「OK」をクリックする

● 使用許諾画面が表示される。

5 使用許諾契約書に同意してインストールする場合は、「はい」をクリックする

● インストールが開始され、終了すると「インストールが正常に終了しました」が表示される。

6 「次へ」をクリック→「完了」をクリックする

アンインストールする

アンインストールするソフトウェアに対応するファイル／フォルダーをゴミ箱にドラッグ&ドロップする。

ソフトウェア	対応するファイル／フォルダー
Canon XF Utility	アプリケーションフォルダーの「Canon Utilities」の下の「Canon XF Utility」
Canon XF Plugin for Final Cut Pro	/ Library / Application Support / ProApps / MIO / RAD / Plugins / CanonXF.RADPlug
Canon XF Plugin for Final Cut Pro X	/ Library / Application Support / ProApps / MIO / RADPlugins / CanonXF64.RADPlug
Canon XF Plugin for Avid Media Access	/ Library / Application Support / Avid / AVX2_Plug-ins / AMA / MVP_CanonXF.avx
Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access	/ Library / Application Support / Avid / AVX2_Plug-ins / AMA / MVP_CanonXF64.avx
Canon XF MPEG2 Decoder	/ Library / QuickTime / XFMpeg2Dec.component
ノンリニア編集ソフトウェア用プラグインの使用説明書	アプリケーションフォルダーの「Canon Utilities」の下の[プラグイン名*] * Canon XF Plugin for Avid Media Access、Canon XF Plugin 64 for Avid Media Access、Canon XF Plugin for Final Cut Pro、Canon XF Plugin for Final Cut Pro Xのいずれか。

ソフトウェアの使用説明書を見る

ソフトウェアの詳細な使いかたについては、各ソフトウェアの使用説明書（PDF）をご覧ください。使用説明書はソフトウェアと一緒にパソコンにインストールされます。Windowsの場合、OSはWindows 7を例に説明しています。お使いのパソコンのOSによっては操作が異なることがあります。OSのヘルプなどをご参照ください。

Canon XF Utilityの使用説明書を見る

次の方法で使用説明書を見ることができます。Canon XF Utilityを起動し、ヘルプメニュー ➤「使用説明書を見る」を順に選んでも、使用説明書を見ることができます。

Windowsの場合

Windowsのスタートメニュー ➤ すべてのプログラム ➤ Canon Utilities ➤ Canon XF Utility ➤ Canon XF Utility 使用説明書 ➤「言語名」を順に選ぶ。

Macの場合

アプリケーションフォルダーの下のCanon Utilities / Canon XF Utility / Manual / [言語名のフォルダー] 内のPDFファイルをダブルクリックする。

ノンリニア編集ソフトウェア用プラグインの使用説明書を見る

次の方法で使用説明書を見ることができます。

Windowsの場合

Windowsのスタートメニュー ➤ すべてのプログラム ➤ Canon Utilities ➤ [プラグイン名*] ➤ [プラグイン名*] 使用説明書 ➤「言語名」を順に選ぶ。

* Canon XF Plugin for Avid Media AccessまたはCanon XF Plugin 64 for Avid Media Access

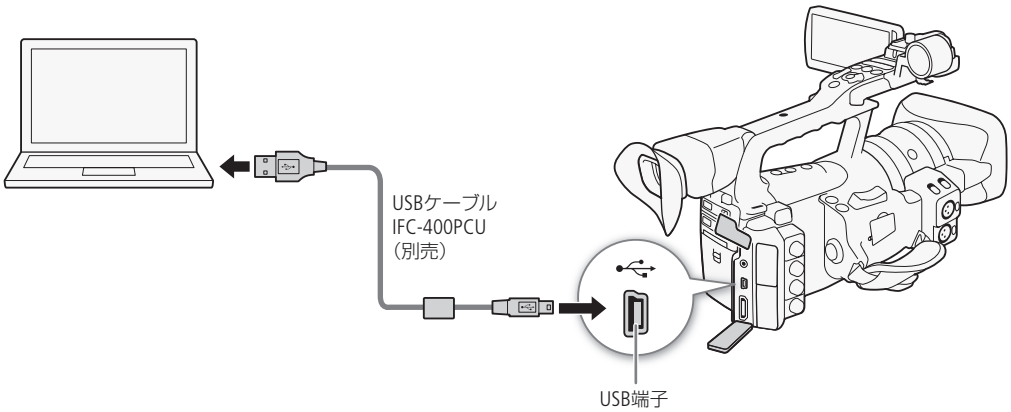
Macの場合

アプリケーションフォルダーの下のCanon Utilities / [プラグイン名*] / Manual / [言語名のフォルダー] 内のPDFファイルをダブルクリックする。

* Canon XF Plugin for Final Cut Pro、Canon XF Plugin for Final Cut Pro X、Canon XF Plugin for Avid Media Access、Canon XF Plugin 64 for Avid Media Accessのいずれか。

本機とパソコンを接続する

本機とパソコンをUSBケーブル（別売）で接続してクリップを取り込むときは、次のように操作します。



	1 本機 ACアダプターをつなぐ
	2 本機 メディアモードで電源を入れる
	3 本機とパソコンをつなぐ

7

静止画

静止画を記録する 168
静止画を再生する 170
静止画を操作する 172
静止画番号をリセットする 176

静止画を記録する

カメラモードで撮影中または撮影一時停止中に、静止画をSDカードに記録することができます*。また、メディアモードで動画の再生一時停止中に、動画から静止画を切り取ることもできます。記録される静止画のサイズは次のとおりです。

カメラモードで静止画を記録する場合：　1920×1080
動画から静止画を切り取る場合：
　動画の解像度が1920×1080のとき　1920×1080
　動画の解像度が1440×1080のとき　1920×1080
　動画の解像度が1280×720のとき　1280×720

* 記録できる枚数は、1GBのSDカードに約670枚。

カメラモードで静止画を記録する　CAMERA MEDIA

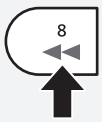
撮影中または撮影一時停止中に静止画をSDカードに記録することができます。カスタムピクチャーが選択されていると、静止画と一緒にカスタムピクチャーも記録されます*。静止画を記録するときは、アサインボタンに「Photo」を割り当てて使用するか、リモコンのPHOTOボタンを使用します。

* カスタムピクチャーを記録しないようにすることもできます（📖 125）。

例：◀◀ ／アサイン 8ボタンに「Photo」を割り当てて、静止画を記録する場合

1 アサイン8ボタンに「Photo」を割り当てる

参考 ▸▸「アサインボタンの機能を変更する」（📖 118）。



2 動画撮影中　動画撮影一時停止中　静止画を記録する

① ◀◀ ／アサイン 8ボタンを押す。
- 「SD」と記録可能枚数が表示され、静止画がSDカードに記録される。このとき、カスタムピクチャーが選択されていると、静止画と一緒にカスタムピクチャーも記録される。
- 記録中はSDカードアクセスランプが点滅する。

MEMO　Hlt.Pri.ガンマを使用しているときは、静止画を記録できません。

記録した動画から静止画を切り取る CAMERA MEDIA

メディアモードで、動画の再生一時停止中に、動画から静止画を切り取ることができます。静止画を記録するときは、アサインボタンに「Photo」を割り当てて使用するか、リモコンのPHOTOボタンを使用します。

例：リモコンのPHOTOボタンを使って、静止画を記録する場合

1 クリップを再生する

① 静止画の切り取りを行うクリップを選ぶ。
② ▶/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押して、クリップを再生する。
③ 静止画を切り取りたいシーンで、再度▶/❚❚（再生／一時停止）ボタンを押す。

2 静止画を記録する

① リモコンのPHOTOボタンを押す。
- シャッターを切るように画面が一度途切れ、「SD」と記録可能枚数が表示されて、静止画がSDカードに記録される。
- 記録中はSDカードアクセスランプが点滅する。

② ■ボタンを押して、クリップの再生一時停止を解除する（インデックス画面に戻る）。

ご注意 SDカードアクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- SDカードを取り出さない。

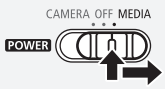
MEMO
- 静止画を記録するときは、SDカードの誤消去防止ツマミの「LOCK」を解除してください。
- その他機能メニュー ➤「Custom Function」の「スキャンリバース記録」を「両方（上下左右反転）」、「垂直（上下反転）」、「水平（左右反転）」のいずれかに設定して静止画を記録しても、記録される静止画は反転されません。

静止画を再生する CAMERA MEDIA

SDカードに記録した静止画を再生することができます。静止画を再生するときは、メディアモードで画面を静止画インデックス画面に切り換えます。

静止画インデックス画面を表示する

静止画を再生するときは、メディアモードで静止画インデックス画面に切り換えます。



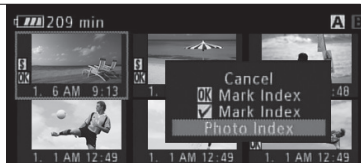
1 MEDIAモードにする

2 INDEX（インデックス）／ POWER SAVE（パワーセーブ）ボタンを押す

- インデックスメニューが表示される。

3 静止画インデックス画面を選ぶ

① ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回して、「Photo Index」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 静止画インデックス画面に切り換わる。

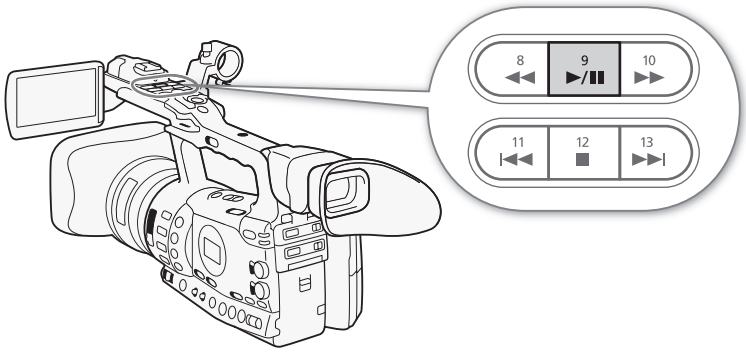


元のインデックス画面に戻るとき

INDEX（インデックス）／ POWER SAVE（パワーセーブ）ボタンを押す。

再生する

静止画インデックス画面で選んだ静止画を再生します。再生にはハンドル上の各種再生操作ボタンを使用します。



1 ジョイスティックを上下左右に押すかSELECTダイヤルを回して、再生する静止画を選ぶ

- ジョイスティックまたはSELECTダイヤルを操作すると、インデックス画面上のカーソル（オレンジ色の枠）が移動するので、再生したい静止画に合わせる。

2 ►/II（再生／一時停止）ボタンを押す

- 静止画が再生される（1枚表示される）。

前の静止画／次の静止画に移動するとき

I◄◄を押すと前の静止画に、►►Iを押すと次の静止画に移動する。

ヒストグラムなどの撮影情報の表示をON/OFFするとき

DISPLAY（ディスプレイ）／BATT. INFO（バッテリー情報）ボタンを押す。

再生を終える（インデックス画面に戻る）とき

■（停止）ボタンを押す。

ご注意

- SDカードアクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
  - SDカードを取り出さない。
- 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
  - 本機以外の製品で記録したとき。
  - パソコンで作成や加工をしたとき。
  - パソコンでファイル名を変更したとき。

静止画を操作する CAMERA MEDIA

静止画単位の操作を行うときは、静止画メニューを使用します。静止画メニューは静止画インデックス画面、静止画再生画面で表示することができ、それぞれの画面に応じた機能を選ぶことができます。

静止画メニューで操作する

例：静止画インデックス画面で静止画を消去する場合

1 操作する静止画を選ぶ

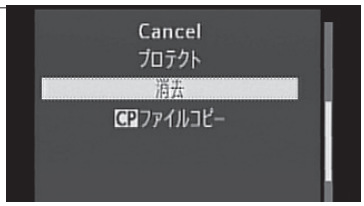
- 静止画再生画面のときは、操作する静止画を再生する。

2 SETを押す

- 静止画メニューが表示される。選択できる機能は、表示している画面や選択している静止画によって変わる。

3 静止画を消去する

① 「消去」を選ぶ ➤ SETを押す。
② 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択したクリップが消去される。



静止画を消去する CAMERA MEDIA

不要な静止画を1枚ずつ消去することができます。静止画を消去すると、一緒に記録されたカスタムピクチャーも消去されます。静止画の消去は、静止画再生画面と静止画インデックス画面で行うことができます。

静止画再生中に消去する

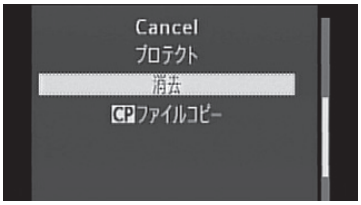
再生中の静止画を消去します。

① 静止画再生中 静止画メニュー ➤ 「消去」を順に選ぶ。
② 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 再生中の静止画が消去され、次の静止画が再生される。
- カスタムピクチャーが一緒に記録されていたときは、カスタムピクチャーも消去される。

③ SETを押す。

静止画インデックス画面で静止画を消去する

静止画インデックス画面で選んだ静止画を消去します。



① 消去する静止画を選ぶ。
② 静止画メニュー ➤「消去」を順に選ぶ。
③「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択した静止画が消去される。
- カスタムピクチャーが一緒に記録されていたときは、カスタムピクチャーも消去される。

④ SETを押す。

すべての静止画を消去する

① その他機能メニュー ➤「静止画全消去」を順に選ぶ。
②「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- SDカードに記録されているすべての静止画が消去される。

中止するとき

CANCELを押す。

③ SETを押す。

ご注意　一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。

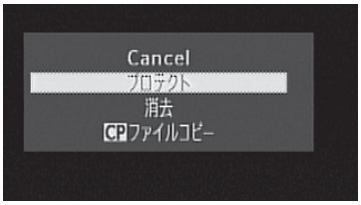
MEMO　プロテクトしている静止画は消去できません。

静止画をプロテクトする CAMERA MEDIA

大切な静止画を1枚ずつプロテクト（保護）することができます。プロテクトされた静止画は消去できません。静止画をプロテクトすると、同時に記録したカスタムピクチャーも保護されます。静止画の保護は、静止画再生画面と静止画インデックス画面で行うことができます。

静止画再生中にプロテクトする

再生中の静止画をプロテクトします。



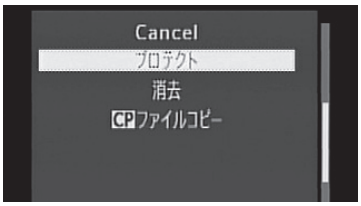
① 静止画再生中 静止画メニュー ➤「プロテクト」を順に選ぶ。
② 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 再生中の静止画がプロテクトされ、画面左下に⊶が表示される。
- カスタムピクチャーが一緒に記録されていたときは、カスタムピクチャーもプロテクトされる。

プロテクトを解除するとき

①で「プロテクト解除」を選ぶ。

静止画インデックス画面で静止画をプロテクトする

静止画インデックス画面で選んだ静止画をプロテクトします。



① プロテクトする静止画を選ぶ。
② 静止画メニュー ➤「プロテクト」を順に選ぶ。
③ 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択した静止画がプロテクトされ、サムネイルの左下に⊶が表示される。
- カスタムピクチャーが一緒に記録されていたときは、カスタムピクチャーもプロテクトされる。

プロテクトを解除するとき

②で「プロテクト解除」を選ぶ。

ご注意 静止画をプロテクトしても、SDカードを初期化すると、すべての静止画が消去されます。

カスタムピクチャーをコピーする CAMERA MEDIA

静止画と一緒に記録したカスタムピクチャーの設定を本機にコピーすることができます。コピーは、静止画再生画面と静止画インデックス画面で行うことができます。

再生中の静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーをコピーする

再生中の静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーを本機にコピーします。コピー先は、本機のカスタムピクチャーのうちC1 ～ C9から選択できます。

① 静止画再生中 静止画メニュー ➤「CPファイルコピー」を順に選ぶ。
- CP Data 1/3画面に切り換わり、カスタムピクチャーの設定内容が表示される。
- CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押しても、CP Data 1/3画面を表示できる。
- ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回すと、CP Data 2/3画面またはCP Data 3/3画面に切り換わり、その他の設定内容が表示される。

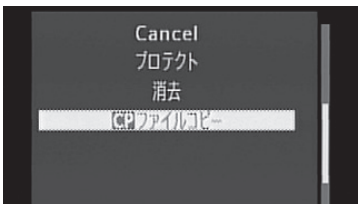
② ジョイスティックを左右に押して、コピー先のカスタムピクチャーを選ぶ ➤ SETを押す。
- 「C1」～「C9」からコピー先を選ぶ。

③ 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 再生中の静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーがコピーされる。

④ SETを押す。

静止画インデックス画面で静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーをコピーする

静止画インデックス画面で選んだ静止画と一緒に記録されてい るカスタムピクチャーをコピーします。



① カスタムピクチャーをコピーする静止画を選ぶ。

② 静止画メニュー ➤「CPファイルコピー」を順に選ぶ。
- CP Data 1/3画面に切り換わり、カスタムピクチャーの設定内容が表示される。
- CUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押しても、CP Data 1/3画面を表示できる。
- ジョイスティックを上下に押すかSELECTダイヤルを回すと、CP Data 2/3画面またはCP Data 3/3画面に切り換わり、その他の設定内容が表示される。

③ ジョイスティックを左右に押して、コピー先のカスタムピクチャーを選ぶ ➤ SETを押す。
- 「C1」～「C9」からコピー先を選ぶ。

④ 「OK」を選ぶ ➤ SETを押す。
- 選択した静止画と一緒に記録されているカスタムピクチャーがコピーされる。

⑤ SETを押す。

MEMO
- プロテクトされたカスタムピクチャーをコピー先に選択することはできません。
- カスタムピクチャーのC7 ～ C9は初期状態ではプロテクトされています。

静止画番号をリセットする CAMERA MEDIA

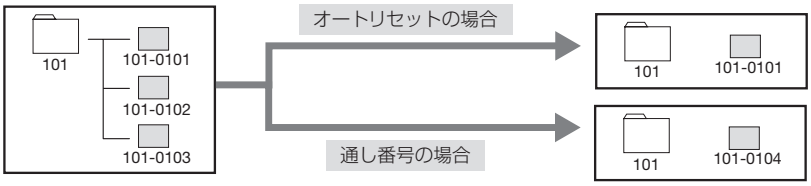
個々の静止画に付けられる番号（静止画番号）の付けかたを選びます。撮影された静止画は、自動的に101-0101、101-0102、101-0103のように順に番号が付けられ、SDカード内のフォルダーに保存されます。静止画番号の付けかたには次の2種類があります。通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。

オートリセット：初期化されたメモリーに記録する場合、静止画番号は常に101-0101から始まる。SDカード内にすでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。

通し番号：　静止画番号は、最後に記録した静止画の続き番号から始まる。ただし、SDカードに記録されている静止画番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

静止画番号は、メモリー内に作られるフォルダーの番号（上3桁）と静止画固有の番号（下4桁）を表しています*。1つのフォルダーには100枚までの静止画を保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成されます。 * 静止画番号の範囲は、上3桁が101 ～ 998、下4桁が0101 ～ 9900です。

例：3枚記録したメモリーカードを、別のカードに入れ換えて記録する場合



① その他機能メニュー ➤「静止画番号」を順に選ぶ。
②「オートリセット」または「通し番号」を選ぶ ➤ SETを押す。

MEMO　静止画が記録されたカードをパソコンで見ると、静止画番号が「101-0107」の静止画は、「DCIM ¥101CANON」というフォルダーの中に「IMG_0107.JPG」というファイル名で表示されます。

8

メニュー

メニュー一覧..... 178

メニュー一覧 CAMERA MEDIA

本機のさまざまな機能をメニューによって設定することができます。ここではメニューの階層と設定項目の詳細について説明します。メニュー設定の基本操作については「メニューで設定を変える」(📖 28)をご覧ください。

メニューの階層

MENUボタンを押すと、画面左側に次のメニューのアイコンが表示されます。

	カメラ設定メニュー：	ゲインやフォーカスなど撮影に関する設定を行う。	▶▶ 📖 179
	オーディオ設定メニュー：	音声の入出力に関する設定を行う。	▶▶ 📖 181
	ビデオ設定メニュー：	映像出力に関する設定を行う。	▶▶ 📖 182
	LCD/VF設定メニュー：	液晶画面やファインダーに関する設定を行う。	▶▶ 📖 182
00:00	TC/UB設定メニュー／User Bit設定メニュー：	タイムコードやユーザービットに関する設定を行う。	▶▶ 📖 186
	その他機能メニュー：	その他、上記以外の設定を行う。	▶▶ 📖 187

- MENU
  - カメラ設定 *1
    - 測光方式
    - AEシフト
    - AGCリミット
    - Gain
    - White Balance
    - AF Mode
    - Focusリミット
    - 光軸調整
    - Image Stabilizer
    - Zoom
    - デジタルテレコン
    - フリッカー低減
    - ワイドアタッチレンズ
    - カラーバー
  - オーディオ設定
    - Audio Input *1
      - XLR Rec Channel
      - Int. Micローカット
      - Int. Mic感度
      - Int. Mic Att.
      - XLR1 Micトリミング
      - XLR2 Micトリミング
      - XLR1 Mic Att.
      - XLR2 Mic Att.
      - XLR ALCリンク
      - リミッター
      - 1 kHzトーン
    - Audio Output*3
      - モニタディレイ *1
      - Channel
      - Level
      - Speaker音量 *2
  - ビデオ設定
    - XF305 SDI Output
    - Component Output
    - HDオンスクリーン表示
    - SDオンスクリーン表示
    - SD Output
  - LCD/VF設定
    - LCD設定
    - VF設定
    - LCD/VF モノクロ
    - LCD/VF同時点灯
    - ビューアシスト
    - Peaking *1
      - 選択
      - Peaking 1
      - Peaking 2
    - Zebra *1
      - 選択
      - Zebra 1 Level
      - Zebra 2 Level
      - HD Output
    - マーカー *1
    - Audio Level *1
    - Custom Display *1
    - メタデータ表示 *4
  - TC/UB設定 *1
    - Time Code
    - User Bit
  - XF305 User Bit設定 *4
    - Outputモード
  - その他機能
    - 全設定リセット
    - メニュー /CP設定保存
    - タイムゾーン
    - 日時設定
    - WFM (LCD) *3
    - 言語
    - REMOTE端子
    - リモコン
    - アサインボタン *3
    - タリーランプ *1
    - Mediaアクセス LED
    - XF305 Genlock調整 *1
    - リレー記録 *1
    - ダブルスロット記録 *1
    - ビットレート/解像度 *1
    - フレームレート *1
    - 特殊記録 *1
    - インターバル記録 *1
    - フレーム記録 *1
    - Slow & Fastモーション *1
    - クリップ *3
    - OK Marks全消去 *2
    - レックレビュー *1
    - メタデータ設定 *1
    - XF305 SDI記録コマンド *1
    - 静止画番号 *3
    - CP ファイル付加 *1
    - 静止画全消去 *5
    - Custom Function *1
    - アワーメーターリセット
    - GPS自動時刻設定 *1
    - Media初期化
    - Firmware *1

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモードのみ。
*3 メディアモードの静止画インデックス画面以外。
*4 メディアモード(静止画インデックス画面を除く)のみ。
*5 メディアモードの静止画インデックス画面のみ。

メニューの設定項目

各メニューで設定できる項目の機能と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。

カメラ設定メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
測光方式		バックライト、**Standard**、スポットライト	測光方式を設定する。 バックライト：逆光時の暗部をより明るく制御する。 Standard：画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を測光する。 スポットライト：スポット的に明るくなった部分が最適な明るさになるように制御する。	73
AEシフト		+2.0、+1.5、+1.25、+1.0、+0.75、+0.5、+0.25、**±0**、−0.25、−0.5、−0.75、−1.0、−1.25、−1.5、−2.0	AEレベルを15段階で調整する。	73
AGCリミット		**切/21 dB**、18 dB、15 dB、12 dB、9 dB、6 dB、3 dB	AGCがONの場合、ゲインの最大値を制限するときの最大値を設定する。	65
Gain	L	詳細設定、33.0 dB、21.0 dB、18.0 dB、12.0 dB、6.0 dB、3.0 dB、**0.0 dB**、−3.0 dB、−6.0 dB	GAIN(ゲイン)スイッチをLにしたときのゲインを設定する。詳細設定は、0 ～ 21 dBの範囲を0.5 dB刻みで設定できる。	66
	M	詳細設定、33.0 dB、21.0 dB、18.0 dB、12.0 dB、**6.0 dB**、3.0 dB、0.0 dB、−3.0 dB、−6.0 dB	GAIN(ゲイン)スイッチをMにしたときのゲインを設定する。詳細設定は、0 ～ 21 dBの範囲を0.5 dB刻みで設定できる。	66
	H	詳細設定、33.0 dB、21.0 dB、18.0 dB、**12.0 dB**、6.0 dB、3.0 dB、0.0 dB、−3.0 dB、−6.0 dB	GAIN(ゲイン)スイッチをHにしたときのゲインを設定する。詳細設定は、0 ～ 21 dBの範囲を0.5 dB刻みで設定できる。	66

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
White Balance		**太陽光** 電球 Kelvin	ホワイトバランスをプリセット設定で調整するか色温度設定で調整するときに、使用する調整方法を選ぶ。 太陽光： 屋外（太陽光） 電球： 屋内（電球） Kelvin： 色温度設定	76
AF Mode	Speed	**ハイ**、 ノーマル	オートフォーカスのモードを設定する。 ハイ： ハイスピードAF。外部センサーを併用して高速でAF動作を行う。 ノーマル：安定したAF動作を行う。	61
	顔優先AF	入、**切**	顔優先AFを入／切する。	62
Focusリミット		入、**切**	フォーカスリミットを入／切する。 入： 1m ～∞（テレ～ワイド全域）の範囲でフォーカス調整できる。 切： 2cm（ワイド側）～∞の範囲でフォーカス調整できる。	63
光軸調整	動作	入、**切**	入にすると光軸調整が有効になる。	113
	リセット		レンズを中心位置にリセットする。	
	調整		光軸調整を設定する。	
	GUI色	**イエロー**、 グリーン	調整方向を示す矢印の色を選ぶ。	
Image Stabilizer		Powered、 Dynamic、 **Standard**、 切	手ブレ補正の方式を選ぶ。 Powered： 静止して望遠撮影するとき。 Dynamic： 歩きながらの撮影など。 Standard：静止して手持ちで撮影するときなど。	64
Zoom	Speed Level	ハイ、 **ノーマル**、 ロー	ズームをハンドル／グリップのロッカーまたはリモコンで操作するときのスピードレベルを設定する。	81
	グリップRocker	固定、 **可変速**	グリップロッカーのズーム操作を固定（固定速）と可変速で切り換える。	81
	固定Speed	1 ～ 16（**8**）	「グリップRocker」が「固定」のときに、固定速のズームスピードを16段階から選ぶ。	81
	ハンドルRocker H	1 ～ 16（**16**）	ZOOM SPEED（ハンドルズームスピード）切り換えスイッチをHにしたときのズームスピード（固定速）を16段階から選ぶ。	82
	ハンドルRocker L	1 ～ 16（**8**）	ZOOM SPEED（ハンドルズームスピード）切り換えスイッチをLにしたときのズームスピード（固定速）を16段階から選ぶ。	
	リモコン	1 ～ 16（**8**）	ズームスピードが固定速となるリモコンのズームスピードを16段階から選ぶ。	83
	焦点距離ガイド	0セット、 **切**	本機を2台使用して3D撮影を行う際のアシスト機能として、ズーム操作に応じて変わる焦点距離位置を数値で表示する。 0セット： 現在のズーム位置を基準ズーム位置に設定し、焦点距離ガイドを表示する。 切： 焦点距離ガイドを表示しない。	114

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
デジタルテレコン		6.0x、3.0x、1.5x、**切**	焦点距離が約6倍、3倍、1.5倍になる（デジタルズーム）。 ・映像をデジタル処理するため、ズームの全域で映像が粗くなる。 ・「6.0x」「3.0x」「1.5x」のとき、リモートコントローラーRC-V100（別売）のEXTENDER（エクステンダー装着）ランプが点灯。	79
フリッカー低減		Automatic、**切**	「Automatic（オート）」にすると、蛍光灯のフリッカーを自動的に検知して補正する。	70
ワイドアタッチレンズ		WA-H82、**切**	ワイドアタッチメントWA-H82を取り付けるときに設定すると、WA-H82に適した手ブレ補正が行われる。AFモードは自動的にノーマルAFになる。	83
カラーバー	表示	入、**切**	入にするとカラーバーを表示する。	101
	タイプ	**タイプ 1**、タイプ 2	カラーバーのタイプを選ぶ。 タイプ 1：SMPTE タイプ 2：ARIB	

オーディオ設定メニュー

CAMERA | MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Audio Input*1	XLR Rec Channel	**CH1**、CH1/CH2	CH1入力の音声を録音するチャンネルを選ぶ。 CH1：　CH1入力をチャンネル1にCH2入力をチャンネル2に録音する。 CH1/CH2：CH1入力をチャンネル1／チャンネル2の両方に録音する。	97
	Int. Micローカット	**切**、LC1、LC2	内蔵マイクの特性を選ぶ。 切：　一般的な音を録音するとき。 LC1：人の声を中心に録音するとき。 LC2：風の影響を受ける屋外で撮影するとき。風によるノイズを低減する。	95
	Int. Mic感度	**ノーマル**、ハイ	内蔵マイクの感度を選ぶ。 ノーマル：通常のレベルの音を録音するとき。 ハイ：　より大きな音量で録音するとき。	95
	Int. Mic Att.	入、**切**	入にするとマイク信号にアッテネーター（12 dB）がかかる。	95
	XLR1 Micトリミング XLR2 Micトリミング	+12 dB、+ 6dB、**0 dB**、－6 dB、－12 dB	外部マイク（XLR端子）のCH1またはCH2の入力感度を調整する。	97
	XLR1 Mic Att. XLR2 Mic Att.	入、**切**	入にすると、外部マイク（XLR端子）のCH1またはCH2にアッテネーター（20 dB）がかかる。	97
	XLR ALCリンク	連動、**独立**	録音レベルをオートで調整する場合、「連動」にすると、XLR端子のCH1とCH2の録音レベル調整を連動させることができる。	98
	リミッター	入、**切**	録音レベルをマニュアルで調整する場合、入にすると過大な音声入力によるひずみを防止できる。	99
	1 kHzトーン	－12 dB、－18 dB、－20 dB、**切**	カラーバーと同時にテストトーンを出力するときに設定する。	102

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Audio Output*3	モニタディレイ*1	Line Out、 **ノーマル**	映像と音声のタイミングを合わせるかどうかを選ぶ。 ノーマル：リアルタイム（ディレイなし）で音声を出力する。 Line Out：映像とタイミングを合わせるために、音声信号を遅延させて出力する。	160
	Channel	**CH1/CH2**、 CH1/CH1、 CH2/CH2、 All/All	音声を出力するチャンネルを選ぶ。 CH1/CH2：出力音声のL chにCH1を、R chにCH2を割り当てる。 CH1/CH1：出力音声のL chとR chの両方にCH1を割り当てる。 CH2/CH2：出力音声のL chとR chの両方にCH2を割り当てる。 ALL/ALL：出力音声のL chとR chの両方にCH1とCH2をミックスした信号を割り当てる。	160
	Level	**1 Vrms**、 2 Vrms	AV端子の音声出力レベルを選ぶ。2 Vrmsにすると出力レベルが6 dB上がる。	161
	Speaker音量*2	切、1 ～ 15（**8**）	スピーカーの音量を調整する。	140

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモードのみ。
*3 メディアモードの静止画インデックス画面以外。

ビデオ設定メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
XF305 SDI Output		HD、 SD、 **切**	HD/SD SDI端子に出力する信号を選ぶ。 HD：HD SDI出力。 SD：SD SDI出力。 切：HD/SD SDI端子から信号を出力しない。	158
Component Output		**HD**、 SD	HD/SD COMPONENT OUT端子に出力する信号を選ぶ。 HD：HD出力。 SD：SD出力。	158
HDオンスクリーン表示		入、**切**	入にすると、HD出力に画面表示を重畳する。	159
SDオンスクリーン表示		入、**切**	入にすると、SD出力に画面表示を重畳する。	
SD Output		**スクイーズ**、 レターボックス、 サイドクロップ	HD映像（16:9）をSD出力するときの表示方式を選ぶ。 スクイーズ：左右方向に縮小して4:3にする。 レターボックス：上下に黒い帯を追加して4:3にする。 サイドクロップ：両端を切り取って4:3にする。	159

LCD/VF設定メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
LCD設定	明るさ	－99 ～ 99（**0**）	液晶画面の明るさを調整する。	34
	コントラスト	－99 ～ 99（**0**）	液晶画面のコントラストを調整する。	
	カラー	－20 ～ 20（**0**）	液晶画面のカラーを調整する。	
	シャープネス	1 ～ 4（**2**）	液晶画面のシャープネスを調整する。	
	バックライト	**ノーマル**、 明るい	液晶画面のバックライトの明るさを選ぶ。「明るい」にすると明るくなる。	

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
VF設定	明るさ	−99 ～ 99(**0**)	ファインダーの明るさを調整する。	34
	コントラスト	−99 ～ 99(**0**)	ファインダーのコントラストを調整する。	
	カラー	−20 ～ 20(**0**)	ファインダーのカラーを調整する。	
	シャープネス	1 ～ 4(**2**)	ファインダーのシャープネスを調整する。	
	バックライト	**ノーマル**、明るい	ファインダーのバックライトの明るさを選ぶ。「明るい」にすると明るくなる。	
LCD/VF モノクロ		入、**切**	液晶画面とファインダーをモノクロ表示にする。	35
LCD/VF同時点灯		入、**切**	入にすると、液晶画面とファインダーを同時に使用できる。	34
ビューアシスト		**入**、切	Hlt.Pri.ガンマを使用して撮影する場合、入にすると実際に近い明るさで映像を確認できる。また、Hlt.Pri.ガンマを使用して撮影した映像を本機の画面で見る場合、入にすると映像の明るい部分が自然な階調で再生できる。	—
Peaking*1		入、**切**	入にすると、「選択」で選んだピーキングが表示される。	59
選択*1		**Peaking 1**、Peaking 2	表示するピーキングの種類を選ぶ。	
Peaking 1*1	カラー	**ホワイト**、レッド、イエロー、ブルー	ピーキング1の色を選ぶ。	59
	Gain	切、1 ～ 15(**8**)	ピーキング1のゲインを選ぶ。	
	周波数	1 ～ 4(**2**)	ピーキング1の周波数を選ぶ。	
Peaking 2*1	カラー	ホワイト、**レッド**、イエロー、ブルー	ピーキング2の色を選ぶ。	59
	Gain	切、1 ～ 15(**15**)	ピーキング2のゲインを選ぶ。	
	周波数	1 ～ 4(**1**)	ピーキング2の周波数を選ぶ。	
Zebra*1		入、**切**	入にすると、選択で選んだゼブラパターンが表示される。	85
選択*1		**Zebra 1**、Zebra 2、Zebra 1&2	表示するゼブラパターンの種類を選ぶ。 Zebra 1： 設定した輝度レベル±5%の領域にゼブラパターンを表示する。 Zebra 2： 設定した輝度レベル以上の領域にゼブラパターンを表示する。 Zebra 1&2：ゼブラパターン1と2を同時に表示する。	
Zebra 1 Level*1		**70 ±5%**、75 ±5%、80 ±5%、85 ±5%、90 ±5%、95 ±5%	ゼブラパターン1の輝度レベルを6段階から選ぶ。	
Zebra 2 Level*1		**70%**、75%、80%、85%、90%、95%、100%	ゼブラパターン2の輝度レベルを7段階から選ぶ。	
HD Output*1		入、**切**	入にすると、ゼブラパターンがHD/SD SDI端子（XF305）、HDMI OUT端子、HD/SD COMPONENT OUT端子に出力される。	86

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
マーカー *1	表示	入、**切**	すべてのマーカーの表示を入／切する。	84
	センター	ホワイト、 グレー、**切**	センターマーカーの色を選ぶ。切にするとセンターマーカーは表示されない。	
	水平	ホワイト、 グレー、**切**	センターマーカーの色を選ぶ。切にするとセンターマーカーは表示されない。	
	グリッド	ホワイト、 グレー、**切**	グリッドの色を選ぶ。切にするとグリッドは表示されない。	
	セーフティゾーン	ホワイト、 グレー、**切**	セーフティゾーンの色を選ぶ。切にするとセーフティゾーンは表示されない。	
	セーフティーゾーンエリア	80%、90%、 92.5%、**95%**	セーフティゾーンのエリアを選ぶ。	
	アスペクトマーカー	ホワイト、 グレー、**切**	アスペクトマーカーの色を選ぶ。切にするとアスペクトマーカーは表示されない。	
	アスペクト比	4:3、13:9、14:9、 1.66:1、1.75:1、 1.85:1、**2.35:1**	アスペクトマーカーのアスペクト比を選ぶ。	
Audio Level *1		**入**、切	入にすると、オーディオレベルメーターを表示する。	52
Custom Display*1	バッテリー残量	警告、 **ノーマル**、 切	バッテリー残量の表示のしかたを選ぶ。 ノーマル：常に表示する。 警告：　警告時のみ表示する。	52
	記録可能時間	警告、 **ノーマル**、 切	残りの記録可能時間を表示する。 ノーマル：常に表示する。 警告：　警告時のみ表示する。	
	記録モード	**入**、切	入にすると、記録モードを表示する。	
	Time Code	**入**、切	入にすると、タイムコードを表示する。	
	Zoom位置	常時 入、 **ノーマル**、 切	ズーム位置の表示のしかたを選ぶ。 常時 入：　常に表示する。 ノーマル：　操作時のみ表示する。	
	測光方式	**入**、切	入にすると、測光方式がバックライトまたはスポットライトのときに、それぞれ▣または◬アイコンを表示する。	
	Custom Picture	**入**、切	入にすると、カスタムピクチャーを表示する。	
	NDフィルター	警告、 **ノーマル**、 切	NDフィルターの表示のしかたを選ぶ。 警告：　警告時のみ表示する。 ノーマル：常に表示する。	
	Focus Ring警告	**入**、切	入にすると、フォーカスリングの状態を表示する。	
	Focus Mode	**入**、切	入にすると、S.AF（AFモード）アイコンを表示する。	

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Custom Display*1	被写体距離	常時 入、 **ノーマル**、 切	被写体距離の表示のしかたを選ぶ。 常時 入：　常に表示する。 ノーマル：　操作時のみ表示する。	
	Full Auto	**入**、切	入にすると、Full Auto（フルオート）アイコンを表示する。	
	White Balance	**入**、切	入にすると、ホワイトバランスの設定を表示する。	
	Exposure	**入**、切	入にすると、露出バーを表示する。	
	Iris	**入**、切	入にすると、アイリスの設定を表示する。	
	Gain	**入**、切	入にすると、ゲインの設定を表示する。	
	Shutter	**入**、切	入にすると、シャッタースピードの設定を表示する。	
	ワイドアタッチレンズ	**入**、切	入にすると、ワイドアタッチメント装着時に W.A アイコンを表示する。	
	デジタルテレコン	**入**、切	入にすると、6.0x ／ 3.0x ／ 1.5x（倍率）アイコンを表示する。	
	Peaking	**入**、切	入にすると、PEAK1 ／ PEAK2（ピーキング）アイコンを表示する。	
	Magnification	**入**、切	入にすると、MAGN.（拡大表示）アイコンを表示する。	
	光軸調整	**入**、切	入にすると Axis（光軸調整）アイコンを表示する。	
	Image Stabilizer	**入**、切	入にすると、P ／ D ／ （手ブレ補正）アイコンを表示する。	
	インターバルカウンター	**入**、切	入にすると、インターバル記録のカウントダウン表示を行う。	52
	SD Card Status	警告、 **ノーマル**、 切	SDカードの状態表示のしかたを選ぶ。 警告：　警告時のみ表示する。 ノーマル：常に表示する。	
	ビットレート/解像度	**入**、切	入にすると、ビットレートと解像度を表示する。	
	フレームレート	**入**、切	入にすると、フレームレートを表示する。	
	表示文字記録	**入**、切	入にすると、CHAR.REC（表示文字記録）アイコンを表示する。	
	リモコン	**入**、切	入にした場合、その他機能メニューの「リモコン」を「切」に設定して、リモコン（付属）から操作すると、（リモコン）アイコンを表示する。	
	Output Display	入, **切**	入にすると、ビデオ出力端子に画面表示を重畳することを示す DISP アイコンを表示する。	
	SDI記録コマンド	**入**、切	入にすると、SDI記録コマンド状態を表示する。	
	User Memo	**入**、切	入にすると、ユーザーメモを表示する。	
	User Bit	**入**、切	入にすると、ユーザービットを表示する。	
	Audio Output CH	**入**、切	入にすると音声出力チャンネルを表示する。	
	GPS	**入**、切	入にすると、（GPS）アイコンを表示する。	
	日付/時刻	日付/時刻、 時刻、日付、**切**	日時の表示のしかたを選ぶ。	
メタデータ表示*2	日付/時刻	入、**切**	入にすると、クリップの再生中に日時を表示する。	
	カメラデータ	入、**切**	入にすると、クリップの再生中にカメラデータ（シャッタースピード、F値、ゲイン）を表示する。	139

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモード（静止画インデックス画面を除く）のみ。

TC/UB設定メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Time Code	モード	**Preset**、 Regen.	タイムコードのカウントアップ方式を選ぶ。 Preset：「設定」で設定した任意のタイムコードから歩進する。 Regen.：メディアに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。	87
	Run	**Rec Run**、 Free Run	「モード」が「Preset」のときに歩進方法を選ぶ。 Rec Run：記録時に歩進する。 Free Run：記録に関係なく常に歩進する。	
	DF/NDF	**DF**、 NDF	ドロップフレーム（DF）またはノンドロップフレーム（NDF）を切り換える。フレームレートが24PのときはNDFに固定される。	88
	設定	セット、リセット	タイムコードの初期値を設定する。	87
	XF305 TC In/Out	**In**、 Out	TIME CODE端子の入力（In）と出力（Out）を切り換える。	92
User Bit	XF305 記録モード	**Internal**、 External	記録するユーザービットを選ぶ。 Internal：本機で設定したユーザービット。 External：外部入力したユーザービット。	90
	XF305 Outputモード	**固定値**、 プルダウン	出力するユーザービットを選ぶ。 固定値：　設定したユーザービット。 プルダウン：2:3プルダウン情報。	
	タイプ	**設定**、 時刻、 日付	ユーザービットを設定する。 設定：8桁の16進数を任意に入力する。 時刻：ユーザービットに時間を設定する。 日付：ユーザービットに日付を設定する。	

XF305 User Bit設定メニュー

CAMERA MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
Outputモード		**固定値**、 プルダウン	TC/UB設定メニュー ➤ User BitのOutputモードと同じ。	93

その他機能メニュー

CAMERA | MEDIA

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
全設定リセット		OK、**Cancel**	OKを選び、SETを押すと、本機の設定を初期状態に戻す。	204
メニュー/CP設定保存	SDへ保存	メニュー メニュー＋CP	メニュー：　メニュー設定のみをSDカードに保存する。 メニュー＋CP：メニュー設定とカスタムピクチャー（本機に保存されている9セット）をSDカードに保存する。	133
	SDから読み出し*1	メニュー メニュー＋CP	メニュー：　メニュー設定のみをSDカードから本機に読み込む。 メニュー＋CP：メニュー設定とカスタムピクチャー（本機に保存されている9セット）をSDカードから本機に読み込む。	
タイムゾーン		UTC －12:00 ～ +14:00（**UTC+09:00**）	タイムゾーンを設定する。	27
日時設定	日付/時刻	日付・時間	日付と時間を設定する。	27
	日時スタイル	**YMD**、YMD/24H、MDY、MDY/24H、DMY、DMY/24H	日時の表示のしかたを選ぶ。	
WFM (LCD) *3	設定	WFM、VS、Edge Mon.*1、**切**	映像信号を確認するモニターの表示を選ぶ。 WFM：　波形モニターを表示する。 VS：　ベクトルコープを表示する。 Edge Mon.：エッジモニターを表示する。	103
	Waveform Monitor	**ライン**、ライン+スポット、フィールド、RGB、YPbPr	波形モニターのタイプを選ぶ。	103
	Gain	**1x**、2x	波形モニターの波形のゲインを選ぶ。	
	Vectorscope	スポット、**ノーマル**	ベクトルスコープのタイプを選ぶ。	104
	Gain	**1x**、5x	ベクトルスコープのゲインを選ぶ。	
	Edge Monitor*1	**タイプ1**、タイプ2	エッジモニターのタイプを選ぶ。 タイプ1：水平方向の全体のエッジ成分とスポット（3箇所）のエッジ成分を重ねて、水平方向の位置を合わせて表示する。 タイプ2：波形モニターとエッジモニターを同時に画面右下に表示する。	104
言語		English、**日本語**	表示されるメッセージの言語を選ぶ。	—
REMOTE端子		RC-V100、**Standard**	RC-V100：リモートコントローラー RC-V100（別売）と接続するときに選ぶ。 Standard：RC-V100以外のリモコン（別売、市販）と接続するときに選ぶ。	116
リモコン		**入**、切	入にすると、リモコン（付属）が有効になる。	37

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
アサインボタン*3	1	**Standard IS**	アサインボタン1 ～ 13に機能を割り当てる。次の機能を割り当てることができる。各機能の詳細について（📖118）。 (未設定)、Standard IS、Dynamic IS、Powered IS、Focusリミット、顔優先AF、顔選択、バックライト、スポットライト、デジタルテレコン、Peaking、Zebra、WFM (LCD)、Magnification、カラーバー、マーカー、LCD 設定、LCD/VFモノクロ、オンスクリーン表示、Shot Mark 1追加、Shot Mark 2追加、OK Mark追加、☑ Mark追加、Time Code、Time Codeホールド、Audio Output CH、Audio Level、リモコン、Photo、レックレビュー、最終クリップ消去	118
	2	**Peaking**		
	3	**Zebra**		
	4	**WFM (LCD)**		
	5	**レックレビュー**		
	6	**Magnification**		
	7	**Magnification**		
	8 ～ 13*1	**(未設定)**		
タリーランプ*1	前部	**入**、切	入にすると、撮影中に前部タリーランプが点灯する。	49
	後部	**入**、切	入にすると、撮影中に後部タリーランプが点灯する。	
Mediaアクセス LED		**入**、切	入にすると、CFカード／ SDカードにアクセスしたときに、アクセスランプ／ SDカードアクセスランプが点灯する。	42
XF305 Genlock調整*1		－1023 ～ 1023（**0000**）	ゲンロックのH位相を、位相差0を中心として約±0.4H（HD換算）の範囲で調整する。	91
リレー記録		**入**、切	リレー記録の入／切を切り換える。	45
ダブルスロット記録		入、**切**	ダブルスロット記録の入／切を切り換える。	
ビットレート/解像度*1		**50 Mbps 1920x1080**、50 Mbps 1280x720、35 Mbps 1920x1080、35 Mbps 1440x1080、35 Mbps 1280x720、25 Mbps 1440x1080	ビットレートと解像度を選ぶ。	56
フレームレート*1		**60i**、60P、30P、24P	フレームレートを選ぶ。解像度によって選択できるフレームレートが異なる。	56
特殊記録*1		インターバル記録、フレーム記録、プレ記録、Slow & Fastモーション、**切**	特殊記録モードを選ぶ。	107
インターバル記録*1	インターバル	**1** ～ 10、15、20、30、40、50 sec、1 ～ 10 min	インターバル記録の記録時間間隔を選ぶ。	107
	記録フレーム	60i、30P時：**1**、3、6、9 60P、24P時：**2**、6、12	インターバル記録の記録フレーム数を選ぶ。	

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
フレーム記録*1	記録フレーム	60i、30P時： **1**、3、6、9 60P、24P時： **2**、6、12	フレーム記録の記録フレーム数を選ぶ。	109
Slow & Fast モーション*1	S&Fフレームレート	解像度1080時： 12、15、18、20～22、24～28、30 解像度720時： 12、15、18、20～22、24～28、30、32、34、36、40、44、48、54、60	スロー &ファーストモーション記録の撮影フレームレートを選ぶ。解像度によって選択できる撮影フレームレートが異なる。	110
クリップ*3	タイトル設定*1	**AA**～ZZ	記録したクリップに付けられるクリップ名を構成する2桁の英字（大文字）を設定する。	51
	番号設定*1	セット、 リセット	記録したクリップに付けられるクリップ名を構成する4桁の数字を設定する。 セット：　設定した数字を初期値に設定する。 リセット：0001にリセットする。	
	最終クリップ消去*1	OK、Cancel	OKを選び、SETを押すと、最後に記録したクリップを消去する。	50
	全クリップコピー *4	OK、Cancel	OKを選び、SETを押すと、現在選択しているCFカードのクリップを、もう一方のCFカードにすべてコピーする。	147
	OKクリップコピー *5	OK、Cancel	OKを選び、SETを押すと、現在選択しているCFカードのOKクリップを、もう一方のCFカードにすべてコピーする。	147
	全クリップ消去*4	OK、Cancel	OKを選び、SETを押すと、現在選択しているCFカードのクリップをすべて消去する。	148
OKMarks全消去 *5		OK、Cancel	OKを選びSETを押すと、現在選択しているCFカードのクリップに付加されているOKマークをすべて消去する。	146
レックレビュー *1		**クリップ先頭から**、 最終4 sec	レックレビューで再生する範囲を選ぶ。 クリップ先頭から：クリップの先頭からすべて。 最終4 sec：　クリップの最後の4秒間のみ。	106
メタデータ設定*1	User Memo	**切**、 ファイル選択	SDカードに記録されているユーザーメモファイルを選ぶ。切にすると、ユーザーメモは記録されない。	100
	国コード	4文字の文字列	国コードとして、ISO-3166-1で定義している短縮文字を左詰めで入力する。 使用可能文字：A～Z、0～9、+、－、：、スペース	100
	組織	4文字の文字列	各組織で運用する組織コード*を入力する。 * 組織コードは、SMPTE登録局に申請後、取得して初めて使用できるものです。取得していないときは「0000」を入力してください。 使用可能文字：A～Z、0～9、+、－、：、スペース	
	ユーザーコード	4文字の文字列	ユーザーの識別用のコードを入力する*。 * 運用の方法は、ユーザーに任されていますが、組織コードに「0000」を入力したときは、入力しないでください。 使用可能文字：A～Z、0～9、+、－、：、スペース	

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
XF305 SDI記録コマンド*1		入、**切**	入にして、本機と他機をHD/SD SDI端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作（START/STOPボタンの操作）と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができる。	50
静止画番号*3		オートリセット、 **通し番号**	静止画番号の付け方を選ぶ。 オートリセット：静止画番号は101-0101またはSDカード内に記録されている静止画の続きの番号になる。 通し番号：静止画番号は最後に記録した静止画の続きの番号になる。	176
CP ファイル付加*1	クリップへ	**入**、切	入にすると、クリップと一緒にカスタムピクチャーが保存される。	125
	静止画へ	**入**、切	入にすると、静止画と一緒にカスタムピクチャーが保存される。	
静止画全消去*6		OK、Cancel	OKを選び、SETを押すと、SDカードに記録されているすべての静止画を消去する。	173
Custom Function*1	ショックレス Gain	ハイ、ノーマル、ロー、**切**	ゲインスイッチでゲインを切り換えたときの、値が変化する速さを選ぶ。	66
	ショックレス WB	入、**切**	入にすると、ホワイトバランスを切り換えたときに値をなめらかに変化させる。	132
	AEレスポンス	ハイ、**ノーマル**、ロー	AEの応答性を選ぶ。	71
	Irisリミット	入、**切**	入にすると、絞り（設定可能F値）の最大値をF9.5に制限する。	72
	I. Ring方向	リバース、 **ノーマル**	アイリスリングの操作方向を選ぶ。	71
	F. Ring操作	ハイ、**ノーマル**、ロー	フォーカスリングの敏感度を選ぶ。	58
	フォーカスアシストB&W	両方、 Magnify、 Peaking、 **切**	フォーカスアシスト機能（ピーキング、拡大表示）を使うときに、画面を自動的にモノクロにするかどうかを設定する。 Magnify：拡大表示を使用時に画面をモノクロにする。 Peaking：ピーキングを使用時に画面をモノクロにする。 両方：拡大表示またはピーキングを使用時に画面をモノクロにする。	59
	被写体距離単位	**Meters**、 Feet	マニュアルフォーカス（FULL MF、MF）時に表示する被写体距離の単位を選ぶ。	58
	Zoom表示	**バー**、 ナンバー	ズーム位置表示のしかたを選ぶ。 バー：　ズームバーと指標で表示。 ナンバー：0 ～ 99の数値で表示。	80
	ZR-2000 AE SHIFT	**AEシフト**、 Iris	ズームリモートコントローラー ZR-2000（別売）からの操作で、AEレベル調整を行うかアイリス調整を行うかを選ぶ。	72 73
	スキャンリバース記録	両方、 垂直、 水平、 **切**	映像を反転させて記録する。反転のしかたは3種類から選べる。 両方：上下左右反転 垂直：上下反転 水平：左右反転	33
	表示文字記録	入、**切**	入にすると、画面上に表示さている文字やアイコンなどを映像に重ねて記録する。	—

設定項目	詳細項目	設定値	内容	📖
アワーメーターリセット		OK、Cancel	ビデオカメラ本体の使用時間として、購入時からの使用時間と、最後にこの設定でリセットしたときからの使用時間とがある。アワーメーターリセットでは、最後にリセットしたときからの使用時間をリセットする。	199
GPS自動時刻設定*1		入、**切**	GPSレシーバー GP-E2から取得したUTC(協定世界時)に本機の時刻を自動で合わせる。詳細はGP-E2の使用説明書「GPSの時刻をカメラに設定する」をご確認ください。	—
Media初期化	CF A	OK、Cancel	CF Aスロットに入っているCFカードを初期化する。	44
	CF B	OK、Cancel	CF Bスロットに入っているCFカードを初期化する。	
	SD Card	完全初期化、高速初期化	SD CARD(SDカード)スロットに入っているSDカードを初期化する。	
Firmware*1		Version No.	ファームウェアのバージョン。	—

*1 カメラモードのみ。
*2 メディアモードのみ。
*3 メディアモードの静止画インデックス画面以外。
*4 メディアモードのオリジナルインデックス画面のみ。
*5 メディアモードのオリジナルインデックス画面またはOKインデックス画面のみ。
*6 メディアモードの静止画インデックス画面のみ。

MEMO

その他

ステータス画面を表示する.....194
トラブルシューティング.....202
エラーメッセージ.....206
安全上のご注意.....209
取り扱い上のご注意.....211
日常のお手入れ.....215
アクセサリー紹介.....216
主な仕様.....217
索引.....222
保証書と修理対応.....226
修理について.....227

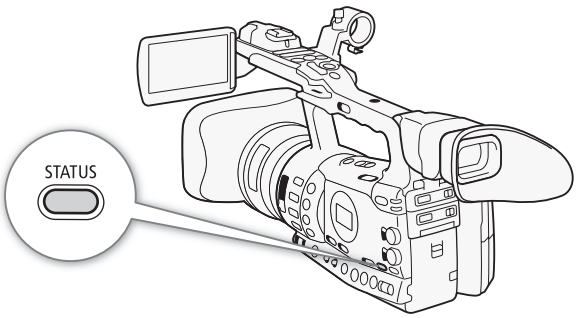
ステータス画面を表示する CAMERA MEDIA

撮影や再生に関する様々な設定内容や状態をステータス画面に表示して確認することができます。ステータス画面は、外部モニター（📖 157）に出力することもできます。次にあげるステータス画面を表示することができます。

ステータス画面の名称	表示内容	動作モード		📖
		カメラ	メディア	
カメラ	ゲイン、フォーカス、ズームなどの撮影設定。	●	–	195
アサインボタン／リモコン	アサインボタンとリモコン設定。	●	●	195
オーディオ	オーディオ設定。	●	●	196
メディア	記録メディア（CFカード、SDカード）の状態。	●	●	197
ビデオ	ビデオ出力端子の設定や特殊記録の設定。	●	●	198
ユーザーメモ	メタデータの設定。	●	–	198
バッテリー／使用時間	バッテリーの残量・寿命や本体の使用時間。	●	●	199
カスタムピクチャー	カスタムピクチャーの設定。3つの画面からなる。	●	–	199
GPS情報表示	別売のGPSレシーバー GP-E2使用時、緯度、経度、標高、UTC（協定世界時）、衛星捕捉状態を表示。詳細はGP-E2の使用説明書「GPSの信号を受信する」の「GPS情報を表示する」をご確認ください。	●	–	201

操作のしかた

ここでは、ステータス画面の表示のしかた、確認したい画面への切り換えかた、ステータス画面の消しかたを説明します。



1 STATUS（ステータス表示）切り換えボタンを押す

- ステータス画面が表示される。
- 最後にステータス画面を消したときの画面が表示される。

2 ジョイスティックを上下に押す

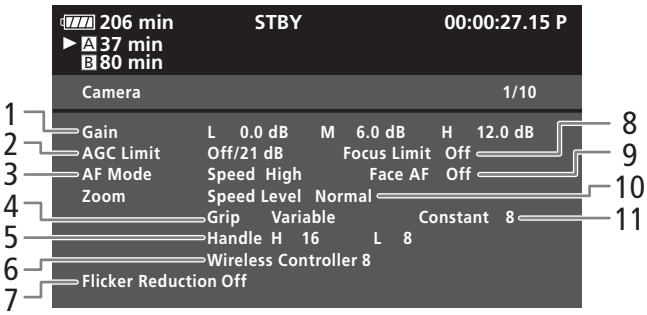
- 下に押すと次の画面に、上に押すと前の画面に、ステータス画面が切り換わる。
- SELECTダイヤルを回して操作することもできる。

3 STATUS（ステータス表示）切り換えボタンを再度押す

- ステータス画面が消える。
- MENU（メニュー）ボタンやCUSTOM PICT.（カスタムピクチャー）ボタンを押しても、ステータス画面が消え、押したボタンに応じたメニューが表示される。

カメラステータス画面 CAMERA MEDIA

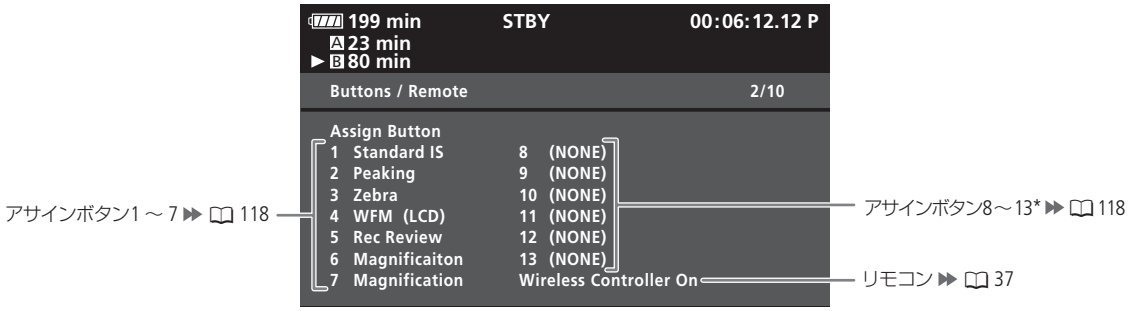
ゲイン、フォーカス、ズームなど撮影に関する設定内容を表示します。



1 ゲイン ▶▶ 📖 65
2 AGCリミット ▶▶ 📖 65
3 AFモード ▶▶ 📖 61
4 グリップズームロッカー ▶▶ 📖 81
5 ハンドルズームスピード ▶▶ 📖 82
6 リモコンズームスピード ▶▶ 📖 83
7 フリッカー低減 ▶▶ 📖 70
8 フォーカスリミット ▶▶ 📖 63
9 顔優先AF ▶▶ 📖 62
10 ズームスピードレベル ▶▶ 📖 81
11 グリップズームロッカーのズームスピード ▶▶ 📖 81

アサインボタン／リモコンステータス画面 CAMERA MEDIA

アサインボタンに割り当てられている機能の一覧とリモコン（付属）の入／切の状態を表示します。

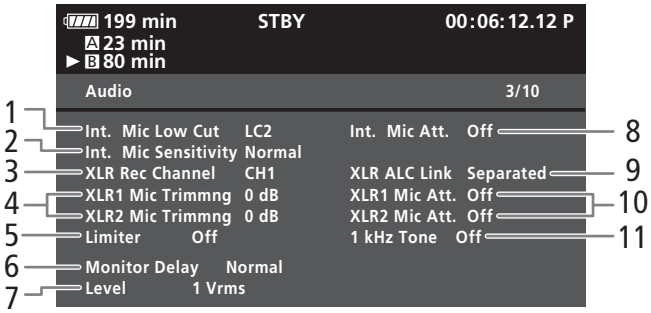


*カメラモードのみ。

オーディオステータス画面 CAMERA MEDIA

音声の記録、入出力などオーディオ関係の設定内容を表示します。

カメラモードのとき

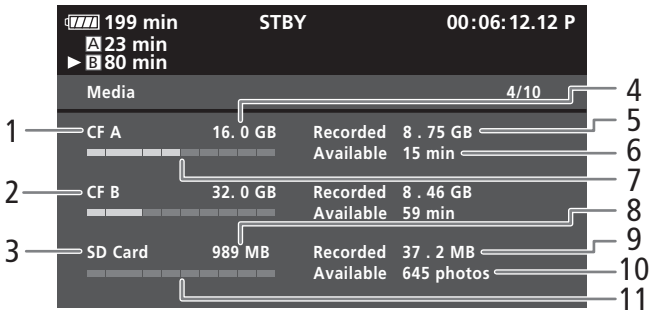


メディアモードのとき

1 内蔵マイク特性 ▶▶ 95
2 内蔵マイク感度 ▶▶ 95
3 XLR録音チャンネル ▶▶ 97
4 XLRマイク感度 ▶▶ 97
5 オーディオリミッター ▶▶ 99
6 音声出力タイミング ▶▶ 160
7 AV端子の音声出力レベル ▶▶ 161
8 内蔵マイクアッテネーター ▶▶ 95
9 XLR録音レベル連動 ▶▶ 98
10 XLRマイクアッテネーター ▶▶ 97
11 1 kHzテストトーン ▶▶ 102

メディアステータス画面 CAMERA MEDIA

2つのCFカードスロットとSDカードスロットの記録メディアの状態を表示します（40）。

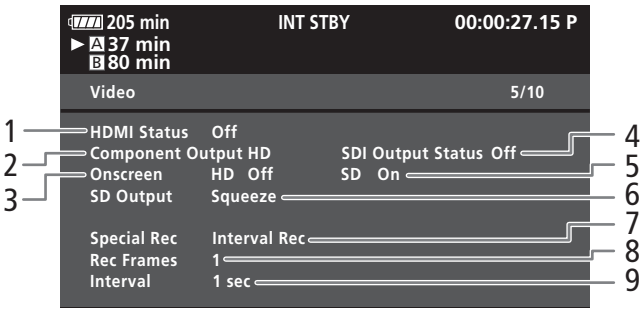


1 CFカードA
2 CFカードB
3 SDカード
4 CFカードAの総容量
5 CFカードAの使用量
6 CFカードAの記録可能時間
7 CFカードAの使用量の目安
8 SDカードの総容量
9 SDカードの使用量
10 SDカードの静止画記録可能枚数
11 SDカードの使用量の目安

MEMO カードによっては、CFカードまたはSDカードの総容量が、カードに記載の容量より少なく表示されることがあります。

ビデオステータス画面 CAMERA MEDIA

ビデオ出力端子の設定内容を表示します。特殊記録モードのときは、特殊記録のモードと設定内容についても表示します。



1 現在のHDMI OUT端子の出力状態 ▶▶ 📖 158

2 XF305 HD/SD SDI端子の出力設定 ▶▶ 📖 158

3 HD出力のOSD重畳 ▶▶ 📖 159

4 HD/SD COMPONENT OUT端子の出力状態 ▶▶ 📖 158

5 SD出力のOSD重畳 ▶▶ 📖 159

6 SD出力の表示方式 ▶▶ 📖 156

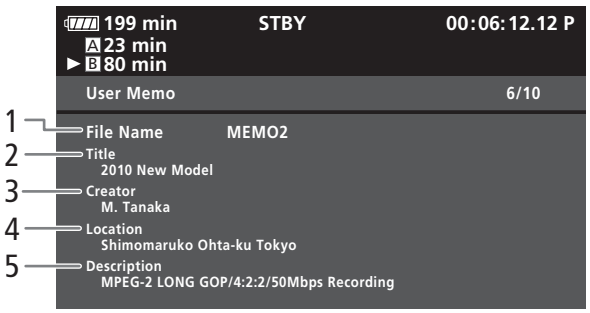
7 特殊記録 ▶▶ 📖 107

8 インターバル記録／フレーム記録の記録フレーム数 ▶▶ 📖 107、109

9 インターバル記録の記録間隔 ▶▶ 📖 107

ユーザーメモステータス画面 CAMERA MEDIA

ユーザーメモの情報（クリップタイトル、撮影者名、撮影場所、撮影内容）を表示します（📖100）。



1 ユーザーメモファイルのファイル名

2 クリップのタイトル

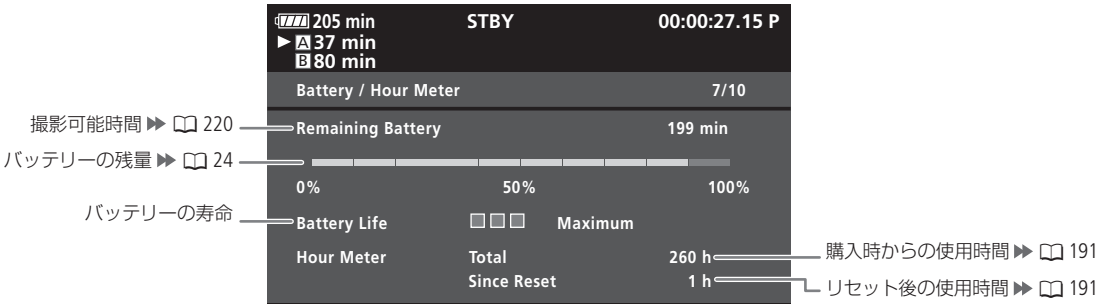
3 撮影者名

4 撮影場所

5 撮影内容

■ バッテリー／使用時間ステータス画面 CAMERA MEDIA

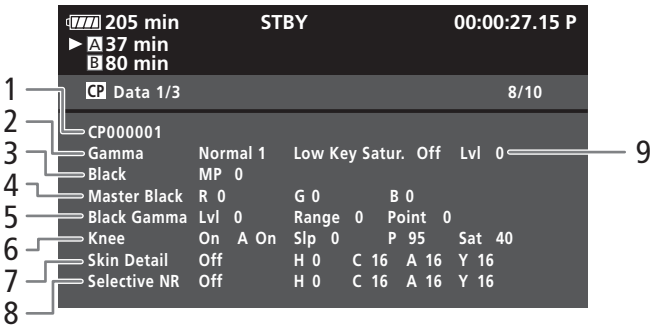
バッテリーの残量や寿命を表示します。また、本体のご購入時からの使用時間と、最後にリセットしたときからの使用時間を表示します。



■ カスタムピクチャーステータス画面 CAMERA MEDIA

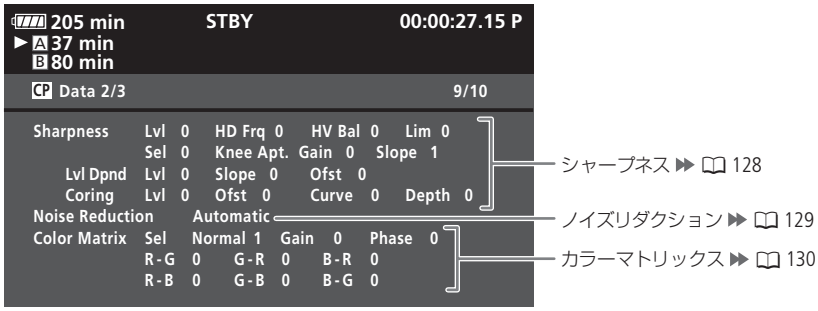
現在選択しているカスタムピクチャーの設定内容を表示します。

カスタムピクチャー 1画面の表示内容

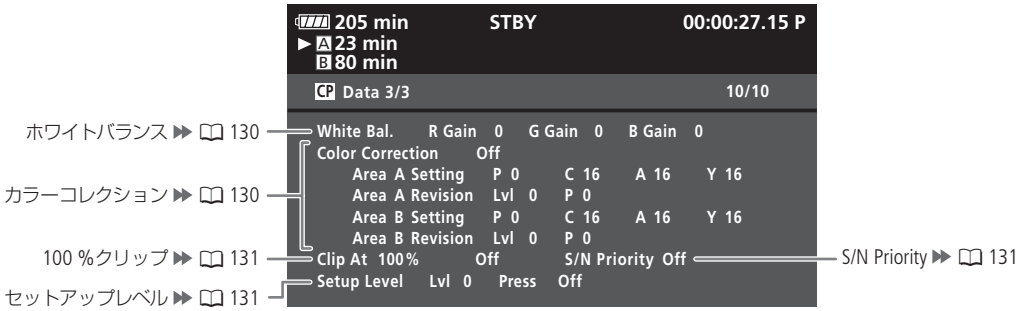


1 カスタムピクチャー名 ▶▶ 126
2 ガンマ ▶▶ 126
3 ブラック ▶▶ 127
4 マスターブラック ▶▶ 127
5 ブラックガンマ ▶▶ 127
6 ニー ▶▶ 128
7 スキンディテール ▶▶ 129
8 セレクティブNR ▶▶ 130
9 ローキーサチュレーション ▶▶ 127

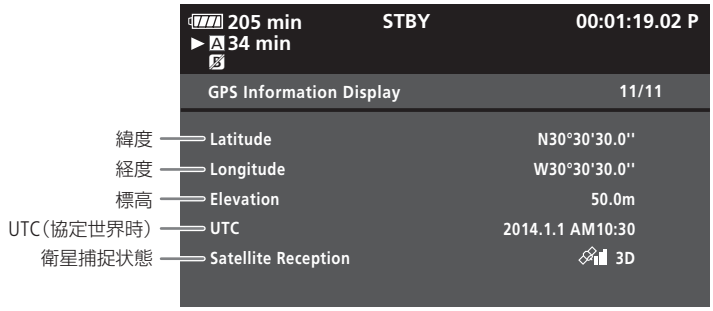
カスタムピクチャー 2画面の表示内容



カスタムピクチャー 3画面の表示内容



GPS情報表示ステータス画面 CAMERA MEDIA



トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センター（📖 227）またはご購入になった販売店にご相談ください。

電源

こんなときは	どうするの？	📖
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	22
バッテリーが充電できない。	● バッテリーの温度が0 ℃未満になったかまたは40 ℃を超えている。0 ℃未満のときはバッテリーを温めてから、40 ℃を超えたときは放置して40℃以下になってから、充電を開始する。 ● 周囲の温度が0 ℃～ 40 ℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	22
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命の可能性がある。バッテリーステータス画面でバッテリーの寿命を確認し、寿命がないときは、新しいバッテリーを購入する。	199

撮影中

こんなときは	どうするの？	📖
START/STOPボタンを押しても録画しない。	● CFカードに空き容量がない。または999クリップ記録されている。別のCFカードと入れ換える。または不要なクリップを消すか、記録されているクリップをバックアップして初期化する。	40 148 162 44
	● ハンドルのSTART/STOPボタンのロックレバーが🔒側になっている。ロックを解除する。	49
	● RC-V100リモートコントローラー（別売）を操作中は、記録を開始／停止できないことがあります。RC-V100の操作を中断してから、START/STOPボタンを押してください。	—
START/STOPボタンを押した時点と、記録されたクリップの始めと終わりの時点が異なる。	● START/STOPボタンを押してから、録画の開始／終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	● オートフォーカスまたはプッシュ AFでフォーカスを調整するとき、被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● ファインダーの視度が合っていない。視度調整レバーで画面がはっきり見えるように調整する。 ● レンズやハイスピードAFセンサーが汚れているのでお手入れする。	57 32 215
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の「●REC ／ STBY」の切り換えに時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。別のCFカードと入れ換えるか、クリップをバックアップしてCFカードを初期化する。	40 162 44
動画を正しく記録できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。CFカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、CFカードを初期化する。	162 44
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使い続けると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	227

再生中

こんなときは	どうするの？	📖
クリップの消去ができない。	● OKマークが付加されたクリップは、本機では消去できない。OKマークを消去してからクリップを消去する。	146
クリップの消去に時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。クリップをバックアップしてCFカードを初期化する。	162 44
静止画を消せない。	● 静止画のプロテクト設定を解除する。 ● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。	174 43
クリップをコピーできない。	● コピー先となるCFカードの空き容量が足りないか、または記録可能なクリップ数（999個）を超えた。CFカードの不要なクリップを消すか、別のCFカードと入れ換える。	148 40

表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面で が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	22
画面に が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
タリーランプが点灯しない。	● その他機能メニューの「タリーランプ」で、「前部（前部タリーランプ）」または「後部（後部タリーランプ）」を「入」にする。	188
タリーランプが速く点滅する。	（1秒に4回の点滅） ● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。 ● CF AとCF B に空き容量がない。別のCFカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。 ● システムエラーが発生している。電源を入れなおしても解決しないときは、故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	 22 40 148 227
タリーランプがゆっくり点滅する。	（1秒に1回の点滅） ● CF AとCF Bを合わせた空き容量が少なくなっている。記録中でないスロットのCFカードを別のカードと入れ換える。	 40
F. Ringが赤く出る。	● フォーカスモード切り換えリングが中途半端な位置になっている。AF/MFまたはFULL MF側に、ロック解除ボタンがロックされるまで確実に回す。	57
が赤く点灯する。	● SDカードエラー。電源を切り、SDカードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、SDカードを初期化する。 ● SDカードに空き容量がない。別のSDカードと入れ換えるか、静止画を消す。	43 44 172
撮影を中断してもアクセスランプが赤く点灯している。	● 撮影したクリップをメモリーに書き込んでいる。故障ではない。	—

画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	22
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しないときは、次のいずれかの操作を行う。 • 電源を取り外し、先のとがったものでRESET（リセット）ボタンを押す。 → カスタムピクチャーとアワーメーター（リセット後の使用時間）を除く本機の設定が初期状態に戻る。 • その他機能メニューの「全設定リセット」を行う。 → アワーメーター（リセット後の使用時間）を除く本機の設定が初期状態に戻る。	22 13 187
画面にノイズが出る。	● プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	—
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。シャッタースピードを1/100秒にするか、カメラ設定メニューの「フリッカー低減」を「Automatic」にすると軽減する。故障ではない。	70
画面の映像が暗い。	● Hlt.Pri.ガンマを適用した映像を本機の画面で見るときは、「ビューアシスト」を「入」にすると、実際に近い明るさで映像を確認できる。	183
音声が記録されない。	● AUDIO IN（音声入力）切り換えスイッチが正しく切り換えられていない。 ● XLR端子にファンタム電源が必要な外部マイクを取り付けたときに、XLR端子切り換えスイッチを「MIC＋48V」に切り換えていない。	94 96
音声が極端に小さい。	● AUDIO LEVEL（録音レベル）切り換えスイッチを「M（マニュアル）」にしていて、録音レベルをしぼっている。液晶表示パネルのオーディオレベルメータで確認しながら適正なレベルに調整する。 ● 内蔵マイク／外部マイクのアッテネーターを「入」にしている。アッテネーターを「切」にする。	98 95 97
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、このようになることがある。内蔵マイクまたは外部マイクのマイクアッテネーターを使うか、録音レベルを手動で調整する。	95 97 98
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 ● ヘッドホンをはずす。	140

アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
メモリーカードが入らない。	● CFカードはCFカードスロットに、SDカードはSDカードスロットにそれぞれ正しい向きで入れる。	40 43
CFカードに動画を記録できない。	● 対応しているCFカードを確認する。 ● はじめて使用するときは、CFカードを本機で初期化する。 ● CFカードに空き容量がないか、または記録可能なクリップ数（999個）を超えた。CFカードの不要なクリップを消すか、別のCFカードと入れ換える。	40 44 148 40

こんなときは	どうするの？	📖
SDカードに静止画を記録できない。	● はじめて使用するときは、SDカードを本機で初期化する。 ● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● SDカードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要な静止画を消す。 ● 静止画番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいカードを入れて、その他機能メニューの「静止画番号」を「オートリセット」にする。	44 43 172 190
CFカードへの書き込み／読み出しが遅くなった。	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。CFカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、CFカードを初期化する。	162 44
SDカードへの書き込み／読み出しが遅くなった。	● 記録や消去を繰り返すとこのようになることがある。SDカードに記録されている静止画をバックアップしたあと、SDカードを完全初期化する。	44
リモコンが動作しない。	● その他機能メニューの「リモコン」を「入」にする。 ● リモコンの電池を交換する。	37

他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからACアダプターを離す。	—
再生しても、外部モニターに映像が出ない。	● 本機と外部モニターとの接続が正しく行われていない。ケーブルの接続を確認する。 ● 外部モニターの設定を、接続した端子に切り換える。	157 —
外部モニターで音声が出ない。	● D端子ケーブルで外部モニターにつなぐときは、音声を出力するためにステレオビデオケーブルの白と赤のプラグもつなぐ。	157
HDMIケーブルで接続しているとき、外部モニターに映像や音が出ない。	● HDMIケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。	—
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。	—
外部モニターやパソコンなどの画面上の映像が暗い。	● Hlt.Pri.ガンマを適用した映像を外部モニターなどで見るときは、モニターなどの画面を明るくする。	—

エラーメッセージ

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。エラーメッセージは、Other Functionsメニューの「Language 💬」で選んだ言語で表示されます。

メッセージ	原因と対処	📖
空き容量がありません	● CF AとCF B に空き容量がない。別のCFカードと入れ換えるか、不要なクリップを消す。	40 148
空き容量がわずかです	● CF AとCF Bを合わせた空き容量が少なくなっている。記録中でないスロットのCFカードを別のカードと入れ換える。	40
画像がありません	● SDカードに静止画が記録されていない。静止画を記録してから再生する。	168
カバーがあいています	● カメラモードに切り換えたときに、CFカードカバーが開いていた。CFカードを入れたらCFカードカバーを閉じる。	40
記録が中断されました	● 1つのクリップ中に記録できる映像ファイルの数*1が上限に達したため、記録を中断した。 *1 記録中、映像ファイルのサイズが2GBに達すると自動的に新しいファイルに記録し、最大99個まで記録できる。	—
記録できません	● 管理情報が壊れた*2か、またはエンコーダーにエラーが発生したため、記録できない。電源を入れなおしてカードを出し入れするか、別のCFカードと入れ換える。それでも解決しないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください。	40 227
クリップがありません	● CFカードにクリップが記録されていない。クリップを記録してから再生する。	48
再生できない画像です	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。	—
再生できません	● 管理情報が壊れた*2か、またはデコーダーにエラーが発生したため、再生できない。電源を入れなおしてカードを出し入れする。それでも解決しないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください。	40 227
システムエラー	● 電源を入れなおしても解決しないときは、故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	227
操作は無効です	● 次にあげる無効な操作を行った。 • ショットマークを同じフレームに付加しようとした。 • OKマーク、チェックマークを同じクリップに付加しようとした。 • フレーム記録モードまたはインターバル記録モードのときにショットマークを付加しようとした。 • 特殊記録モードで撮影した直後にレックレビューを行おうとした。 • CFカードが入っていないときに、START/STOPボタンを押した。	—
パソコンで安全な取りはずしをするまでは ● USBケーブルをぬかないでください ● 電源をはずさないでください コンパクトパワーアダプターを接続してください	● メディアモード時、本機をUSBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作はできない。本機のメモリー内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。 ● ACアダプター（コンパクトパワーアダプター）をつないで、USBケーブルでパソコンに接続しているときは、データの転送や書き戻しができる。	—
パソコンで安全な取りはずしをするまでは ● USBケーブルをぬかないでください ● 電源をはずさないでください 書き込みできない接続方法です 書き込む場合はコンパクトパワーアダプターを接続してからUSBを接続しなおしてください	● ACアダプター（コンパクトパワーアダプター）をつながないで、USBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作や書き込みはできない。本機のCFカード内のデータが破損しないよう、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機を操作する。 ● 本機のCFカード内にデータを書き込む場合は、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、ACアダプターを接続してから、USBケーブルを接続しなおす。	—

*2 破損した管理情報は修復できません。また、管理情報が破損したCFカード／クリップを、ソフトウェア（Canon XF Utilityまたはノンリニア編集ソフトウェア用プラグイン）で読み込むことはできません。

メッセージ	原因と対処	📖
バッテリー情報を取得できません	● キヤノンのインテリジェントリチウムイオンバッテリーを取り付けていないときは、バッテリー情報を表示できない。	—
バッテリーと通信できません このバッテリーを使用しますか？	● キヤノンのインテリジェントリチウムイオンバッテリー以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。	—
	● キヤノンのインテリジェントリチウムイオンバッテリーを使用しているときは、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	227
バッテリーパックを取り替えてください	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	22
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号や静止画番号が最大になった。その他機能メニュー ➤「静止画番号」を「オートリセット」にしてカードを初期化するか、静止画をすべて消す。	190 44 173
CF切替できません	● 撮影中など、CFスロットの切り換えができないときにSLOT SELECT（スロット選択）ボタンを押した。撮影終了後にCFスロットを切り換える。	45
CF A（CF B） 空き容量がありません	● CF A（CF B）に空き容量がないため記録を開始できない。もう一方のスロットに切り換えてから撮影する。	45
CF A（CF B）（CF A / CF B） 管理ファイルエラー 記録できません	● 管理情報に書き込みできないため、記録できない。他の機器でCFカード内のファイルを操作すると、このようになることがある。CFカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。	162 44
CF A（CF B）（CF A / CF B） クリップ数がいっぱいです	● CF A（CF B）（CF A / CF B）がクリップ数の上限（999個）に達した。もう一方のスロットに切り換えるか、別のCFカードと入れ換える。 ● ダブルスロット記録時に、両CFカードのクリップ数がいっぱいで記録できない。	45 40
CF A（CF B） サポートしていない管理情報は削除されます	● キヤノン製の他の業務用ビデオカメラで初期化したCFカードを入れると、このようになることがある。CFカードの内容を確認する。	—
CF A（CF B） 修復できませんでした	● CF A（CF B）を修復できなかった。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。	162 44
CF A（CF B） バッファオーバーです 記録を中断しました	● カードの書き込み速度が遅いため、CF A（CF B）の記録を中断した。推奨のカードを入れる。	40
CF A（CF B）（CF A / CF B）にアクセス中です 取り出さないでください	● CF A（CF B）にアクセス中に、CF A（CF B）のカードカバーをあけた。CFカードカバーを閉める。 ● ダブルスロット記録中に、CF A/CF Bのカードカバーをあけた。CFカードカバーを閉める。	40
CF A（CF B）にエラーが発生しました	● CF A（CF B）を認識できないか、またはアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。	40
CF A（CF B）のデータの確認と初期化をお勧めします	● 次の理由によりCF A（CF B）を使用できない。カードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。 • CFカードに異常があるため、記録・再生できない。 • CFカードの情報が取得できない。 • パソコンなど他の機器で初期化されている。 • CFカード内にパーティションが設定されている。	162 44
CF A（CF B）は修復が必要です 修復しますか？	● 記録中に停電したなどCFカード内の情報に不具合があるため、修復を行う必要がある。修復を行うときは、「はい」を選ぶ ➤ SETを押す。	46

メッセージ	原因と対処	📖
CF A(CF B) 非対応メディアです	● 容量が512MB未満か、またはUDMA非対応のためCF A(CF B)を使用できない。別のカードと入れ換える。	40
CF A(CF B) UDMA 4以上のメディアをお使いください	● UDMA 4未満のCFカードが入っている。UDMA 4以上のカードを推奨します。	40
CF A→CF B (CF B→CF A) 切り換えました	● リレー記録またはスロット切り換え操作 (SLOT SELECTボタンを押す)により、記録先がCF AからCF B(CF BからCF A)に切り換わった。	—
CF A→CF B (CF B→CF A) まもなく切り換えます	● CF A(CF B)の空き容量が少なくなったため、リレー記録によって、約1分後に記録先スロットが切り換わる。	—
PALで記録されています CF A(CF B)のデータの確認と初期化をお勧めします	● CF A(CF B)内のクリップがPAL方式で記録されている。CFカードに記録されているクリップをバックアップしたあと、カードを初期化する。	162 44
☑ Markエラー	● チェックマークが付加できなかった。カメラモードの場合、再度試みて解決しないときは、メディアモードで行う。メディアモードの場合、再度試みて解決しないときは、一度電源を入れなおして、再度行う。	145 26
OK Markエラー	● OKマークが付加できなかった。カメラモードの場合、再度試みて解決しないときは、メディアモードで行う。メディアモードの場合、再度試みて解決しないときは、一度電源を入れなおして、再度行う。	145 26
SDカードにエラーが発生しました	● マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。	40
SDカードを確認してください	● SDカードにアクセスできない。SDカードが正しく入っているか、不具合がないか確認する。 ● SDカードにエラーがあり、記録や再生ができない。SDカードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。	43
Shot Markエラー	● ショットマークが付加できなかった。カメラモードの場合、再度試みて解決しないときは、撮影終了後にメディアモードで行う。メディアモードの場合、再度試みて解決しないときは、一度電源を入れなおして、再度行う。	145 26
Shot Markがありません	● ショットマークインデックス画面で、クリップのショットマークを消去したことによって、ショットマークが付加されたクリップがなくなった。INDEXボタンを押してオリジナルインデックス画面に戻る。	137
Shot Mark数オーバー	● ショットマーク数*が最大になったため、付加できない。 * ショットマーク1とショットマーク2で合計100個まで。	—

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落として壊した
- 内部に水や異物が入った

▶▶

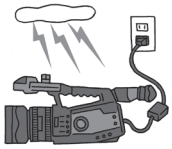
バッテリーを外して、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、カメラ修理受付センター（📖 227）に問い合わせるか、購入販売店に修理を依頼してください。

⚠ 警告　死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

禁止

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。
➤ 火災 感電 けが



雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。
➤ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
➤ 感電

ぬらさない。 ➤ 火災 感電 やけど
降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

液漏れしたバッテリーは使用しない。
➤ 皮膚の損傷 失明 発火
液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

分解や改造をしない。
➤ 発熱 感電 火災 けが

強い衝撃や振動を与えない。
➤ 火災 やけど けが
ストラップ使用時は特に注意する。液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

禁止

電源コードについて次のことを守る。
➤ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない

バッテリーやコイン型リチウム電池を熱しない、火中投入しない。 ➤ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。
➤ やけど けが
ショートして、高熱や液漏れの恐れあり。

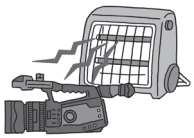
充電中は長時間にわたる接触をしない。
➤ 低温やけど

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。 ➤ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。
➤ 火災 感電 やけど
内部にほこりや水などが入る恐れあり。

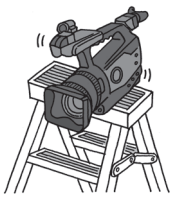
禁止

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。
➤ 火災 やけど けが
発熱や破裂の恐れあり。



運転中に使用しない。➤ 交通事故

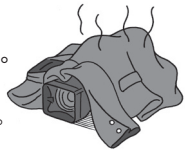
不安定な場所に置かない。
➤ けが
落下、転倒の恐れあり。



乳幼児の手の届くところに置かない。
➤ 感電 けが

禁止

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。
➤ 火災
内部に熱がこもる恐れあり。



強制

指定された機器を使う。➤ 火災 感電 けが

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。➤ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。
➤ 火災 感電

コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。➤ 火災 感電

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。➤ けが 交通事故

⚠ 注意　傷害、物的損害を負う恐れがある内容です。

禁止

コイン型リチウム電池を金属ピンセットなどでつかまない。➤ やけど
発熱の恐れあり。

強制

コード類は、つまずかないように配置する。
➤ けが
足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下する恐れあり。

バッテリー、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取り付ける。➤ けが

バッテリーやワイドアタッチメントなどを取り外すときは、落とさないように気をつける。➤ けが

強制

飛行機内で使用するときは、乗務員の指示に従う。
機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れ。

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。➤ 火災

取り扱い上のご注意

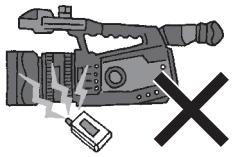
ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

ビデオカメラ本体

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

強い磁気の発生する場所では使わない



磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ったりすることがあります。

強い光源にレンズやファインダーを向けない

ビデオカメラやファインダーを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときやショルダーストラップを使って持ち運ぶときなど、ファインダーを使用しないときは、ファインダーキャップを取り付けてください。

液晶画面を...

つかんでもちあげない ➔液晶画面の接合部が破損することがあります。
無理に閉じない ➔正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。

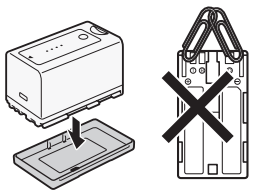
バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

保管するときは端子カバーを使う

バッテリーを保管する、持ち運ぶなどのときは、必ず端子カバーを取り付けてください（A）。金属などでショートすると高熱や液漏れ、破損の原因となります（B）。



（図A）　（図B）

その他

正しく残量表示されないときは

バッテリーをフル充電してください。ただしバッテリーを高温下で長時間使ったり、フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

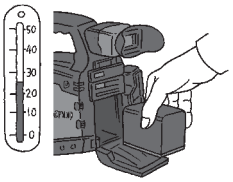
インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～ 30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。



充電済みバッテリーパックの見分けかた

ショート防止用端子カバーには▭の穴があり、バッテリーに取り付けるときの向きによって▭の穴から見える色が異なります。これを利用して端子カバーを取り付ければ、充電済みバッテリーを見分けることができます。

海外で使用するときは

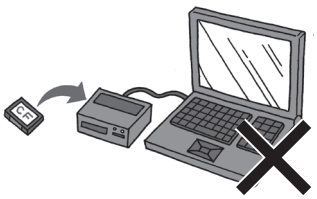
海外でも付属のACアダプター（AC100 ～ 240 V 50/60 Hzまでの電源に対応）を使用できます。お使いになる国のコンセント形状にあった変換プラグを使用してください。

- ACアダプターを変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

■ メモリーカード

データはバックアップする

ビデオカメラ本体／メモリーカードの故障や静電気などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。



端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

メモリーカード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

ていねいに扱う

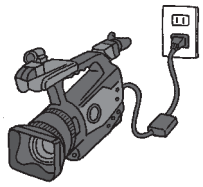
落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

① 電源を切る。
② ACアダプターを使って、本機をコンセントにつなぐ。

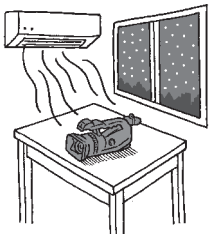


その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

メモリーカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度メモリーカードの完全初期化（SDカード）または初期化（CFカード）（📖 44）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について



室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、メモリーカードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

コイン型リチウム電池（CR2025）

コイン型リチウム電池はリモコンに使用されます。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。

本機に付属の電源コードは、本製品専用です。他の機器に使用することはできません。

Li-ion

○ 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
ホームページ　http://www.jbrc.com
○ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
○ 被覆をはがさないでください。
○ 分解しないでください。

日常のお手入れ

大切なビデオカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

ビデオカメラ本体を清掃する

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

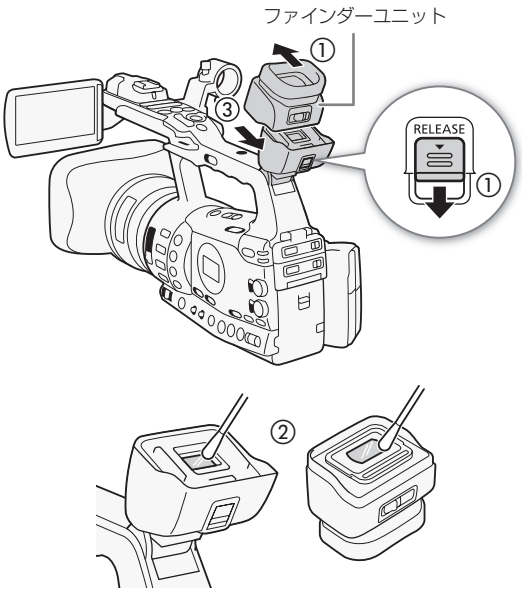
レンズやハイスピードAF用外部センサーの表面にホコリや汚れが付いていると、オートフォーカスがうまく動作しないことがあります。レンズやハイスピードAF用外部センサーは常にきれいに保つようにしてください。レンズは、最初にブロアーで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。ハイスピードAF用外部センサーは、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

液晶画面について

- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

ファインダーを清掃する

ファインダー内部に入ったゴミは、次のようにして取り除きます。



1 RELEASE（ファインダーユニット取り外し）レバーを▼方向にスライドさせ、ファインダーユニットを上にスライドさせて取り出す（①）

2 綿棒でゴミを取り除く（②）

3 ファインダーユニットをガイドに沿ってスライドさせ、取り付ける（③）

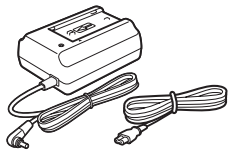
ご注意

ファインダーの接眼レンズや液晶画面は傷つきやすいので、ご注意ください。

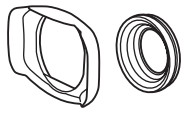
アクセサリー紹介

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用したときに最適な性能を発揮するように設計されておりますので、**キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします**。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、**弊社では一切責任を負いかねます**。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、**保証の対象外となり有償**とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

バッテリーパック
BP-955*1、BP-975*1

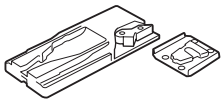


ACアダプター
CA-935



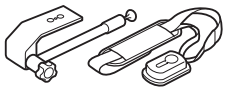
ワイドアタッチメント
WA-H82

レンズフード
LH-V1

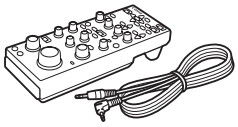


三脚アダプター
TA-100

三脚ベース
TB-1

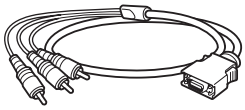


シューティングブレース
SBR-1000

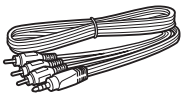


リモートコントローラー
RC-V100

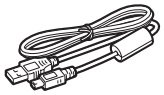
ズームリモートコントローラー
ZR-2000*2



D端子コンポーネントケーブル
DTC-1000



ステレオビデオケーブル
STV-250N



USBケーブル（インターフェースケーブル）
IFC-400PCU

GPSレシーバー
GP-E2

*1 このバッテリーパックは、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。

*2 販売終了しています。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

主な仕様

XF300 / XF305本体

システム	
記録方式	動画： 映像圧縮方法：MPEG-2 Long GOP 音声記録方式：リニアPCM、16 bit、48kHz、2ch ファイルフォーマット：MXF 静止画：DCF準拠、Exif Ver2.2準拠 静止画圧縮方法：JPEG
記録／再生信号形式	50 Mbps（CBR / 4:2:2 / 422P@HL）：1920×1080 / 60i、30P、24P 1280×720 / 60P、30P、24P 35 Mbps（VBR / 4:2:0 / MP@HL）：1920×1080 / 60i、30P、24P 1440×1080 / 60i 1280×720 / 60P、30P、24P 25 Mbps（CBR / 4:2:0 / MP@H14）：1440×1080 / 60i、30P、24P
記録メディア	動画： コンパクトフラッシュ（CF）カード Type I（2スロット） 静止画*1：SD ／ SDHCメモリーカード
記録時間*2	16GB CFカード（50 Mbps、35 Mbps、25 Mbps）：約40分、約55分、約80分 64GB CFカード（50 Mbps、35 Mbps、25 Mbps）：約160分、約225分、約310分
撮像素子	1/3型 CMOS×3、有効画素：約207万画素（1920×1080）
液晶画面	ワイドカラー液晶（4.0型、約123万ドット）
ビューファインダー	ワイドカラー液晶ファインダー（0.52型、約155.5万ドット）
マイク	クロスレイアウト方式、ステレオ、エレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=4.1 ～ 73.8 mm、F1.6 ～ 2.8、18倍ズーム 35mmフィルム換算時の焦点距離：約29.3 ～ 527.4 mm
レンズ構成	14群17枚、非球面レンズ3枚（5面）、UDレンズ使用
色分解光学系	プリズム方式
NDフィルター	内蔵（OFF、1/4、1/16、1/64）
フィルター径	82mm
焦点調整	TTL自動焦点（TTL+外部測距：ハイスピードAF選択時）、 フォーカスリングによるマニュアル調整可
ホワイトバランス	自動追尾型WB、セット、プリセット設定（太陽光 約5400K、電球 約3200K）*、 色温度設定機能付き * 色温度は目安です。
アイリス	オート、マニュアル（📖 71）
ゲイン	オート（AGC）、マニュアル（📖 66）
シャッタースピード（📖 68）	OFF、オート、スピード、アングル、クリアスキャン、スローシャッター
被写体照度	最低被写体照度：0.08ルクス（フルオートモードOFF、フレームレート60i、 ゲイン33 dB、シャッタースピード1/4秒時） 被写体照度範囲：0.08ルクス ～ 10万ルクス（フレームレート60i時）
手ブレ補正	光学式（シフト方式）
動画サイズ	50 Mbps：1920×1080、1280×720 35 Mbps：1920×1080、1440×1080、1280×720 25 Mbps：1440×1080
静止画サイズ	1920×1080、1280×720（動画から切り取るときのみ）

*1 カスタムピクチャー、設定データ、ユーザーメモの保存／読み込みにも使用。
*2 連続記録したときの記録時間の目安。

入・出力端子	
XF305 HD/SD SDI端子	BNCジャック（出力のみ）、0.8 Vp-p ／ 75 Ω、不平衡 HD-SDI（SMPTE　292M準拠）： 映像（1080i/720P）、エンベデッドオーディオ、タイムコード（VITC/LTC） SD-SDI（SMPTE　259M準拠）： 映像（480i）、エンベデッドオーディオ、タイムコード（VITC/LTC）
HDMI OUT端子	HDMIコネクター、出力のみ
HD/SD COMPONENT OUT端子	D4（720P）／ D3（1080i）／ D1（480i）対応、出力のみ Y：　1 Vp-p、75 Ω Pb/Pr：±350mV、75 Ω
映像出力（コンポジット）端子	AV端子：　φ3.5 mm　4極ミニジャック（AV兼用）、出力のみ、 1 Vp-p ／ 75 Ω　不平衡 VIDEO 2端子：BNCジャック（出力のみ）、1 Vp-p ／ 75 Ω　不平衡
音声出力端子	AV端子：　φ3.5 mm　4極ミニジャック（AV兼用）、出力のみ －10 dBV（47 kΩ負荷時、出力レベル設定1 Vrms）／ 3 kΩ以下
音声入力端子	XLR端子：　XLR（バランス）（①シールド、②ホット、③コールド）、2系統 感度（MIC時）：－60 dBu（マニュアルボリュームセンター、 フルスケール－18 dB）／ 600 Ω 感度（LINE時）：＋4 dBu（マニュアルボリュームセンター、 フルスケール－18 dB）／ 10 kΩ ATT：　20 dB
🎧（ヘッドホン）端子	φ3.5 mmステレオミニジャック －∞～－12 dBV（16 Ω負荷、ボリュームMin ～ Max）／ 50 Ω以下
XF305 GENLOCK端子	BNCジャック（入力のみ）、1.0 Vp-p ／ 75 Ω
XF305 TIME CODE端子	BNCジャック 入力時：0.5 V-18 Vp-p ／ 10 kΩ 出力時：1.0 Vp-p ／ 75 Ω
REMOTE端子	φ2.5 mmステレオミニミニジャック
USB端子	mini-B Receptacle、Hi-speed USB

電源その他	
電源電圧	公称 DC 7.4 V（バッテリーパック）、DC 8.4 V（DC IN）
消費電力	XF300：ファインダー使用時　7.8 W 液晶画面使用時　8.1 W XF305：ファインダー使用時　9.0 W 液晶画面使用時　9.3 W （いずれも、ビットレート50 Mbpsで録画中・AF合焦時、ファインダー／液晶画面の明るさノーマル、SDI出力OFF時）
動作温度	0 ℃ ～ ＋40 ℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約180×236×396 mm（レンズフードを含み、グリップベルト、アイカップは含まない）

電源その他	
撮影時総重量	XF300 約2940 g、XF305 約2980 g （レンズフード、グリップベルト、バッテリーパックBP-955、CFカード1枚、SDカード1枚をそれぞれ含み、アイカップは含まない）
本体質量	XF300 約2630 g、XF305 約2670 g （グリップベルトを含み、レンズフード、アイカップは含まない）

付属品

ACアダプター CA-935	
定格入力	AC 100 ～ 240 V、50/60 Hz アダプターモード時： 44VA（AC 100V）～ 57VA（AC 240V） チャージモード時： 38VA（AC 100V）～ 50VA（AC 240V）
定格出力	アダプターモード時： 公称DC8.4 V、2.4 A チャージモード時： 公称DC8.4 V、2.0 A
使用温度	0℃～ +40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約85×51×110 mm
質量	約345 g

バッテリーパック BP-955	
使用電池	リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー）
使用温度	0 ℃ ～ +40 ℃
公称電圧	DC 7.4 V
公称容量	5200 mAh
定格（最小）容量	37 Wh / 4900 mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約38.2×43.5×70.5 mm
質量	約220 g

■ バッテリーの充電時間／使用時間の目安

充電時間の目安

バッテリーパック	BP-955	BP-975
充電時間*（ACアダプター CA-935を使用時）	約190分	約275分

* 周囲の温度や充電状態によって異なります。

使用時間の目安

	ビットレート	使用時間		BP-955	BP-975
XF300	50 Mbps	連続撮影時間	ファインダー使用時	約280分	約425分
			液晶画面使用時	約265分	約405分
		実撮影時間	ファインダー使用時	約185分	約260分
			液晶画面使用時	約175分	約250分
		再生時間	液晶画面使用時	約355分	約535分
	35 Mbps	連続撮影時間	ファインダー使用時	約280分	約425分
			液晶画面使用時	約265分	約405分
		実撮影時間	ファインダー使用時	約185分	約260分
			液晶画面使用時	約175分	約250分
		再生時間	液晶画面使用時	約355分	約540分
	25 Mbps	連続撮影時間	ファインダー使用時	約280分	約425分
			液晶画面使用時	約270分	約405分
		実撮影時間	ファインダー使用時	約185分	約260分
			液晶画面使用時	約175分	約250分
		再生時間	液晶画面使用時	約355分	約540分
XF305	50 Mbps	連続撮影時間	ファインダー使用時	約245分	約385分
			液晶画面使用時	約240分	約370分
		実撮影時間	ファインダー使用時	約155分	約235分
			液晶画面使用時	約150分	約225分
		再生時間	液晶画面使用時	約310分	約475分
	35 Mbps	連続撮影時間	ファインダー使用時	約250分	約385分
			液晶画面使用時	約240分	約370分
		実撮影時間	ファインダー使用時	約155分	約235分
			液晶画面使用時	約150分	約225分
		再生時間	液晶画面使用時	約310分	約475分
	25 Mbps	連続撮影時間	ファインダー使用時	約250分	約385分
			液晶画面使用時	約240分	約370分
		実撮影時間	ファインダー使用時	約155分	約235分
			液晶画面使用時	約150分	約225分
		再生時間	液晶画面使用時	約310分	約475分

* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入／切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。
* 液晶画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

バッテリーパックは予定撮影時間の2 ～ 3倍分を用意

ビデオカメラの消費電力は、ズームなどの操作によって変化します。そのため、バッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなることがあります。撮影時には、予定撮影時間の2 ～ 3倍のバッテリーパックを用意することをおすすめします。

索引

ア

アイカップ ・・・・・・・・・・ 32
アイリス ・・・・・・・・・・ 71
アイリスリミット ・・・・・・・・・・ 72
アクセサリー ・・・・・・・・・・ 216
アサインボタン ・・・・・・・・・・ 118
アスペクト比 ・・・・・・・・・・ 156
インターバルRec ・・・・・・・・・・ 107
液晶画面 ・・・・・・・・・・ 33
液晶表示パネル ・・・・・・・・・・ 54
エッジモニター ・・・・・・・・・・ 104
エラーメッセージ ・・・・・・・・・・ 206
エンベデッドオーディオ XF305 ・・・・・・・・・・ 160
オーディオリミッター ・・・・・・・・・・ 99
音声を記録する ・・・・・・・・・・ 94
音声をモニターする ・・・・・・・・・・ 99

カ

解像度 ・・・・・・・・・・ 56
カウントアップ方式 ・・・・・・・・・・ 87
カスタムディスプレイ ・・・・・・・・・・ 132
カスタムピクチャー ・・・・・・・・・・ 120
カスタムファンクション ・・・・・・・・・・ 132
カラーバー ・・・・・・・・・・ 101
記録信号形式 ・・・・・・・・・・ 56
記録メディア
　：CFカードスロット記録方式を選ぶ ・・・・・・・・・・ 45
　：CFカードスロットを切り換える ・・・・・・・・・・ 45
　：CFカードを入れる ・・・・・・・・・・ 40
　：CFカードを修復する ・・・・・・・・・・ 46
　：CFカードを取り出す ・・・・・・・・・・ 42
　：SDカードを入れる／出す ・・・・・・・・・・ 43
　：初期化する ・・・・・・・・・・ 44
クリップ
　：インデックス画面 ・・・・・・・・・・ 136
　：エクスパンドインデックス画面 ・・・・・・・・・・ 151
　：コピーする ・・・・・・・・・・ 146
　：再生する ・・・・・・・・・・ 138
　：消去する ・・・・・・・・・・ 148
　：詳細情報を表示する ・・・・・・・・・・ 144
　：ショットマークインデックス画面 ・・・・・・・・・・ 150
　：ショットマークを付加／消去する ・・・・・・・・・・ 152
　：代表画を設定する ・・・・・・・・・・ 153
　：OKマーク／チェックマークを付加する／消去する ・・・ 145
グリップベルト ・・・・・・・・・・ 35
ゲイン ・・・・・・・・・・ 65
結露 ・・・・・・・・・・ 214
広角 ・・・・・・・・・・ 81
光軸調整 ・・・・・・・・・・ 113
コンパクトフラッシュカード ・・・・・・・・・・ 40

サ

再生
　：静止画を再生する ・・・・・・・・・・ 170
　：動画を再生する ・・・・・・・・・・ 136
撮影
　：静止画を撮影する ・・・・・・・・・・ 168
　：動画を撮影する ・・・・・・・・・・ 48
撮影フレームレート ・・・・・・・・・・ 110
三脚に取り付ける ・・・・・・・・・・ 38
視度調節 ・・・・・・・・・・ 32
シャッタースピード
　：アングル ・・・・・・・・・・ 68
　：オート ・・・・・・・・・・ 68
　：クリアスキャン ・・・・・・・・・・ 68
　：スピード ・・・・・・・・・・ 68
　：スローシャッター ・・・・・・・・・・ 68
修理対応 ・・・・・・・・・・ 226
修理について ・・・・・・・・・・ 227
出力信号形式 ・・・・・・・・・・ 156
仕様 ・・・・・・・・・・ 217
使用時間 ・・・・・・・・・・ 191, 199
焦点距離ガイド ・・・・・・・・・・ 114
ショットマーク ・・・・・・・・・・ 105
ズーム
　：ズームリングで操作する ・・・・・・・・・・ 79
　：ズームロッカーで操作する ・・・・・・・・・・ 80
　：リモコンで操作する ・・・・・・・・・・ 83
ステータス画面 ・・・・・・・・・・ 194
ストラップ ・・・・・・・・・・ 36
スローシャッター ・・・・・・・・・・ 68
スロー＆ファーストモーション記録 ・・・・・・・・・・ 110
静止画
　：カスタムピクチャーをコピーする ・・・・・・・・・・ 175
　：記録する ・・・・・・・・・・ 168

：再生する……170
：消去する……172
：静止画番号をリセットする……176
：プロテクトする……174
接続
：音声出力を選択する……160
：外部モニターを接続する……157
：パソコンに保存する……162
設定データ……133
ゼブラパターン……85
測光方式……73

タ

タイムコード……87
タイムコードホールド……88
タイムコードを外部同期する XF305……91
タリーランプ……49
端子カバーを取り付ける／取り外す……36
テストトーン……102
手ブレ補正……64
電源
：コンセントを使う……25
：バッテリーパックを使う……22
電源を入れる／切る……26
トラブルシューティング……202
ドロップフレーム……88

ナ

ノンドロップフレーム……88

ハ

波形モニター……103
バッテリーパック
：残量を確認する……24, 199
：充電時間／使用時間……220
：充電する……22
：本体に取り付ける／取り外す……23
パワーセーブモード……55
日付・時刻……27
ビットレート……56
ビューアシスト……183
ファインダー
：お手入れ……215
：調整……32
：表示……34
ファンタム電源……96
フォーカス
：オートフォーカス……60
：顔優先AF……62
：フォーカスアシスト……59
：フォーカスリミット……63
：プッシュ AF……61
：フルマニュアルフォーカス……57
：マニュアルフォーカス……58
プッシュオートアイリス……72
フリーラン……87
フリッカーを抑える……70
フルオートモード……51
プレRec……112
フレームRec……109
フレームレート……56
ベクトルスコープ……104
ヘッドホン端子……99
望遠……81
保存：パソコンに保存する……162
ホワイトバランス
：色温度設定……77
：オートホワイトバランス……75
：プリセット設定……76
：ホワイトバランスセット……78

マ

マーカー……84
マイク……94
マイクの感度……95, 97
マクロ撮影……63
メタデータ……100
メッセージ……206
メニュー
：基本操作……28
：メニュー一覧……178
モニター接続……157

ヤ

ユーザービット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・90
ユーザーメモ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・100

ラ

リモートコントローラー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・116, 216
リモコン ・・37
レックラン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・87
レックレビュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106
レンズフード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
録音レベル調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・98

ワ

ワイドアタッチメント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・83, 216

記号

+48V ・・96

その他

ACアダプター ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
AEレベル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・73
AGC ・・65
AGCリミット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
ATT. ・・95, 97
AV端子・・157
AWB・・75
CFカード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
DC IN端子 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
GENLOCK端子 XF305 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・91
GPSレシーバー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・115, 216
HDMI OUT端子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・157
HD/SD COMPONENT OUT端子 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・157
HD/SD SDI端子 XF305 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・157
Hlt.Pri. (Highlight Priority) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・126
Hour Meter・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・191, 199
MXFファイルフォーマット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
NDフィルター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・74
OKマーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・145
POWER(電源)スイッチ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
REMOTE(リモート)端子 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18, 83
SDカード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43
TIME CODE端子 XF305 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・91
USB端子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
VIDEO 2端子 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・157
Wide DR・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・126
XLR端子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・96

商標について

- SD、SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は、SanDisk Corporationの商標です。
- CFロゴはCompactFlash Associationの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、Mac OS、Final Cut Proは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- Avid、Media Composer、NewsCutterは、米国および／またはその他の国におけるAvid Technology, Inc.またはその子会社の商標または登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

MPEG-2使用許諾について

個人使用目的以外で、MPEG-2規格に適合した本機を、パッケージメディア用に映像情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許使用許諾を取得する必要があります。この特許使用許諾はMPEG LA, L.L.C.,（250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206 USA）から取得可能です。

XF300 / XF305は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

本機器は、Microsoftからライセンスされたexfat技術を搭載しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

保証書と修理対応

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

修理対応

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内に弊社修理受付窓口までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。修理受付窓口については、カメラ修理受付センター（📖 227）にお問い合わせいただくか、弊社ホームページでご確認ください。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は十分な梱包でお送りください。

修理対応期間について

ビデオカメラの修理対応期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。 本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 不具合症状の再現・確認のために、記録メディアをお預かりすることがあります。その場合、修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、必要最小限の範囲で記録メディア内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。

■ 修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

050-555-99077（全国共通）

9:00〜18:00（1月1日〜1月3日は除く）

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。なお、上記電話番号をご利用になれない場合は、043-211-9316をご利用ください。

- 購入年月日、製品の型名、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法（宅配便発送／弊社によるお引き取り）やお届けについてご案内いたします。

DIJ0343002

使用方法に関するご相談窓口は

キヤノンお客様相談センター

050-555-90004（全国共通）

平日 9:00〜17:00

※土・日・祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号をご利用になれない方は043-211-9790をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらないことがあります。

キヤノン業務用デジタルビデオカメラホームページ

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報
canon.jp/prodv

キヤノン サポートページ
canon.jp/support

■保証書は製品の箱に添付されています

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

■本書の記載内容は2016年4月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の使用説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

Li-ion　リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

PUB. DIJ-0343-002A

© CANON INC. 2016